

令和6年度気象情報の利活用状況等に関する調査

報告書

令和 7年 3月 28日

気象庁

令和6年度気象情報の利活用状況等に関する調査

調査報告書 目次

I. 調査概要

1. 調査目的	3
2. 調査概要	3
3. 集計・分析の記述について	5

II. 調査結果

1. 対象者の属性	9
2. 防災気象情報（線状降水帯に関する情報、キキクル（危険度分布））の 利活用状況について	11
（1）気象庁から発表される防災気象情報を見聞きした経験の有無	11
（2）線状降水帯の予測情報の発表の有無	23
（3）線状降水帯の予測情報による大雨災害発生への危機感	24
（4）線状降水帯の予測情報が発表されたときの行動	25
（5）線状降水帯が発生したという情報の発表の有無	27
（6）線状降水帯による大雨災害が発生する危機感	28
（7）線状降水帯が発生したという情報が発表されたときの行動	29
（8）キキクル（危険度分布）を見た手段	31
（9）キキクル（危険度分布）における近隣地域での危険度の高まりの有無	33
（10）キキクル（危険度分布）による大雨災害発生への危機感	34
（11）キキクル（危険度分布）において危険度が高まった時の行動	35
3. 台風情報について	37
（1）重視する台風情報	37
（2）予報期間の短い（現在～1週間程度）台風情報に期待すること	40
（3）予報期間の短い（現在～1週間程度）台風情報の活用方法	42
（4）予報期間の長い（1週間程度～）台風情報に期待すること	44
（5）予報期間の長い（1週間程度～）台風情報の活用方法	46
（6）過去1年間に台風情報を見聞きした場合の行動	48
（7）近年、台風情報を見聞きした際の行動の変化	50
4. 防災の意識等について	52
（1）防災意識を向上させるための平時からの備えの状況	52
（2）防災に関する情報を得る媒体	54
5. 比較的先（数週間～数か月）の予測情報に関する意識等について	56

(1) 季節予報情報の利用理由	56
(2) よく見る気象情報	70
(3) 将来新たに極端な現象が発生する可能性のある情報で利用したい内容	72
(4) 先(未来)の気象予測で利用しやすい情報	81
6. 気候変動について	89
(1) 気候変動が引き起こす問題を理解するために必要な情報の関心度	89
(2) 気候変動の影響を感じる事柄	92
(3) 将来考えられる気候変動及びその影響等の予測で最も知りたい情報	96
(4) 気候変動及びその影響等の予測される時期	100
(5) もっとも期待する気候変動や気候変動対策に関する情報	104
(6) 気候変動や気候変動対策に関する情報を得る媒体	108
(7) 文部科学省と気象庁が共同で公表した「日本の気候変動 2020」の認知度	112
(8) 「日本の気候変動 2020」の利用目的	114
7. 緊急記者会見について	116
(1) 気象庁が行う緊急記者会見を見聞きする際に、最も利用する媒体	116
(2) 自分のいる地域、関係する地域の緊急記者会見を見聞きして感じた危機感	118
8. 地震、津波に関する防災情報について	121
(1) 「津波フラッグ」の認知度	121
(2) 「津波フラッグ」の使用場面の認知度	123
(3) 「津波フラッグ」を知ったきっかけ	126

Ⅲ. 調査結果のまとめ

1. 調査結果概要	131
(1) 気象庁から発表される防災情報の入手手段	131
(2) 線状降水帯に関する情報	131
(3) キキクル	132
(4) 台風情報	132
(5) 防災についての意識等	132
(6) 比較的先(数週間～数か月)の予測情報に関する意識等	133
(7) 気候変動	133
(8) 緊急記者会見	133
(9) 津波フラッグ	134
2. 今後の防災情報の更なる理解度向上に向けて	134

Ⅳ. 巻末資料

1. 調査票
2. 自由回答一覧

I. 調査概要

I. 調査概要

1. 調査目的

本調査は、一般における気象情報の利活用状況を把握し、今後の気象業務の改善に資することを目的とする。

2. 調査概要

1) 調査対象

全国に居住する 20 才～79 才の男女

2) 調査方法

インターネット上の WEB 画面に用意した質問に回答する方式(WEB 調査)

3) 有効回収数

有効回収数：2,000 サンプル

性別、年齢、居住地の分布は、令和2年国勢調査 人口等基本集計の人口分布に基づき、割付。

回収数は次の通りである。

I. 調査概要

	全体	20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60代以上	
	全体	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
北海道	85	5	5	6	6	8	8	7	8	15	17
青森県	20	1	1	1	1	2	2	2	2	4	4
岩手県	20	1	1	1	1	2	2	2	2	4	4
宮城県	37	2	2	3	3	4	4	3	3	6	7
秋田県	15	1	1	1	1	1	1	1	1	3	4
山形県	16	1	1	1	1	2	1	1	1	3	4
福島県	32	2	2	2	2	3	3	3	3	6	6
茨城県	45	3	2	3	3	5	4	4	4	8	9
栃木県	32	2	2	2	2	3	3	3	3	6	6
群馬県	32	2	2	2	2	3	3	3	3	6	6
埼玉県	119	8	8	9	8	13	12	11	10	19	21
千葉県	102	7	6	8	7	11	10	9	9	17	18
東京都	221	17	18	20	19	24	23	21	20	28	31
神奈川県	147	11	10	11	11	16	15	15	14	21	23
新潟県	35	2	2	3	2	3	3	3	3	7	7
富山県	16	1	1	1	1	2	2	1	1	3	3
石川県	18	1	1	1	1	2	2	2	2	3	3
福井県	12	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2
山梨県	12	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2
長野県	32	2	2	2	2	3	3	3	3	6	6
岐阜県	32	2	2	2	2	3	3	3	3	6	6
静岡県	56	3	3	4	4	6	5	5	5	10	11
愛知県	119	9	8	10	9	13	12	11	10	18	19
三重県	30	2	2	2	2	3	3	3	3	5	5
滋賀県	23	2	1	2	2	2	2	2	2	4	4
京都府	42	3	3	3	3	4	4	3	4	7	8
大阪府	138	10	10	10	10	14	14	12	13	21	24
兵庫県	85	5	5	6	6	8	9	8	8	14	16
奈良県	20	1	1	1	1	2	2	2	2	4	4
和歌山県	14	1	1	1	1	1	1	1	1	3	3
鳥取県	12	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2
島根県	12	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2
岡山県	29	2	2	2	2	3	3	2	2	5	6
広島県	43	3	3	3	3	4	4	4	4	7	8
山口県	21	1	1	1	1	2	2	2	2	4	5
徳島県	12	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2
香川県	14	1	1	1	1	1	1	1	1	3	3
愛媛県	20	1	1	1	1	2	2	2	2	4	4
高知県	12	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2
福岡県	79	5	5	6	6	8	8	6	7	13	15
佐賀県	13	1	1	1	1	1	1	1	1	2	3
長崎県	20	1	1	1	1	2	2	2	2	4	4
熊本県	26	1	2	2	2	2	2	2	2	5	6
大分県	18	1	1	1	1	2	2	1	2	3	4
宮崎県	16	1	1	1	1	1	2	1	1	3	4
鹿児島県	24	1	1	2	2	2	2	2	2	5	5
沖縄県	22	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3
全体	2000	134	131	148	143	201	195	178	179	330	361

◆地方予報区に該当する都道府県

地方予報区	都道府県									
北海道地方	北海道									
東北地方	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県				
関東甲信地方	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	山梨県	長野県	
東海地方	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県						
北陸地方	新潟県	富山県	石川県	福井県						
近畿地方	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県						
中国地方	鳥取県	島根県	岡山県	広島県						
四国地方	徳島県	香川県	愛媛県	高知県						
九州北部地方	山口県	福岡県	佐賀県	長崎県						
九州南部・奄美地方	宮崎県	鹿児島県								
沖縄地方	沖縄県									

4) 実施期間

令和6年11月5日（火）～令和6年11月8日（金）

3. 集計・分析の記述について

- 図表中のnは回答者の数（母数）であり、回答比率（％）算出の基数を表している。
- 回答比率（％）は、小数点第2位を四捨五入して、小数点第1位までを表示している。このため、回答比率の合計が100%にならないことがある。
- 2つ以上の複数回答ができる設問では、回答比率の合計は原則として100%を超える。
- n=29 以下の場合は、1 サンプルの占めるウェイトが大きく、統計的に標本の代表性が担保できないため、参考値とする。

II. 調査結果

Ⅱ. 調査結果

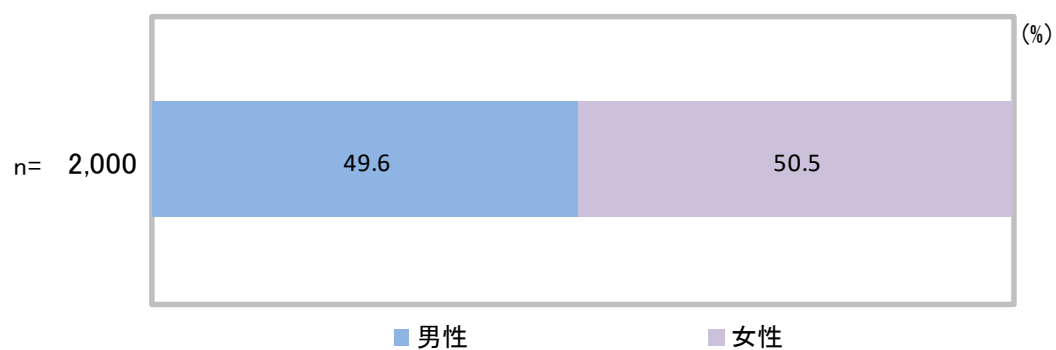
1. 対象者の属性

居住地

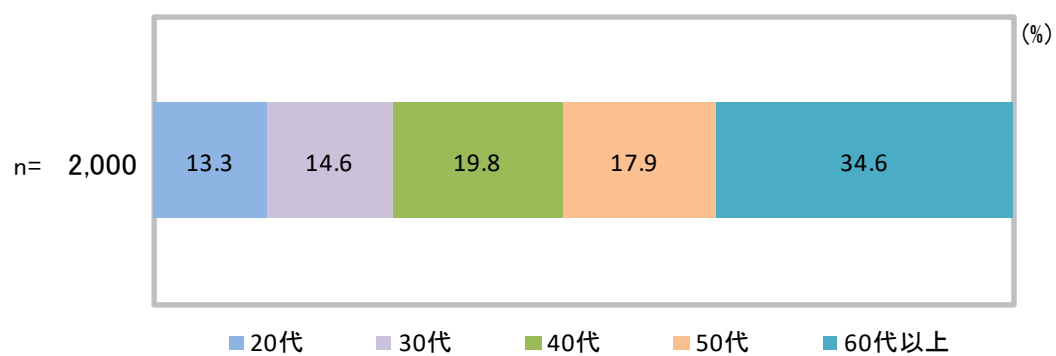
都道府県	回収数	都道府県	回収数	都道府県	回収数	都道府県	回収数	都道府県	回収数
北海道	85	埼玉県	119	岐阜県	32	鳥取県	12	佐賀県	13
青森県	20	千葉県	102	静岡県	56	島根県	12	長崎県	20
岩手県	20	東京都	221	愛知県	119	岡山県	29	熊本県	26
宮城県	37	神奈川県	147	三重県	30	広島県	43	大分県	18
秋田県	15	新潟県	35	滋賀県	23	山口県	21	宮崎県	16
山形県	16	富山県	16	京都府	42	徳島県	12	鹿児島県	24
福島県	32	石川県	18	大阪府	138	香川県	14	沖縄県	22
茨城県	45	福井県	12	兵庫県	85	愛媛県	20	合計	2,000
栃木県	32	山梨県	12	奈良県	20	高知県	12		
群馬県	32	長野県	32	和歌山県	14	福岡県	79		

Ⅱ. 調査結果

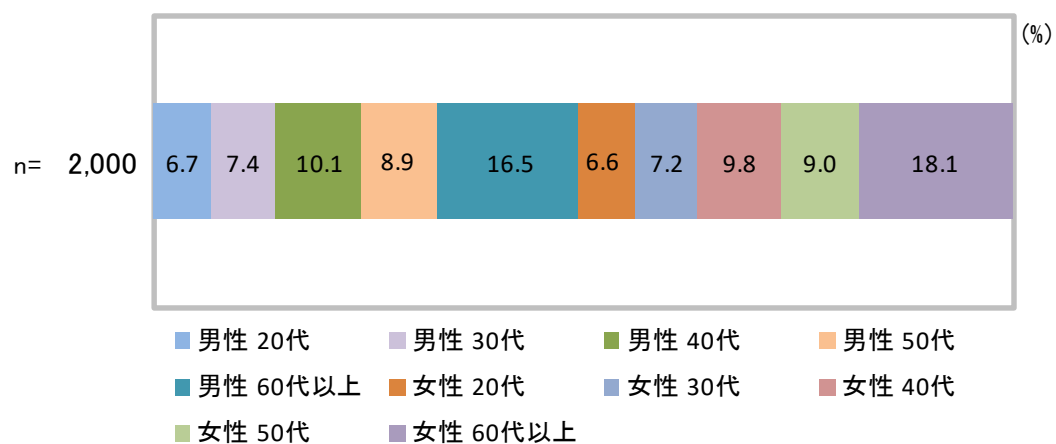
性別



年代



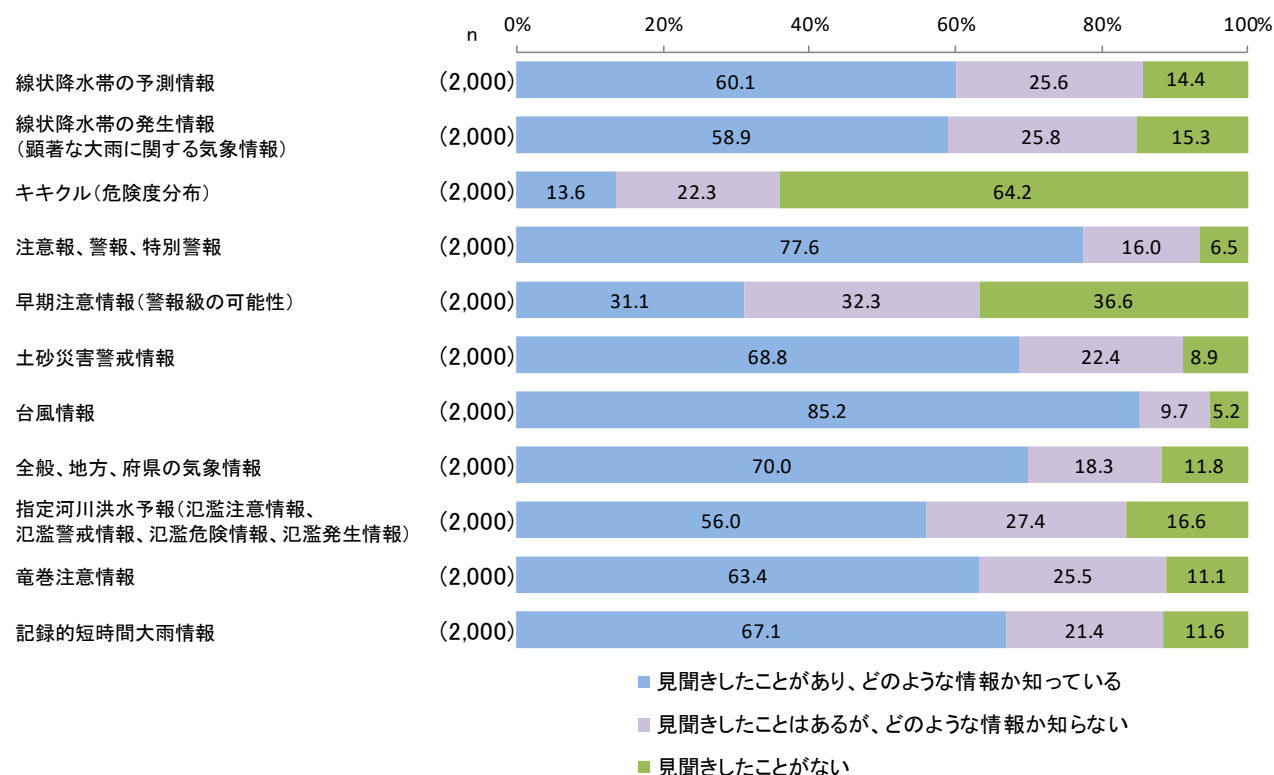
性年代別



2. 防災気象情報（線状降水帯に関する情報、キキクル（危険度分布））の利活用状況について

（１）気象庁から発表される防災気象情報を見聞きした経験の有無

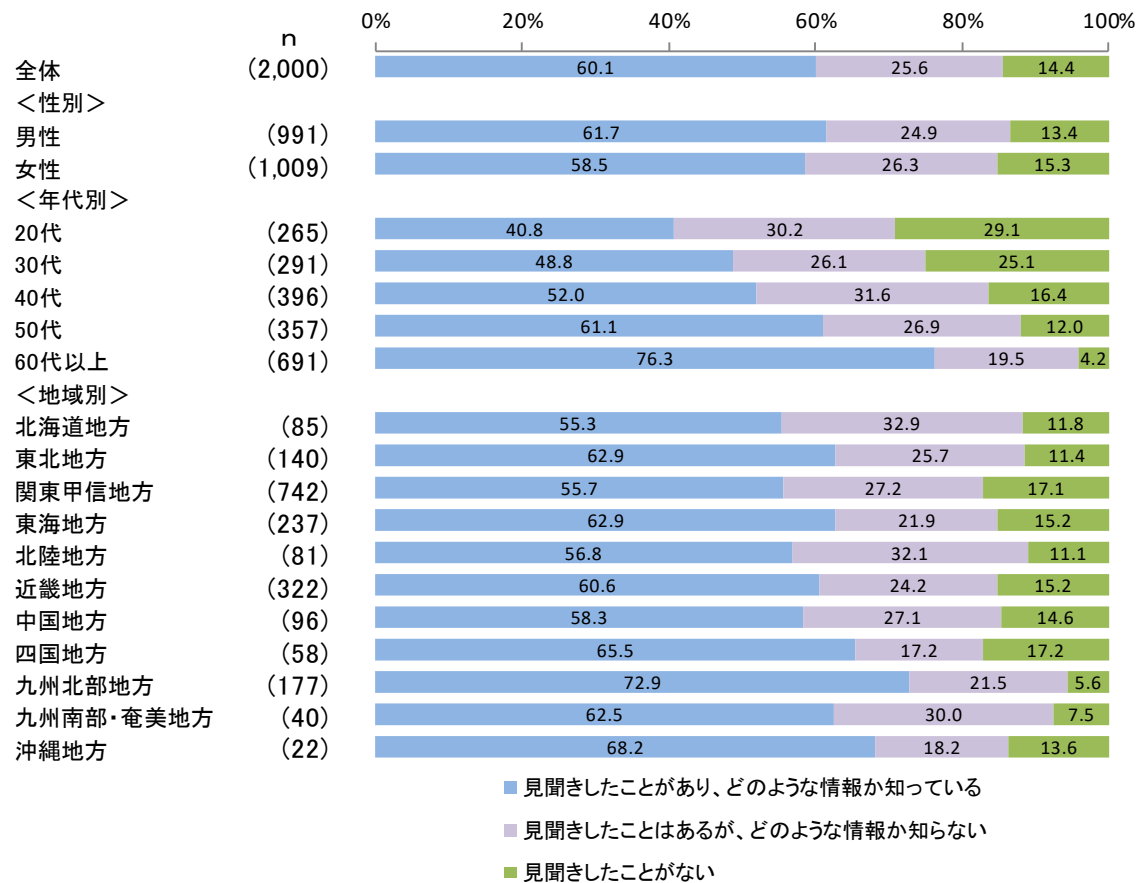
問１ あなたは、大雨や台風などによる災害から身を守るために、気象庁から発表される以下の防災気象情報を見聞きしたことがありますか。また、どのような情報が知っていますか。見聞きしたことがある、また知っているものを全て選んでください。



大雨や台風などによる災害から身を守るために、気象庁から発表される防災気象情報を見聞きしたことがあるかについて、「見聞きしたことがあり、どのような情報が知っている」では、〈台風情報〉(85.2%)が最も高く、次いで、〈注意報、警報、特別警報〉(77.6%)、〈全般、地方、府県の気象情報〉(70.0%)、〈土砂災害警戒情報〉(68.8%)、〈記録的短時間大雨情報〉(67.1%)となっている。また、「見聞きしたことがあり、どのような情報が知っている」と「見聞きしたことはあるが、どのような情報が知らない」を合わせた割合（以降、『見聞きしたことがある（計）』）は、〈キキクル（危険度分布）〉(35.9%)と〈早期注意情報（警報級の可能性）〉(63.4%)以外の防災気象情報でいずれも8割以上を占めている。

Ⅱ. 調査結果

【線状降水帯の予測情報】

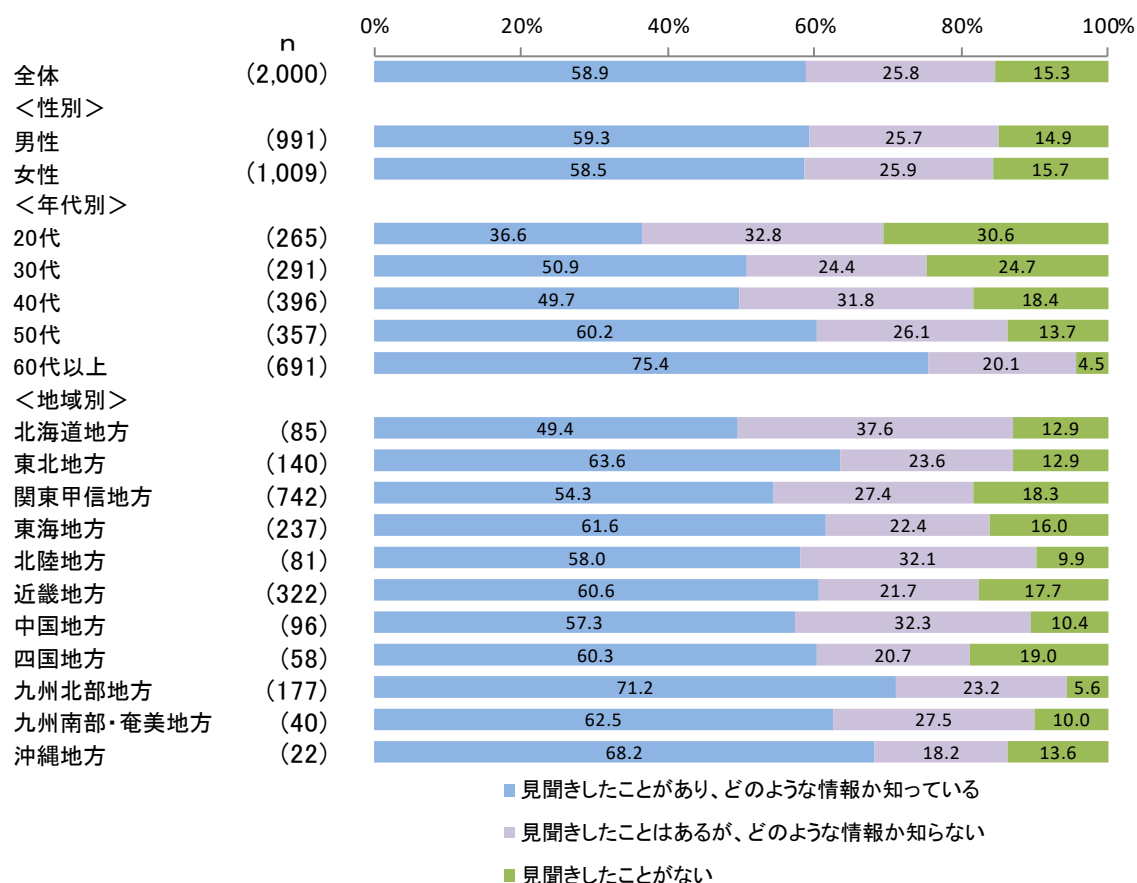


性別にみると、全体と同様の傾向にある。

年代別にみると、「聞いたことがある、どのような情報が知っている」は年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。また、『聞いたことがある（計）』も同様に、年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。

地域別にみると、「聞いたことがある、どのような情報が知っている」は九州北部地方(72.9%)、四国地方(65.5%)で高くなっている。また、『聞いたことがある（計）』は九州北部地方(94.4%)、九州南部・奄美地方(92.5%)で高くなっている。

【線状降水帯の発生情報（顕著な大雨に関する気象情報）】



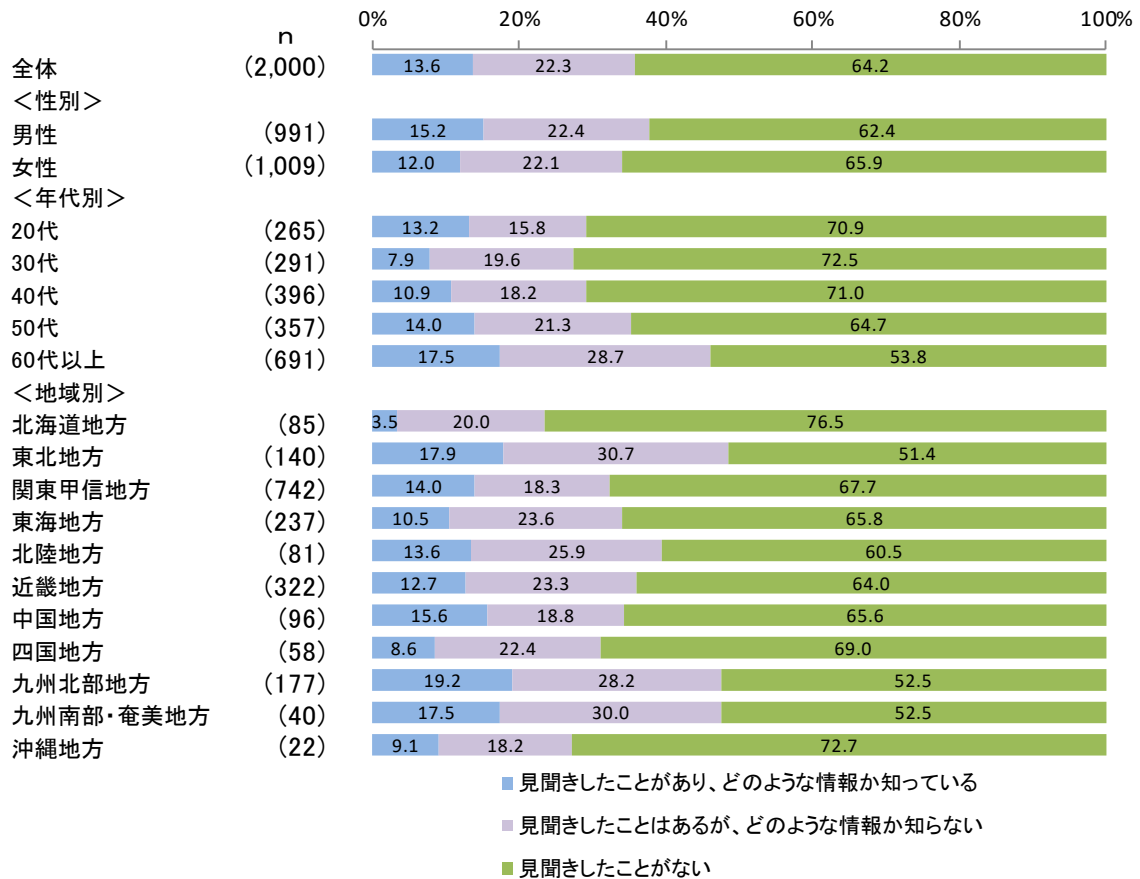
性別にみると、全体と同様の傾向にある。

年代別にみると、「听说过，知道相关信息、どのような情報が知っている」及び『听说过，知道相关信息（計）』は年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。

地域別にみると、「听说过，知道相关信息、どのような情報が知っている」は九州北部地方(71.2%)で高くなっている。また、『听说过，知道相关信息（計）』は九州北部地方(94.4%)、北陸地方(90.1%)、九州南部・奄美地方(90.0%)で高くなっている。

Ⅱ. 調査結果

【キキクル（危険度分布）】

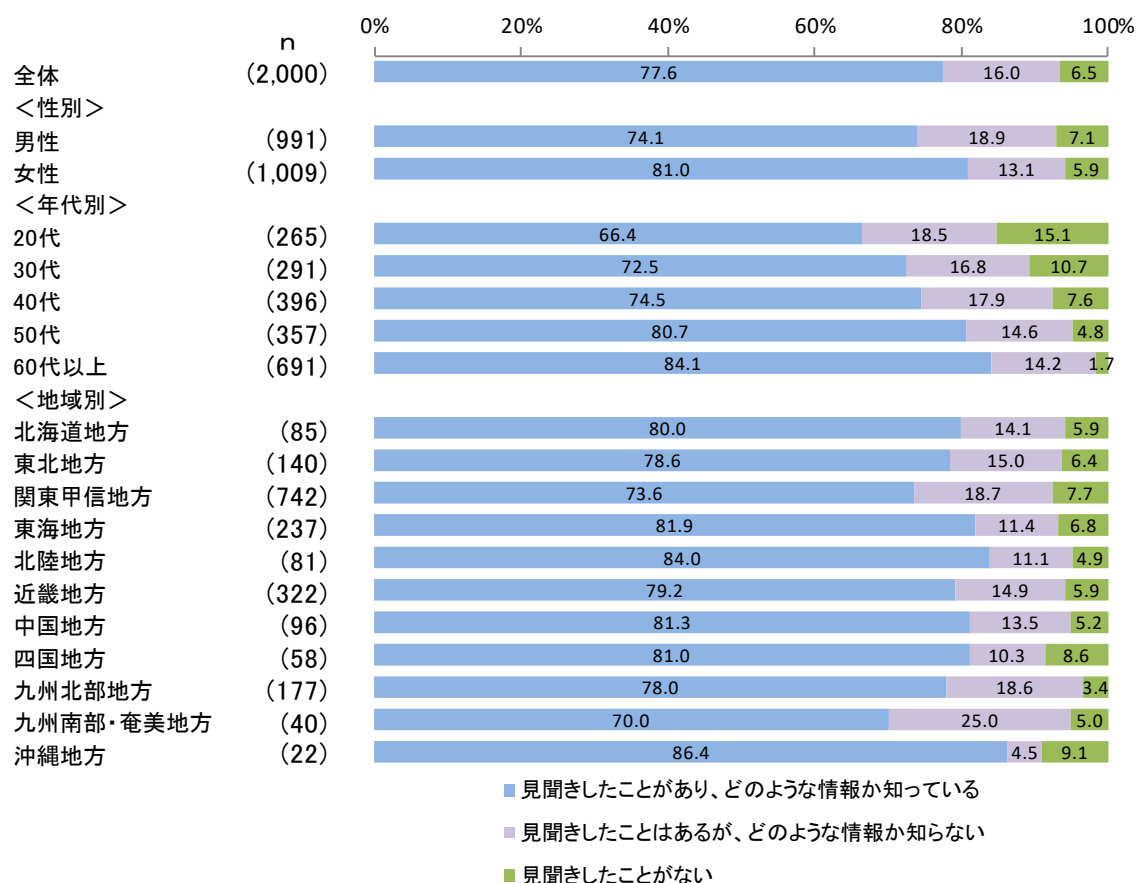


性別にみると、全体と同様の傾向にある。

年代別にみると、60代以上では『聞いたことがある（計）』が46.2%と高い。

地域別にみると、『聞いたことがある（計）』は東北地方(48.6%)、九州北部地方(47.4%)、九州南部・奄美地方(47.5%)で高くなっている。

【注意報、警報、特別警報】



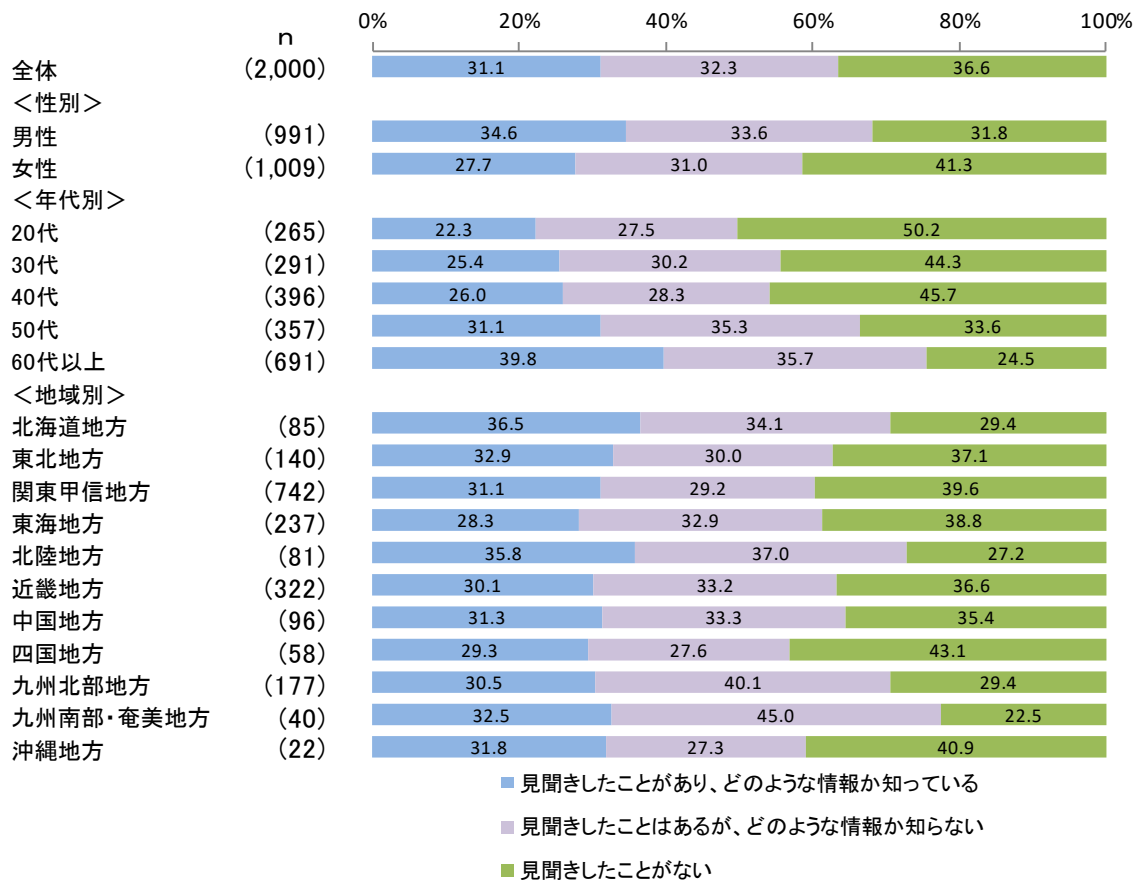
性別にみると、全体と同様の傾向にある。

年代別にみると、「聞きしことがあり、どのような情報が知っている」及び『聞きしことがある（計）』は年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。

地域別にみると、「聞きしことがあり、どのような情報が知っている」は北陸地方(84.0%)で高くなっている。

Ⅱ. 調査結果

【早期注意情報（警報級の可能性）】

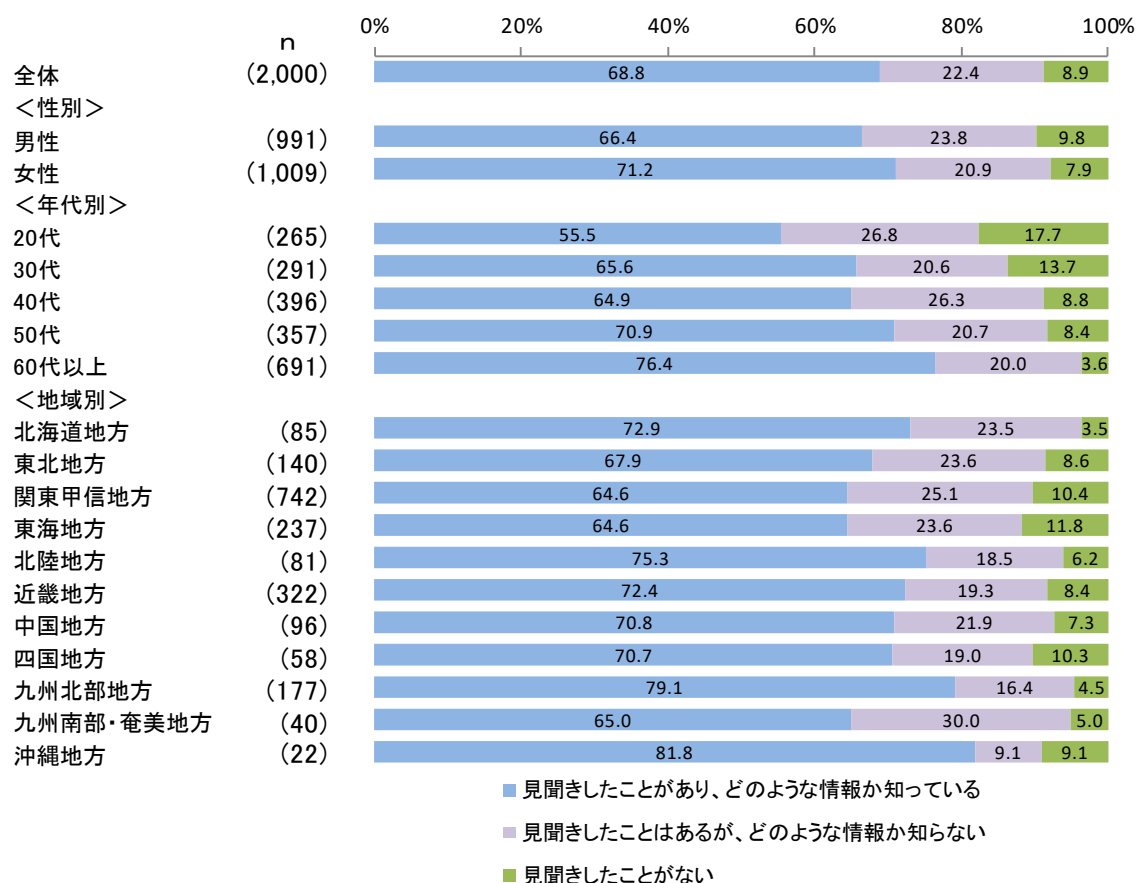


性別にみると、全体と同様の傾向にある。

年代別にみると、「聞いたことがあり、どのような情報が知っている」及び『聞いたことがある（計）』は年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。

地域別にみると、「聞いたことがあり、どのような情報が知っている」は北海道地方(36.5%)で高くなっている。また、『聞いたことがある（計）』は九州南部・奄美地方(77.5%)、北陸地方(72.8%)、北海道地方(70.6%)、九州北部地方(70.6%)で高い。

【土砂災害警戒情報】



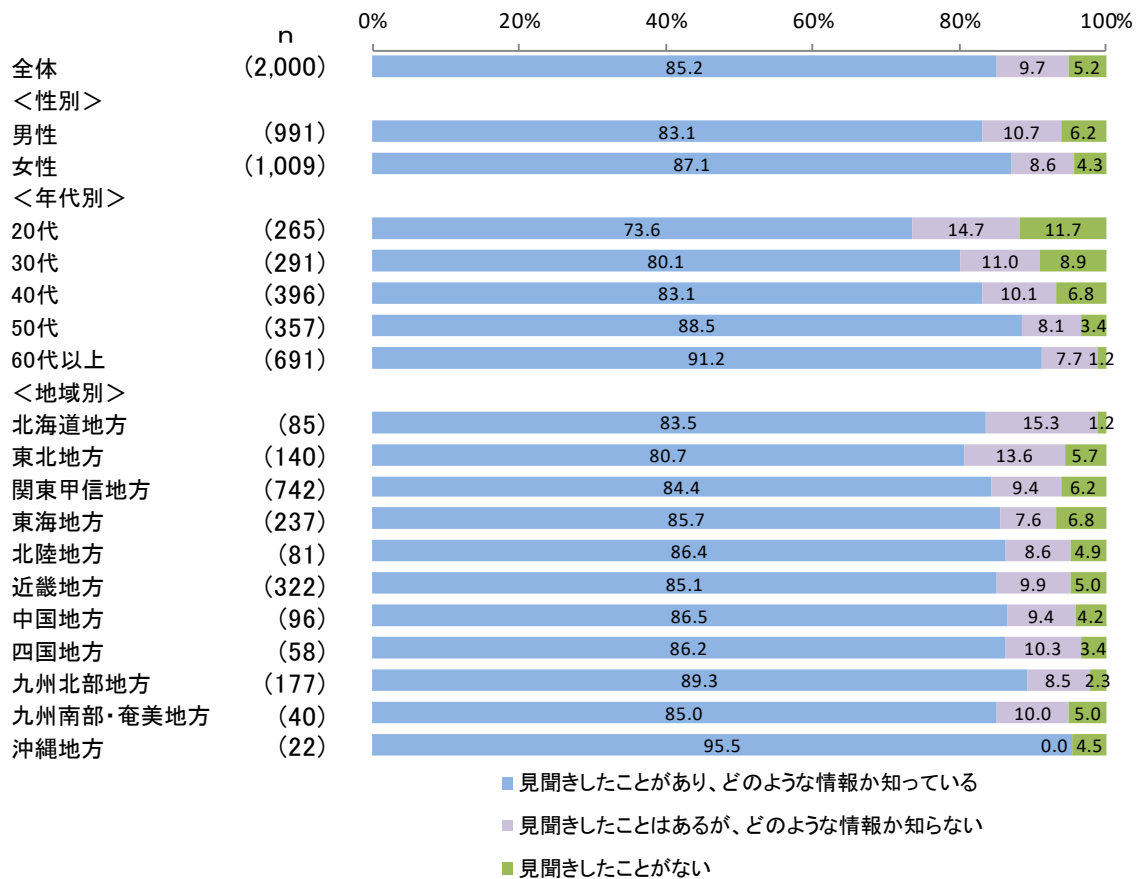
性別にみると、全体と同様の傾向にある。

年代別にみると、「聞いたことがあり、どのような情報か知っている」及び『聞いたことがある（計）』は年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。

地域別にみると、「聞いたことがあり、どのような情報か知っている」は九州北部地方(79.1%)、北陸地方(75.3%)で高くなっている。また、『聞いたことがある（計）』は北海道地方(96.4%)で高い。

Ⅱ. 調査結果

【台風情報】

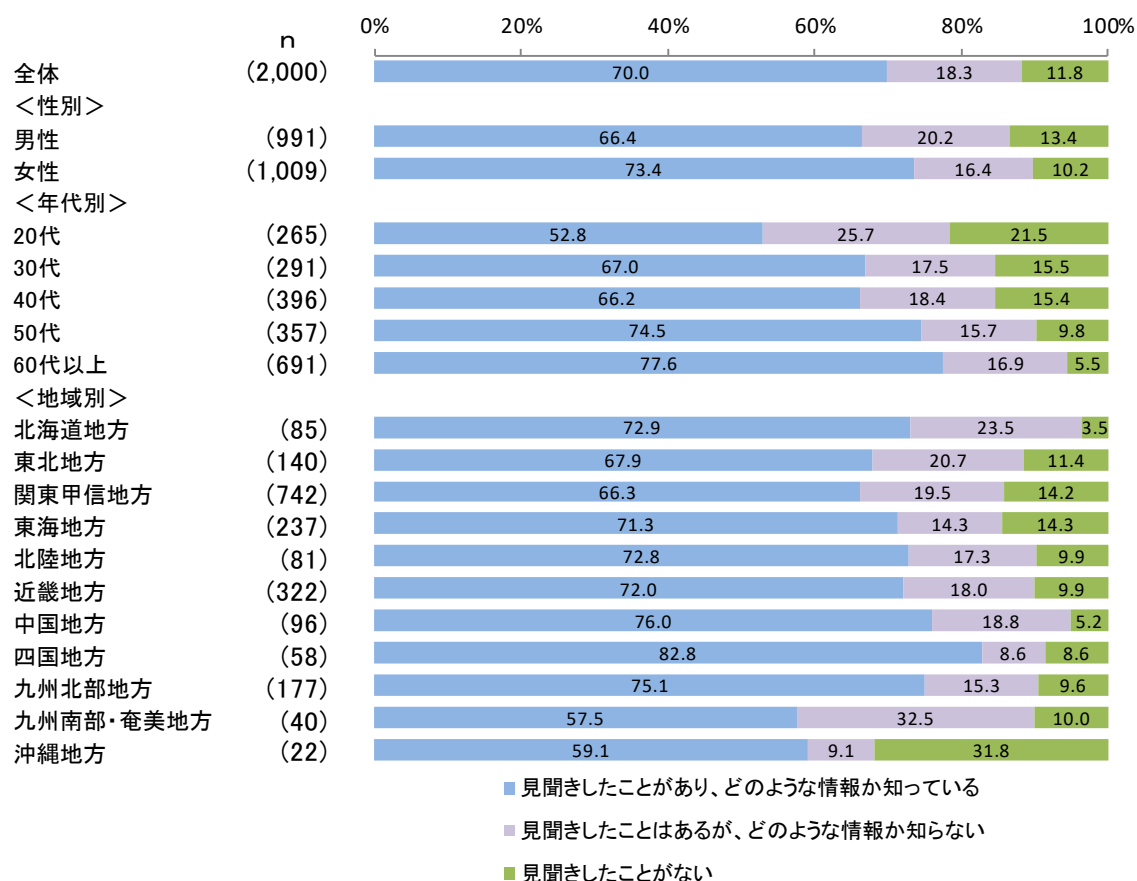


性別にみると、全体と同様の傾向にある。

年代別にみると、「聞いたことがあり、どのような情報が知っている」及び『聞いたことがある（計）』は年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。

地域別にみると、全体と同様の傾向にある。

【全般、地方、府県の気象情報】



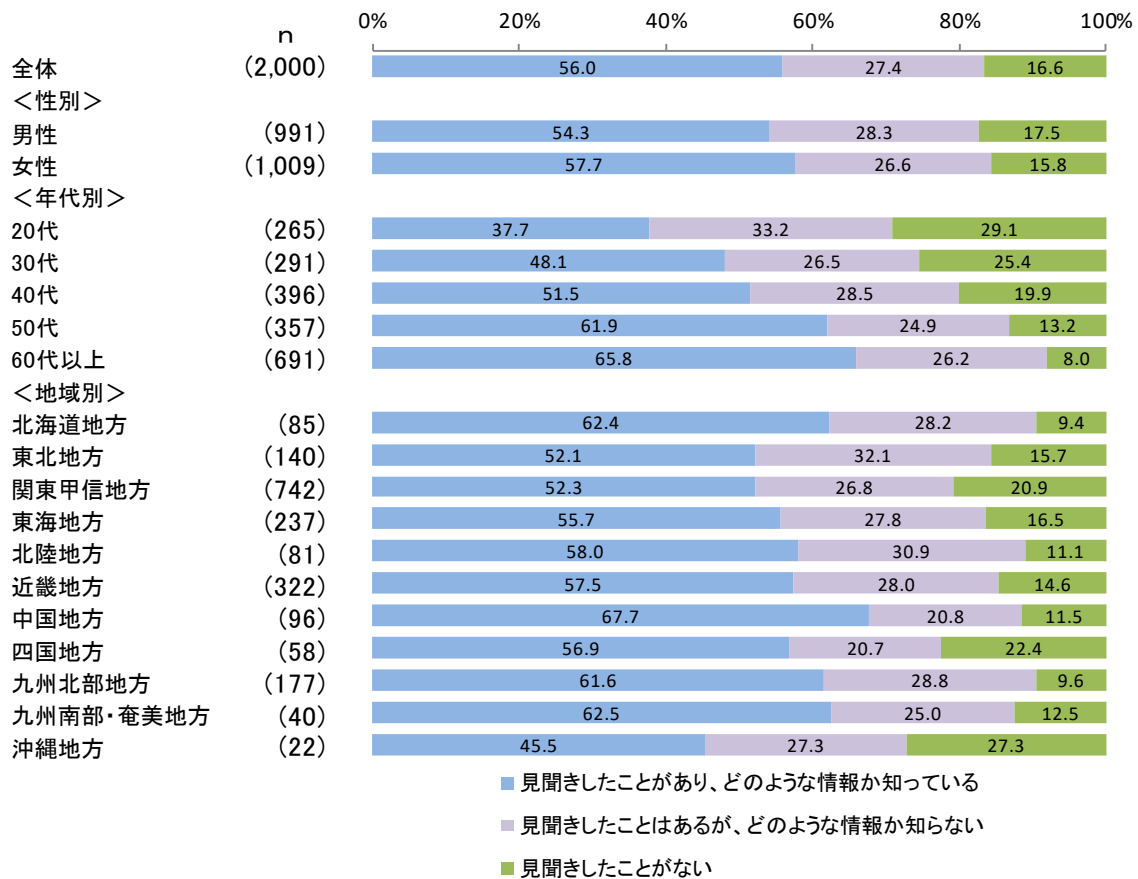
性別にみると、全体と同様の傾向にある。

年代別にみると、「見聞きしたことがあり、どのような情報が知っている」及び『見聞きしたことがある（計）』は年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。

地域別にみると、「見聞きしたことがあり、どのような情報が知っている」は四国地方(82.8%)、中国地方(76.0%)、九州北部地方(75.1%)、で高くなっている。また、『見聞きしたことがある（計）』は北海道地方(96.4%)、中国地方(94.8%)で高い。

Ⅱ. 調査結果

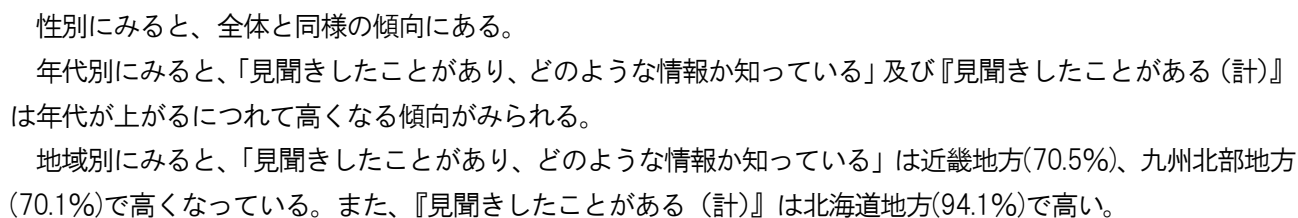
【指定河川洪水予報（氾濫注意情報、氾濫警戒情報、氾濫危険情報、氾濫発生情報）】



性別にみると、全体と同様の傾向にある。

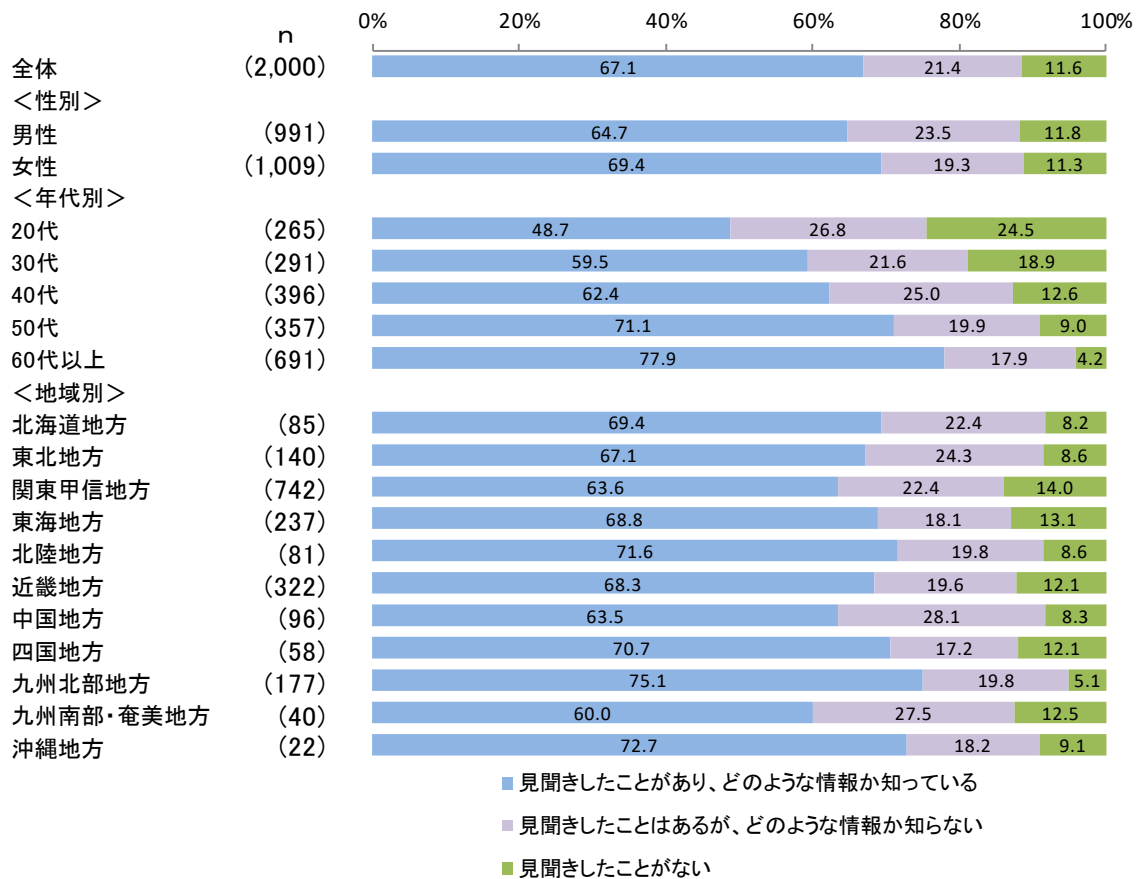
年代別にみると、「听说过，知道相关信息、どのような情報が知っている」及び『听说过，知道相关信息（計）』は年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。

地域別にみると、「听说过，知道相关信息、どのような情報が知っている」は中国地方(67.7%)、九州南部・奄美地方(62.5%)、北海道地方(62.4%)、九州北部地方(61.6%)で高くなっている。また、『听说过，知道相关信息（計）』は北海道地方(90.6%)、九州北部地方(90.4%)、北陸地方(88.9%)、中国地方(88.5%)で高い。



Ⅱ. 調査結果

【記録的短時間大雨情報】



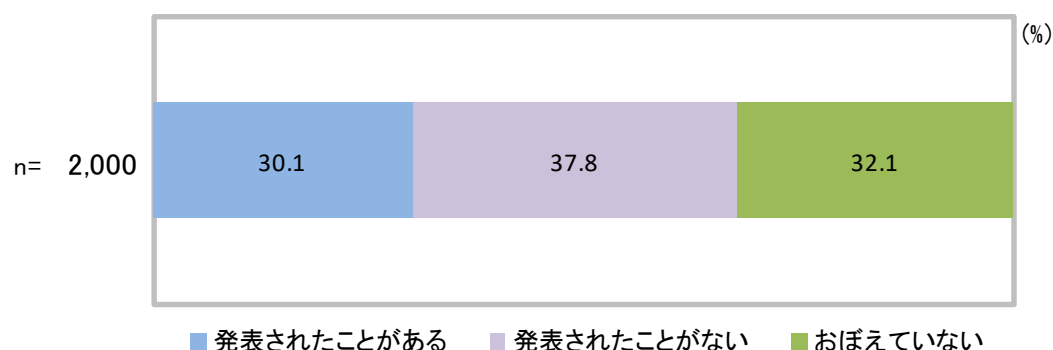
性別にみると、全体と同様の傾向にある。

年代別にみると、「听说过，知道一些信息、どのような情報が知っている」及び『听说过，知道一些信息（計）』は年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。

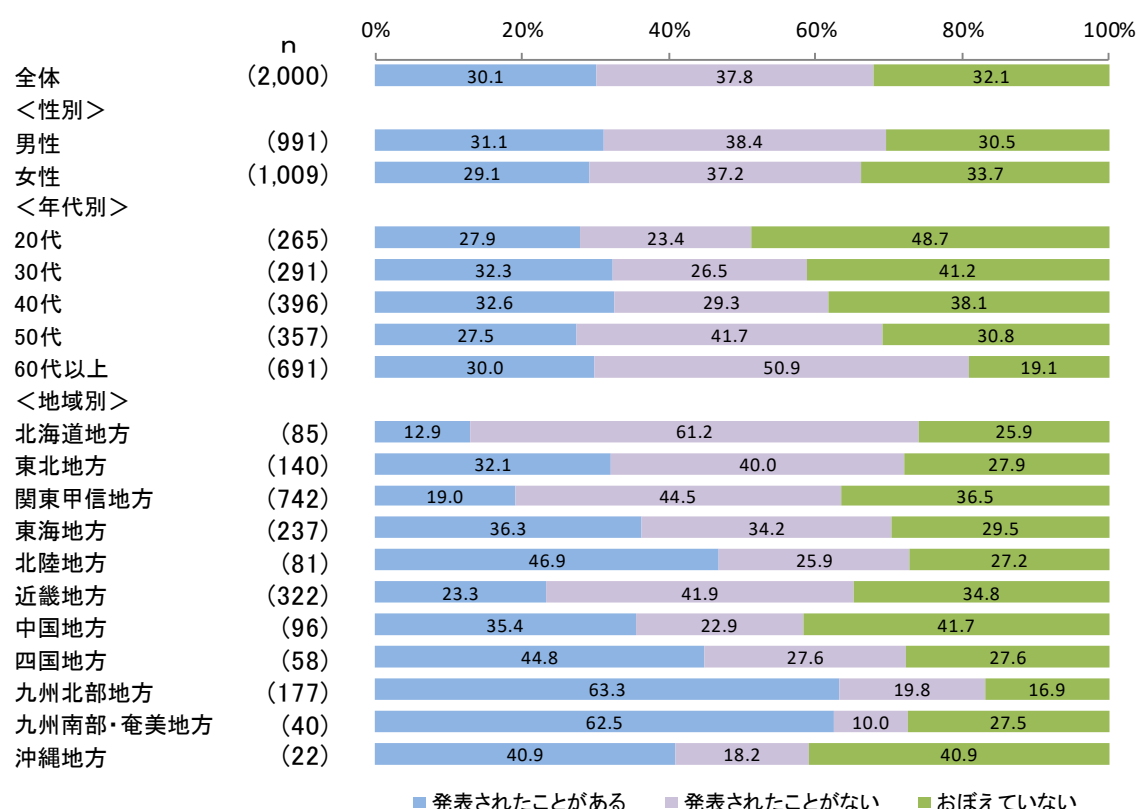
地域別にみると、「听说过，知道一些信息、どのような情報が知っている」は九州北部地方(75.1%)で高くなっている。また、『听说过，知道一些信息（計）』は九州北部地方(94.9%)で高い。

(2) 線状降水帯の予測情報の発表の有無

問2 線状降水帯の予測情報がお住いの地域または近隣地域に発表されたことがありますか？あてはまるものを1つ選んでください。



線状降水帯の予測情報がお住いの地域または近隣地域に発表されたことがあるかについては、「発表されたことがある」(30.1%)、「発表されたことがない」(37.8%)、「おぼえていない」(32.1%)となっている。



性別にみると、全体と同様の傾向にある。

年代別にみると、「発表されたことがある」は全体と同様の傾向にある。

地域別にみると、「発表されたことがある」は九州北部地方(63.3%)、九州南部・奄美地方(62.5%)、北陸地方(46.9%)、四国地方(44.8%)、東海地方(36.3%)、中国地方(35.4%)で高くなっている。

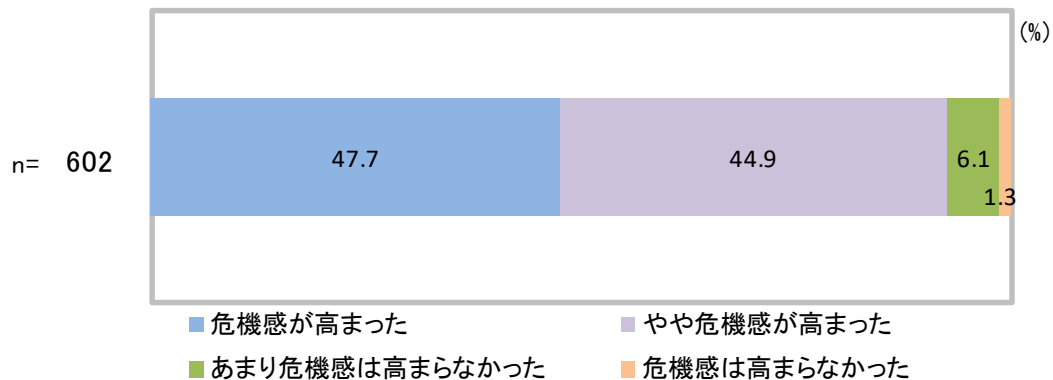
Ⅱ. 調査結果

(3) 線状降水帯の予測情報による大雨災害発生への危機感

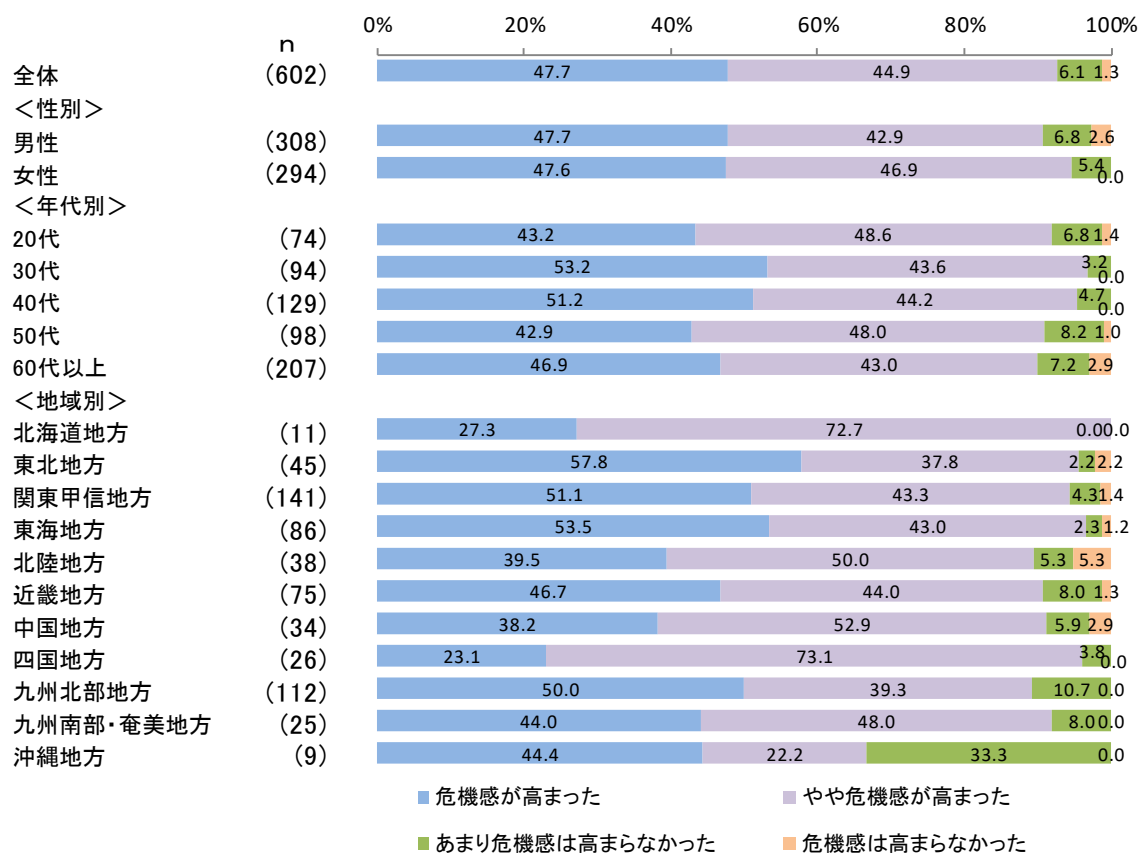
問3 線状降水帯の予測情報により、大雨災害が発生する危機感が高まりましたか？ あてはまるものを1つ選んでください。

n=602

ベース：線状降水帯の予測情報が「発表されたことがある」と回答した方



線状降水帯の予測情報により、大雨災害が発生する危機感について、「危機感が高まった」(47.7%)と「やや危機感が高まった」(44.9%)を合わせた『危機感が高まった(計)』は92.6%となっている。



性別にみると、全体と同様の傾向にある。

年代別にみると、「危機感が高まった」は30代(53.2%)で高くなっている。

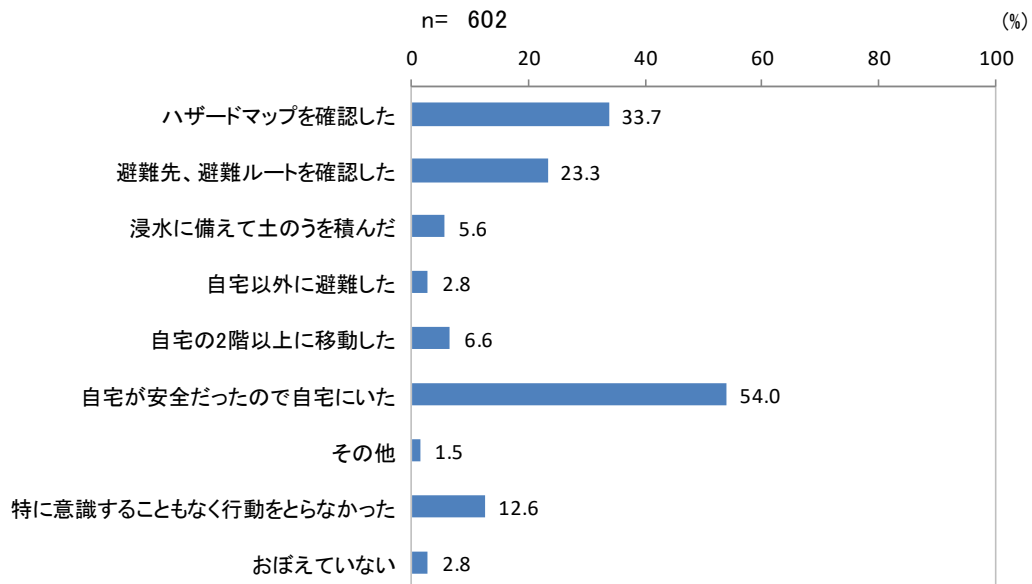
地域別にみると、「危機感が高まった」は東北地方(57.8%)、東海地方(53.5%)で高くなっている。

(4) 線状降水帯の予測情報が発表されたときの行動

問4 線状降水帯の予測情報が住まいの地域または近隣地域に発表されたとき、あなたは次のような行動をとりましたか？あてはまるものを全て選んでください。

n=602

ベース：線状降水帯の予測情報が「発表されたことがある」と回答した方



線状降水帯の予測情報が住まいの地域または近隣地域に発表されたときの行動については、「自宅が安全だったので自宅にいた」(54.0%)が最も高く、次いで「ハザードマップを確認した」(33.7%)、「避難先、避難ルートを確認した」(23.3%)となっている。

Ⅱ. 調査結果

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下
 * 赤字はベースがn=29以下のため参考値

		n	ハザードマップを確認した	避難先、避難ルートを確認した	浸水に備えて土のうを積んだ	自宅以外に避難した	自宅の2階以上に移動した	自宅が安全だったので自宅にいた	その他	特に意識することなく行動をと	おぼえていない
全体		602	33.7	23.3	5.6	2.8	6.6	54.0	1.5	12.6	2.8
性別	男性	308	35.7	24.7	8.1	3.9	8.4	49.7	1.0	14.9	2.9
	女性	294	31.6	21.8	3.1	1.7	4.8	58.5	2.0	10.2	2.7
年代	20代	74	39.2	29.7	12.2	8.1	12.2	37.8	4.1	12.2	2.7
	30代	94	33.0	28.7	8.5	4.3	11.7	51.1	2.1	13.8	3.2
	40代	129	41.9	27.9	7.0	0.8	5.4	47.3	-	10.9	2.3
	50代	98	33.7	13.3	5.1	3.1	8.2	66.3	-	10.2	3.1
	60代以上	207	27.1	20.3	1.4	1.4	2.4	59.4	1.9	14.5	2.9
地域別	北海道地方	11	45.5	36.4	-	9.1	9.1	36.4	-	9.1	9.1
	東北地方	45	40.0	26.7	2.2	8.9	2.2	55.6	-	13.3	-
	関東甲信地方	141	41.8	29.1	9.2	3.5	8.5	47.5	-	12.8	2.8
	東海地方	86	23.3	19.8	4.7	1.2	4.7	61.6	2.3	14.0	1.2
	北陸地方	38	15.8	23.7	-	2.6	15.8	63.2	-	10.5	5.3
	近畿地方	75	41.3	26.7	5.3	2.7	6.7	50.7	1.3	10.7	8.0
	中国地方	34	32.4	14.7	2.9	-	2.9	50.0	-	11.8	2.9
	四国地方	26	34.6	23.1	11.5	3.8	3.8	50.0	3.8	15.4	3.8
	九州北部地方	112	31.3	17.0	6.3	0.9	6.3	57.1	4.5	12.5	-
	九州南部・奄美地方	25	28.0	16.0	-	-	8.0	64.0	-	16.0	4.0
	沖縄地方	9	22.2	33.3	11.1	11.1	-	44.4	-	11.1	-

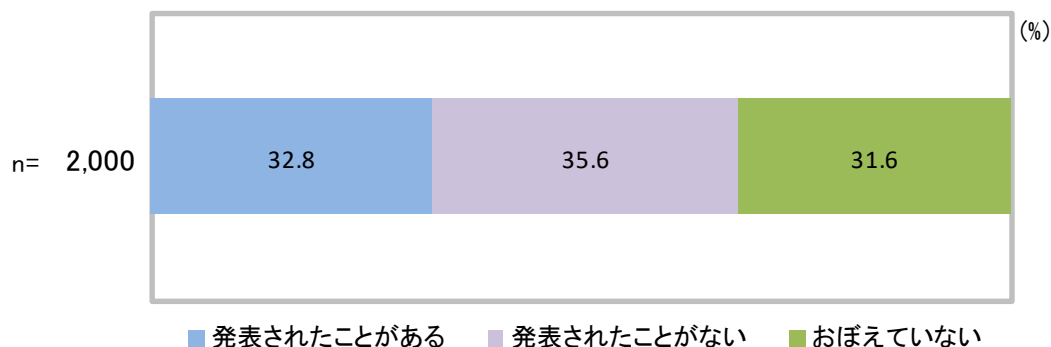
性別にみると、全体と同様の傾向にある。

年代別にみると、「自宅が安全だったので自宅にいた」は50代(66.3%)、60代以上(59.4%)で高くなっている。「ハザードマップを確認した」は40代(41.9%)、20代(39.2%)で高い。「避難先、避難ルートを確認した」は20代(29.7%)、30代(28.7%)で高くなっている。なお、20代は前述のほか、「浸水に備えて土のうを積んだ」(12.2%)、「自宅以外に避難した」(8.1%)、「自宅の2階以上に移動した」(12.2%)といった行動が高くなっている。

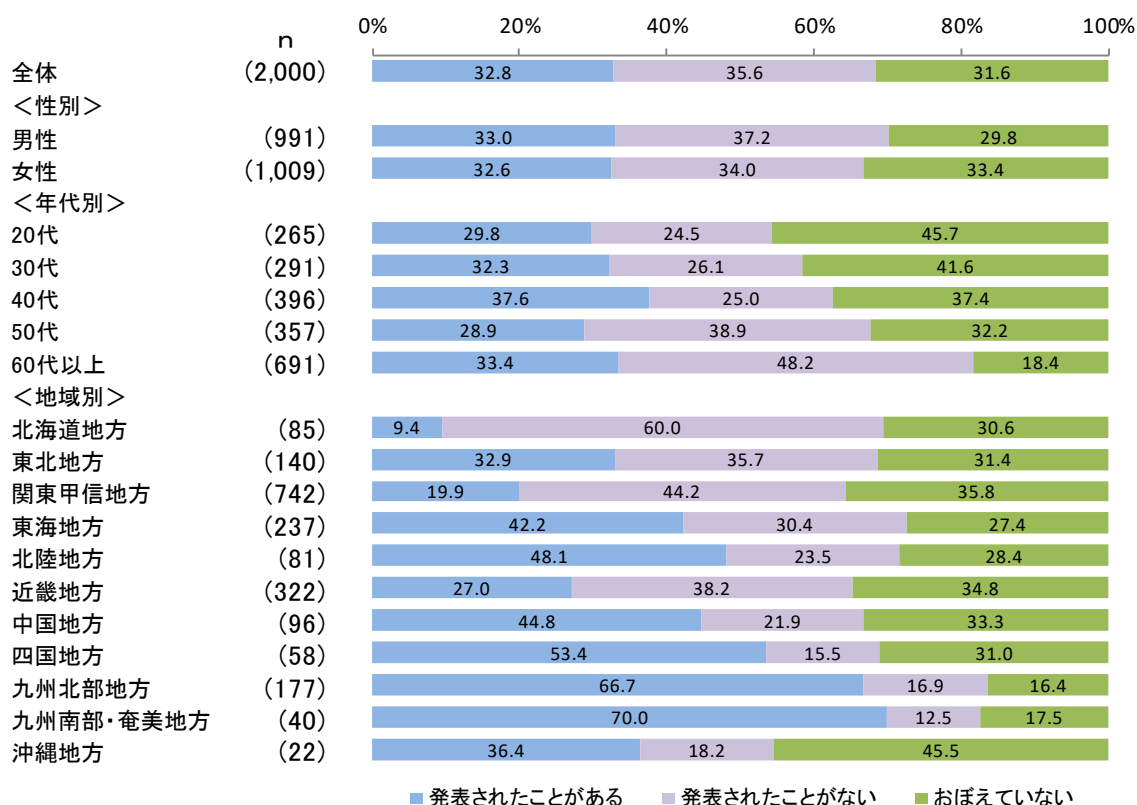
地域別にみると、「自宅が安全だったので自宅にいた」は北陸地方(63.2%)、東海地方(61.6%)で高くなっている。「ハザードマップを確認した」は関東甲信地方(41.8%)、近畿地方(41.3%)、東北地方(40.0%)で高い。「避難先、避難ルートを確認した」は関東甲信地方(29.1%)で高くなっている。

(5) 線状降水帯が発生したという情報の発表の有無

問5 線状降水帯が発生したという情報が、お住いの地域または近隣地域に発表されたことがありますか？あてはまるものを1つ選んでください。



線状降水帯が発生したという情報が、お住いの地域または近隣地域に発表されたことがあるかについては、「発表されたことがある」(32.8%)、「発表されたことがない」(35.6%)、「おぼえていない」(31.6%)となっている。



性別にみると、全体と同様の傾向にある。

年代別にみると、「発表されたことがある」は全体と同様の傾向にある。

地域別にみると、「発表されたことがある」は九州南部・奄美地方(70.0%)、九州北部地方(66.7%)、四国地方(53.4%)、北陸地方(48.1%)、中国地方(44.8%)、東海地方(42.2%)で高くなっている。

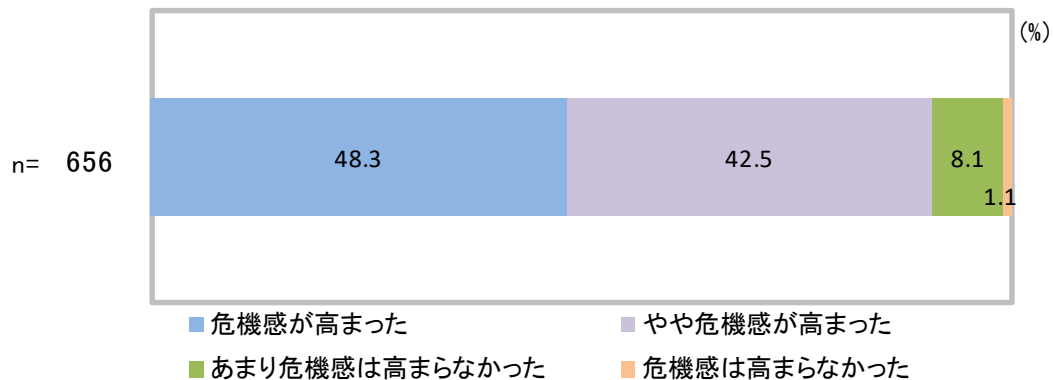
Ⅱ. 調査結果

(6) 線状降水帯による大雨災害が発生する危機感

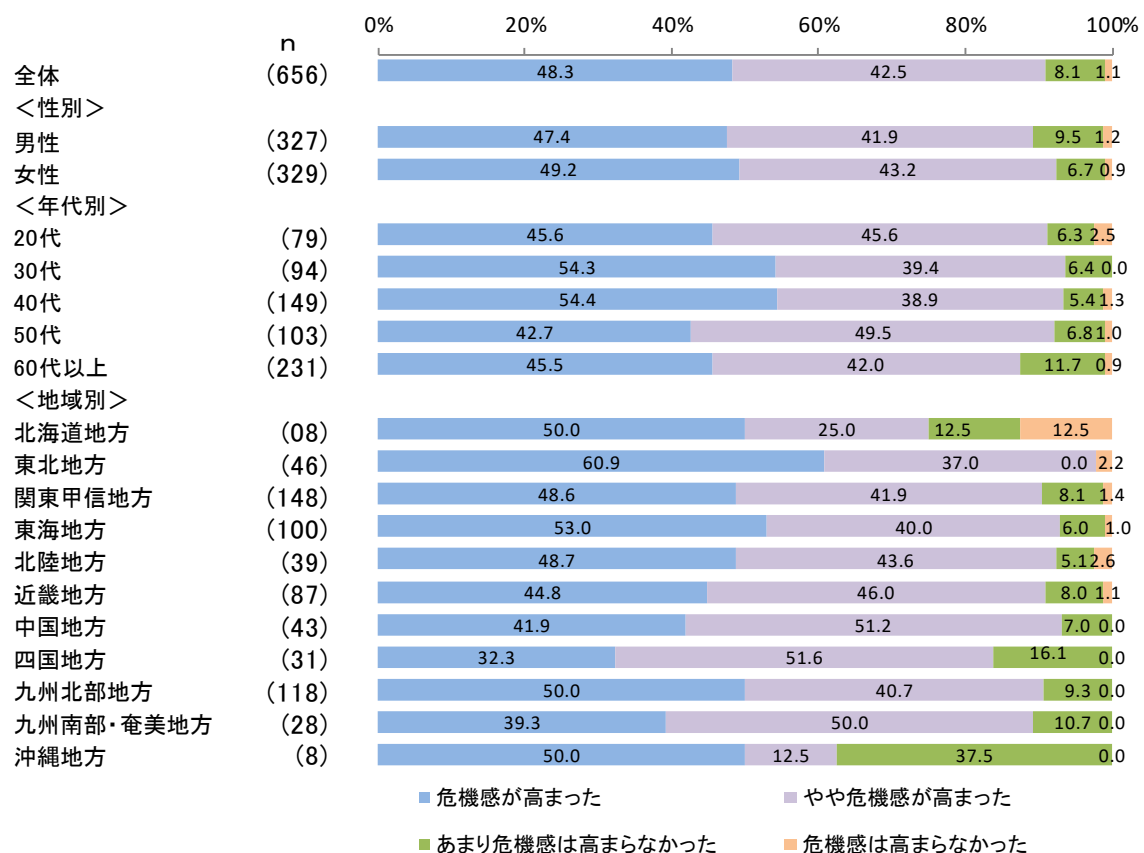
問6 線状降水帯が発生したという情報により、大雨災害が発生する危機感が高まりましたか？あてはまるものを1つ選んでください。

n=656

ベース：線状降水帯が発生したという情報が「発表されたことがある」と回答した方



線状降水帯が発生したという情報により、大雨災害が発生する危機感が高まったかについては、「危機感が高まった」(48.3%)と「やや危機感が高まった」(42.5%)を合わせた『危機感が高まった(計)』は90.8%となっている。



性別にみると、全体と同様の傾向にある。

年代別にみると、「危機感が高まった」は40代(54.4%)、30代(54.3%)で高くなっている。

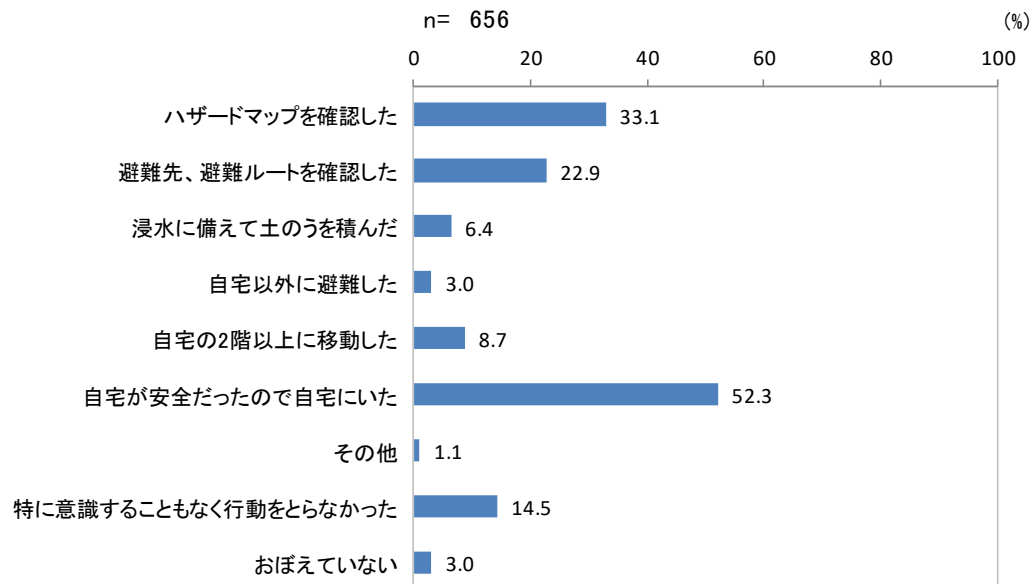
地域別にみると、「危機感が高まった」は東北地方(60.9%)で高い。また、『危機感が高まった(計)』も東北地方(97.9%)で高くなっている。

(7) 線状降水帯が発生したという情報が発表されたときの行動

問7 線状降水帯が発生したという情報がお住まいの地域または近隣地域に発表されたとき、あなたは次のような行動をとりましたか？あてはまるものを全て選んでください。

n=656

ベース：線状降水帯が発生したという情報が「発表されたことがある」と回答した方



線状降水帯が発生したという情報がお住まいの地域または近隣地域に発表されたときの行動については、「自宅が安全だったので自宅にいた」(52.3%)が最も高く、次いで「ハザードマップを確認した(33.1%)」、「避難先、避難ルートを確認した」(22.9%)となっている。

Ⅱ. 調査結果

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下
 * 赤字はベースがn=29以下のため参考値

		n	ハザードマップを確認した	避難先、避難ルートを確認した	浸水に備えて土のうを積んだ	自宅以外に避難した	自宅の2階以上に移動した	自宅が安全だったので自宅にいた	その他	特に意識することなく行動をとらなかつた	おぼえていない
全体		656	33.1	22.9	6.4	3.0	8.7	52.3	1.1	14.5	3.0
性別	男性	327	34.9	26.0	8.9	4.9	8.6	48.3	0.9	15.9	2.4
	女性	329	31.3	19.8	4.0	1.2	8.8	56.2	1.2	13.1	3.6
年代	20代	79	38.0	27.8	16.5	11.4	10.1	41.8	-	20.3	2.5
	30代	94	35.1	29.8	8.5	3.2	16.0	46.8	2.1	16.0	4.3
	40代	149	37.6	27.5	8.7	2.7	6.7	45.0	0.7	12.8	4.7
	50代	103	32.0	14.6	4.9	1.0	8.7	58.3	-	12.6	2.9
	60代以上	231	28.1	19.0	1.3	1.3	6.5	60.2	1.7	13.9	1.7
地域別	北海道地方	8	25.0	50.0	12.5	12.5	-	12.5	-	12.5	25.0
	東北地方	46	47.8	26.1	10.9	4.3	6.5	47.8	-	13.0	2.2
	関東甲信地方	148	39.2	27.0	10.8	2.7	6.8	49.3	0.7	14.2	2.0
	東海地方	100	26.0	18.0	5.0	2.0	8.0	55.0	1.0	15.0	3.0
	北陸地方	39	23.1	23.1	-	2.6	33.3	48.7	-	15.4	2.6
	近畿地方	87	40.2	26.4	9.2	4.6	5.7	47.1	1.1	12.6	4.6
	中国地方	43	20.9	11.6	-	-	11.6	51.2	2.3	14.0	4.7
	四国地方	31	32.3	19.4	6.5	3.2	3.2	54.8	6.5	16.1	3.2
	九州北部地方	118	30.5	22.0	3.4	2.5	5.9	58.5	0.8	15.3	2.5
	九州南部・奄美地方	28	28.6	14.3	-	-	14.3	71.4	-	17.9	-
	沖縄地方	8	25.0	37.5	12.5	25.0	12.5	50.0	-	12.5	-

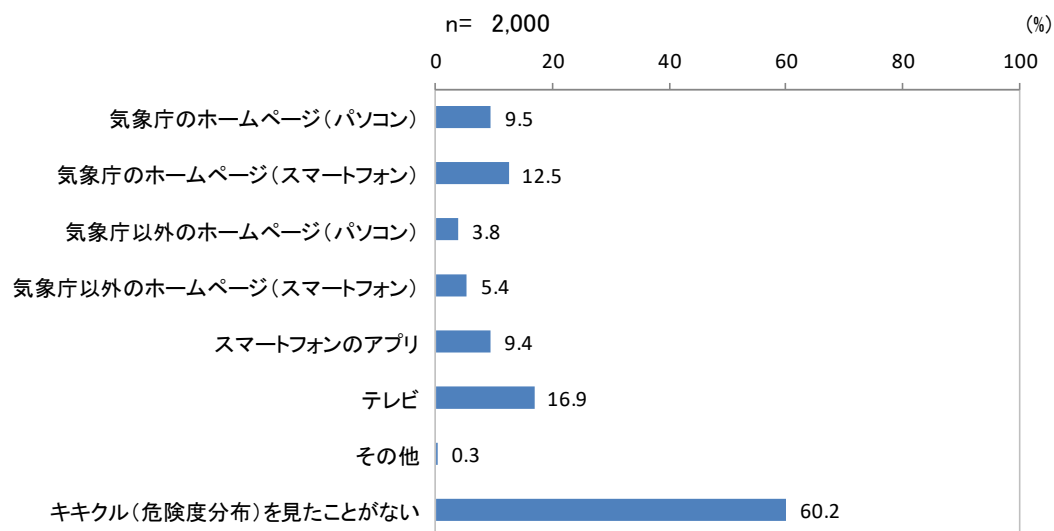
性別にみると、全体と同様の傾向にある。

年代別にみると、「自宅が安全だったので自宅にいた」は60代以上(60.2%)、50代(58.3%)で高くなっている。「避難先、避難ルートを確認した」は30代(29.8%)で高くなっている。前述のほか、20代は「浸水に備えて土のうを積んだ」(16.5%)、「自宅以外に避難した」(11.4%)が、30代は「自宅の2階以上に移動した」(16.0%)といった行動が高くなっている。

地域別にみると、「自宅が安全だったので自宅にいた」は九州北部地方(58.5%)で高くなっている。「ハザードマップを確認した」は東北地方(47.8%)、関東甲信地方(39.2%)、近畿地方(40.2%)で高い。「自宅の2階以上に移動した」は北陸地方(33.3%)で高くなっている。

(8) キキクル(危険度分布)を見た手段

問8 あなたは、キキクル(危険度分布)をどのような手段で見たことがありますか？あてはまるもの全てを選んでください。



キキクル(危険度分布)を見た手段については、「キキクル(危険度分布)を見たことがない」(60.2%)が最も高く、次いで「テレビ」(16.9%)、「気象庁のホームページ(スマートフォン)」(12.5%)となっている。

Ⅱ. 調査結果

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

		n	ソ コ 象 庁 の ホ ー ム ペ ー ジ (パ ー ス)	マ ー 象 庁 の ホ ー ム ペ ー ジ (ス マ ー ト フ ォ ン)	(パ ー ソ ン コ ン)	気 象 庁 以 外 の ホ ー ム ペ ー ジ (ス マ ー ト フ ォ ン)	ス マ ー ト フ ォ ン の ア プ リ	テ レ ビ	そ の 他	見 キ タ コ ト が な い 危 険 度 分 布 を
全体		2,000	9.5	12.5	3.8	5.4	9.4	16.9	0.3	60.2
性別	男性	991	13.5	14.0	5.9	7.0	10.3	16.5	0.3	56.9
	女性	1009	5.5	11.0	1.8	3.8	8.4	17.1	0.3	63.3
年代	20代	265	9.8	17.4	5.3	8.3	14.0	9.4	0.4	61.1
	30代	291	7.2	14.8	4.5	7.2	10.0	12.4	-	62.9
	40代	396	8.6	13.4	4.3	6.6	9.3	13.9	-	60.4
	50代	357	9.5	12.3	4.2	4.2	7.6	16.0	0.3	63.0
	60代以上	691	10.7	9.3	2.5	3.3	8.2	23.7	0.6	57.0
地域別	北海道地方	85	8.2	7.1	2.4	3.5	3.5	9.4	-	74.1
	東北地方	140	6.4	9.3	3.6	4.3	12.9	21.4	-	55.7
	関東甲信地方	742	9.3	11.2	4.4	5.0	8.2	16.6	0.5	61.2
	東海地方	237	9.7	11.4	3.4	5.1	8.9	16.9	-	62.4
	北陸地方	81	11.1	12.3	3.7	4.9	4.9	24.7	1.2	58.0
	近畿地方	322	9.9	16.8	3.4	5.9	8.4	13.7	-	62.1
	中国地方	96	8.3	8.3	3.1	5.2	12.5	12.5	-	61.5
	四国地方	58	8.6	12.1	1.7	1.7	17.2	17.2	-	63.8
	九州北部地方	177	13.0	20.3	5.1	7.9	14.7	22.0	0.6	44.1
	九州南部・奄美地方	40	5.0	10.0	-	10.0	7.5	17.5	-	57.5
	沖縄地方	22	9.1	9.1	4.5	9.1	9.1	18.2	-	72.7

性別にみると、全体と同様の傾向にある。

年代別にみると、「テレビ」は60代以上(23.7%)で高くなっている。

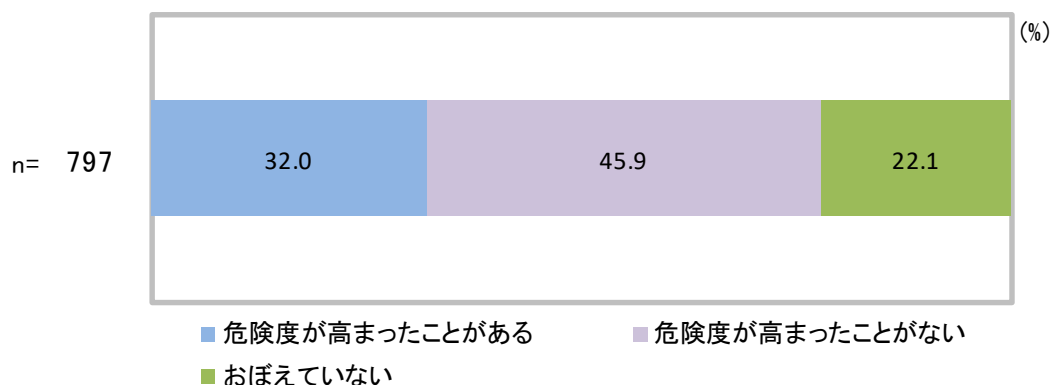
地域別にみると、「テレビ」は北陸地方(24.7%)、九州北部地方(22.0%)で高くなっている。「気象庁のホームページ(スマートフォン)」は九州北部地方(20.3%)で、「スマートフォンのアプリ」は四国地方(17.2%)、九州北部地方(14.7%)で高くなっている。

(9) キキクル（危険度分布）における近隣地域での危険度の高まりの有無

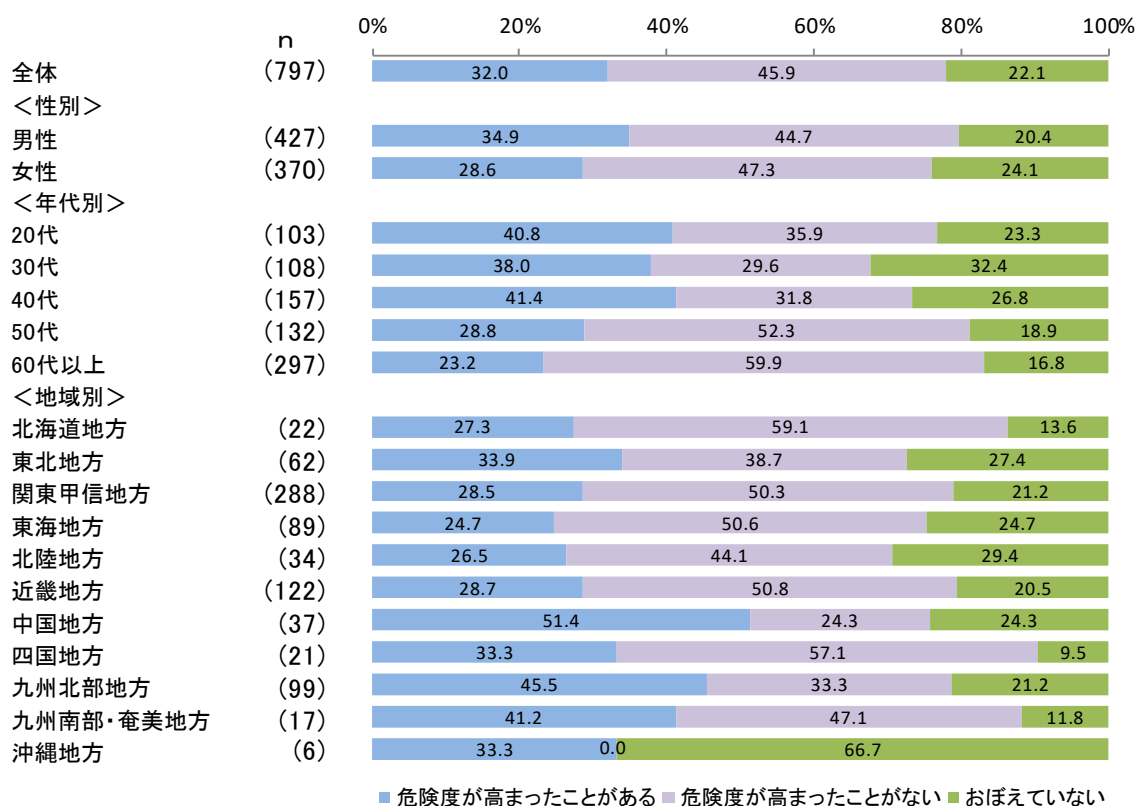
問9 キキクル（危険度分布）において、お住まいの地域または近隣地域で危険度が高まったことがありますか？あてはまるものを1つ選んでください。

n=797

ベース：キキクル（危険度分布）を見たことがある方



キキクル（危険度分布）において、お住まいの地域または近隣地域で危険度が高まったかについて、「危険度が高まったことがある」(32.0%)、「危険度が高まったことがない」(45.9%)、「おぼえていない」(22.1%)となっている。



性別にみると、全体と同様の傾向にある。

年代別にみると、「危機感が高まったことがある」は40代(41.4%)、20代(40.8%)、30代(38.0%)で高くなっている。他方、「危険度が高まったことがない」は60代(59.9%)、50代(52.3%)と過半数を占める。

地域別にみると、「危機感が高まったことがある」は中国地方(51.4%)、九州北部地方(45.5%)で高い。

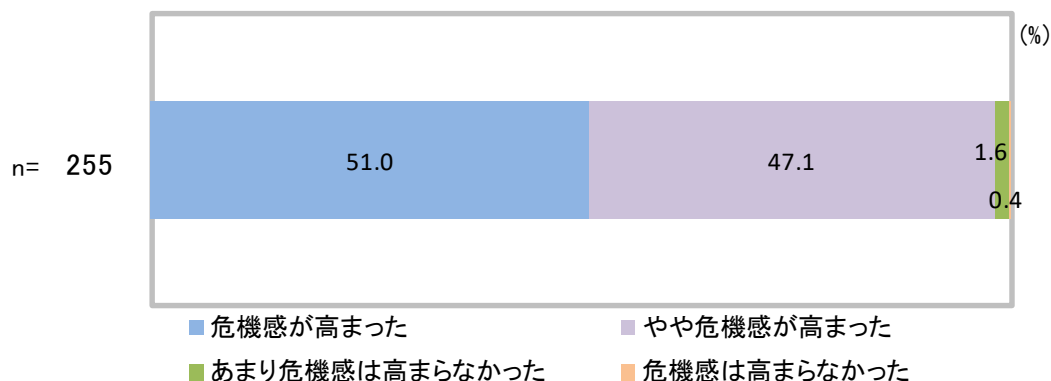
Ⅱ. 調査結果

(10) キキクル（危険度分布）による大雨災害発生への危機感

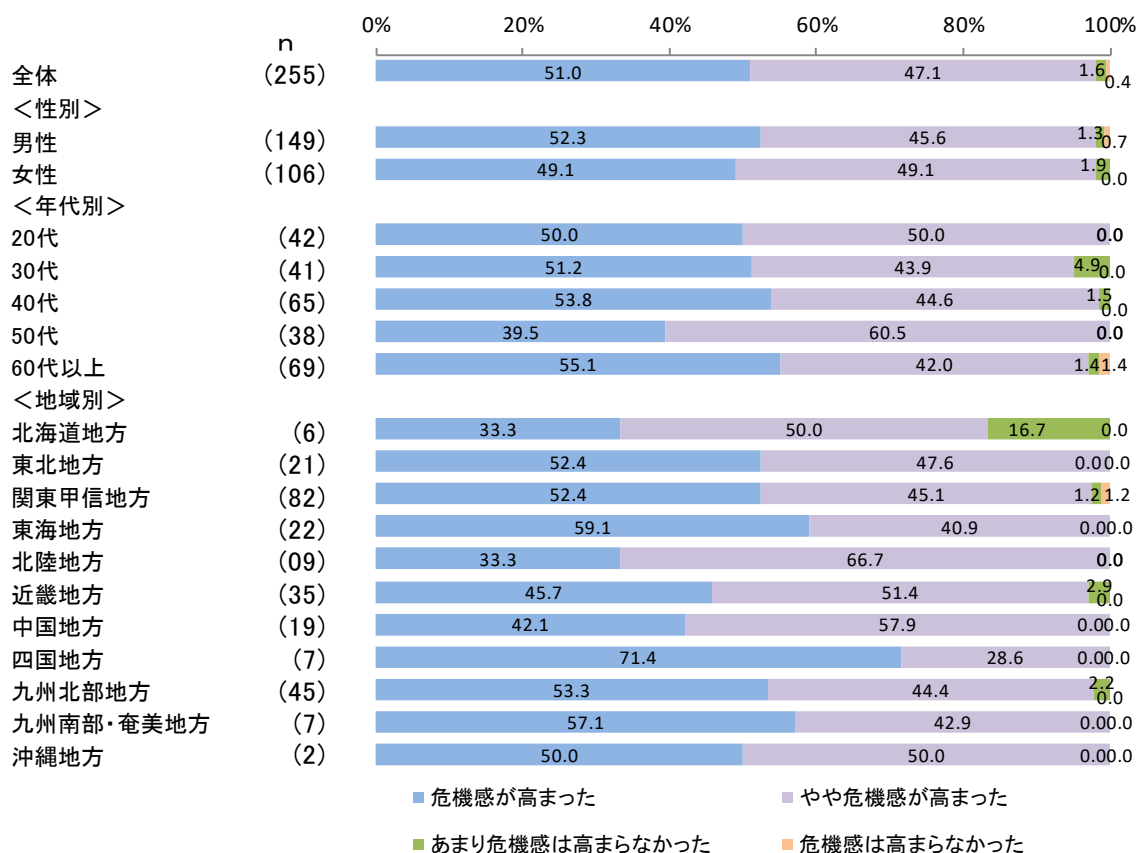
問10 キキクル（危険度分布）において、お住まいの地域または近隣地域で危険度が上がったことにより、大雨災害が発生する危機感は高まりましたか？あてはまるものを1つ選んでください。

n=255

ベース：キキクル（危険度分布）において、お住まいの地域または近隣地域で危険度が上がったことがあると回答した方



キキクル（危険度分布）において、お住まいの地域または近隣地域で危険度が上がったかについて、「危機感が高まった」(51.0%)と「やや危機感が高まった」(47.1%)を合わせた『危機感が高まった(計)』は98.1%となっている。



性別にみると、全体と同様の傾向にある。

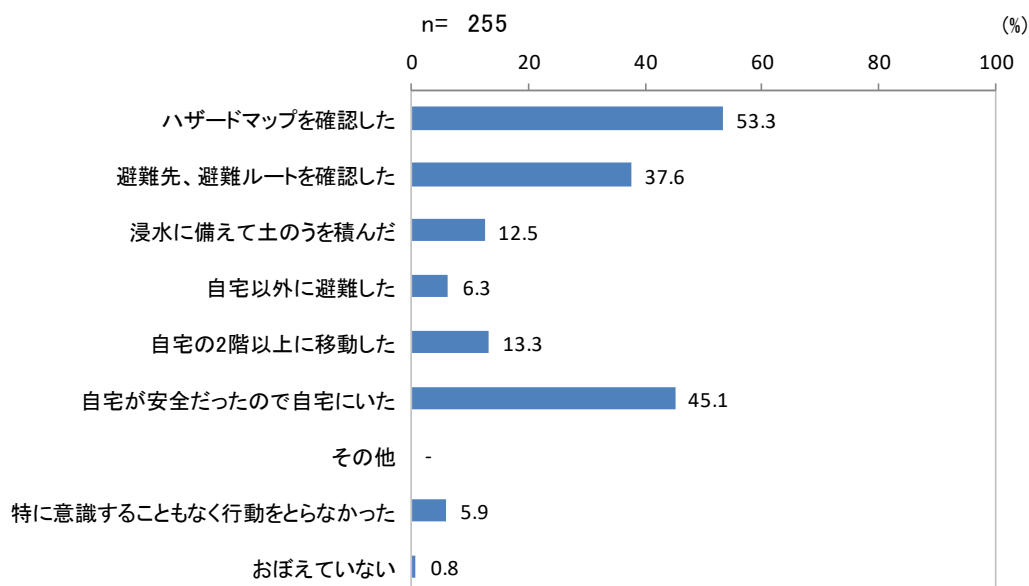
年代別にみると、『危機感が高まった(計)』は全体と同様の傾向にある。

(11) キキクル（危険度分布）において危険度が高まった時の行動

問 11 キキクル（危険度分布）において、お住まいの地域または近隣地域で危険度が高まったとき、あなたは次のような行動をとりましたか。あてはまるものを全て選んでください。

n=255

ベース：キキクル（危険度分布）において、お住まいの地域または近隣地域で危険度が高まったことがあると回答した方



キキクル（危険度分布）において、お住まいの地域または近隣地域で危険度が高まったときの行動については、「ハザードマップを確認した」(53.3%)が最も高く、次いで、「自宅が安全だったので自宅にいた」(45.1%)、「避難先、避難ルートを確認した」(37.6%)となっている。

Ⅱ. 調査結果

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下
 * 赤字はベースがn=29以下のため参考値

		n	ハ ザ ー ド マ ッ プ を 確 認 し た	避 難 先 、 避 難 ル ー ト を 確 認 し た	浸 水 に 備 え て 土 の う を 積 ん だ	自 宅 以 外 に 避 難 し た	自 宅 の 2 階 以 上 に 移 動 し た	自 宅 が 安 全 だ っ た の で 自 宅 に い た	そ の 他	特 に 意 識 す る こ と も な く 行 動 を と ら な か っ た	お ぼ え て い な い
全体		255	53.3	37.6	12.5	6.3	13.3	45.1	-	5.9	0.8
性別	男性	149	54.4	39.6	14.8	7.4	14.1	43.6	-	6.0	0.7
	女性	106	51.9	34.9	9.4	4.7	12.3	47.2	-	5.7	0.9
年代	20代	42	64.3	40.5	23.8	16.7	16.7	35.7	-	2.4	-
	30代	41	46.3	39.0	12.2	7.3	17.1	41.5	-	14.6	-
	40代	65	60.0	43.1	12.3	4.6	7.7	36.9	-	3.1	1.5
	50代	38	44.7	26.3	18.4	2.6	21.1	50.0	-	7.9	2.6
	60代以上	69	49.3	36.2	2.9	2.9	10.1	58.0	-	4.3	-
地域別	北海道地方	6	16.7	33.3	16.7	16.7	16.7	33.3	-	16.7	-
	東北地方	21	61.9	23.8	14.3	-	4.8	42.9	-	4.8	-
	関東甲信地方	82	52.4	40.2	15.9	7.3	12.2	43.9	-	3.7	-
	東海地方	22	54.5	31.8	13.6	4.5	22.7	40.9	-	13.6	-
	北陸地方	9	33.3	33.3	-	11.1	44.4	33.3	-	11.1	-
	近畿地方	35	65.7	54.3	11.4	14.3	8.6	42.9	-	-	5.7
	中国地方	19	47.4	47.4	-	5.3	10.5	42.1	-	5.3	-
	四国地方	7	71.4	42.9	14.3	14.3	14.3	42.9	-	-	-
	九州北部地方	45	57.8	31.1	13.3	-	8.9	53.3	-	8.9	-
	九州南部・奄美 地方	7	14.3	14.3	-	-	28.6	71.4	-	14.3	-
	沖縄地方	2	-	-	50.0	-	50.0	50.0	-	-	-

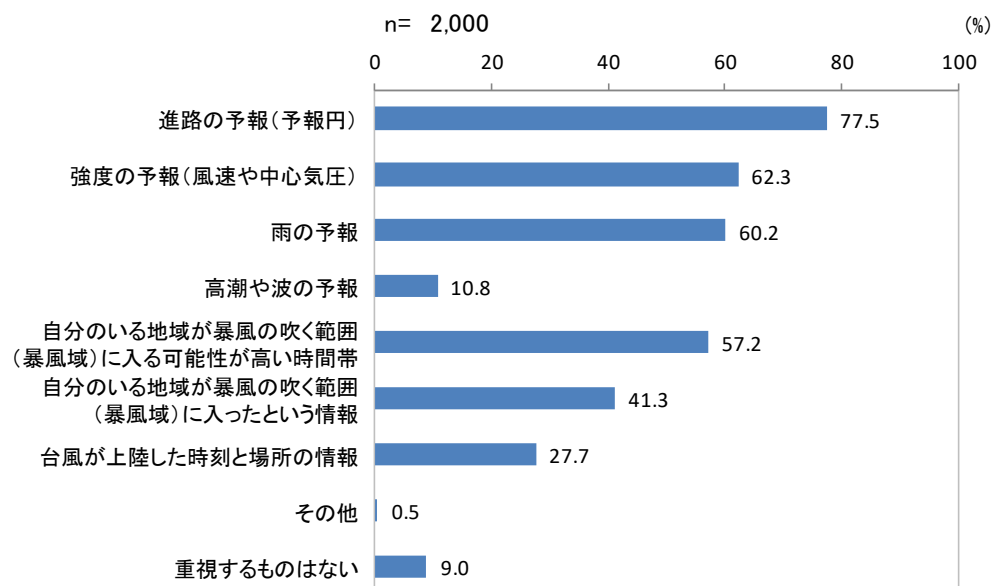
性別にみると、全体と同様の傾向にある。

年代別にみると、「ハザードマップを確認した」は20代(64.3%)、40代(60.0%)で高くなっている。「自宅が安全だったので自宅にいた」は60代(58.0%)で高い。「避難先、避難ルートを確認した」は40代(43.1%)で高くなっている。なお、20代は前述のほか、「浸水に備えて土のうを積んだ」(23.8%)、「自宅以外に避難した」(16.7%)といった行動が高くなっている。

3. 台風情報について

(1) 重視する台風情報

問 12 あなたは、台風情報について次のどれを重視しますか。あてはまるものを全て選んでください。



重視する台風情報については、「進路の予報(予報円)」(77.5%)が最も高く、次いで「強度の予報(風速や中心気圧)」(62.3%)、「雨の予報」(60.2%)、「自分のいる地域が暴風の吹く範囲(暴風域)に入る可能性が高い時間帯」(57.2%)となっている。

Ⅱ. 調査結果

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下
 * 赤字はベースがn=29以下のため参考値

			進路の予報（予報円）	強度の予報（風速や中心気圧）	雨の予報	高潮や波の予報	間帯（暴風域）に入る可能性が高い時間帯	自分のいる地域が暴風の吹く範囲（暴風域）に入ったという情報	自分のいる地域が暴風の吹く範囲（暴風域）に入ったという情報	台風が上陸した時刻と場所の情報	その他	重視するものはない
		n										
全体		2,000	77.5	62.3	60.2	10.8	57.2	41.3	27.7	0.5	9.0	
性別	男性	991	77.5	63.0	55.8	10.6	52.2	35.6	24.0	0.4	10.1	
	女性	1009	77.5	61.6	64.4	10.9	62.1	46.8	31.2	0.6	7.8	
年代	20代	265	61.1	42.3	56.2	12.5	38.1	27.9	16.6	0.8	20.4	
	30代	291	72.2	50.5	55.7	11.3	51.2	37.5	18.9	0.3	13.7	
	40代	396	74.5	61.1	61.1	10.9	51.0	35.6	24.2	0.5	10.4	
	50代	357	80.7	63.9	61.6	11.5	61.6	42.6	26.9	-	6.7	
	60代以上	691	86.1	74.8	62.2	9.4	68.3	50.5	37.9	0.7	2.9	
地域別	北海道地方	85	81.2	56.5	61.2	16.5	61.2	42.4	31.8	-	5.9	
	東北地方	140	67.1	57.1	55.0	10.0	55.0	37.1	25.0	-	14.3	
	関東甲信地方	742	76.8	60.9	61.9	7.5	52.6	37.3	26.0	0.4	10.6	
	東海地方	237	78.1	62.0	61.6	11.0	57.4	44.7	27.0	0.4	9.3	
	北陸地方	81	84.0	65.4	69.1	9.9	63.0	50.6	30.9	-	7.4	
	近畿地方	322	77.0	61.5	63.0	10.9	61.2	44.4	27.3	1.2	9.0	
	中国地方	96	72.9	59.4	55.2	13.5	59.4	37.5	27.1	-	7.3	
	四国地方	58	77.6	67.2	67.2	19.0	67.2	44.8	31.0	1.7	3.4	
	九州北部地方	177	84.2	71.8	49.7	16.4	59.9	44.1	32.8	0.6	2.8	
	九州南部・奄美地方	40	85.0	77.5	55.0	15.0	70.0	52.5	35.0	-	2.5	
	沖縄地方	22	81.8	63.6	36.4	13.6	50.0	40.9	22.7	-	13.6	

性別にみると、「自分のいる地域が暴風の吹く範囲（暴風域）に入ったという情報」が女性で46.8%と高くなっている。

年代別にみると、60代以上では「進路の予報（予報円）」(86.1%)、「強度の予報（風速や中心気圧）」(74.8%)、「自分のいる地域が暴風の吹く範囲（暴風域）に入る可能性が高い時間帯」（68.3%）、「自分のいる地域が暴風の吹く範囲（暴風域）に入ったという情報」（50.5%）、「台風が上陸した時刻と場所の情報」（37.9%）が全体と比べて高い。

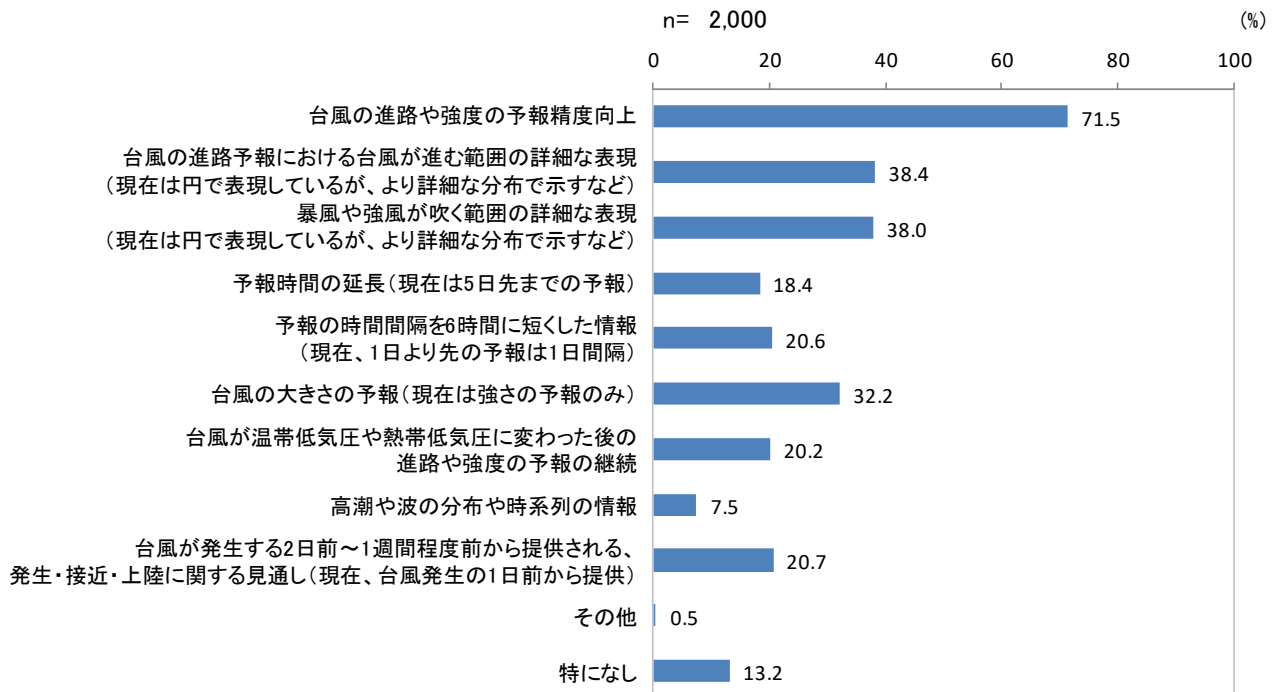
地域別にみると、「進路の予報（予報円）」は、九州南部・奄美地方(85.0%)、九州北部地方(84.2%)、北陸地方(84.0%)と高くなっている。「強度の予報（風速や中心気圧）」は九州南部・奄美地方(77.5%)、九州北部地方(71.8%)、「雨の予報」は、北陸地方(69.1%)、四国地方(67.2%)で高い。「自分のいる地域が暴風の吹く範囲（暴風域）に入る可能性が高い時間帯」は九州南部・奄美地方(70.0%)、四国地方(67.2%)、北陸地方(63.0%)で高くなっている。

る。前述のほか、「自分のいる地域が暴風の吹く範囲(暴風域)に入ったという情報」は九州南部・奄美地方(52.5%)、北陸地方(50.6%)で、「台風が上陸した時刻と場所の情報」は九州南部・奄美地方(35.0%)、九州北部地方(32.8%)で、「高潮や波の予報」は四国地方(19.0%)、北海道地方(16.5%)、九州北部地方(16.4%)で高くなっている。

Ⅱ. 調査結果

(2) 予報期間の短い（現在～1週間程度）台風情報に期待すること

問13 あなたが、予報期間の短い（現在～1週間程度）台風情報に期待することは何ですか。あてはまるものを全て選んでください。



予報期間の短い（現在～1週間程度）台風情報に期待することについては、「台風の進路や強度の予報精度向上」(71.5%)が最も高く、次いで「台風の進路予報における台風が進む範囲の詳細な表現（現在は円で表現しているが、より詳細な分布で示すなど）」(38.4%)、「暴風や強風が吹く範囲の詳細な表現（現在は円で表現しているが、より詳細な分布で示すなど）」(38.0%)、「台風の大きさの予報（現在は強さの予報のみ）」(32.2%)となっている。

Ⅱ. 調査結果

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

		n	台風の進路や強度の予報精度向上	詳細な表現（現在では円表示しているが、より詳細な分布で示すなど）	台風の進路予報における台風が進む範囲の詳細な表現（現在は円で表現しているが、より詳細な分布で示すなど）	暴風や強風が吹く範囲の詳細な表現（現在は円で表現しているが、より詳細な分布で示すなど）	予報時間の延長（現在は5日先までの予報）	在予報の1日より先の予報は1日間隔（現在）	予報の1日より先の予報は1日間隔（現在）	台風の大きさの予報（現在は強さの予報のみ）	台風の進路や強度の予報の継続	台風の進路や強度の予報の継続	高潮や波の分布や時系列の情報	（現在、台風発生・接近・上陸に関する程度前か通し提供）	台風が2日前から1週間程度前か通し提供）	その他	特になし
全体		2,000	71.5	38.4	38.0	18.4	20.6	32.2	20.2	7.5	20.7	0.5	13.2				
性別	男性	991	73.1	37.9	37.7	19.4	20.5	28.3	17.0	8.3	17.0	0.2	14.1				
	女性	1009	69.9	38.8	38.2	17.4	20.6	36.1	23.4	6.6	24.4	0.8	12.3				
年代	20代	265	54.0	28.3	28.7	17.7	20.4	24.2	19.6	7.9	12.8	0.4	24.9				
	30代	291	63.2	33.3	33.3	16.8	18.6	29.6	15.8	7.6	15.1	0.3	18.9				
	40代	396	68.4	33.8	34.1	16.4	18.9	28.3	19.2	7.6	18.7	0.5	16.4				
	50代	357	79.0	37.8	35.9	19.3	20.7	28.0	18.2	7.6	20.7	0.3	11.2				
	60代以上	691	79.5	47.2	46.7	20.0	22.3	40.8	23.9	7.1	27.2	0.7	5.5				
地域別	北海道地方	85	75.3	38.8	41.2	21.2	17.6	32.9	22.4	8.2	17.6	-	9.4				
	東北地方	140	67.9	44.3	28.6	20.7	20.7	30.7	22.1	10.7	20.0	1.4	15.0				
	関東甲信地方	742	68.3	36.8	36.4	17.4	19.8	30.9	17.9	5.9	20.2	0.4	15.5				
	東海地方	237	72.6	38.4	40.1	18.6	21.5	34.6	21.1	5.1	23.6	0.4	13.1				
	北陸地方	81	75.3	45.7	39.5	24.7	23.5	39.5	33.3	8.6	23.5	-	11.1				
	近畿地方	322	71.7	40.7	40.1	15.5	21.1	28.6	17.7	7.8	20.8	0.6	11.5				
	中国地方	96	66.7	28.1	28.1	17.7	9.4	26.0	13.5	6.3	13.5	-	15.6				
	四国地方	58	69.0	32.8	39.7	19.0	22.4	34.5	27.6	15.5	24.1	-	13.8				
	九州北部地方	177	81.4	39.5	42.9	19.2	26.0	36.7	24.3	8.5	18.6	1.1	7.3				
	九州南部・奄美地方	40	85.0	45.0	57.5	32.5	27.5	50.0	27.5	17.5	37.5	-	7.5				
	沖縄地方	22	77.3	27.3	40.9	13.6	13.6	36.4	18.2	9.1	18.2	-	18.2				

性別にみると、全体と同様の傾向にある。

年代別にみると、「台風の進路や強度の予報精度向上」は60代以上(79.5%)、50代(79.0%)で高くなっている。ほか、60代以上では「台風の進路予報における台風が進む範囲の詳細な表現（現在は円で表現しているが、より詳細な分布で示すなど）」(47.2%)、「暴風や強風が吹く範囲の詳細な表現（現在は円で表現しているが、より詳細な分布で示すなど）」(46.7%)、「台風の大きさの予報（現在は強さの予報のみ）」(40.8%)など、様々な台風情報において期待が高い。

地域別にみると、九州南部・奄美地方では、すべての台風情報において、期待が高くなっている。

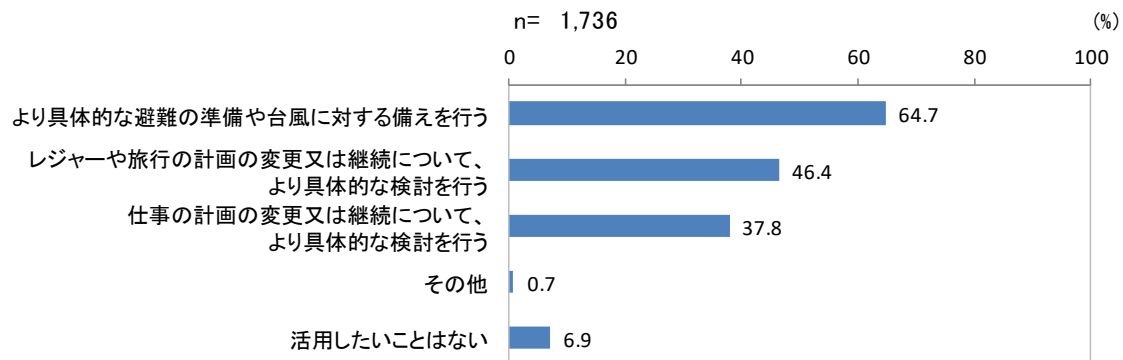
Ⅱ. 調査結果

(3) 予報期間の短い（現在～1週間程度）台風情報の活用方法

問 14 そのような予報期間の短い（現在～1週間程度）台風情報を何に活用したいですか。あてはまるものを全て選んでください。

n=1,736

ベース：予報期間の短い（現在～1週間程度）台風情報に期待することがある方



予報期間の短い（現在～1週間程度）台風情報を何に活用したいかについては、「より具体的な避難の準備や台風に対する備えを行う」(64.7%)が最も高く、次いで「レジャーや旅行の計画の変更又は継続について、より具体的な検討を行う」(46.4%)、「仕事の計画の変更又は継続について、より具体的な検討を行う」(37.8%)となっている。

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下
 * 赤字はベースがn=29以下のため参考値

		n	備えを 行う 体的な 避難の 準備や 台風に 対する	レジャー や旅行の 計画的な 検討を 行う 又は 継続に ついて	仕事の 計画的な 検討を 行う 又は 継続に ついて	その他	活用 したい ことは ない
全体		1,736	64.7	46.4	37.8	0.7	6.9
性別	男性	851	63.1	46.1	41.1	0.2	6.2
	女性	885	66.3	46.8	34.7	1.2	7.6
年代	20代	199	52.8	55.8	44.7	-	11.1
	30代	236	60.6	49.6	49.2	1.3	5.1
	40代	331	64.4	45.6	42.3	0.3	8.2
	50代	317	63.4	45.4	41.6	0.9	6.0
	60代以上	653	70.8	43.3	27.6	0.9	6.1
地域別	北海道地方	77	68.8	42.9	32.5	2.6	5.2
	東北地方	119	70.6	41.2	29.4	0.8	8.4
	関東甲信地方	627	61.6	50.9	39.4	1.1	6.4
	東海地方	206	66.0	39.8	36.9	-	9.2
	北陸地方	72	72.2	43.1	36.1	-	6.9
	近畿地方	285	63.2	47.7	41.1	0.4	7.7
	中国地方	81	56.8	45.7	39.5	-	3.7
	四国地方	50	66.0	46.0	42.0	-	10.0
	九州北部地方	164	67.7	46.3	34.1	0.6	5.5
	九州南部・奄美 地方	37	86.5	35.1	32.4	2.7	2.7
	沖縄地方	18	61.1	38.9	55.6	-	11.1

性別にみると、全体と同様の傾向にある。

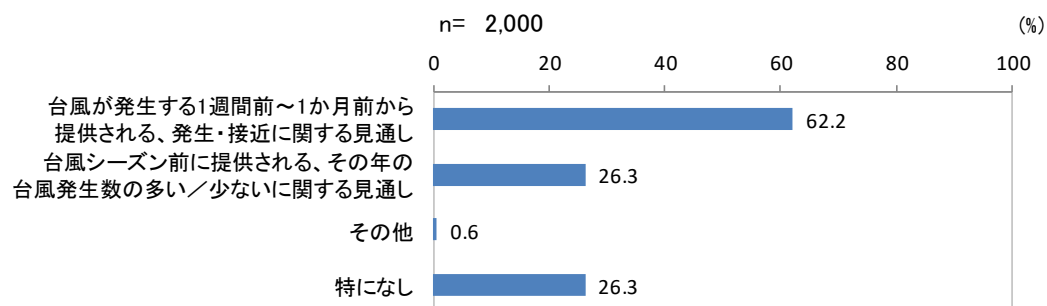
年代別にみると、「より具体的な避難の準備や台風に対する備えを行う」は60代以上(70.8%)で高くなっている。「レジャーや旅行の計画の変更又は継続について、より具体的な検討を行う」は20代(55.8%)で高い。「仕事の計画の変更又は継続について、より具体的な検討を行う」は30代(49.2%)、20代(44.7%)で高くなっている。

地域別にみると、「より具体的な避難の準備や台風に対する備えを行う」は九州南部・奄美地方(86.5%)、北陸地方(72.2%)で高くなっている。

Ⅱ. 調査結果

(4) 予報期間の長い(1週間程度～)台風情報に期待すること

問 15 あなたが、予報期間の長い(1週間程度～)台風情報に期待することは何ですか。あてはまるものを全て選んでください。



予報期間の長い(1週間程度～)台風情報に期待することについては、「台風が発生する1週間前～1か月前から提供される、発生・接近に関する見通し」(62.2%)が最も高く、次いで「台風シーズン前に提供される、その年の台風発生数の多い／少ないに関する見通し」(26.3%)となっている。

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下
 * 赤字はベースがn=29以下のため参考値

		n	台風発生する 1週間前 に 提供される 見通し	台風シーズン 前に 提供される 見通し	その他	特になし
全体		2,000	62.2	26.3	0.6	26.3
性別	男性	991	59.9	27.7	0.4	27.7
	女性	1009	64.3	24.9	0.7	24.8
年代	20代	265	48.7	33.2	-	34.7
	30代	291	58.4	23.7	0.3	32.0
	40代	396	57.8	29.8	0.3	29.0
	50代	357	63.9	26.3	0.3	25.5
	60代以上	691	70.5	22.7	1.2	19.4
地域別	北海道地方	85	64.7	31.8	1.2	21.2
	東北地方	140	59.3	26.4	-	30.0
	関東甲信地方	742	59.8	25.3	0.4	28.4
	東海地方	237	63.3	24.9	0.8	25.7
	北陸地方	81	66.7	25.9	-	25.9
	近畿地方	322	62.1	28.9	0.9	25.5
	中国地方	96	58.3	21.9	-	30.2
	四国地方	58	58.6	24.1	-	29.3
	九州北部地方	177	70.1	30.5	0.6	16.9
	九州南部・奄美 地方	40	70.0	27.5	2.5	17.5
	沖縄地方	22	68.2	4.5	-	31.8

性別にみると、全体と同様の傾向にある。

年代別にみると、「台風が発生する1週間前～1か月前から提供される、発生・接近に関する見通し」は60代以上(70.5%)で高くなっている。「台風シーズン前に提供される、その年の台風発生数の多い／少ないに関する見通し」は20代(33.2%)で高い。

地域別にみると、「台風が発生する1週間前～1か月前から提供される、発生・接近に関する見通し」は九州北部地方(70.1%)、九州南部・奄美地方(70.0%)で高くなっている。

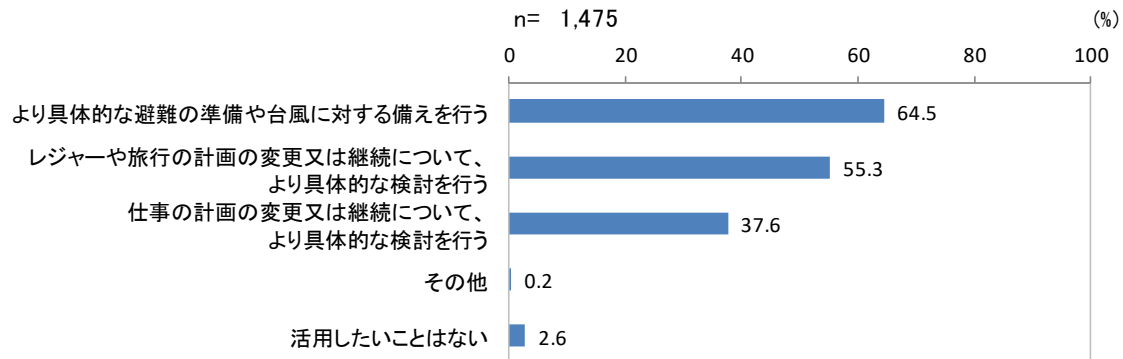
Ⅱ. 調査結果

(5) 予報期間の長い(1週間程度～)台風情報の活用方法

問 16 そのような予報期間の長い(1週間程度～)台風情報を何に活用したいですか。あてはまるものを全て選んでください。

n=1,475

ベース：予報期間の長い(1週間程度～)台風情報に期待することがある方



予報期間の長い(1週間程度～)台風情報を何に活用したいかについては、「より具体的な避難の準備や台風に対する備えを行う」(64.5%)が最も高く、次いで「レジャーや旅行の計画の変更又は継続について、より具体的な検討を行う」(55.3%)、「仕事の計画の変更又は継続について、より具体的な検討を行う」(37.6%)となっている。

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下
 * 赤字はベースがn=29以下のため参考値

		n	備 え を 行 う 的 な 避 難 の 準 備 や 台 風 に 対 す る	つ レ じ ャ ー や 旅 行 の 計 画 の 変 更 又 は 継 続 に	り 仕 事 の 計 画 の 変 更 又 は 継 続 に つ い て 、 よ	そ の 他	活 用 し た い こ と は な い
全体		1,475	64.5	55.3	37.6	0.2	2.6
性別	男性	716	64.0	53.5	41.5	0.3	3.1
	女性	759	65.0	56.9	34.0	0.1	2.2
年代	20代	173	48.6	65.9	42.8	-	4.0
	30代	198	61.6	60.1	44.4	-	3.5
	40代	281	64.1	57.7	41.3	-	3.6
	50代	266	65.0	49.2	42.9	0.4	1.9
	60代以上	557	70.4	51.9	29.3	0.4	1.8
地域別	北海道地方	67	67.2	55.2	41.8	-	1.5
	東北地方	98	62.2	58.2	30.6	-	2.0
	関東甲信地方	531	60.6	59.5	37.5	0.4	2.3
	東海地方	176	72.7	49.4	34.7	-	3.4
	北陸地方	60	73.3	48.3	46.7	-	1.7
	近畿地方	240	62.9	55.4	39.2	-	4.2
	中国地方	67	52.2	58.2	32.8	-	-
	四国地方	41	61.0	58.5	41.5	-	7.3
	九州北部地方	147	69.4	50.3	39.5	0.7	1.4
	九州南部・奄美地方	33	87.9	36.4	27.3	-	3.0
	沖縄地方	15	60.0	46.7	60.0	-	6.7

性別にみると、全体と同様の傾向にある。

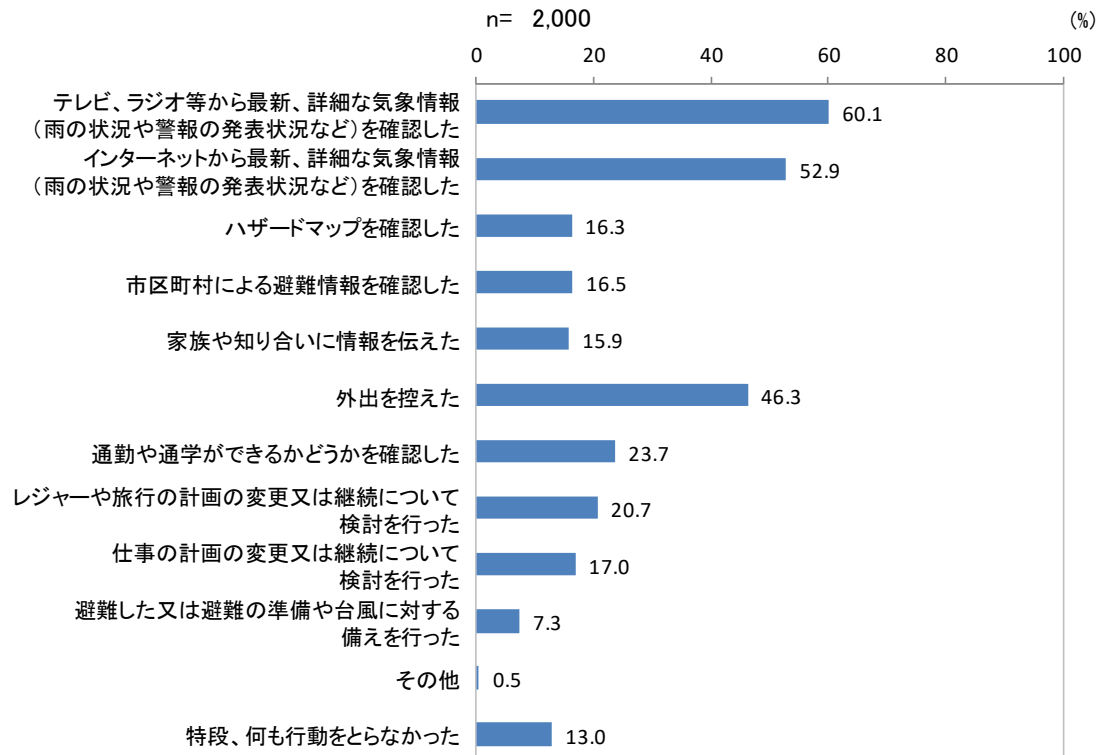
年代別にみると、「より具体的な避難の準備や台風に対する備えを行う」は60代以上(70.4%)で高くなっている。「レジャーや旅行の計画の変更又は継続について、より具体的な検討を行う」は20代(65.9%)で高い。「仕事の計画の変更又は継続について、より具体的な検討を行う」は30代(44.4%)、50代(42.9%)、20代(42.8%)で高くなっている。

地域別にみると、「より具体的な避難の準備や台風に対する備えを行う」は九州南部・奄美地方(87.9%)、北陸地方(73.3%)、東海地方(72.7%)で高くなっている。「仕事の計画の変更又は継続について、より具体的な検討を行う」は北陸地方(46.7%)で高い。

Ⅱ. 調査結果

(6) 過去 1 年間に台風情報を見聞きした場合の行動

問 17 あなたは、台風情報を見聞きした際に、どのような行動をとりましたか。過去 1 年間に見聞きした場合の行動について、あてはまるものを全て選んでください。



過去 1 年間に台風情報を見聞きした場合の行動については、「テレビ、ラジオ等から最新、詳細な気象情報（雨の状況や警報の発表状況など）を確認した」（60.1%）が最も高く、次いで「インターネットから最新、詳細な気象情報（雨の状況や警報の発表状況など）を確認した」（52.9%）、「外出を控えた」（46.3%）となっている。

Ⅱ. 調査結果

* ■は全体＋10ポイント以上、■は＋5ポイント以上、■は－10ポイント以下、■は－5ポイント以下
 * 赤字はベースがn=29以下のため参考値

			情報確認した	テレビ、ラジオ等から最新の発表状況など	インターネットから最新の、詳細な気象情報（雨の状況や警報の発表状況など）を確認した	ハザードマップを確認した	市区町村による避難情報を確認した	家族や知り合いに情報を伝えた	外出を控えた	通勤や通学ができるかどうかを確認した	レジャーや旅行の計画の変更又は継続について検討を行った	仕事の計画の変更又は継続について検討を行った	避難した又は避難の準備や台風に対する備えを行った	その他	特段、何も行動をとらなかった
全体		2,000	60.1	52.9	16.3	16.5	15.9	46.3	23.7	20.7	17.0	7.3	0.5	13.0	
性別	男性	991	57.4	54.8	16.6	14.8	12.0	38.6	23.1	20.3	19.5	7.0	0.3	14.6	
	女性	1009	62.7	50.9	16.0	18.1	19.6	53.7	24.3	21.1	14.5	7.5	0.6	11.3	
年代	20代	265	37.7	38.1	14.3	16.6	16.6	40.0	26.8	21.1	15.1	6.0	-	25.3	
	30代	291	48.8	49.1	18.2	14.4	20.6	41.6	26.8	20.6	17.2	4.5	-	19.2	
	40代	396	54.3	53.5	17.9	16.2	16.9	41.2	26.8	19.9	18.4	6.6	0.3	14.4	
	50代	357	61.3	61.1	16.2	16.2	16.2	43.4	26.3	18.8	21.3	7.8	0.6	11.8	
	60代以上	691	76.1	55.4	15.3	17.7	12.7	55.0	18.1	22.0	14.5	9.0	0.9	5.4	
地域別	北海道地方	85	60.0	52.9	9.4	12.9	16.5	38.8	17.6	16.5	8.2	3.5	-	12.9	
	東北地方	140	58.6	43.6	17.1	15.7	12.9	42.9	15.0	13.6	8.6	4.3	-	20.0	
	関東甲信地方	742	58.9	50.5	18.5	14.8	13.7	46.8	23.7	22.0	17.0	6.6	0.5	13.2	
	東海地方	237	62.4	57.8	13.1	18.6	18.6	48.1	26.2	21.5	17.3	7.6	-	13.9	
	北陸地方	81	67.9	48.1	13.6	23.5	12.3	51.9	23.5	22.2	14.8	8.6	-	12.3	
	近畿地方	322	61.2	55.3	17.7	14.3	17.1	46.0	23.9	23.6	17.1	6.2	0.9	11.8	
	中国地方	96	54.2	58.3	7.3	14.6	10.4	39.6	18.8	15.6	17.7	9.4	1.0	12.5	
	四国地方	58	56.9	60.3	19.0	20.7	25.9	43.1	22.4	17.2	20.7	5.2	-	12.1	
	九州北部地方	177	62.1	55.4	16.9	22.0	20.3	49.2	32.2	19.2	21.5	10.2	0.6	7.9	
	九州南部・奄美地方	40	60.0	60.0	22.5	27.5	20.0	60.0	25.0	20.0	30.0	27.5	-	5.0	
	沖縄地方	22	59.1	40.9	4.5	9.1	22.7	31.8	27.3	27.3	31.8	4.5	-	27.3	

性別にみると、「外出を控えた」は男性(38.6%)に比べて女性(53.7%)で高くなっている。

年代別にみると、「テレビ、ラジオ等から最新、詳細な気象情報（雨の状況や警報の発表状況など）を確認した」は60代以上(76.1%)で高くなっている。「インターネットから最新、詳細な気象情報（雨の状況や警報の発表状況など）を確認した」は50代(61.1%)で高い。「外出を控えた」は60代以上(55.0%)で高くなっている。なお、「特段何も行動を取らなかった」は年代が低いほど高くなる傾向がみられる。

地域別にみると、「テレビ、ラジオ等から最新、詳細な気象情報（雨の状況や警報の発表状況など）を確認した」は北陸地方(67.9%)で高くなっている。「インターネットから最新、詳細な気象情報（雨の状況や警報の発表状況など）を確認した」は四国地方(60.3%)、九州南部・奄美地方(60.0%)、中国地方(58.3%)で高い。「外出を控えた」は九州南部・奄美地方(60.0%)、北陸地方(51.9%)で高くなっている。前述のほか、北陸地方では「市区町村による避難情報を確認した」(23.5%)が、四国地方では「家族や知り合いに情報を伝えた」(25.9%)が、九州北部地方では「市区町村による避難情報を確認した」(22.0%)、「通勤や通学ができるかどうかを確認した」(32.2%)が、九州南部・奄美地方では「ハザードマップを確認した」(22.5%)、「市区町村による避難情報を確認した」(27.5%)、「仕事の計画の変更又は継続について検討を行った」(30.0%)、「避難した又は避難の準備や台風に対する備えを行った」(27.5%)が高い。

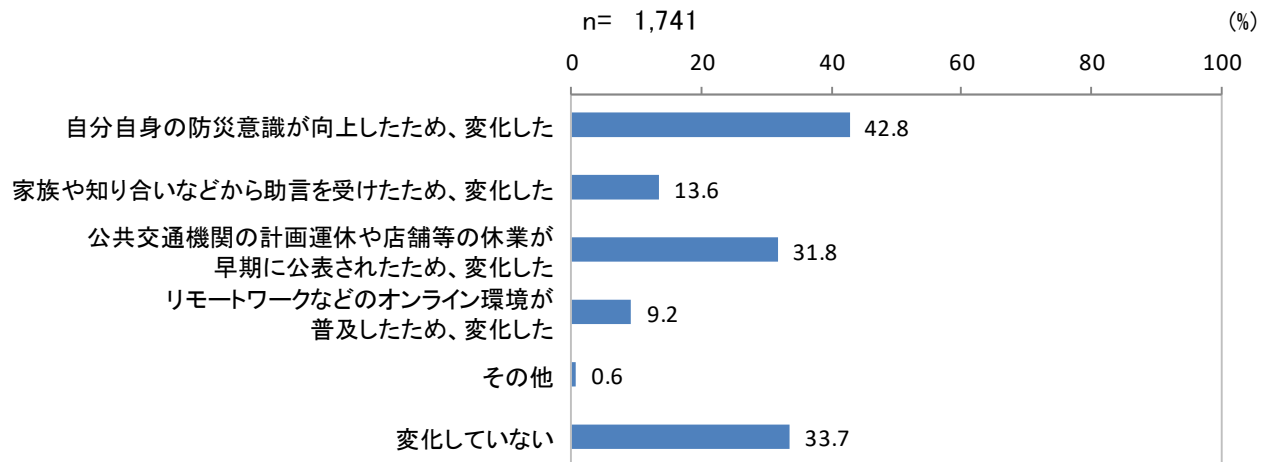
Ⅱ. 調査結果

(7) 近年、台風情報を見聞きした際の行動の変化

問 18 前問の台風情報を見聞きした際の行動について、近年、新たに行動するようになった、もしくはより早く又は入念に行動するようになったなど、変化しましたか。またその理由は何ですか。あてはまるものを全て選んでください。

n=1,741

ベース：過去1年間で台風情報を見聞きした際に行動をした方



近年、台風情報を見聞きした際の行動の変化については、「自分自身の防災意識が向上したため、変化した」(42.8%)が最も高く、次いで「変化していない」(33.7%)、「公共交通機関の計画運休や店舗等の休業が早期に公表されたため、変化した」(31.8%)となっている。

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下
 * 赤字はベースがn=29以下のため参考値

		n	化自 分自 身の 防 災 意 識 が 向 上 し た た め、 変	め家 族 や 知 り 合 い な ど か ら 助 言 を 受 け た た め、 変	が公 共 交 通 機 関 の 計 画 運 休 や 変 化 し た の 休 業	普 及 し た た め、 変 化 し た の オ ン ラ イ ン 環 境 が	そ の 他	変 化 し て い な い
全体		1,741	42.8	13.6	31.8	9.2	0.6	33.7
性別	男性	846	43.6	15.0	30.6	12.2	0.4	34.2
	女性	895	42.0	12.2	32.8	6.4	0.9	33.2
年代	20代	198	36.4	20.7	33.3	10.6	-	32.3
	30代	235	46.8	20.4	26.8	11.5	0.4	33.6
	40代	339	44.0	14.2	31.9	13.6	1.2	31.6
	50代	315	37.5	12.1	31.7	11.1	0.6	36.2
	60代以上	654	45.3	9.3	33.0	4.7	0.6	33.9
地域別	北海道地方	74	47.3	12.2	35.1	9.5	-	24.3
	東北地方	112	51.8	13.4	24.1	4.5	1.8	29.5
	関東甲信地方	644	40.4	12.6	33.4	11.8	0.5	33.5
	東海地方	204	47.1	10.8	29.4	8.8	1.0	34.8
	北陸地方	71	52.1	15.5	33.8	4.2	-	28.2
	近畿地方	284	36.6	12.7	35.9	10.2	0.7	36.3
	中国地方	84	38.1	17.9	26.2	9.5	1.2	32.1
	四国地方	51	45.1	19.6	19.6	2.0	-	45.1
	九州北部地方	163	44.8	16.6	33.7	6.1	-	31.9
	九州南部・奄美地方	38	57.9	21.1	23.7	5.3	2.6	36.8
	沖縄地方	16	31.3	12.5	18.8	6.3	-	56.3

性別にみると、全体と同様の傾向にある。

年代別にみると、「家族や知り合いなどから助言を受けたため、変化した」は20代(20.7%)、30代(20.4%)で高くなっている。

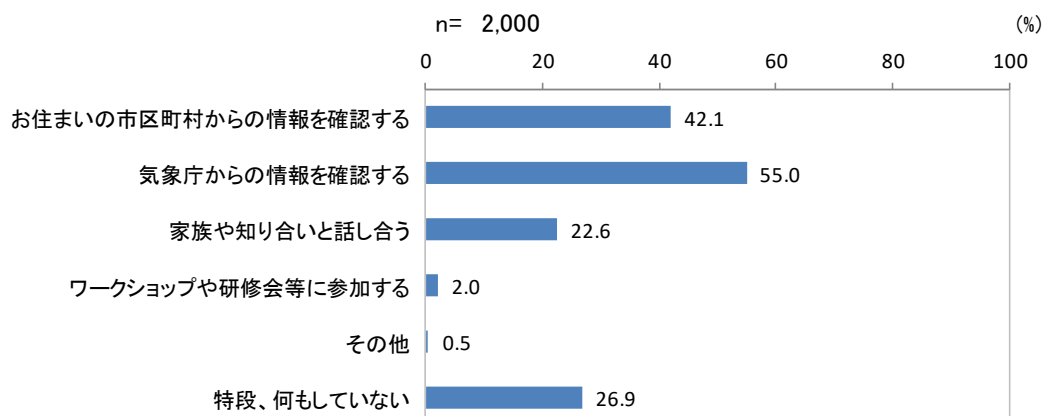
地域別にみると、「自分自身の防災意識が向上したため、変化した」は九州南部・奄美地方(57.9%)、北陸地方(52.1%)、東北地方(51.8%)で高くなっている。「家族や知り合いなどから助言を受けたため、変化した」は九州南部・奄美地方(21.1%)、四国地方(19.6%)で高い。なお、「変化していない」は四国地方(45.1%)で高くなっている。

Ⅱ. 調査結果

4. 防災の意識等について

(1) 防災意識を向上させるための平時からの備えの状況

問 19 いざというときに適切な行動をとるための知識を得たり、防災意識を向上させるため、平時からの備えとしてどのようなことをしていますか。あてはまるものを全て選んでください。



防災意識を向上させるための平時からの備えの状況については、「気象庁からの情報を確認する」(55.0%)が最も高く、次いで「お住まいの市区町村からの情報を確認する」(42.1%)、「特段、何もしていない」(26.9%)、「家族や知り合いと話し合う」(22.6%)となっている。

Ⅱ. 調査結果

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

		n	お住まいの市区町村からの情報を確認する	気象庁からの情報を確認する	家族や知り合いと話し合う	ワークショップや研修会等に参加する	その他	特段、何もししていない
全体		2,000	42.1	55.0	22.6	2.0	0.5	26.9
性別	男性	991	40.3	52.6	18.2	2.4	0.4	29.3
	女性	1009	43.8	57.4	27.0	1.6	0.6	24.5
年代	20代	265	38.5	40.4	23.8	3.4	-	38.5
	30代	291	41.6	43.6	27.5	4.8	0.3	32.0
	40代	396	37.9	50.0	23.2	2.0	0.3	30.8
	50代	357	42.3	58.5	21.6	1.1	0.6	26.1
	60代以上	691	45.9	66.4	20.3	0.7	0.9	18.4
地域別	北海道地方	85	44.7	58.8	20.0	-	-	23.5
	東北地方	140	42.9	55.7	15.7	2.1	-	26.4
	関東甲信地方	742	39.4	54.2	21.6	2.3	0.7	29.5
	東海地方	237	42.6	54.9	22.4	1.7	-	23.2
	北陸地方	81	48.1	58.0	25.9	1.2	1.2	21.0
	近畿地方	322	40.1	55.0	26.7	2.2	0.6	28.0
	中国地方	96	37.5	52.1	21.9	3.1	-	30.2
	四国地方	58	46.6	51.7	29.3	3.4	-	25.9
	九州北部地方	177	49.2	57.6	20.9	0.6	1.1	21.5
	九州南部・奄美地方	40	62.5	60.0	32.5	2.5	-	20.0
	沖縄地方	22	31.8	45.5	22.7	4.5	-	40.9

性別にみると、全体と同様の傾向にある。

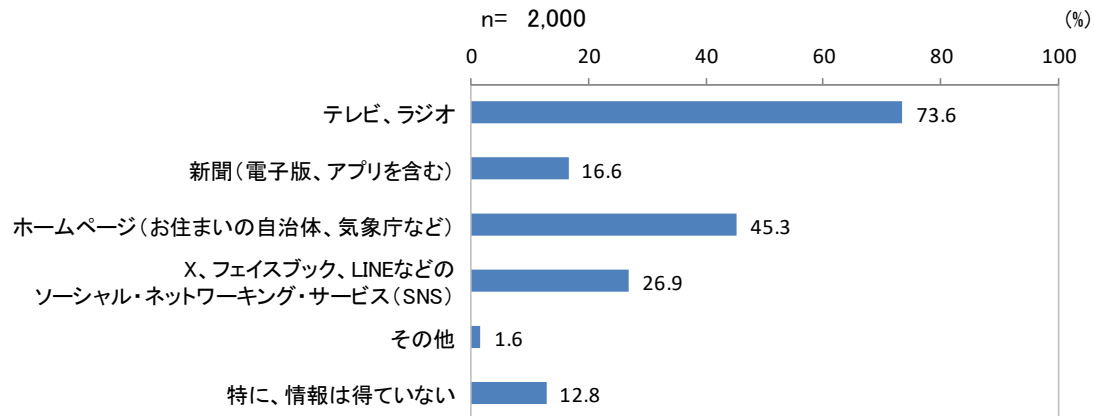
年代別にみると、「気象庁からの情報を確認する」は60代以上(66.4%)で高くなっている。なお、「特段、何もししていない」は20代(38.5%)、30代(32.0%)で高い。

地域別にみると、「気象庁からの情報を確認する」は九州南部・奄美地方(60.0%)で高くなっている。「お住まいの市区町村からの情報を確認する」は九州南部・奄美地方(62.5%)、九州北部地方(49.2%)、北陸地方(48.1%)で高い。「家族や知り合いと話し合う」は九州南部・奄美地方(32.5%)、四国地方(29.3%)で高くなっている。

Ⅱ. 調査結果

(2) 防災に関する情報を得る媒体

問 20 災害が発生した/発生する恐れがある時に、防災に関する情報をどのような媒体から得ていますか、あてはまるものを全て選んでください。



災害が発生した/発生する恐れがある時に、防災に関する情報を得る媒体については、「テレビ、ラジオ」(73.6%)が最も高く、次いで「ホームページ(お住まいの自治体、気象庁など)」(45.3%)、「X、フェイスブック、LINEなどのソーシャル・ネットワーキング・サービス (SNS)」(26.9%)、「新聞(電子版、アプリを含む)」(16.6%)となっている。

Ⅱ. 調査結果

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下
 * 赤字はベースがn=29以下のため参考値

			テレビ、ラジオ	新聞（電子版、アプリを含む）	ホームページ（お住まいの自治体、気象庁など）	X、フェイスブック、LINEなどのソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）	その他	特に、情報は得ていない
		n						
全体		2,000	73.6	16.6	45.3	26.9	1.6	12.8
性別	男性	991	71.2	18.4	48.5	25.7	1.5	13.9
	女性	1009	75.8	14.8	42.1	28.0	1.6	11.7
年代	20代	265	51.3	9.1	34.0	44.9	0.8	26.4
	30代	291	64.3	8.6	45.0	38.8	1.0	19.6
	40代	396	69.9	12.9	41.7	26.0	1.8	15.9
	50代	357	73.7	17.9	51.8	25.5	1.4	11.2
	60代以上	691	88.0	24.2	48.5	16.2	2.0	3.8
地域別	北海道地方	85	76.5	23.5	47.1	24.7	1.2	9.4
	東北地方	140	73.6	15.7	42.9	20.7	2.1	15.7
	関東甲信地方	742	71.6	16.0	42.7	27.5	1.2	13.6
	東海地方	237	78.5	21.5	46.4	27.4	2.5	11.4
	北陸地方	81	77.8	21.0	43.2	27.2	1.2	9.9
	近畿地方	322	72.4	16.5	46.6	28.3	1.2	13.4
	中国地方	96	68.8	10.4	46.9	27.1	1.0	14.6
	四国地方	58	69.0	8.6	51.7	34.5	1.7	12.1
	九州北部地方	177	79.7	13.0	47.5	25.4	1.7	9.6
	九州南部・奄美地方	40	75.0	20.0	70.0	32.5	2.5	7.5
	沖縄地方	22	59.1	13.6	31.8	9.1	4.5	27.3

性別にみると、全体と同様の傾向にある。

年代別にみると、「テレビ、ラジオ」及び「新聞（電子版、アプリを含む）」は年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。「ホームページ（お住まいの自治体、気象庁など）」は50代(51.8%)で高い。また、「X、フェイスブック、LINEなどのソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）」及び「特に、情報は得ていない」は年代が低いほど高くなる傾向がみられる。

地域別にみると、「テレビ、ラジオ」は九州北部地方(79.7%)で高くなっている。「ホームページ（お住まいの自治体、気象庁など）」は九州南部・奄美地方(70.0%)、四国地方(51.7%)で高い。「X、フェイスブック、LINEなどのソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）」は四国地方(34.5%)、九州南部・奄美地方(32.5%)で高くなっている。

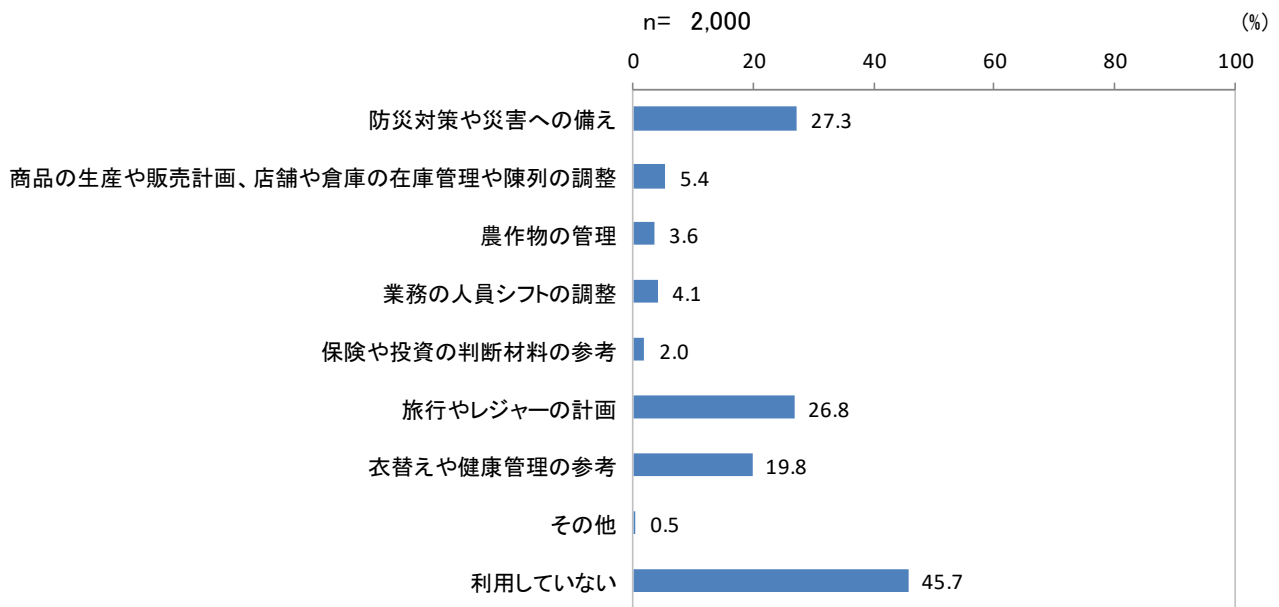
Ⅱ. 調査結果

5. 比較的先（数週間～数か月）の予測情報に関する意識等について

（１）季節予報情報の利用理由

問 21 以下の季節予報について、その情報を利用していますか。また、どのような用途で利用していますか。あてはまるものを全て選んでください。

【2 週間気温予報】



『2 週間気温予報』では、「防災対策や災害への備え」(27.3%) が最も高く、次いで「旅行やレジャーの計画」(26.8%)、「衣替えや健康管理の参考」(19.8%)となっている。また、「利用していない」は 45.7%と高くなっている。

Ⅱ. 調査結果

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

		n	防災対策や災害への備え	商品の生産や販売計画、店舗や倉庫の在庫管理	農作物の管理	業務の人員シフトの調整	保険や投資の判断材料の参考	旅行やレジャーの計画	衣替えや健康管理の参考	その他	利用していない
全体		2,000	27.3	5.4	3.6	4.1	2.0	26.8	19.8	0.5	45.7
性別	男性	991	29.6	6.1	4.5	4.9	2.7	26.7	14.2	0.4	45.7
	女性	1009	25.0	4.7	2.6	3.3	1.2	26.9	25.2	0.5	45.7
年代	20代	265	19.6	7.2	3.4	6.4	4.9	24.5	21.1	-	50.2
	30代	291	21.0	7.9	3.4	3.4	1.7	25.1	18.9	0.3	50.5
	40代	396	26.3	7.3	3.8	7.1	2.8	23.7	17.7	0.3	49.7
	50代	357	26.1	5.0	1.7	3.6	1.1	25.2	19.6	0.8	49.3
	60代以上	691	34.0	2.6	4.5	2.0	0.9	31.0	20.8	0.6	37.8
地域別	北海道地方	85	30.6	5.9	7.1	2.4	1.2	18.8	25.9	1.2	40.0
	東北地方	140	24.3	4.3	6.4	4.3	0.7	22.9	19.3	-	47.9
	関東甲信地方	742	26.3	5.1	3.1	4.3	2.6	27.2	20.2	0.7	46.8
	東海地方	237	32.1	4.6	1.7	3.8	0.4	27.8	20.7	-	44.7
	北陸地方	81	35.8	6.2	3.7	1.2	3.7	32.1	27.2	1.2	29.6
	近畿地方	322	24.2	6.5	2.8	4.3	1.6	26.1	18.3	-	46.6
	中国地方	96	21.9	3.1	5.2	2.1	1.0	32.3	13.5	1.0	49.0
	四国地方	58	31.0	8.6	5.2	6.9	3.4	32.8	22.4	1.7	46.6
	九州北部地方	177	29.4	4.0	3.4	5.1	2.8	29.4	15.3	-	44.6
	九州南部・奄美地方	40	32.5	12.5	7.5	5.0	2.5	15.0	27.5	-	37.5
	沖縄地方	22	13.6	4.5	-	4.5	-	9.1	9.1	-	81.8

性別にみると、「衣替えや健康管理の参考」は男性(14.2%)に比べて女性(25.2%)で高くなっている。

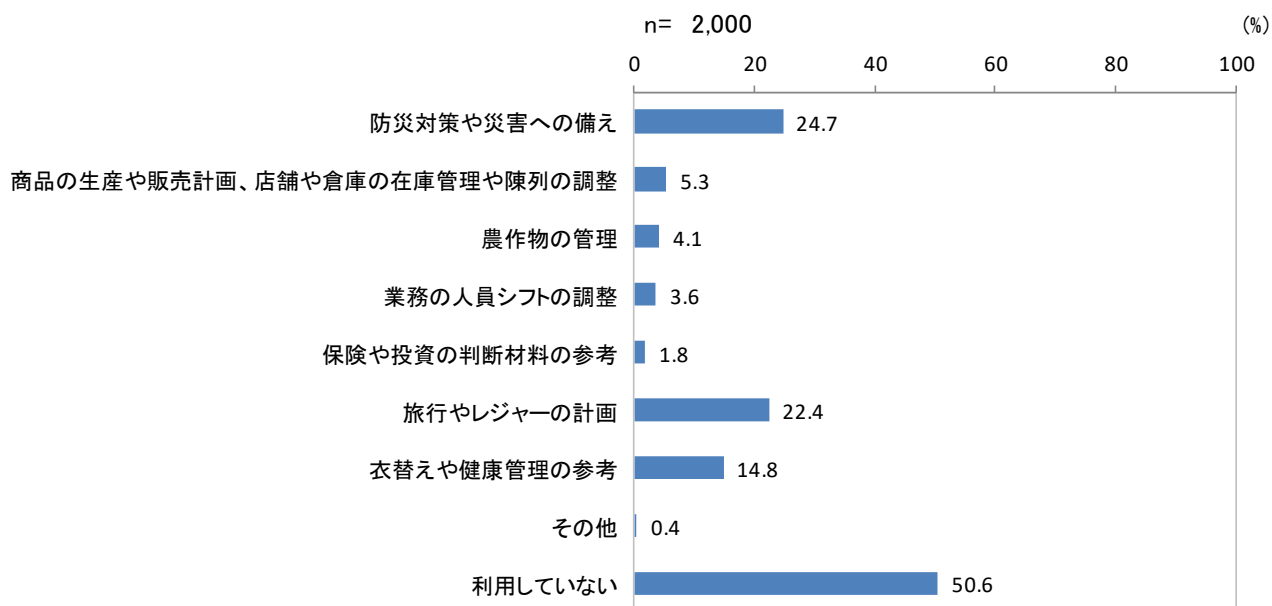
年代別にみると、「防災対策や災害への備え」は年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。

地域別にみると、「防災対策や災害への備え」は北陸地方(35.8%)、九州南部・奄美地方(32.5%)で高くなっている。

「旅行やレジャーの計画」は四国地方(32.8%)、中国地方(32.3%)、北陸地方(32.1%)で高い。「衣替えや健康管理の参考」は九州南部・奄美地方(27.5%)、北陸地方(27.2%)、北海道地方(25.9%)で高くなっている。

Ⅱ. 調査結果

【早期天候情報】



『早期天候情報』では、「防災対策や災害への備え」(24.7%)が最も高く、次いで「旅行やレジャーの計画」(22.4%)、「衣替えや健康管理の参考」(14.8%)となっている。また、「利用していない」は50.6%と高くなっている。

Ⅱ. 調査結果

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

		n	防災対策や災害への備え	商品の生産や販売計画、店舗や倉庫の在庫管理	農作物の管理	業務の人員シフトの調整	保険や投資の判断材料の参考	旅行やレジャーの計画	衣替えや健康管理の参考	その他	利用していない
全体		2,000	24.7	5.3	4.1	3.6	1.8	22.4	14.8	0.4	50.6
性別	男性	991	27.2	6.9	4.3	5.5	2.8	23.3	12.0	0.4	48.0
	女性	1009	22.2	3.7	3.8	1.6	0.7	21.5	17.5	0.4	53.0
年代	20代	265	16.6	9.1	7.2	5.3	4.5	18.9	14.3	0.4	53.2
	30代	291	19.9	8.2	3.1	3.8	2.4	17.9	12.7	-	57.0
	40代	396	22.7	5.8	4.5	5.8	2.0	19.4	12.1	0.3	56.1
	50代	357	23.0	4.5	2.0	2.8	0.3	19.9	15.1	0.3	56.0
	60代以上	691	31.8	2.6	4.1	1.9	1.0	28.7	17.2	0.7	40.8
地域別	北海道地方	85	22.4	9.4	7.1	2.4	1.2	12.9	18.8	1.2	43.5
	東北地方	140	23.6	6.4	7.1	2.9	0.7	20.0	18.6	-	51.4
	関東甲信地方	742	23.7	5.3	3.8	3.8	2.2	23.2	14.2	0.5	51.5
	東海地方	237	27.4	3.4	1.7	3.8	1.3	21.9	15.2	0.4	49.8
	北陸地方	81	29.6	2.5	3.7	1.2	1.2	30.9	17.3	1.2	38.3
	近畿地方	322	22.7	4.7	4.0	3.4	1.2	21.7	13.4	0.3	52.8
	中国地方	96	21.9	5.2	2.1	2.1	3.1	21.9	9.4	-	55.2
	四国地方	58	32.8	5.2	8.6	3.4	1.7	25.9	19.0	-	50.0
	九州北部地方	177	27.1	5.6	3.4	5.6	1.7	26.0	15.3	-	45.8
	九州南部・奄美地方	40	32.5	12.5	7.5	5.0	5.0	17.5	20.0	-	50.0
	沖縄地方	22	13.6	4.5	4.5	-	-	4.5	4.5	-	81.8

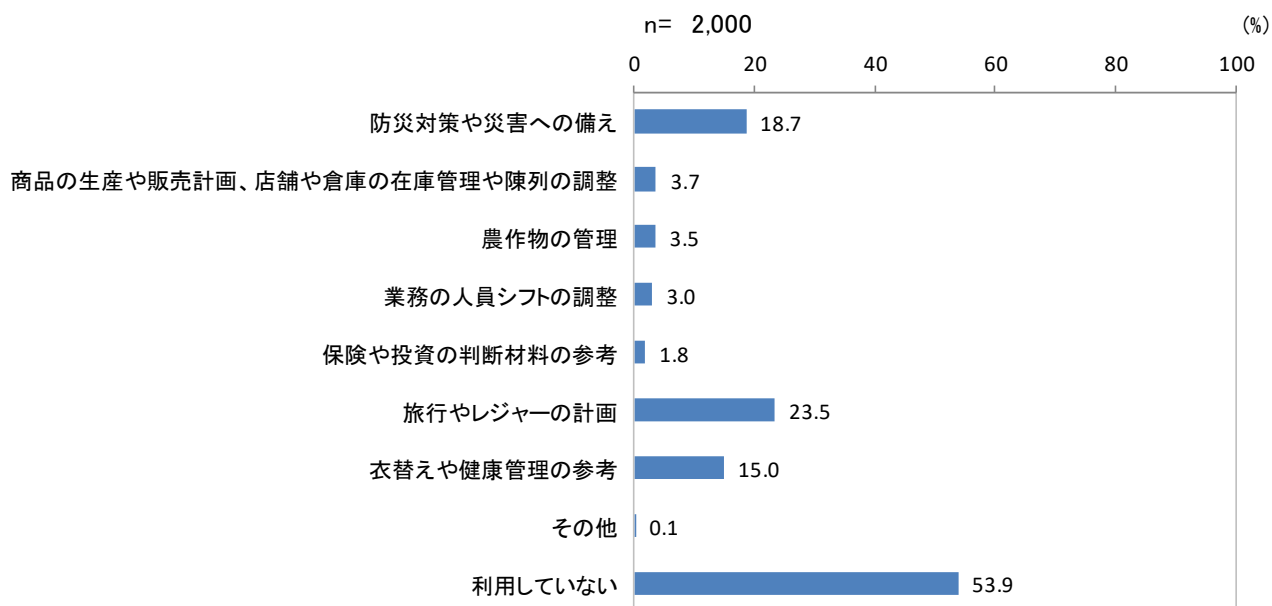
性別にみると、全体と同様の傾向にある。

年代別にみると、「防災対策や災害への備え」は年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。「旅行やレジャーの計画」は60代以上(28.7%)で高い。なお、「利用していない」は30代(57.0%)、40代(56.1%)、50代(56.0%)で高くなっている。

地域別にみると、「防災対策や災害への備え」は四国地方(32.8%)、九州南部・奄美地方(32.5%)で高くなっている。「旅行やレジャーの計画」は北陸地方(30.9%)で高い。「衣替えや健康管理の参考」は九州南部・奄美地方(20.0%)で高くなっている。「商品の生産や販売計画、店舗や倉庫の在庫管理や陳列の調整」は九州南部・奄美地方(12.5%)で高くなっている。

Ⅱ. 調査結果

【1 か月予報】



『1 か月予報』では、「旅行やレジャーの計画」(23.5%)が最も高く、次いで、「防災対策や災害への備え」(18.7%)、「衣替えや健康管理の参考」(15.0%)となっている。また、「利用していない」は53.9%と高くなっている。

Ⅱ. 調査結果

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

		n	防災対策や災害への備え	商品の生産や販売計画、店舗や倉庫の在庫管理	農作物の管理	業務の人員シフトの調整	保険や投資の判断材料の参考	旅行やレジャーの計画	衣替えや健康管理の参考	その他	利用していない
全体		2,000	18.7	3.7	3.5	3.0	1.8	23.5	15.0	0.1	53.9
性別	男性	991	20.3	5.1	4.0	4.2	2.3	23.4	13.1	0.1	52.5
	女性	1009	17.1	2.2	3.0	1.7	1.3	23.6	16.8	0.1	55.3
年代	20代	265	10.9	6.0	6.0	3.8	4.2	21.1	12.5	-	58.1
	30代	291	10.7	5.8	4.1	3.8	1.7	20.3	11.7	-	59.8
	40代	396	19.9	5.3	4.0	4.3	2.8	19.2	15.2	-	59.1
	50代	357	19.0	3.9	1.7	2.0	0.8	18.8	16.8	0.3	57.4
	60代以上	691	24.2	0.7	2.9	2.0	0.9	30.7	16.4	0.1	45.0
地域別	北海道地方	85	22.4	3.5	7.1	1.2	1.2	24.7	11.8	-	45.9
	東北地方	140	20.7	5.0	6.4	2.9	1.4	22.9	17.1	-	50.7
	関東甲信地方	742	17.1	4.3	2.7	2.8	2.2	23.7	14.7	0.3	54.9
	東海地方	237	21.1	3.4	2.5	3.4	0.8	21.5	13.9	-	55.7
	北陸地方	81	21.0	-	4.9	2.5	-	33.3	17.3	-	43.2
	近畿地方	322	17.7	3.4	2.5	3.4	2.8	22.7	15.5	-	55.0
	中国地方	96	15.6	1.0	3.1	3.1	1.0	19.8	6.3	-	62.5
	四国地方	58	22.4	3.4	3.4	3.4	1.7	27.6	20.7	-	55.2
	九州北部地方	177	21.5	3.4	5.1	2.8	0.6	26.6	18.6	-	46.9
	九州南部・奄美地方	40	22.5	5.0	7.5	5.0	5.0	20.0	22.5	-	52.5
	沖縄地方	22	-	4.5	-	-	4.5	-	-	-	95.5

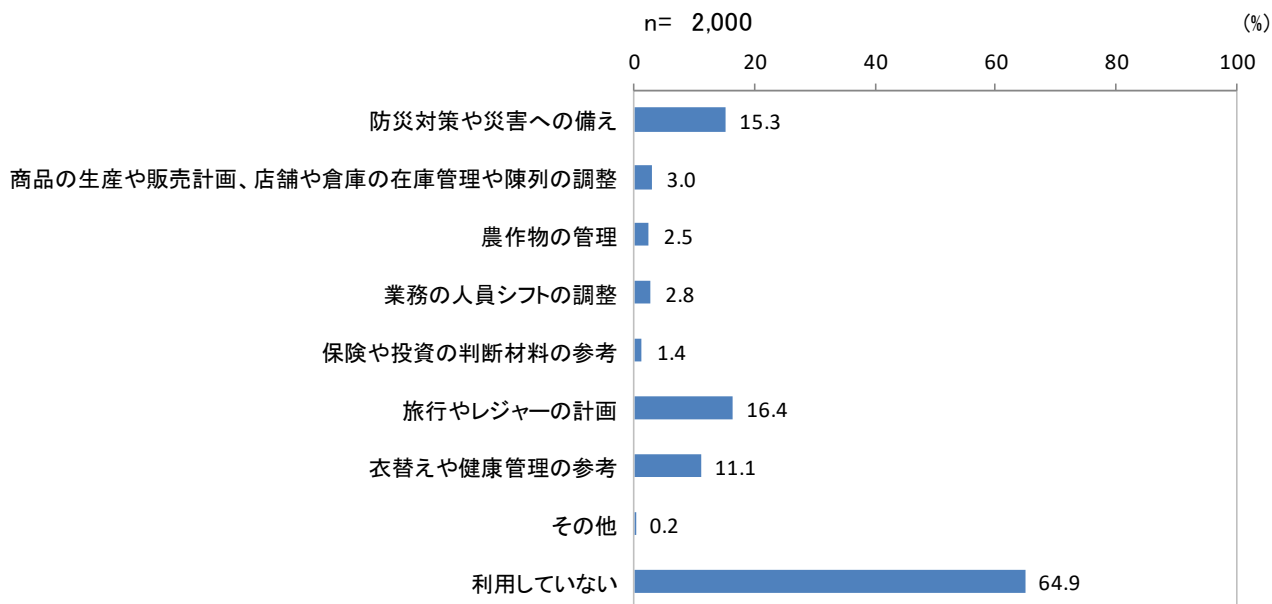
性別にみると、全体と同様の傾向にある。

年代別にみると、「防災対策や災害への備え」は年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。「旅行やレジャーの計画」は60代以上(30.7%)で高い。なお、「利用していない」は30代(59.8%)、40代(59.1%)で高くなっている。

地域別にみると、「旅行やレジャーの計画」は北陸地方(33.3%)で高くなっている。「衣替えや健康管理の参考」は九州南部・奄美地方(22.5%)、四国地方(20.7%)で高い。なお、「利用していない」は中国地方(62.5%)で高い。

Ⅱ. 調査結果

【3 か月予報】



『3 か月予報』では、「旅行やレジャーの計画」(16.4%) が最も高く、次いで、「防災対策や災害への備え」(15.3%)となっている。また、「利用していない」は64.9%と高くなっている。

Ⅱ. 調査結果

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

		n	防災対策や災害への備え	商品の生産や販売計画、店舗や倉庫の在庫管理	農作物の管理	業務の人員シフトの調整	保険や投資の判断材料の参考	旅行やレジャーの計画	衣替えや健康管理の参考	その他	利用していない
全体		2,000	15.3	3.0	2.5	2.8	1.4	16.4	11.1	0.2	64.9
性別	男性	991	17.0	3.7	3.2	4.2	1.7	16.1	11.2	0.1	62.7
	女性	1009	13.6	2.2	1.8	1.3	1.0	16.6	11.0	0.2	67.1
年代	20代	265	12.1	4.2	2.6	8.7	2.6	14.3	9.4	-	66.4
	30代	291	9.6	5.2	3.1	3.4	2.7	14.8	7.2	-	70.1
	40代	396	15.7	3.5	3.8	2.3	2.0	13.1	10.1	-	66.9
	50代	357	15.1	3.1	1.7	1.4	0.6	15.1	10.6	-	68.3
	60代以上	691	18.7	1.2	1.9	1.2	0.3	20.3	14.2	0.4	59.2
地域別	北海道地方	85	17.6	1.2	2.4	2.4	-	16.5	15.3	-	61.2
	東北地方	140	17.9	5.0	5.7	2.9	1.4	17.9	13.6	-	58.6
	関東甲信地方	742	15.2	3.2	2.0	2.6	2.0	13.9	10.0	0.3	67.7
	東海地方	237	14.8	3.0	3.0	2.5	-	20.7	9.3	-	64.6
	北陸地方	81	19.8	1.2	1.2	-	-	21.0	16.0	-	56.8
	近畿地方	322	13.0	2.8	2.2	4.3	1.2	18.0	10.2	0.3	64.6
	中国地方	96	11.5	3.1	2.1	1.0	-	11.5	8.3	-	69.8
	四国地方	58	22.4	1.7	3.4	3.4	1.7	20.7	19.0	-	60.3
	九州北部地方	177	15.8	2.3	1.7	2.8	1.1	16.9	12.4	-	61.0
	九州南部・奄美地方	40	17.5	5.0	7.5	5.0	5.0	17.5	17.5	-	60.0
	沖縄地方	22	-	-	-	-	4.5	4.5	-	-	95.5

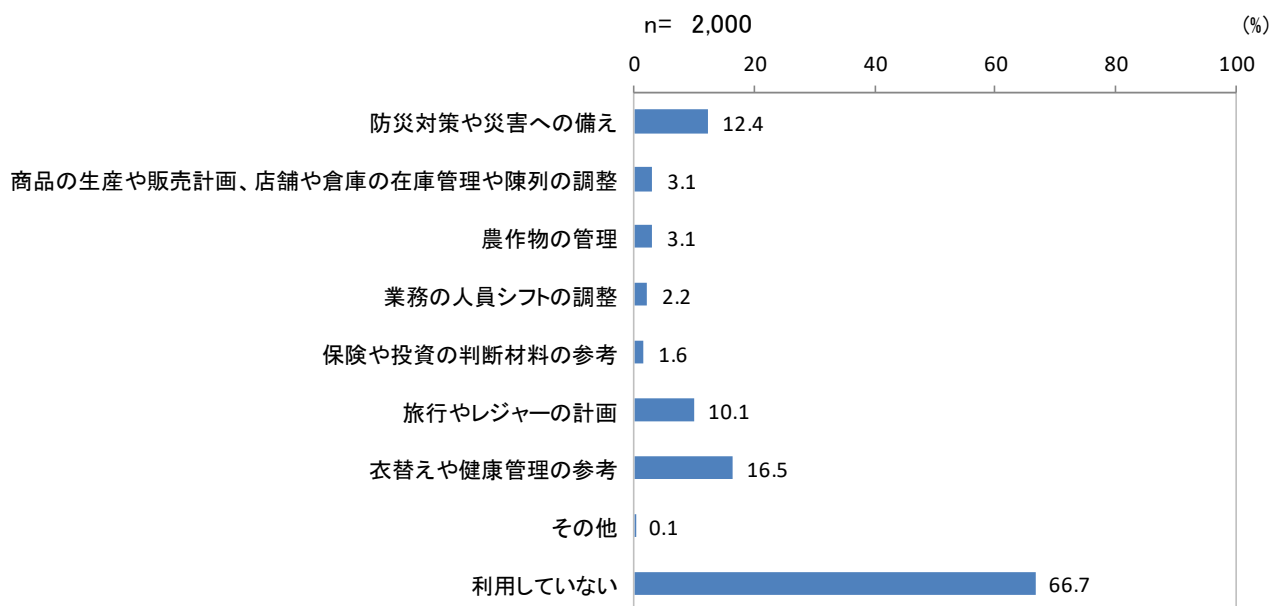
性別にみると、全体と同様の傾向にある。

年代別にみると、「業務の人員シフトの調整」は20代(8.7%)で高くなっている。なお、「利用していない」は30代(70.1%)で高い。

地域別にみると、「防災対策や災害への備え」は四国地方(22.4%)で高くなっている。「衣替えや健康管理の参考」は四国地方(19.0%)、九州南部・奄美地方(17.5%)で高い。「農作物の管理」は九州南部・奄美地方(7.5%)で高くなっている。

Ⅱ. 調査結果

【暖候期予報】



『暖候期予報』では、「衣替えや健康管理の参考」(16.5%) が最も高く、次いで、「防災対策や災害への備え」(12.4%)、「旅行やレジャーの計画」(10.1%)となっている。また、「利用していない」は 66.7%と高くなっている。

Ⅱ. 調査結果

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

		n	防災対策や災害への備え	商品の生産や販売計画、店舗や倉庫の在庫管理	農作物の管理	業務の人員シフトの調整	保険や投資の判断材料の参考	旅行やレジャーの計画	衣替えや健康管理の参考	その他	利用していない
全体		2,000	12.4	3.1	3.1	2.2	1.6	10.1	16.5	0.1	66.7
性別	男性	991	14.1	4.4	3.4	3.2	2.4	10.7	12.9	-	66.5
	女性	1009	10.7	1.8	2.7	1.2	0.8	9.4	19.9	0.1	66.8
年代	20代	265	8.3	5.7	4.9	4.2	4.9	8.7	14.0	-	67.5
	30代	291	7.9	3.4	3.1	3.1	3.1	7.6	14.4	-	72.9
	40代	396	11.4	4.0	3.3	2.8	1.5	8.8	12.6	-	69.2
	50代	357	12.0	2.8	2.2	1.4	0.3	10.4	15.1	0.3	68.6
	60代以上	691	16.6	1.6	2.6	1.2	0.4	12.2	21.1	-	61.2
地域別	北海道地方	85	12.9	2.4	3.5	3.5	-	14.1	18.8	-	58.8
	東北地方	140	15.7	4.3	7.1	2.1	1.4	10.0	15.7	-	60.7
	関東甲信地方	742	12.3	3.9	2.4	2.6	1.9	10.1	14.6	0.1	68.5
	東海地方	237	11.4	2.1	1.7	1.3	0.8	8.9	18.1	-	67.9
	北陸地方	81	16.0	1.2	3.7	-	-	9.9	19.8	-	63.0
	近畿地方	322	11.5	3.1	1.9	3.1	2.8	10.2	16.8	-	68.0
	中国地方	96	9.4	2.1	5.2	1.0	-	5.2	12.5	-	70.8
	四国地方	58	17.2	1.7	6.9	1.7	1.7	15.5	20.7	-	62.1
	九州北部地方	177	12.4	1.7	2.8	1.7	0.6	11.9	22.6	-	59.9
	九州南部・奄美地方	40	15.0	5.0	5.0	2.5	5.0	7.5	15.0	-	70.0
	沖縄地方	22	-	4.5	4.5	-	4.5	-	-	-	95.5

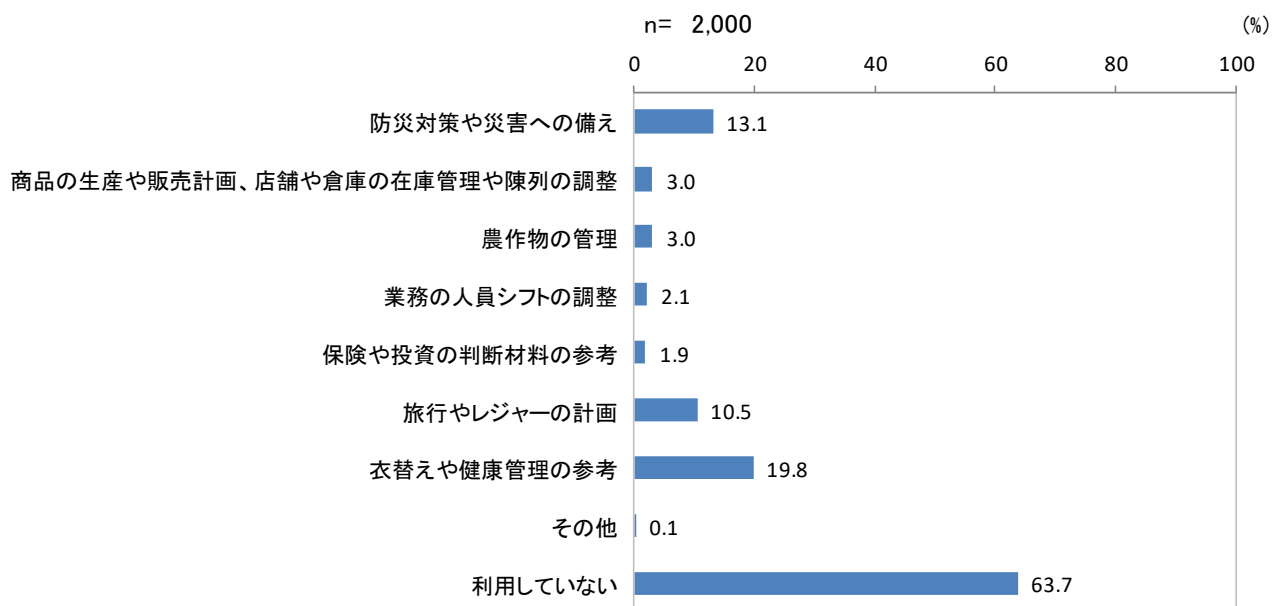
性別にみると、全体と同様の傾向にある。

年代別にみると、概ね全体と同様の傾向にあるが、「利用していない」が30代(72.9%)で高い。

地域別にみると、「衣替えや健康管理の参考」は九州北部地方(22.6%)で高くなっている。「旅行やレジャーの計画」は四国地方(15.5%)で高い。

Ⅱ. 調査結果

【寒候期予報】



『寒候期予報』では、「衣替えや健康管理の参考」(19.8%) が最も高く、次いで、「防災対策や災害への備え」(13.1%)、「旅行やレジャーの計画」(10.5%)となっている。また、「利用していない」は 63.7%と高くなっている。

Ⅱ. 調査結果

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

		n	防災対策や災害への備え	商品の生産や販売計画、店舗や倉庫の在庫管理	農作物の管理	業務の人員シフトの調整	保険や投資の判断材料の参考	旅行やレジャーの計画	衣替えや健康管理の参考	その他	利用していない
全体		2,000	13.1	3.0	3.0	2.1	1.9	10.5	19.8	0.1	63.7
性別	男性	991	14.7	3.6	4.0	3.0	2.8	10.4	15.5	-	63.6
	女性	1009	11.5	2.3	2.0	1.1	0.9	10.5	23.9	0.2	63.8
年代	20代	265	9.4	4.5	5.3	5.3	4.9	9.8	14.7	-	66.4
	30代	291	7.2	4.1	3.1	2.7	2.4	6.5	15.8	-	71.8
	40代	396	12.1	4.5	2.8	2.3	2.5	8.8	15.2	0.3	67.4
	50代	357	12.6	2.2	1.1	1.7	0.6	9.8	18.5	0.3	67.2
	60代以上	691	17.8	1.3	3.2	0.6	0.7	13.6	26.6	-	55.3
地域別	北海道地方	85	14.1	3.5	3.5	1.2	2.4	9.4	23.5	-	56.5
	東北地方	140	17.9	3.6	4.3	2.1	2.9	12.1	20.7	-	58.6
	関東甲信地方	742	12.5	3.5	2.7	2.3	1.8	9.7	18.7	0.3	65.0
	東海地方	237	11.8	0.8	3.0	1.7	0.4	9.3	20.3	-	65.8
	北陸地方	81	24.7	2.5	2.5	-	-	13.6	25.9	-	50.6
	近畿地方	322	11.8	2.8	1.9	3.1	2.8	10.2	18.9	-	66.8
	中国地方	96	9.4	2.1	3.1	1.0	-	7.3	14.6	-	68.8
	四国地方	58	13.8	3.4	5.2	1.7	3.4	19.0	22.4	-	62.1
	九州北部地方	177	13.0	2.8	4.0	1.7	2.3	13.0	23.7	-	57.1
	九州南部・奄美地方	40	15.0	5.0	5.0	2.5	5.0	10.0	20.0	-	65.0
	沖縄地方	22	-	4.5	4.5	-	-	4.5	-	-	95.5

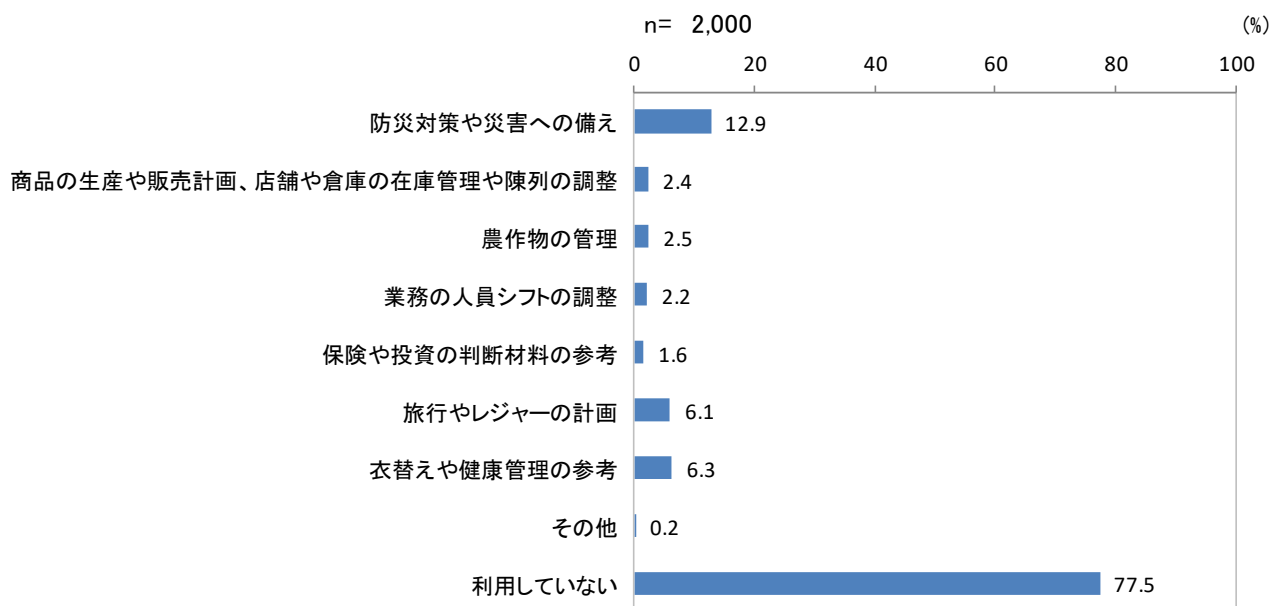
性別にみると、全体と同様の傾向にある。

年代別にみると、「衣替えや健康管理の参考」は60代以上(26.6%)で高くなっている。なお、「利用していない」は30代(71.8%)で高い。

地域別にみると、「衣替えや健康管理の参考」は北陸地方(25.9%)で高くなっている。「防災対策や災害への備え」は北陸地方(24.7%)で高い。「旅行やレジャーの計画」は四国地方(19.0%)で高くなっている。

Ⅱ. 調査結果

【エルニーニョ監視速報】



『エルニーニョ監視速報』では、「防災対策や災害への備え」(12.9%) が最も高く、次いで、「衣替えや健康管理の参考」(6.3%)、「旅行やレジャーの計画」(6.1%)となっている。また、「利用していない」は77.5%と高くなっている。

Ⅱ. 調査結果

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

		n	防災対策や災害への備え	商品の生産や販売計画、店舗や倉庫の在庫管理	農作物の管理	業務の人員シフトの調整	保険や投資の判断材料の参考	旅行やレジャーの計画	衣替えや健康管理の参考	その他	利用していない
全体		2,000	12.9	2.4	2.5	2.2	1.6	6.1	6.3	0.2	77.5
性別	男性	991	15.0	3.3	2.6	3.4	2.3	6.9	5.5	0.1	75.1
	女性	1009	10.7	1.4	2.3	0.9	0.9	5.3	7.0	0.3	79.8
年代	20代	265	7.5	4.2	3.4	5.3	4.2	6.4	3.8	-	78.1
	30代	291	7.9	2.4	2.4	4.1	3.4	6.5	4.8	-	80.1
	40代	396	12.1	2.3	3.0	1.8	1.8	5.6	4.8	0.3	79.3
	50代	357	14.8	3.1	1.7	1.1	0.6	4.8	5.9	0.3	77.6
	60代以上	691	16.4	1.3	2.2	0.9	0.3	6.7	9.0	0.3	75.0
地域別	北海道地方	85	12.9	1.2	2.4	3.5	1.2	4.7	7.1	-	74.1
	東北地方	140	16.4	5.0	5.0	1.4	1.4	5.7	5.7	-	72.9
	関東甲信地方	742	11.9	2.7	1.6	2.4	1.3	5.8	6.5	0.3	78.2
	東海地方	237	11.8	1.3	2.1	0.8	1.3	5.5	7.2	-	79.3
	北陸地方	81	17.3	1.2	4.9	1.2	-	6.2	9.9	1.2	70.4
	近畿地方	322	13.0	2.2	2.8	2.8	2.2	6.2	5.3	0.3	78.9
	中国地方	96	12.5	2.1	3.1	-	1.0	6.3	6.3	-	75.0
	四国地方	58	13.8	1.7	5.2	1.7	1.7	10.3	5.2	-	81.0
	九州北部地方	177	13.6	1.7	1.1	2.8	2.3	6.2	5.6	-	75.7
	九州南部・奄美地方	40	17.5	5.0	2.5	2.5	5.0	12.5	7.5	-	77.5
	沖縄地方	22	-	-	4.5	4.5	4.5	-	-	-	95.5

性別にみると、全体と同様の傾向にある。

年代別にみると、概ね全体と同様の傾向にある。

地域別にみると、「旅行やレジャーの計画」は九州南部・奄美地方(12.5%)で高い。

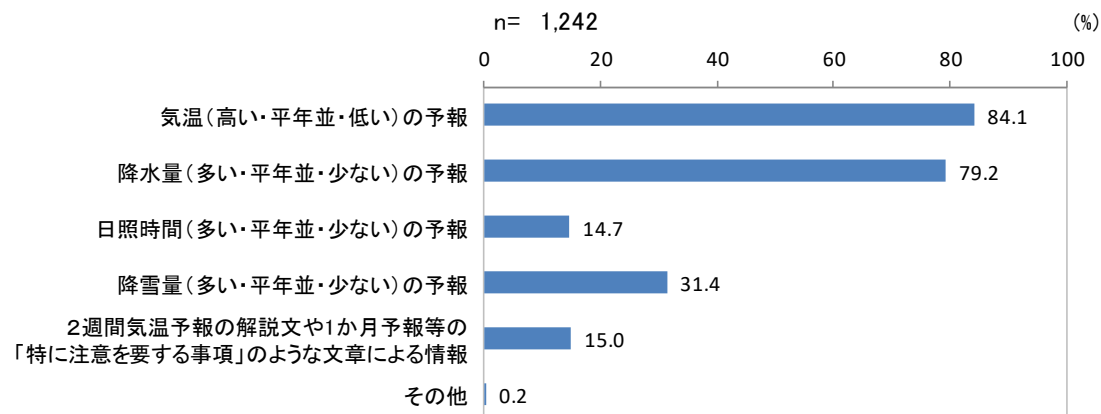
Ⅱ. 調査結果

(2) よく見る気象情報

問 22 以下のうち、どの気象情報をよくご覧になりますか？あてはまるものを全て選んでください。

n=1,242

ベース：季節予報情報の利用理由のある方



よく見る気象情報については、「気温(高い・平年並・低い)の予報」(84.1%)が最も高く、次いで「降水量(多い・平年並・少ない)の予報」(79.2%)、「降雪量(多い・平年並・少ない)の予報」(31.4%)となっている。

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

		n	気温 (高い・平年並・低い)の予報	降水量 (多い・平年並・少ない)の予報	日照時間 (多い・平年並・少ない)の予報	降雪量 (多い・平年並・少ない)の予報	2週間気温予報の解説文や1か月予報等の「特に注意を要する事項」	その他
全体		1,242	84.1	79.2	14.7	31.4	15.0	0.2
性別	男性	610	81.8	79.8	13.9	33.0	13.8	0.2
	女性	632	86.4	78.6	15.5	29.9	16.1	0.2
年代	20代	147	75.5	81.0	16.3	19.7	14.3	0.7
	30代	169	82.8	79.3	13.6	32.0	13.0	-
	40代	224	83.0	77.2	20.5	31.7	9.4	-
	50代	200	85.0	79.5	15.5	34.5	13.5	0.5
	60代以上	502	87.3	79.5	11.8	33.3	18.9	-
地域別	北海道地方	61	86.9	73.8	11.5	70.5	14.8	-
	東北地方	86	82.6	77.9	18.6	62.8	22.1	-
	関東甲信地方	439	85.0	78.8	14.8	25.7	14.8	-
	東海地方	151	85.4	81.5	14.6	24.5	15.9	-
	北陸地方	60	86.7	80.0	6.7	76.7	15.0	1.7
	近畿地方	196	85.7	80.1	15.3	21.4	11.2	0.5
	中国地方	55	74.5	78.2	14.5	36.4	5.5	-
	四国地方	33	72.7	87.9	24.2	21.2	12.1	-
	九州北部地方	128	85.2	77.3	10.9	18.8	19.5	-
	九州南部・奄美地方	28	82.1	82.1	28.6	10.7	21.4	-
	沖縄地方	5	40.0	80.0	20.0	20.0	-	-

性別にみると、全体と同様の傾向にある。

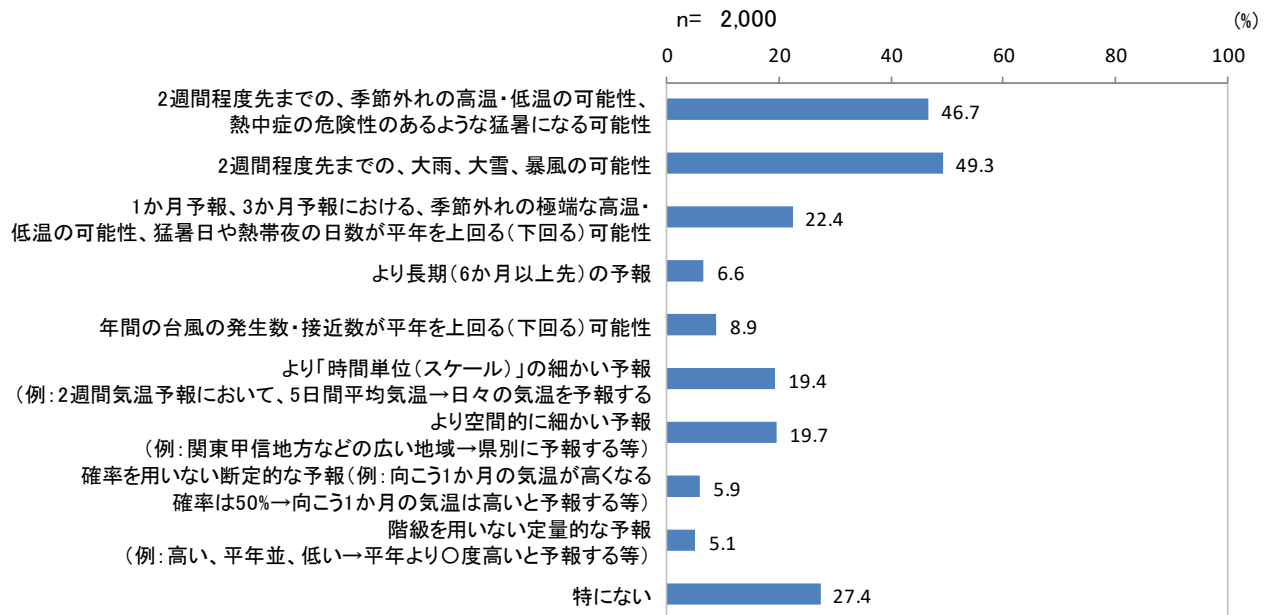
年代別にみると、「日照時間（多い・平年並・少ない）の予報」は40代(20.5%)で高くなっている。

地域別にみると、「降水量（多い・平年並・少ない）の予報」は四国地方(87.9%)で高くなっている。「降雪量（多い・平年並・少ない）の予報」は北陸地方(76.7%)、北海道地方(70.5%)、東北地方(62.8%)で高い。「2週間気温予報の解説文や1か月予報等の「特に注意を要する事項」のような文章による情報」は東北地方(22.1%)で高くなっている。「日照時間（多い・平年並・少ない）の予報」は四国地方(24.2%)で高い。

Ⅱ. 調査結果

(3) 将来新たに極端な現象が発生する可能性のある情報で利用したい内容

問 23 将来新たに猛暑や暴風等の極端な現象が発生する可能性について、以下の1～9に示すような情報ができたとしたら、どれを利用したいと思いますか？あてはまるものを全て選んでください。



将来新たに極端な現象が発生する可能性のある情報で利用したい内容については、「2 週間程度先までの、大雨、大雪、暴風の可能性」(49.3%) が最も高く、次いで「2 週間程度先までの、季節外れの高温・低温の可能性、熱中症の危険性のあるような猛暑になる可能性」(46.7%)、「1 か月予報、3 か月予報における、季節外れの極端な高温・低温の可能性、猛暑日や熱帯夜の日数が平年を上回る(下回る)可能性」(22.4%)となっている。

Ⅱ. 調査結果

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下
 * 赤字はベースがn=29以下のため参考値

			にの2 な可週 る能間 可性程 能度 性熱先 中ま 症での 危険 季節 の外 あれ の 高 温 な ・ 低 暑 温	能2 性週 間程 度先 ま での 、 大 雨 、 大 雪 、 暴 風 の 可	夜の1 の極か 日端予 数が高 平温、 を低 上温 月の 予報 に お ける 、 暑 日 季 節 外 帯 れ	より 長期 (6 か 月 以 上 先 の 予 報	(年 間の 下回 る)の 台 風の 発 生 数 ・ 接 近 数 が 平 年 を 上 回 る	気(例 り:「 日2 々週 間の 気気 温温 を予 報に お いて 、 5 細 日 間 予 報 均	なより の空 間の 地に 細 かい 予 報 (例 :関 東 甲 信 地 方	1か 月の 気 温 は 高 く な る 予 報 す る 等	確 率 を 用 い ない 断 定 的 な 予 報 は 報 率 5 0 % :向 こう	等)年 並、 低 い 平 年 よ り 高 い (例 予: 高 い 、 平	特 に ない	
		n												
全体		2,000	46.7	49.3	22.4	6.6	8.9	19.4	19.7	5.9	5.1	27.4		
性別	男性	991	45.5	47.4	22.3	7.3	8.8	18.0	18.9	6.2	5.7	28.5		
	女性	1009	47.9	51.1	22.5	5.8	8.9	20.8	20.4	5.6	4.6	26.3		
年代	20代	265	35.1	39.2	17.4	8.7	9.8	15.1	18.9	6.4	4.9	37.4		
	30代	291	40.2	46.7	22.7	6.2	7.6	16.8	15.5	4.8	4.1	34.4		
	40代	396	43.9	42.9	21.2	7.3	9.8	18.7	17.9	5.6	5.3	32.1		
	50代	357	46.2	55.5	21.8	5.3	9.2	19.3	21.8	6.7	4.8	26.6		
	60代以上	691	55.7	54.7	25.2	6.1	8.2	22.6	21.6	5.9	5.6	18.2		
地域別	北海道地方	85	45.9	50.6	24.7	5.9	7.1	17.6	20.0	8.2	4.7	25.9		
	東北地方	140	46.4	50.7	27.9	10.7	7.9	18.6	16.4	9.3	5.0	29.3		
	関東甲信地方	742	46.1	47.0	21.6	6.3	8.2	19.9	21.6	4.6	3.2	28.8		
	東海地方	237	51.1	53.2	21.5	1.3	6.8	19.0	15.6	5.5	5.9	28.3		
	北陸地方	81	58.0	67.9	24.7	8.6	6.2	19.8	27.2	9.9	9.9	14.8		
	近畿地方	322	45.3	46.0	21.7	8.1	8.7	18.0	19.9	5.0	5.9	27.6		
	中国地方	96	40.6	45.8	16.7	5.2	6.3	15.6	12.5	4.2	4.2	32.3		
	四国地方	58	44.8	50.0	15.5	10.3	13.8	27.6	22.4	8.6	6.9	29.3		
	九州北部地方	177	45.8	51.4	28.2	6.2	15.3	19.8	20.3	6.2	7.9	19.2		
	九州南部・奄美地方	40	50.0	55.0	27.5	12.5	20.0	27.5	17.5	15.0	10.0	22.5		
沖縄地方	22	36.4	36.4	4.5	4.5	4.5	13.6	9.1	4.5	-	50.0			

性別にみると、全体と同様の傾向にある。

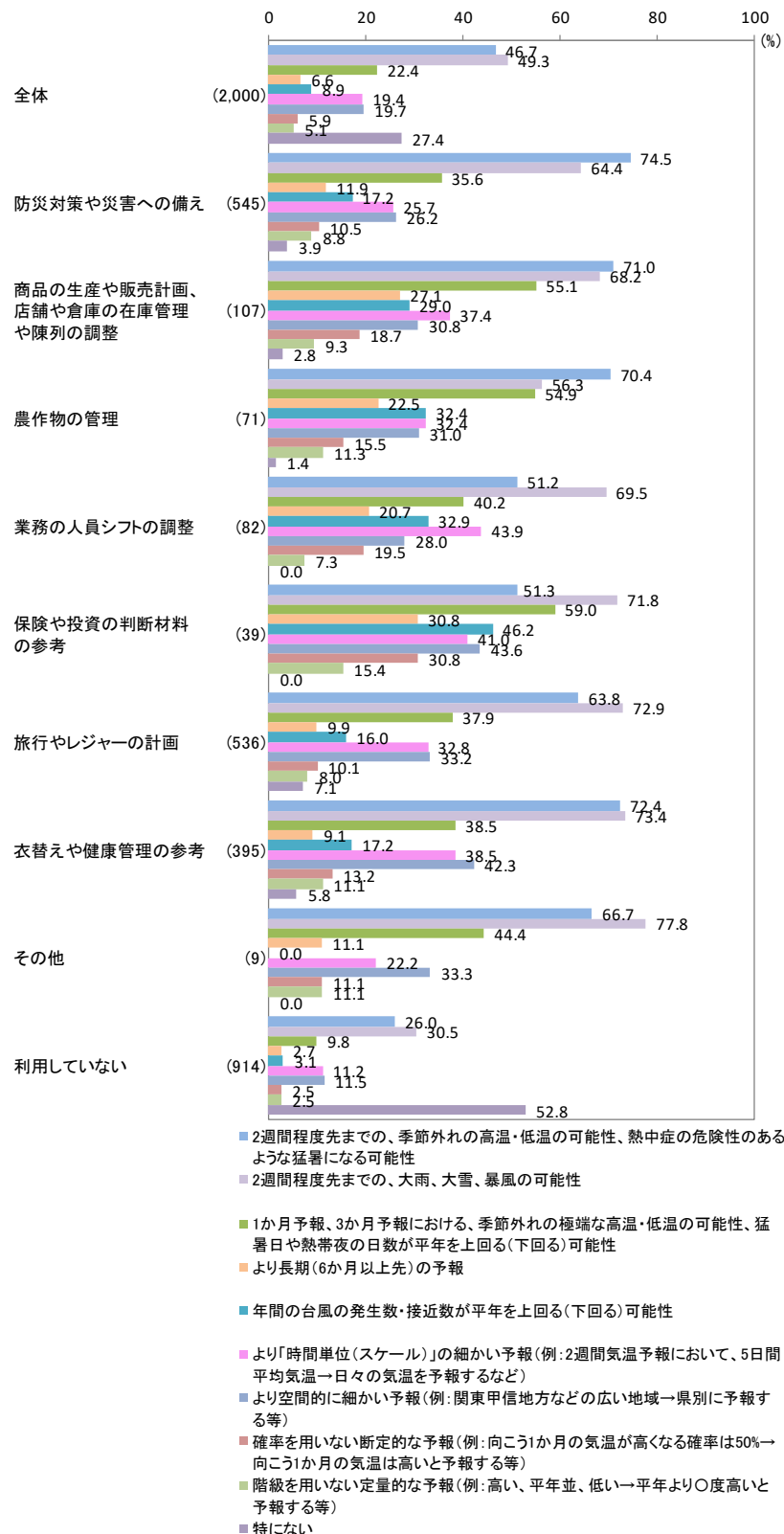
年代別にみると、「2週間程度先までの、季節外れの高温・低温の可能性、熱中症の危険性のあるような猛暑になる可能性」及び「2週間程度先までの、大雨、大雪、暴風の可能性」は年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。なお、「特にない」は年代が低いほど高くなる傾向がみられる。

地域別にみると、「2週間程度先までの、大雨、大雪、暴風の可能性」は北陸地方(67.9%)、九州南部・奄美地方(55.0%)で高くなっている。「2週間程度先までの、季節外れの高温・低温の可能性、熱中症の危険性のあるような猛暑になる可能性」は北陸地方(58.0%)で高い。「1か月予報、3か月予報における、季節外れの極端な高温・低温の可能性、猛暑日や熱帯夜の日数が平年を上回る(下回る)可能性」は九州北部地方(28.2%)、東北地方(27.9%)、九州南部・奄美地方(27.5%)で高くなっている。前述のほか、北陸地方では「より空間的に細かい予報(例:関東甲信地方などの

Ⅱ．調査結果

広い地域→県別に予報する等)」(27.2%)が、四国地方では「より「時間単位(スケール)」の細かい予報(例:2週間気温予報において、5日間平均気温→日々の気温を予報するなど)」(27.6%)が、九州北部地方では「年間の台風の発生数・接近数が平年を上回る(下回る)可能性」(15.3%)が、九州南部・奄美地方では「より「時間単位(スケール)」の細かい予報(例:2週間気温予報において、5日間平均気温→日々の気温を予報するなど)」(27.5%)、「年間の台風の発生数・接近数が平年を上回る(下回る)可能性」(20.0%)、「確率を用いない断定的な予報(例:向こう1か月の気温が高くなる確率は50%→向こう1か月の気温は高いと予報する等)」(15.0%)、「より長期(6か月以上先)の予報」(12.5%)が高くなっている。

【1. 2週間気温予報】



将来新たに極端な現象が発生する可能性のある情報で利用したい内容を、季節予報情報の利用理由【2 週間気温予報】でみると、

『防災対策や災害への備え』では、「2 週間程度先までの、季節外れの高温・低温の可能性、熱中症の危険性のあるような猛暑になる可能性」(74.5%)が最も高く、次いで「2 週間程度先までの、大雨、大雪、暴風の可能性」(64.4%)、「1 か月予報、3 か月予報における、季節外れの極端な高温・低温の可能性、猛暑日や熱帯夜の日数が平年を上回る(下回る)可能性」(35.6%)となっている。

Ⅱ. 調査結果

『商品の生産や販売計画、店舗や倉庫の在庫管理や陳列の調整』では、「2 週間程度先までの、季節外れの高温・低温の可能性、熱中症の危険性のあるような猛暑になる可能性」(71.0%)が最も高く、次いで「2 週間程度先までの、大雨、大雪、暴風の可能性」(68.2%)、「1 か月予報、3 か月予報における、季節外れの極端な高温・低温の可能性、猛暑日や熱帯夜の日数が平年を上回る（下回る）可能性」(55.1%)となっている。

『農作物の管理』では、「2 週間程度先までの、季節外れの高温・低温の可能性、熱中症の危険性のあるような猛暑になる可能性」(70.4%)が最も高く、次いで「2 週間程度先までの、大雨、大雪、暴風の可能性」(56.3%)、「1 か月予報、3 か月予報における、季節外れの極端な高温・低温の可能性、猛暑日や熱帯夜の日数が平年を上回る（下回る）可能性」(54.9%)となっている。

『業務の人員シフトの調整』では、「2 週間程度先までの、大雨、大雪、暴風の可能性」(69.5%)が最も高く、次いで「2 週間程度先までの、季節外れの高温・低温の可能性、熱中症の危険性のあるような猛暑になる可能性」(51.2%)、「より「時間単位（スケール）」の細かい予報（例：2 週間気温予報において、5 日間平均気温→日々の気温を予報するなど）」(43.9%)となっている。

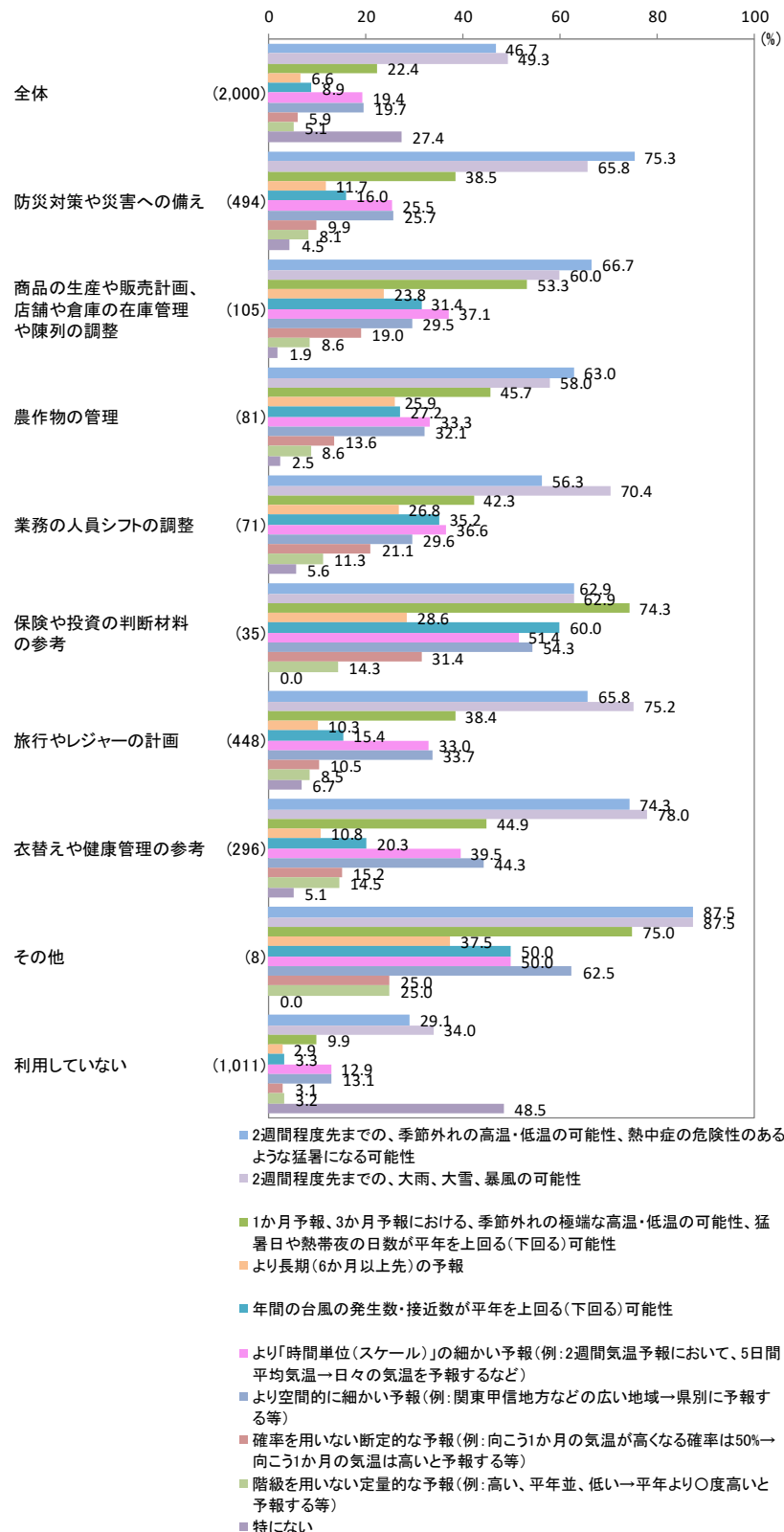
『保険や投資の判断材料の参考』では、「2 週間程度先までの、大雨、大雪、暴風の可能性」(71.8%)が最も高く、次いで「1 か月予報、3 か月予報における、季節外れの極端な高温・低温の可能性、猛暑日や熱帯夜の日数が平年を上回る（下回る）可能性」(59.0%)、「2 週間程度先までの、季節外れの高温・低温の可能性、熱中症の危険性のあるような猛暑になる可能性」(51.3%)となっている。

『旅行やレジャーの計画』では、「2 週間程度先までの、大雨、大雪、暴風の可能性」(72.9%)が最も高く、次いで「2 週間程度先までの、季節外れの高温・低温の可能性、熱中症の危険性のあるような猛暑になる可能性」(63.8%)、「1 か月予報、3 か月予報における、季節外れの極端な高温・低温の可能性、猛暑日や熱帯夜の日数が平年を上回る（下回る）可能性」(37.9%)となっている。

『衣替えや健康管理の参考』では、「2 週間程度先までの、大雨、大雪、暴風の可能性」(73.4%)が最も高く、次いで「2 週間程度先までの、季節外れの高温・低温の可能性、熱中症の危険性のあるような猛暑になる可能性」(72.4%)、「より空間的に細かい予報（例：関東甲信地方などの広い地域→県別に予報する等）」(42.3%)となっている。

『利用していない』では、「特にない」が全体と比較して高い。

【2. 早期天候情報】



将来新たに極端な現象が発生する可能性のある情報で利用したい内容を、季節予報情報の利用理由【早期天候情報】でみると、

『防災対策や災害への備え』では、「2週間程度先までの、季節外れの高温・低温の可能性、熱中症の危険性のあるような猛暑になる可能性」(75.3%)が最も高く、次いで「2週間程度先までの、大雨、大雪、暴風の可能性」(65.8%)、「1か月予報、3か月予報における、季節外れの極端な高温・低温の可能性、猛暑日や熱帯夜の日数が平年を上回る(下回る)可能性」(38.5%)となっている。

Ⅱ. 調査結果

『商品の生産や販売計画、店舗や倉庫の在庫管理や陳列の調整』では、「2 週間程度先までの、季節外れの高温・低温の可能性、熱中症の危険性のあるような猛暑になる可能性」(66.7%)が最も高く、次いで「2 週間程度先までの、大雨、大雪、暴風の可能性」(60.0%)、「1 か月予報、3 か月予報における、季節外れの極端な高温・低温の可能性、猛暑日や熱帯夜の日数が平年を上回る（下回る）可能性」(53.3%)となっている。

『農作物の管理』では、「2 週間程度先までの、季節外れの高温・低温の可能性、熱中症の危険性のあるような猛暑になる可能性」(63.0%)が最も高く、次いで「2 週間程度先までの、大雨、大雪、暴風の可能性」(58.0%)、「1 か月予報、3 か月予報における、季節外れの極端な高温・低温の可能性、猛暑日や熱帯夜の日数が平年を上回る（下回る）可能性」(45.7%)となっている。

『業務の人員シフトの調整』では、「2 週間程度先までの、大雨、大雪、暴風の可能性」(70.4%)が最も高く、次いで「2 週間程度先までの、季節外れの高温・低温の可能性、熱中症の危険性のあるような猛暑になる可能性」(56.3%)、「1 か月予報、3 か月予報における、季節外れの極端な高温・低温の可能性、猛暑日や熱帯夜の日数が平年を上回る（下回る）可能性」(42.3%)となっている。

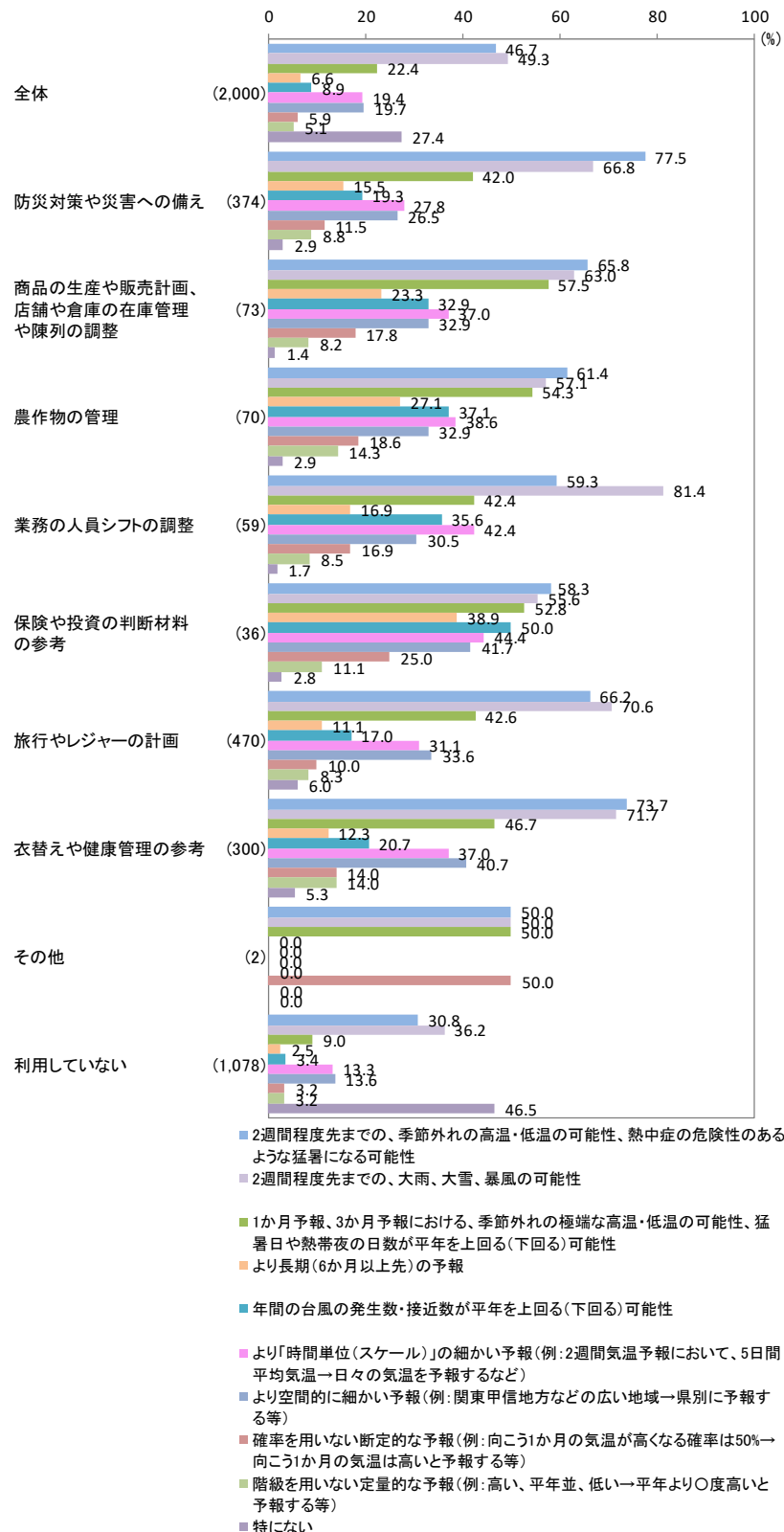
『保険や投資の判断材料の参考』では、「1 か月予報、3 か月予報における、季節外れの極端な高温・低温の可能性、猛暑日や熱帯夜の日数が平年を上回る（下回る）可能性」(74.3%)が最も高く、次いで「2 週間程度先までの、季節外れの高温・低温の可能性、熱中症の危険性のあるような猛暑になる可能性」と「2 週間程度先までの、大雨、大雪、暴風の可能性」(62.9%)、「年間の台風の発生数・接近数が平年を上回る（下回る）可能性」(60.0%)となっている。

『旅行やレジャーの計画』では、「2 週間程度先までの、大雨、大雪、暴風の可能性」(75.2%)が最も高く、次いで「2 週間程度先までの、季節外れの高温・低温の可能性、熱中症の危険性のあるような猛暑になる可能性」(65.8%)、「1 か月予報、3 か月予報における、季節外れの極端な高温・低温の可能性、猛暑日や熱帯夜の日数が平年を上回る（下回る）可能性」(38.4%)となっている。

『衣替えや健康管理の参考』では、「2 週間程度先までの、大雨、大雪、暴風の可能性」(78.0%)が最も高く、次いで「2 週間程度先までの、季節外れの高温・低温の可能性、熱中症の危険性のあるような猛暑になる可能性」(74.3%)、「1 か月予報、3 か月予報における、季節外れの極端な高温・低温の可能性、猛暑日や熱帯夜の日数が平年を上回る（下回る）可能性」(44.9%)となっている。

『利用していない』では、「特にない」が全体と比較して高い。

【3. 1 か月予報】



将来新たに極端な現象が発生する可能性のある情報で利用したい内容を、季節予報情報の利用理由【1 か月予報】でみると、

『防災対策や災害への備え』では、「2 週間程度先までの、季節外れの高温・低温の可能性、熱中症の危険性のあるような猛暑になる可能性」(77.5%)が最も高く、次いで「2 週間程度先までの、大雨、大雪、暴風の可能性」(66.8%)、「1 か月予報、3 か月予報における、季節外れの極端な高温・低温の可能性、猛暑日や熱帯夜の日数が平年を上回る(下回る)可能性」(42.0%)となっている。

Ⅱ. 調査結果

『商品の生産や販売計画、店舗や倉庫の在庫管理や陳列の調整』では、「2 週間程度先までの、季節外れの高温・低温の可能性、熱中症の危険性のあるような猛暑になる可能性」(65.8%)が最も高く、次いで「2 週間程度先までの、大雨、大雪、暴風の可能性」(63.0%)、「1 か月予報、3 か月予報における、季節外れの極端な高温・低温の可能性、猛暑日や熱帯夜の日数が平年を上回る（下回る）可能性」(57.5%)となっている。

『農作物の管理』では、「2 週間程度先までの、季節外れの高温・低温の可能性、熱中症の危険性のあるような猛暑になる可能性」(61.4%)が最も高く、次いで「2 週間程度先までの、大雨、大雪、暴風の可能性」(57.1%)、「1 か月予報、3 か月予報における、季節外れの極端な高温・低温の可能性、猛暑日や熱帯夜の日数が平年を上回る（下回る）可能性」(54.3%)となっている。

『業務の人員シフトの調整』では、「2 週間程度先までの、大雨、大雪、暴風の可能性」(81.4%)が最も高く、次いで「2 週間程度先までの、季節外れの高温・低温の可能性、熱中症の危険性のあるような猛暑になる可能性」(59.3%)、「1 か月予報、3 か月予報における、季節外れの極端な高温・低温の可能性、猛暑日や熱帯夜の日数が平年を上回る（下回る）可能性」と「より「時間単位（スケール）」の細かい予報（例：2 週間気温予報において、5 日間平均気温→日々の気温を予報するなど）」(42.4%)となっている。

『保険や投資の判断材料の参考』では、「2 週間程度先までの、季節外れの高温・低温の可能性、熱中症の危険性のあるような猛暑になる可能性」(58.3%)が最も高く、次いで「2 週間程度先までの、大雨、大雪、暴風の可能性」(55.6%)、「1 か月予報、3 か月予報における、季節外れの極端な高温・低温の可能性、猛暑日や熱帯夜の日数が平年を上回る（下回る）可能性」(52.8%)となっている。

『旅行やレジャーの計画』では、「2 週間程度先までの、大雨、大雪、暴風の可能性」(70.6%)が最も高く、次いで「2 週間程度先までの、季節外れの高温・低温の可能性、熱中症の危険性のあるような猛暑になる可能性」(66.2%)、「1 か月予報、3 か月予報における、季節外れの極端な高温・低温の可能性、猛暑日や熱帯夜の日数が平年を上回る（下回る）可能性」(42.6%)となっている。

『衣替えや健康管理の参考』では、「2 週間程度先までの、季節外れの高温・低温の可能性、熱中症の危険性のあるような猛暑になる可能性」(73.7%)が最も高く、次いで「2 週間程度先までの、大雨、大雪、暴風の可能性」(71.7%)、「1 か月予報、3 か月予報における、季節外れの極端な高温・低温の可能性、猛暑日や熱帯夜の日数が平年を上回る（下回る）可能性」(46.7%)となっている。

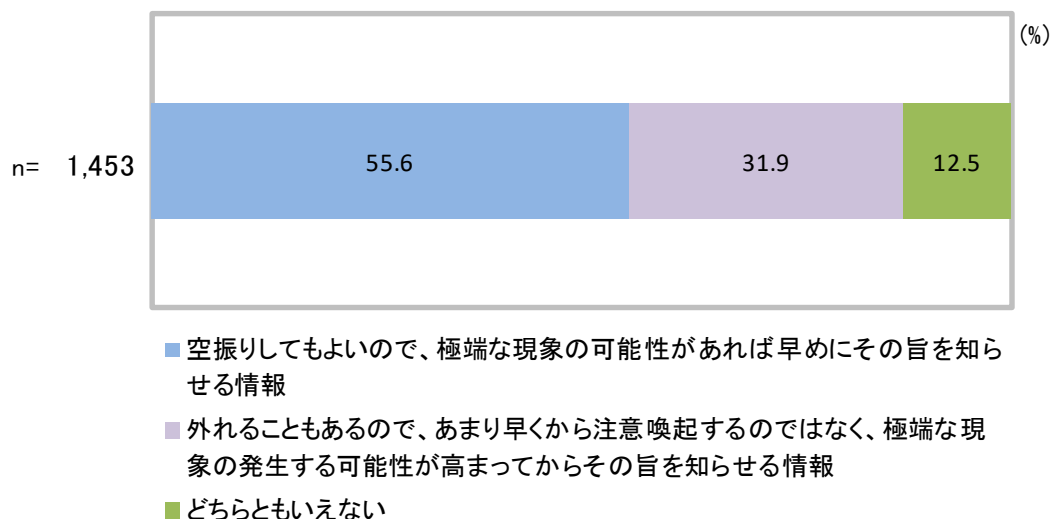
『利用していない』では、「特にない」が全体と比較して高い。

(4) 先(未来)の気象予測で利用しやすい情報

問 25 気象の予測では、時間的に先(未来)の予測ほど精度が低くなる性質があります。もし1週間から2週間程度先に猛暑や暴風等の極端な現象が発生する可能性の予報が出されるとしたら、次の1～2に示す情報のどちらが利用しやすいですか？

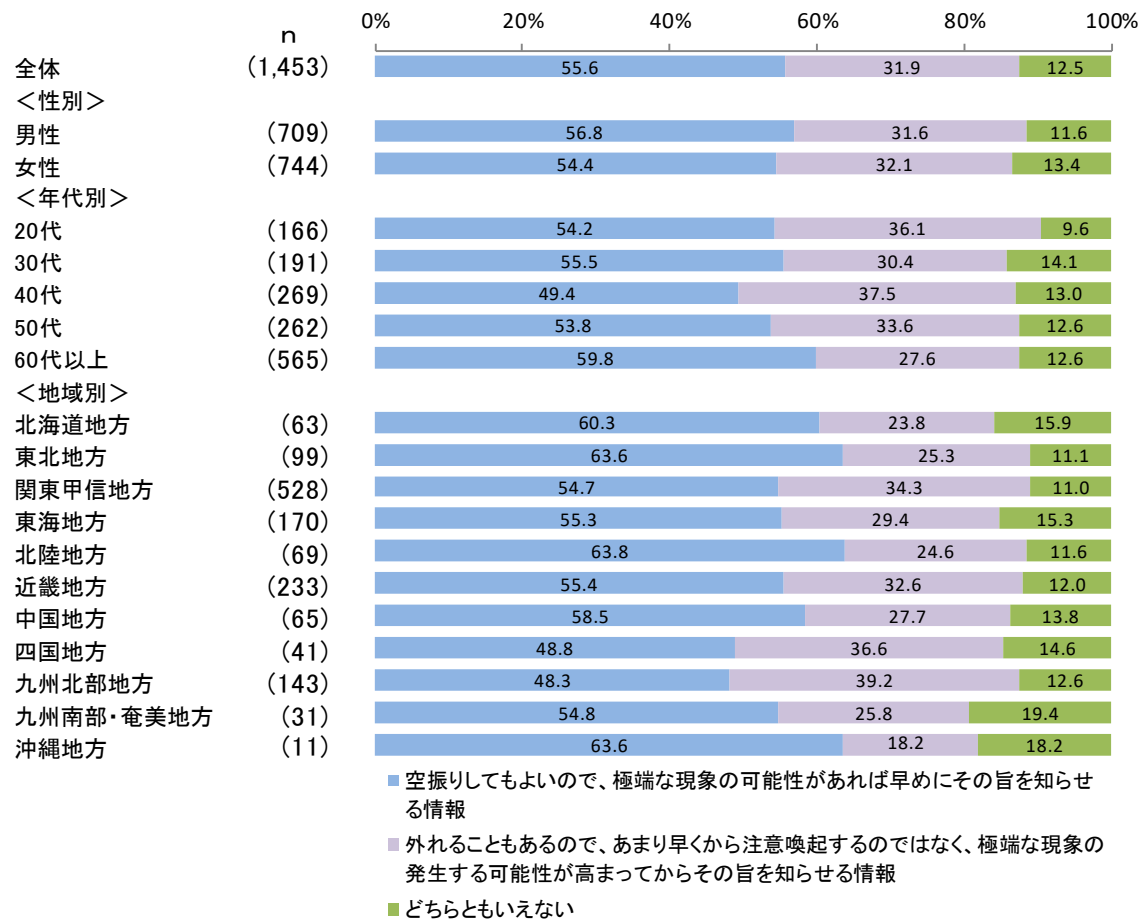
n=1,453

ベース：将来新たに極端な現象が発生する可能性のある情報で利用したい内容のある方



1週間から2週間程度先に猛暑や暴風等の極端な現象が発生する可能性の予報で利用しやすい情報については、「空振りしてもよいので、極端な現象の可能性があれば早めにその旨を知らせる情報」(55.6%)、「外れることもあるので、あまり早くから注意喚起するのではなく、極端な現象の発生する可能性が高まってからその旨を知らせる情報」(31.9)、「どちらともいえない」(12.5)となっている。

Ⅱ. 調査結果

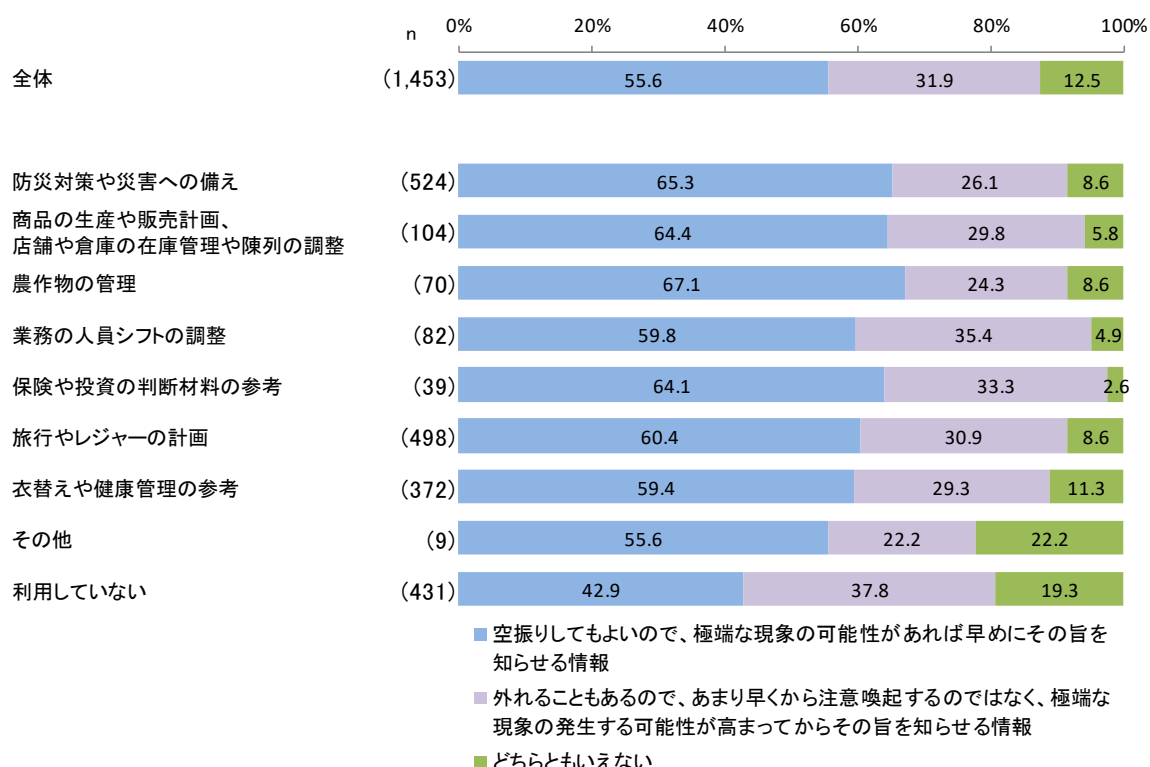


性別にみると、全体と同様の傾向にある。

年代別にみると、「外れることもあるので、あまり早くから注意喚起するのではなく、極端な現象の発生する可能性が高まってからその旨を知らせる情報」は40代(37.5%)で高くなっている。

地域別にみると、「空振りしてもよいので、極端な現象の可能性があれば早めにその旨を知らせる情報」は北陸地方(63.8%)、東北地方(63.6%)で高くなっている。「外れることもあるので、あまり早くから注意喚起するのではなく、極端な現象の発生する可能性が高まってからその旨を知らせる情報」は九州北部地方(39.2%)で高い。

【1. 2週間気温予報】



先(未来)の気象予測で利用しやすい情報を、季節予報情報の利用理由【2週間気温予報】でみると、

『防災対策や災害への備え』では、「空振りしてもよいので、極端な現象の可能性があれば早めにその旨を知らせる情報」(65.3%)が最も高く、次いで「外れることもあるので、あまり早くから注意喚起するのではなく、極端な現象の発生する可能性が高まってからその旨を知らせる情報」(26.1%)、「どちらともいえない」(8.6%)となっている。

『商品の生産や販売計画、店舗や倉庫の在庫管理や陳列の調整』では、「空振りしてもよいので、極端な現象の可能性があれば早めにその旨を知らせる情報」(64.4%)が最も高く、次いで「外れることもあるので、あまり早くから注意喚起するのではなく、極端な現象の発生する可能性が高まってからその旨を知らせる情報」(29.8%)、「どちらともいえない」(5.8%)となっている。

『農作物の管理』では、「空振りしてもよいので、極端な現象の可能性があれば早めにその旨を知らせる情報」(67.1%)が最も高く、次いで「外れることもあるので、あまり早くから注意喚起するのではなく、極端な現象の発生する可能性が高まってからその旨を知らせる情報」(24.3%)、「どちらともいえない」(8.6%)となっている。

『業務の人員シフトの調整』では、「空振りしてもよいので、極端な現象の可能性があれば早めにその旨を知らせる情報」(59.8%)が最も高く、次いで「外れることもあるので、あまり早くから注意喚起するのではなく、極端な現象の発生する可能性が高まってからその旨を知らせる情報」(35.4%)、「どちらともいえない」(4.9%)となっている。

『保険や投資の判断材料の参考』では、「空振りしてもよいので、極端な現象の可能性があれば早めにその旨を知らせる情報」(64.1%)が最も高く、次いで「外れることもあるので、あまり早くから注意喚起するのではなく、極端な現象の発生する可能性が高まってからその旨を知らせる情報」(33.3%)、「どちらともいえない」

Ⅱ. 調査結果

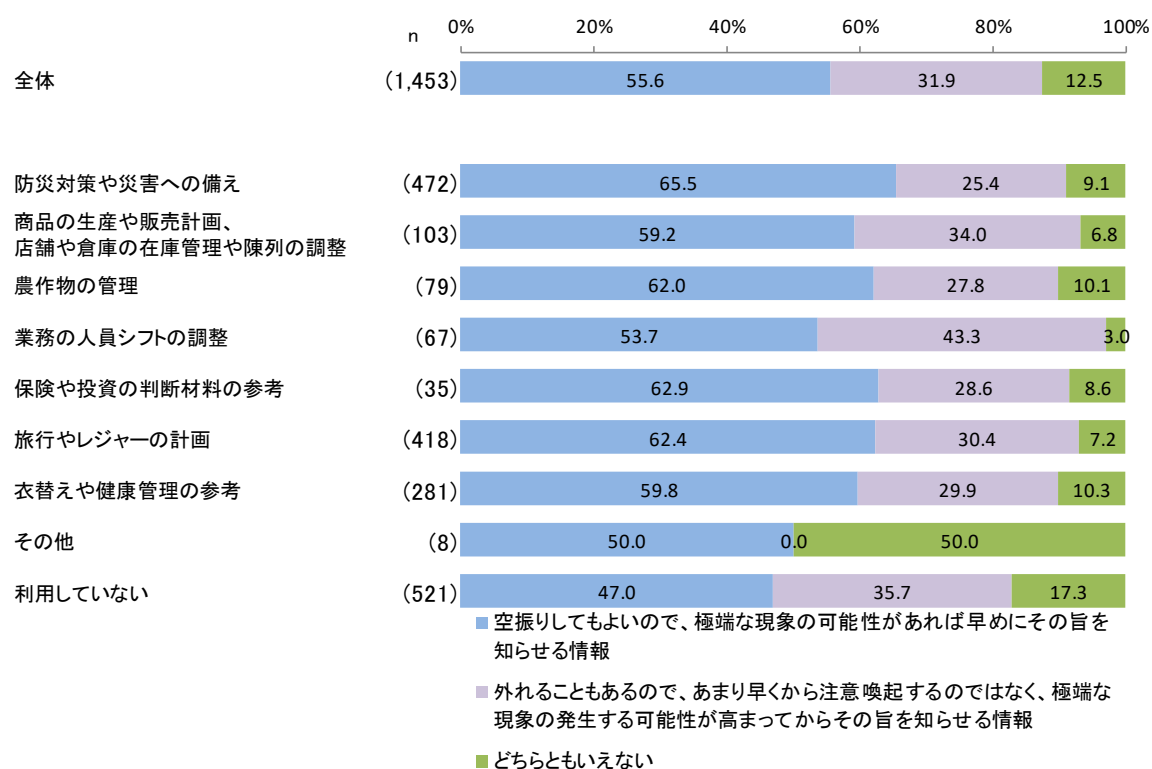
(2.6%)となっている。

『旅行やレジャーの計画』では、「空振りしてもよいので、極端な現象の可能性があれば早めにその旨を知らせる情報」(60.4%)が最も高く、次いで「外れることもあるので、あまり早くから注意喚起するのではなく、極端な現象の発生する可能性が高まってからその旨を知らせる情報」(30.9%)、「どちらともいえない」(8.6%)となっている。

『衣替えや健康管理の参考』では、「空振りしてもよいので、極端な現象の可能性があれば早めにその旨を知らせる情報」(59.4%)が最も高く、次いで「外れることもあるので、あまり早くから注意喚起するのではなく、極端な現象の発生する可能性が高まってからその旨を知らせる情報」(29.3%)、「どちらともいえない」(11.3%)となっている。

『利用していない』では、「どちらともいえない」が全体と比較して高い。

【2. 早期天候情報】



先(未来)の気象予測で利用しやすい情報を、季節予報情報の利用理由【早期天候情報】でみると、

『防災対策や災害への備え』では、「空振りしてもよいので、極端な現象の可能性があれば早めにその旨を知らせる情報」(65.5%)が最も高く、次いで「外れることもあるので、あまり早くから注意喚起するのではなく、極端な現象の発生する可能性が高まってからその旨を知らせる情報」(25.4%)、「どちらともいえない」(9.1%)となっている。

『商品の生産や販売計画、店舗や倉庫の在庫管理や陳列の調整』では、「空振りしてもよいので、極端な現象の可能性があれば早めにその旨を知らせる情報」(59.2%)が最も高く、次いで「外れることもあるので、あまり早くから注意喚起するのではなく、極端な現象の発生する可能性が高まってからその旨を知らせる情報」(34.0%)、「どちらともいえない」(6.8%)となっている。

『農作物の管理』では、「空振りしてもよいので、極端な現象の可能性があれば早めにその旨を知らせる情報」(62.0%)が最も高く、次いで「外れることもあるので、あまり早くから注意喚起するのではなく、極端な現象の発生する可能性が高まってからその旨を知らせる情報」(27.8%)、「どちらともいえない」(10.1%)となっている。

『業務の人員シフトの調整』では、「空振りしてもよいので、極端な現象の可能性があれば早めにその旨を知らせる情報」(53.7%)が最も高く、次いで「外れることもあるので、あまり早くから注意喚起するのではなく、極端な現象の発生する可能性が高まってからその旨を知らせる情報」(43.3%)、「どちらともいえない」(3.0%)となっている。

『保険や投資の判断材料の参考』では、「空振りしてもよいので、極端な現象の可能性があれば早めにその旨を知らせる情報」(62.9%)が最も高く、次いで「外れることもあるので、あまり早くから注意喚起するのではなく、極端な現象の発生する可能性が高まってからその旨を知らせる情報」(28.6%)、「どちらともいえない」

Ⅱ. 調査結果

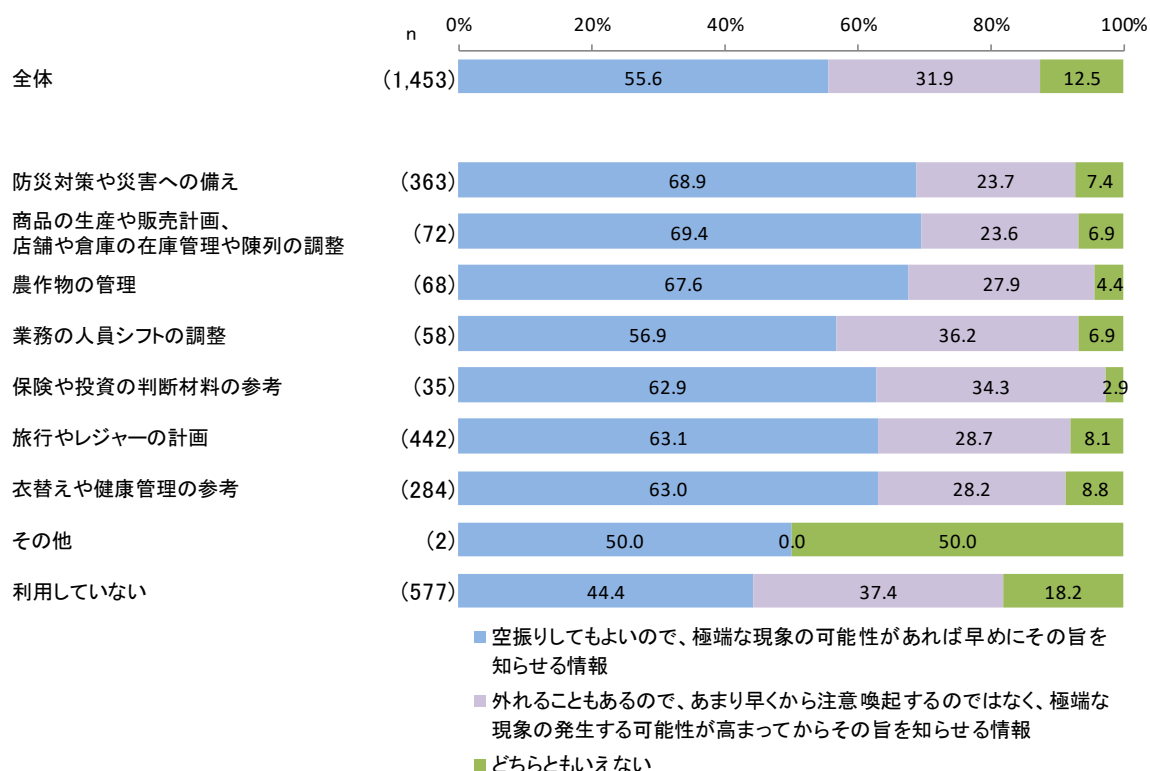
(8.6%)となっている。

『旅行やレジャーの計画』では、「空振りしてもよいので、極端な現象の可能性があれば早めにその旨を知らせる情報」(62.4%)が最も高く、次いで「外れることもあるので、あまり早くから注意喚起するのではなく、極端な現象の発生する可能性が高まってからその旨を知らせる情報」(30.4%)、「どちらともいえない」(7.2%)となっている。

『衣替えや健康管理の参考』では、「空振りしてもよいので、極端な現象の可能性があれば早めにその旨を知らせる情報」(59.8%)が最も高く、次いで「外れることもあるので、あまり早くから注意喚起するのではなく、極端な現象の発生する可能性が高まってからその旨を知らせる情報」(29.9%)、「どちらともいえない」(10.3%)となっている。

『利用していない』では、「どちらともいえない」が全体と比較して高い。

【3. 1 か月予報】



先(未来)の気象予測で利用しやすい情報を、季節予報情報の利用理由【1 か月予報】でみると、

『防災対策や災害への備え』では、「空振りしてもよいので、極端な現象の可能性があれば早めにその旨を知らせる情報」(68.9%)が最も高く、次いで「外れることもあるので、あまり早くから注意喚起するのではなく、極端な現象の発生する可能性が高まってからその旨を知らせる情報」(23.7%)、「どちらともいえない」(7.4%)となっている。

『商品の生産や販売計画、店舗や倉庫の在庫管理や陳列の調整』では、「空振りしてもよいので、極端な現象の可能性があれば早めにその旨を知らせる情報」(69.4%)が最も高く、次いで「外れることもあるので、あまり早くから注意喚起するのではなく、極端な現象の発生する可能性が高まってからその旨を知らせる情報」(23.6%)、「どちらともいえない」(6.9%)となっている。

『農作物の管理』では、「空振りしてもよいので、極端な現象の可能性があれば早めにその旨を知らせる情報」(67.6%)が最も高く、次いで「外れることもあるので、あまり早くから注意喚起するのではなく、極端な現象の発生する可能性が高まってからその旨を知らせる情報」(27.9%)、「どちらともいえない」(4.4%)となっている。

『業務の人員シフトの調整』では、「空振りしてもよいので、極端な現象の可能性があれば早めにその旨を知らせる情報」(56.9%)が最も高く、次いで「外れることもあるので、あまり早くから注意喚起するのではなく、極端な現象の発生する可能性が高まってからその旨を知らせる情報」(36.2%)、「どちらともいえない」(6.9%)となっている。

Ⅱ．調査結果

『保険や投資の判断材料の参考』では、「空振りしてもよいので、極端な現象の可能性があれば早めにその旨を知らせる情報」(62.9%)が最も高く、次いで「外れることもあるので、あまり早くから注意喚起するのではなく、極端な現象の発生する可能性が高まってからその旨を知らせる情報」(34.3%)、「どちらともいえない」(2.9%)となっている。

『旅行やレジャーの計画』では、「空振りしてもよいので、極端な現象の可能性があれば早めにその旨を知らせる情報」(63.1%)が最も高く、次いで「外れることもあるので、あまり早くから注意喚起するのではなく、極端な現象の発生する可能性が高まってからその旨を知らせる情報」(28.7%)、「どちらともいえない」(8.1%)となっている。

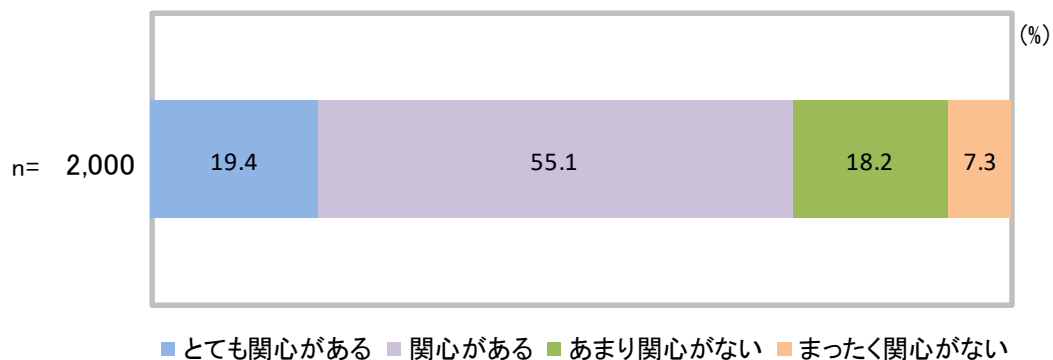
『衣替えや健康管理の参考』では、「空振りしてもよいので、極端な現象の可能性があれば早めにその旨を知らせる情報」(63.0%)が最も高く、次いで「外れることもあるので、あまり早くから注意喚起するのではなく、極端な現象の発生する可能性が高まってからその旨を知らせる情報」(28.2%)、「どちらともいえない」(8.8%)となっている。

『利用していない』では、「どちらともいえない」が全体と比較して高い。

6. 気候変動について

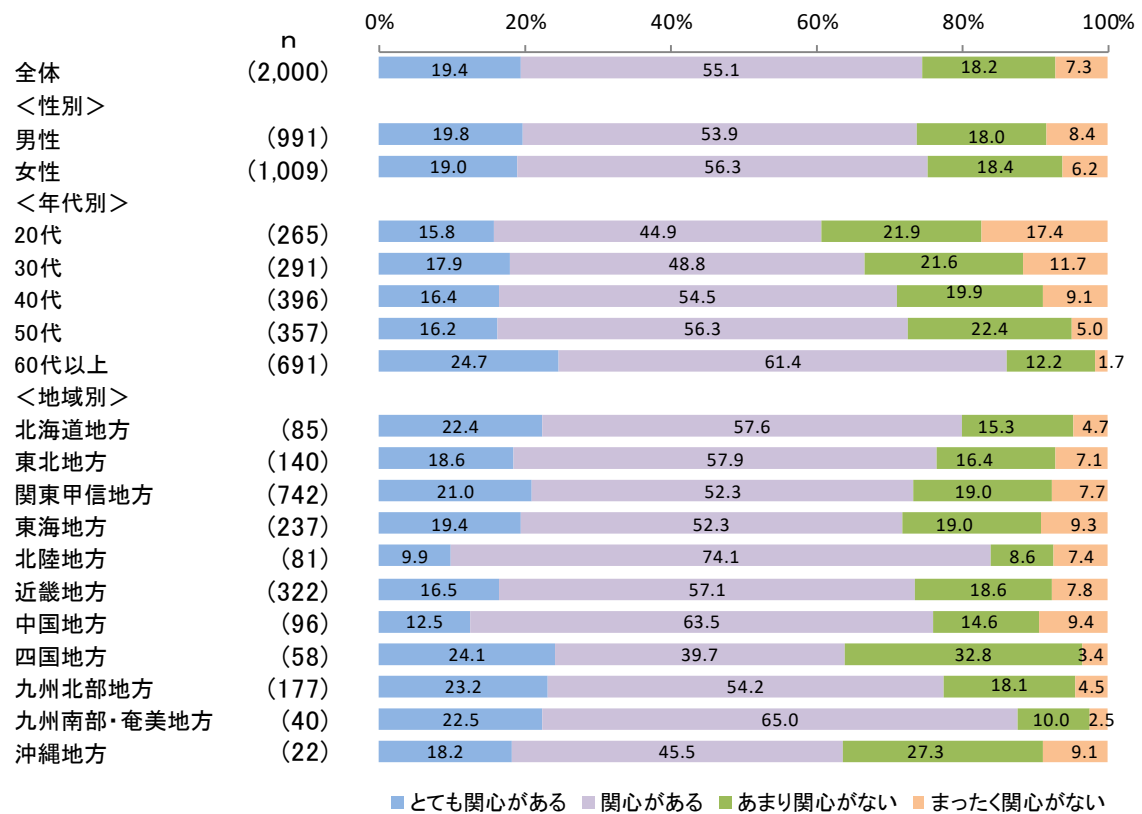
(1) 気候変動が引き起こす問題を理解するために必要な情報の関心度

問 26 あなたは、気候変動やそれが引き起こす問題を理解するために必要な情報にどの程度関心がありますか。あてはまるものを1つ選んでください。



気候変動が引き起こす問題を理解するために必要な情報の関心度について、「とても関心がある」(19.4%)と「関心がある」(55.1%)を合わせた『関心がある(計)』は74.5%となっている。

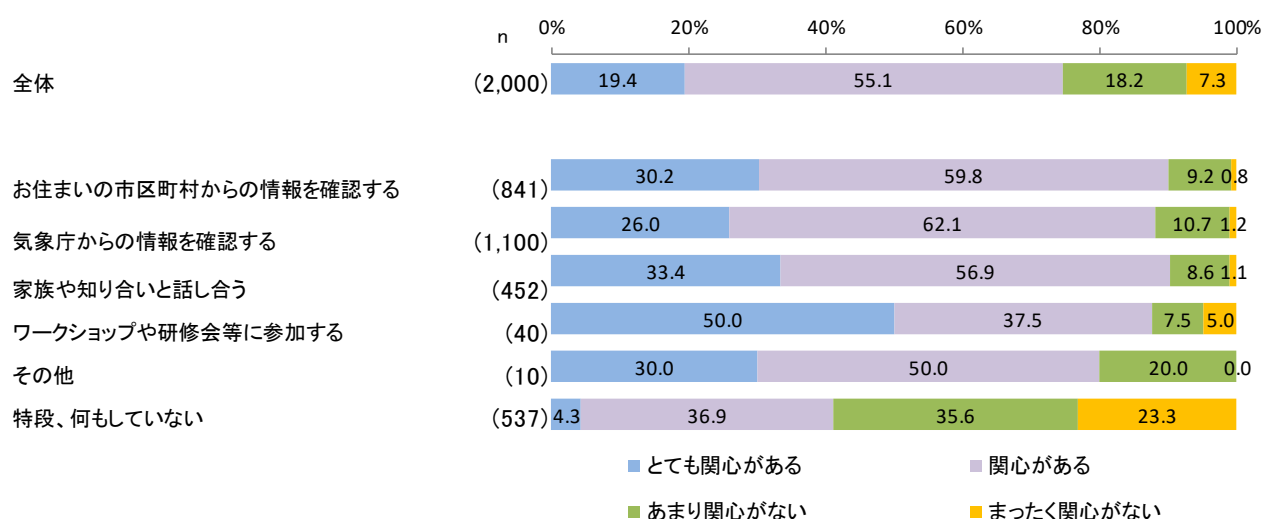
Ⅱ. 調査結果



性別にみると、全体と同様の傾向にある。

年代別にみると、『関心がある(計)』は年代が上がるにつれて高くなる傾向にある。

地域別にみると、『関心がある(計)』は九州南部・奄美地方(87.5%)、北陸地方(84.0%)、北海道地方(80.0%)で高くなっている。



気候変動やそれが引き起こす問題を理解するために必要な情報の関心度を、防災意識を向上させるための平時からの備えの状況別でみると、

『お住まいの市区町村からの情報を確認する』では、「関心がある」(59.8%)が最も高く、次いで「とても関心がある」(30.2%)、「あまり関心がない」(9.2%)、「まったく関心がない」(0.8%)となっている。

『気象庁からの情報を確認する』では、「関心がある」(62.1%)が最も高く、次いで「とても関心がある」(26.0%)、「あまり関心がない」(10.7%)、「まったく関心がない」(1.2%)となっている。

『家族や知り合いと話し合う』では、「関心がある」(56.9%)が最も高く、次いで「とても関心がある」(33.4%)、「あまり関心がない」(8.6%)、「まったく関心がない」(1.1%)となっている。

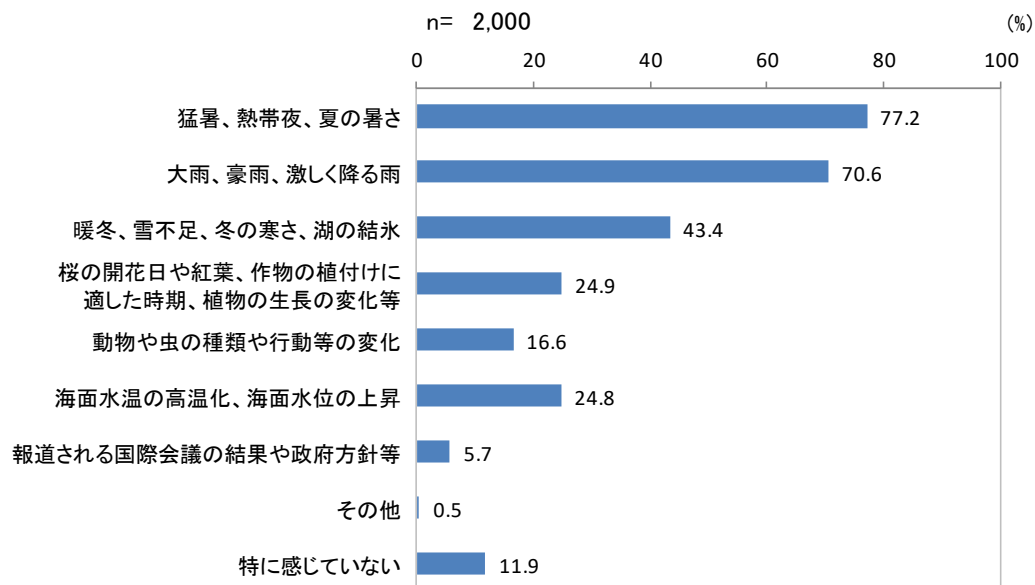
『ワークショップや研修会等に参加する』では、「とても関心がある」(50.0%)が最も高く、次いで「関心がある」(37.5%)、「あまり関心がない」(7.5%)、「まったく関心がない」(5.0%)となっている。

『特段、何もしていない』では、「関心がある」(36.9%)が最も高く、次いで「あまり関心がない」(35.6%)、「まったく関心がない」(23.3%)、「とても関心がある」(4.3%)となっている。

Ⅱ. 調査結果

(2) 気候変動の影響を感じる事柄

問 27 あなたは、どのような事柄で気候変動の影響を感じることがありますか。あてはまるものを全て選んでください。



気候変動の影響を感じる事柄については、「猛暑、熱帯夜、夏の暑さ」(77.2%)が最も高く、次いで「大雨、豪雨、激しく降る雨」(70.6%)、「暖冬、雪不足、冬の寒さ、湖の結氷」(43.4%)、「桜の開花日や紅葉、作物の植付けに適した時期、植物の生長の変化等」(24.9%)、「海面水温の高温化、海面水位の上昇」(24.8%)となっている。

Ⅱ. 調査結果

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

		n	猛暑、 熱帯夜、 夏の暑さ	大雨、 豪雨、 激しく降る雨	暖冬、 雪不足、 冬の寒さ、 湖の結氷	桜の開花日や紅葉、 作物の植付けに適した時期、 植物の生長の変化等	動物や虫の種類や行動等の変化	海面水温の高温化、 海面水位の上昇	報道される国際会議の結果や政府方針等	その他	特に感じていない
全体		2,000	77.2	70.6	43.4	24.9	16.6	24.8	5.7	0.5	11.9
性別	男性	991	72.8	66.4	39.4	18.6	12.8	22.4	5.4	0.2	14.4
	女性	1009	81.5	74.6	47.4	31.1	20.2	27.2	5.8	0.7	9.3
年代	20代	265	62.3	53.6	38.9	22.3	17.7	14.7	6.0	0.4	21.9
	30代	291	71.8	63.2	37.5	24.4	16.8	21.0	5.2	0.7	16.8
	40代	396	74.2	66.4	40.4	21.0	16.4	19.4	6.6	0.3	14.4
	50代	357	79.8	73.4	44.3	25.5	15.1	25.2	4.5	0.6	10.6
	60代以上	691	85.4	81.0	48.9	28.1	16.8	33.1	5.8	0.4	5.1
地域別	北海道地方	85	82.4	70.6	61.2	23.5	28.2	32.9	4.7	1.2	8.2
	東北地方	140	73.6	65.0	54.3	25.0	15.0	24.3	2.1	1.4	16.4
	関東甲信地方	742	76.8	69.7	40.2	27.6	15.8	25.2	5.8	0.1	12.4
	東海地方	237	76.4	70.9	45.1	22.8	14.8	24.1	4.6	-	13.9
	北陸地方	81	77.8	77.8	65.4	22.2	17.3	24.7	8.6	-	6.2
	近畿地方	322	76.4	70.5	37.9	22.7	19.6	23.0	5.3	1.2	12.4
	中国地方	96	72.9	67.7	42.7	15.6	14.6	18.8	5.2	-	12.5
	四国地方	58	77.6	72.4	37.9	27.6	17.2	19.0	12.1	-	13.8
	九州北部地方	177	84.7	75.7	44.6	27.1	14.1	28.2	4.5	0.6	5.1
	九州南部・奄美地方	40	77.5	80.0	27.5	27.5	15.0	30.0	15.0	-	7.5
	沖縄地方	22	63.6	54.5	31.8	13.6	9.1	22.7	9.1	-	22.7

性別にみると、「桜の開花日や紅葉、作物の植付けに適した時期、植物の生長の変化等」は男性(18.6%)に比べて女性(31.1%)で高くなっている。

年代別にみると、60代以上では「猛暑、熱帯夜、夏の暑さ」(85.4%)、「大雨、豪雨、激しく降る雨」(81.0%)、「暖冬、雪不足、冬の寒さ、湖の結氷」(48.9%)、「海面水温の高温化、海面水位の上昇」(33.1%)で高くなっている。

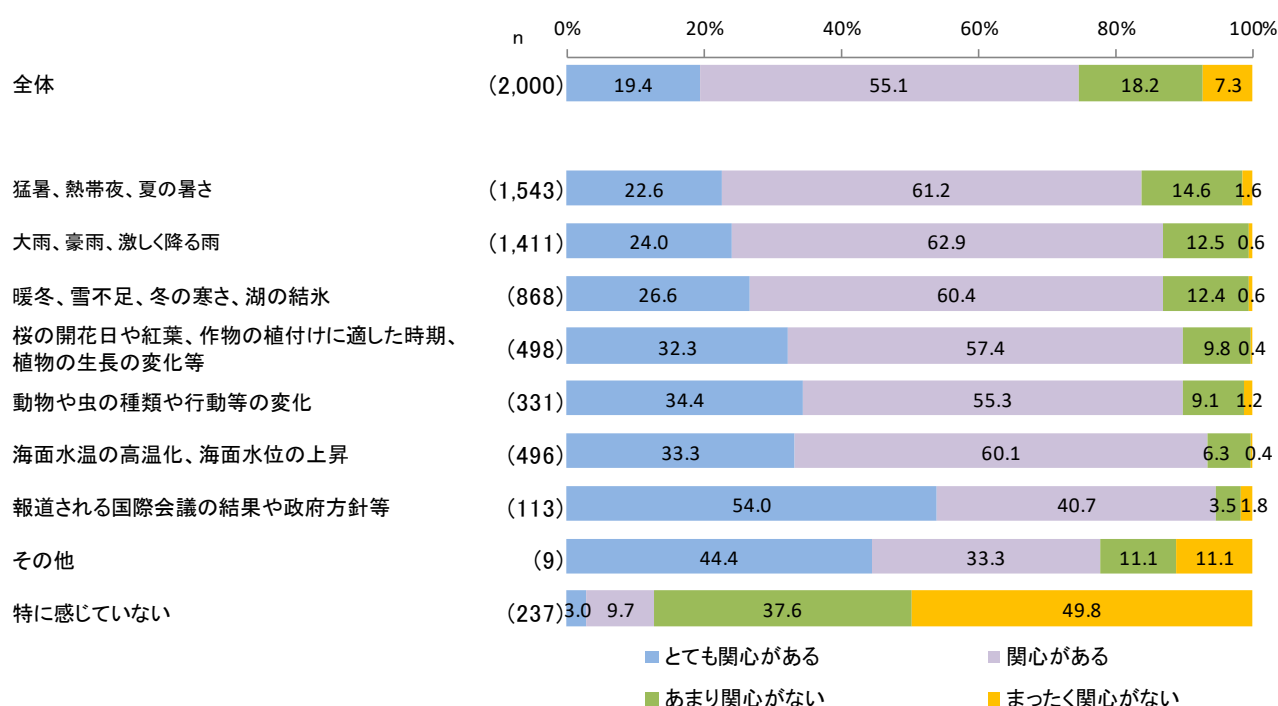
地域別にみると、「猛暑、熱帯夜、夏の暑さ」は九州北部地方(84.7%)、北海道地方(82.4%)で高くなっている。「大雨、豪雨、激しく降る雨」は九州南部・奄美地方(80.0%)、北陸地方(77.8%)、九州北部地方(75.7%)で高い。「暖冬、雪不足、冬の寒さ、湖の結氷」は北陸地方(65.4%)、北海道地方(61.2%)、東北地方(54.3%)で高くなっている。

「海面水温の高温化、海面水位の上昇」は北海道地方(32.9%)、九州南部・奄美地方(30.0%)で高い。

Ⅱ．調査結果

「動物や虫の種類や行動等の変化」は北海道地方(28.2%)で高くなっている。「報道される国際会議の結果や政府方針等」は九州南部・奄美地方(15.0%)、四国地方(12.1%)で高い。

Ⅱ. 調査結果



気候変動やそれが引き起こす問題を理解するために必要な情報の関心度を、気候変動の影響を感じる事柄を、別でみると、

『猛暑、熱帯夜、夏の暑さ』では、「関心がある」(61.2%)が最も高く、次いで「とても関心がある」(22.6%)、「あまり関心がない」(14.6%)、「まったく関心がない」(1.6%)となっている。

『大雨、豪雨、激しく降る雨』では、「関心がある」(62.9%)が最も高く、次いで「とても関心がある」(24.0%)、「あまり関心がない」(12.5%)、「まったく関心がない」(0.6%)となっている。

『暖冬、雪不足、冬の寒さ、湖の結氷』では、「関心がある」(60.4%)が最も高く、次いで「とても関心がある」(26.6%)、「あまり関心がない」(12.4%)、「まったく関心がない」(0.6%)となっている。

『桜の開花日や紅葉、作物の植付けに適した時期、植物の生長の変化等』では、「関心がある」(57.4%)が最も高く、次いで「とても関心がある」(32.3%)、「あまり関心がない」(9.8%)、「まったく関心がない」(0.4%)となっている。

『動物や虫の種類や行動等の変化』では、「関心がある」(55.3%)が最も高く、次いで「とても関心がある」(34.4%)、「あまり関心がない」(9.1%)、「まったく関心がない」(1.2%)となっている。

『海面水温の高温化、海面水位の上昇』では、「関心がある」(60.1%)が最も高く、次いで「とても関心がある」(33.3%)、「あまり関心がない」(6.3%)、「まったく関心がない」(0.4%)となっている。

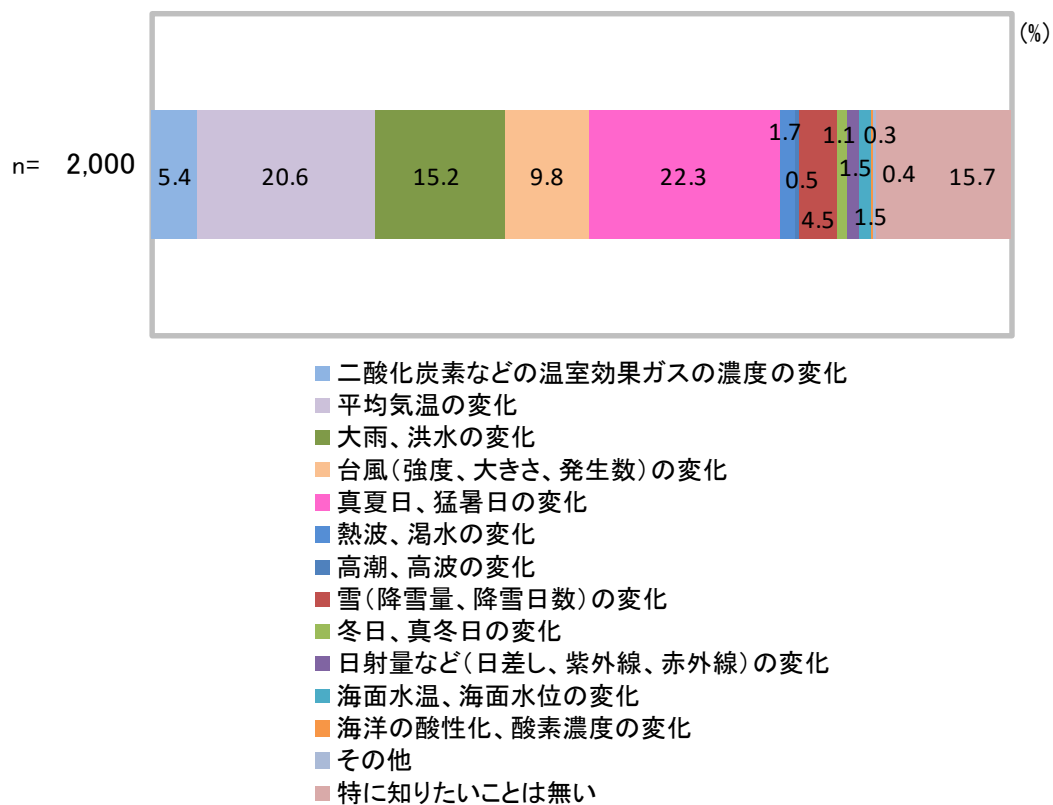
『報道される国際会議の結果や政府方針等』では、「とても関心がある」(54.0%)が最も高く、次いで「関心がある」(40.7%)、「あまり関心がない」(3.5%)、「まったく関心がない」(1.8%)となっている。

『特に感じていない』では、「まったく関心がない」「あまり関心がない」が全体と比較して高い。

Ⅱ. 調査結果

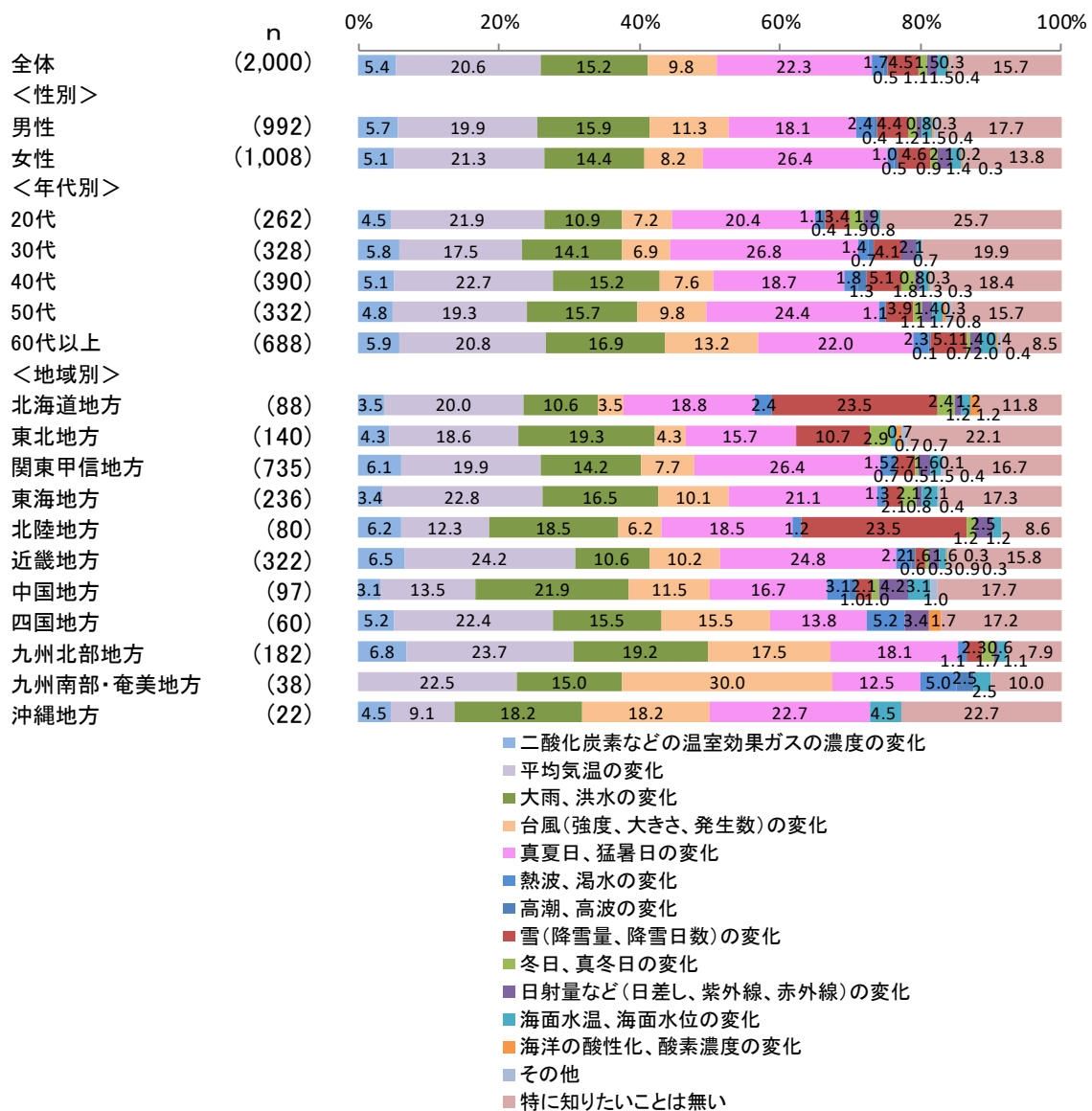
(3) 将来考えられる気候変動及びその影響等の予測で最も知りたい情報

問 28 あなたが、将来考えられる気候変動及びその影響等の予測でもっとも知りたいことは何ですか。
あてはまるものを1つ選んでください。



将来考えられる気候変動及びその影響等の予測で最も知りたい情報については、「真夏日、猛暑日の変化」(22.3%)が最も高く、次いで「平均気温の変化」(20.6%)、「大雨、洪水の変化」(15.2%)となっている。

Ⅱ. 調査結果

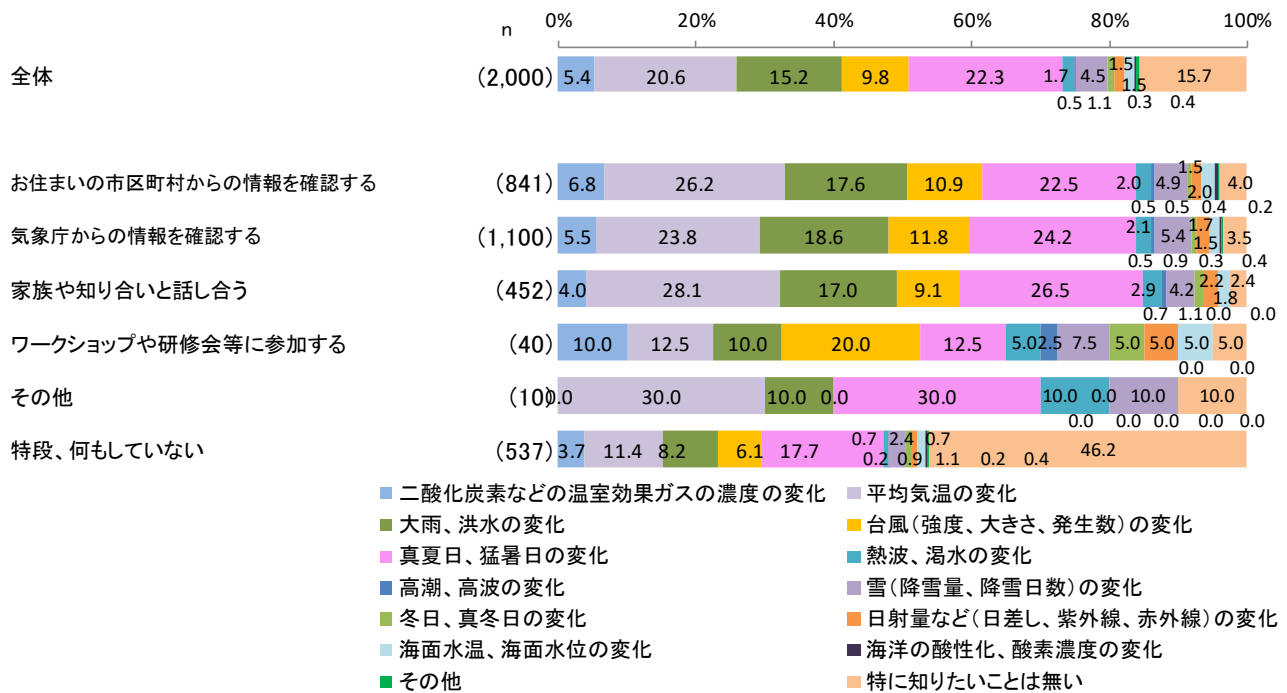


性別にみると、全体と同様の傾向にある。

年代別にみると、概ね全体と同様の傾向にあるが、「特に知りたいことは無い」が20代(25.7%)で高い。

地域別にみると、「大雨、洪水の変化」は中国地方(21.9%)で高くなっている。「台風(強度、大きさ、発生数)の変化」は九州南部・奄美地方(30.0%)、九州北部地方(17.5%)、四国地方(15.5%)で高い。「雪(降雪量、降雪日数)の変化」は北海道地方(23.5%)、北陸地方(23.5%)、東北地方(10.7%)で高くなっている。

Ⅱ. 調査結果



将来考えられる気候変動及びその影響等の予測でもっとも知りたい事柄を、防災意識を向上させるための平時からの備えの状況別でみると、

『お住まいの市区町村からの情報を確認する』では、「平均気温の変化」(26.2%)が最も高く、次いで「真夏日、猛暑日の変化」(22.5%)「大雨、洪水の変化」(17.6%)となっている。

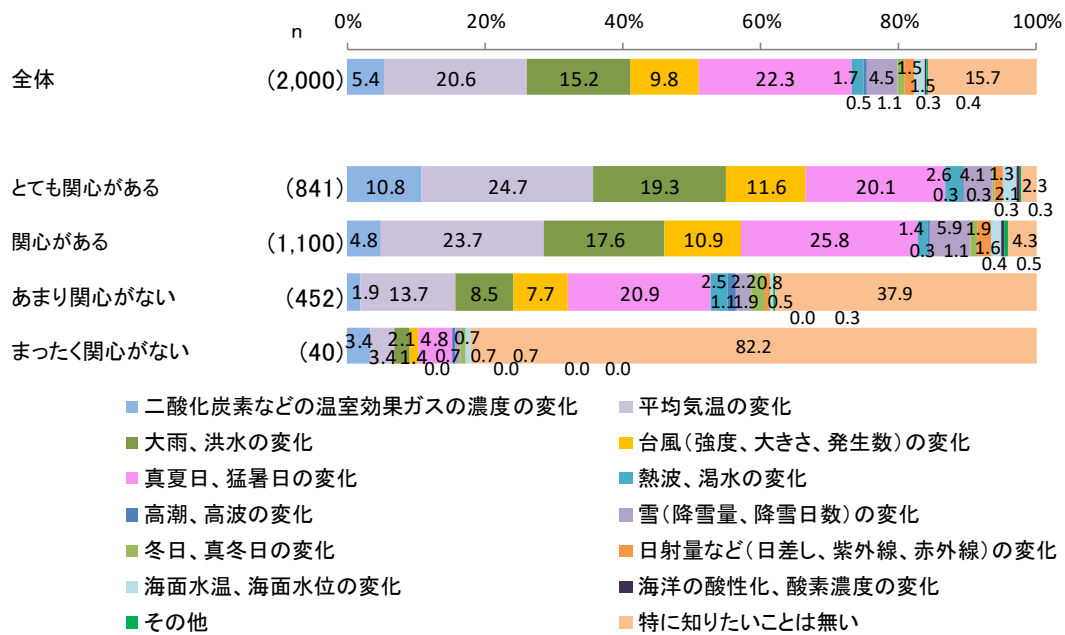
『気象庁からの情報を確認する』では、「真夏日、猛暑日の変化」(24.2%)が最も高く、次いで「平均気温の変化」(23.8%)、「大雨、洪水の変化」(18.6%)となっている。

『家族や知り合いと話し合う』では、「平均気温の変化」(28.1%)が最も高く、次いで「真夏日、猛暑日の変化」(26.5%)、「大雨、洪水の変化」(17.0%)となっている。

『ワークショップや研修会等に参加する』では、「台風(強度、大きさ、発生数)の変化」(20.0%)が最も高く、次いで「平均気温の変化」と「真夏日、猛暑日の変化」(12.5%)となっている。

『特段、何もしていない』では、「特に知りたいことは無い」が全体と比較して高い。

Ⅱ. 調査結果



将来考えられる気候変動及びその影響等の予測でもっとも知りたい事柄を、気候変動やそれが引き起こす問題を理解するために必要な情報の関心度別でみると、

『とても関心がある』層では、「平均気温の変化」(24.7%) が最も高く、次いで「真夏日、猛暑日の変化」(20.1%)、「大雨、洪水の変化」(19.3%)となっている。

『関心がある』層では、「真夏日、猛暑日の変化」(25.8%) が最も高く、次いで「平均気温の変化」(23.7%)「大雨、洪水の変化」(17.6%)となっている。

『あまり関心がない』層では、「特に知りたいことは無い」(37.9%) が最も高く、次いで「真夏日、猛暑日の変化」(20.9%)、「平均気温の変化」(13.7%)となっている。

『まったく関心がない』層では、「特に知りたいことは無い」が全体と比較して高い。

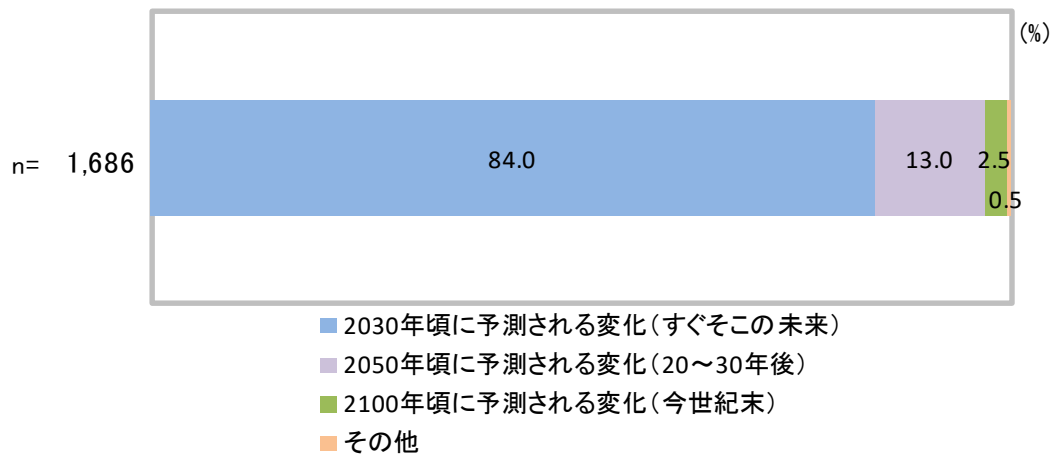
Ⅱ. 調査結果

(4) 気候変動及びその影響等の予測される時期

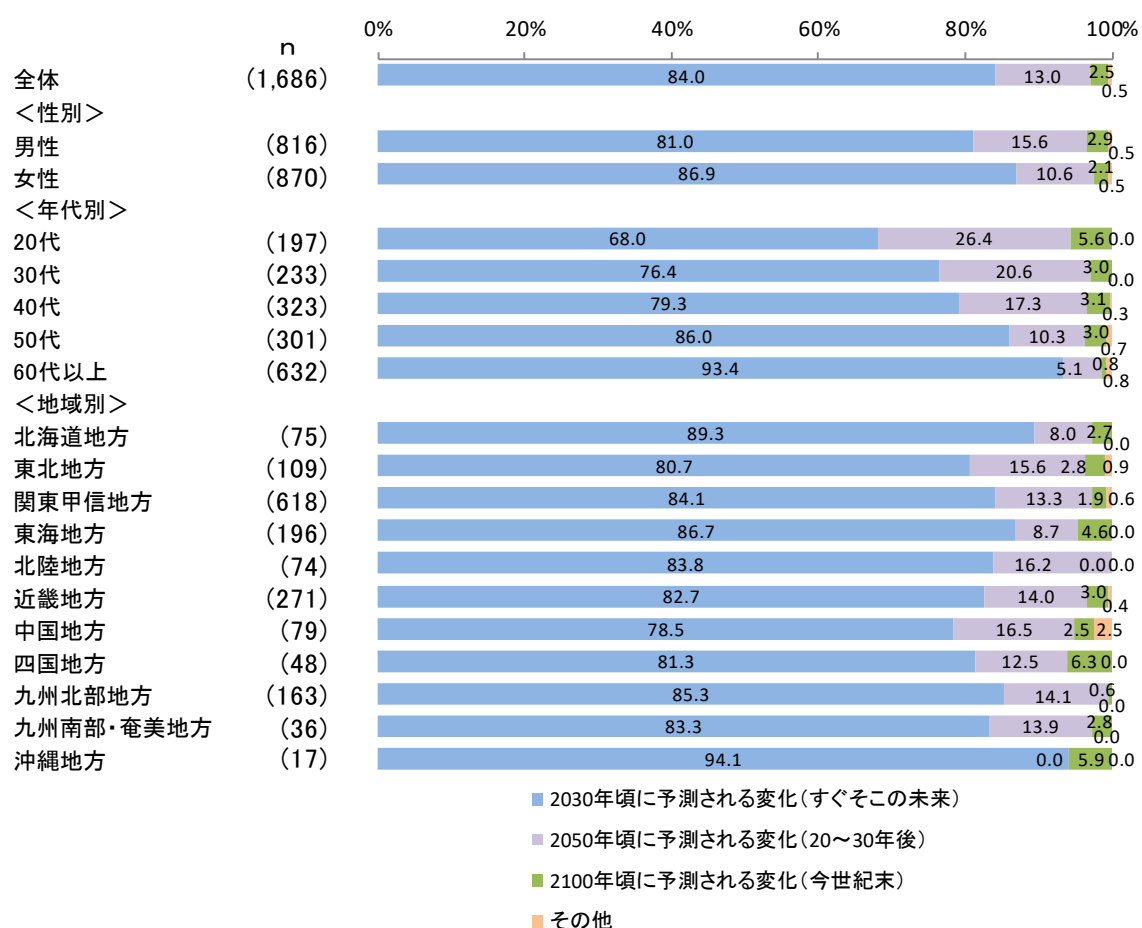
問 29 それはいつ頃を対象とした予測ですか。あてはまるものを1つ選んでください。

n=1,686

ベース：将来考えられる気候変動及びその影響等の予測で最も知りたい情報のある方



気候変動及びその影響等の予測される時期については、「2030 年頃に予測される変化（すぐその未来）」(84.0%)が最も高く、次いで「2050 年頃に予測される変化（20～30 年後）」(13.0%)、「2100 年頃に予測される変化（今世紀末）」(2.5%)となっている。

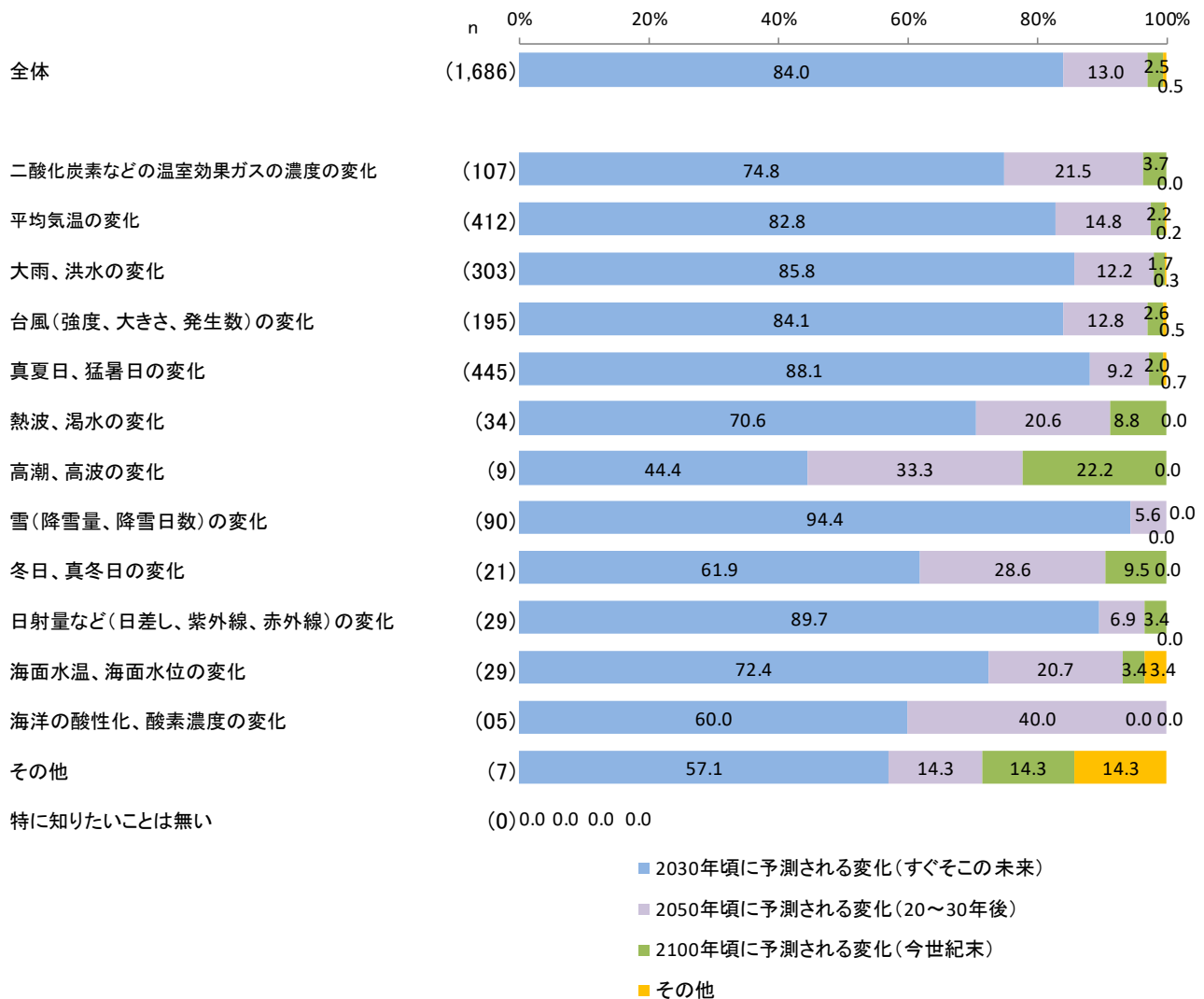


性別にみると、全体と同様の傾向にある。

年代別にみると、「2030 年頃に予測される変化（すぐその未来）」は年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。「2050 年頃に予測される変化（20～30 年後）」は年代が低いほど高くなる傾向がみられる。

地域別にみると、「2030 年頃に予測される変化（すぐその未来）」は北海道地方(89.3%)で高くなっている。

Ⅱ. 調査結果



将来考えられる気候変動及びその影響等の予測の対象の時期を、将来考えられる気候変動及びその影響等の予測でもっとも知りたい事柄別でみると、

『二酸化炭素などの温室効果ガスの濃度の変化』では、「2030年頃に予測される変化(すぐその未来)」(74.8%)が最も高く、次いで「2050年頃に予測される変化(20~30年後)」(21.5%)、「2100年頃に予測される変化(今世紀末)」(3.7%)となっている。

『平均気温の変化』では、「2030年頃に予測される変化(すぐその未来)」(82.8%)が最も高く、次いで「2050年頃に予測される変化(20~30年後)」(14.8%)、「2100年頃に予測される変化(今世紀末)」(2.2%)となっている。

『大雨、洪水の変化』では、「2030年頃に予測される変化(すぐその未来)」(85.8%)が最も高く、次いで「2050年頃に予測される変化(20~30年後)」(12.2%)、「2100年頃に予測される変化(今世紀末)」(1.7%)となっている。

『台風(強度、大きさ、発生数)の変化』では、「2030年頃に予測される変化(すぐその未来)」(84.1%)が最も高く、次いで「2050年頃に予測される変化(20~30年後)」(12.8%)、「2100年頃に予測される変化(今世紀末)」(2.6%)となっている。

『真夏日、猛暑日の変化』では、「2030年頃に予測される変化（すぐその未来）」(88.1%)が最も高く、次いで「2050年頃に予測される変化（20～30年後）」(9.2%)、「2100年頃に予測される変化（今世紀末）」(2.0%)となっている。

『熱波、渇水の変化』では、「2030年頃に予測される変化（すぐその未来）」(70.6%)が最も高く、次いで「2050年頃に予測される変化（20～30年後）」(20.6%)、「2100年頃に予測される変化（今世紀末）」(8.8%)となっている。

『高潮、高波の変化』では、「2030年頃に予測される変化（すぐその未来）」(44.4%)が最も高く、次いで「2050年頃に予測される変化（20～30年後）」(33.3%)、「2100年頃に予測される変化（今世紀末）」(22.2%)となっている。

『雪（降雪量、降雪日数）の変化』では、「2030年頃に予測される変化（すぐその未来）」(94.4%)が最も高く、次いで「2050年頃に予測される変化（20～30年後）」(5.6%)となっている。

『冬日、真冬日の変化』では、「2030年頃に予測される変化（すぐその未来）」(61.9%)が最も高く、次いで「2050年頃に予測される変化（20～30年後）」(28.6%)、「2100年頃に予測される変化（今世紀末）」(9.5%)となっている。

『日射量など（日差し、紫外線、赤外線）の変化』では、「2030年頃に予測される変化（すぐその未来）」(89.7%)が最も高く、次いで「2050年頃に予測される変化（20～30年後）」(6.9%)、「2100年頃に予測される変化（今世紀末）」(3.4%)となっている。

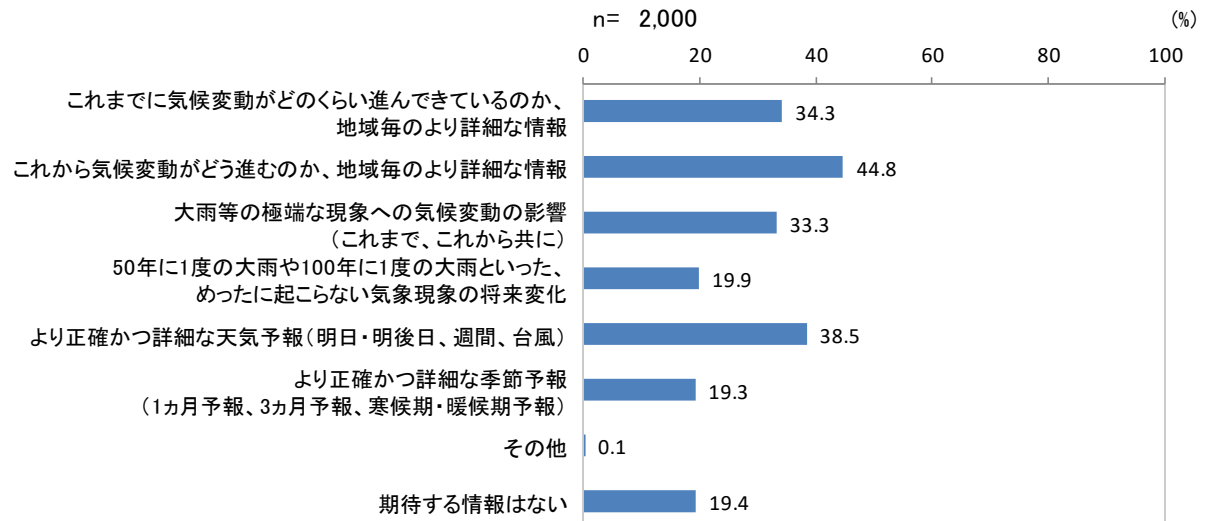
『海面水温、海面水位の変化』では、「2030年頃に予測される変化（すぐその未来）」(72.4%)が最も高く、次いで「2050年頃に予測される変化（20～30年後）」(20.7%)、「2100年頃に予測される変化（今世紀末）」(3.4%)となっている。

『海洋の酸性化、酸素濃度の変化』では、「2030年頃に予測される変化（すぐその未来）」(60.0%)が最も高く、次いで「2050年頃に予測される変化（20～30年後）」(40.0%)となっている。

Ⅱ. 調査結果

(5) もっとも期待する気候変動や気候変動対策に関する情報

問 30 気候変動や気候変動対策に関する情報で、期待するものは何ですか。あてはまるものを全て選んでください。



もっとも期待する気候変動や気候変動対策に関する情報については、「これから気候変動がどう進むのか、地域毎のより詳細な情報」(44.8%)が最も高く、次いで「より正確かつ詳細な天気予報 (明日・明後日、週間、台風)」(38.5%)、「これまでに気候変動がどのくらい進んできているのか、地域毎のより詳細な情報」(34.3%)、「大雨等の極端な現象への気候変動の影響 (これまで、これから共に)」(33.3%)となっている。

Ⅱ. 調査結果

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下
 * 赤字はベースがn=29以下のため参考値

※赤字はハースが11=29以下のため参考値															
			きてい るの か、 地 域 の よ り く ら い な 情 報		毎 こ の よ り か ら 詳 細 な 情 報	こ れ か ら 気 候 変 動 が ど う 進 む の か、 地 域	（こ れ ま で、 こ れ か ら 共 に）	大 雨 等 の 極 端 な 現 象 へ の 気 候 変 動 の 影 響	大 雨 と い っ た、 め つ た に 起 こ ら な い 1 度 の 現 象	5 0 年 に 1 度 の 大 雨 や 1 0 年 に 1 度 の 気 象	後 日、 週 間、 台 風） 天 気 予 報 （ 明 日・ 明	報、 より 3 カ 月 予 報、 寒 候 期・ 暖 候 期 予 報）	そ の 他	期 待 す る 情 報 は な い	
全体		2,000	34.3	44.8	33.3	19.9	38.5	19.3	0.1	19.4					
性別	男性	991	33.8	43.3	32.1	19.5	35.0	17.9	0.1	21.6					
	女性	1009	34.7	46.2	34.4	20.2	41.8	20.6	0.1	17.2					
年代	20代	265	29.1	36.2	25.7	17.4	26.8	13.6	-	34.0					
	30代	291	33.7	35.7	24.1	22.0	33.3	15.1	0.3	26.8					
	40代	396	34.6	39.9	28.5	20.2	33.6	17.4	0.3	22.5					
	50代	357	33.6	48.2	36.7	17.1	37.5	20.7	-	19.6					
	60代以上	691	36.6	52.8	41.0	21.1	48.3	23.4	-	8.8					
地域別	北海道地方	85	30.6	42.4	24.7	17.6	37.6	20.0	-	15.3					
	東北地方	140	27.9	41.4	30.7	25.7	34.3	20.7	-	24.3					
	関東甲信地方	742	35.4	46.2	30.6	16.3	36.8	17.8	0.1	20.2					
	東海地方	237	34.2	48.5	34.2	19.8	37.6	19.0	-	20.7					
	北陸地方	81	35.8	54.3	35.8	29.6	51.9	28.4	-	11.1					
	近畿地方	322	33.2	40.7	36.3	19.6	41.0	19.3	0.3	20.5					
	中国地方	96	27.1	38.5	32.3	15.6	33.3	16.7	-	25.0					
	四国地方	58	29.3	36.2	48.3	29.3	43.1	24.1	-	22.4					
	九州北部地方	177	39.0	45.8	34.5	25.4	35.6	17.5	-	12.4					
	九州南部・奄美地方	40	45.0	60.0	45.0	27.5	52.5	32.5	-	7.5					
	沖縄地方	22	45.5	22.7	40.9	13.6	54.5	13.6	-	22.7					

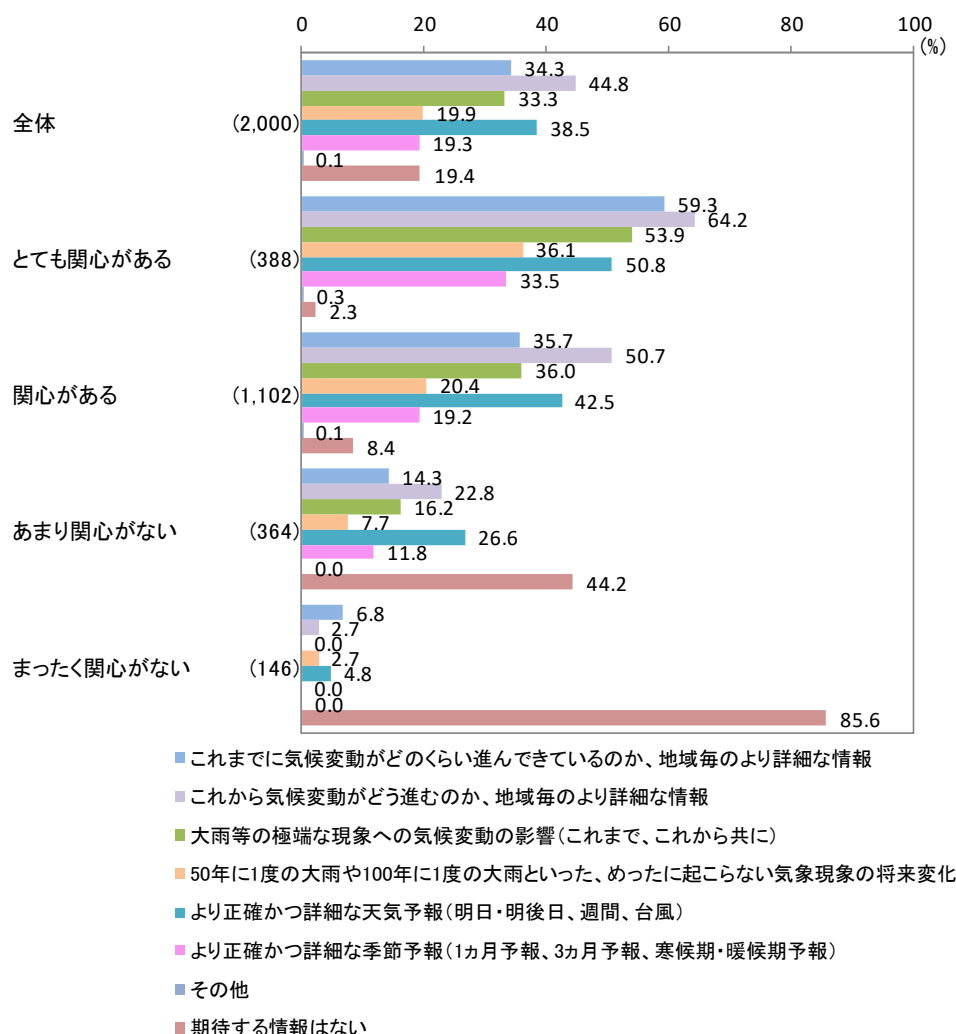
性別にみると、全体と同様の傾向にある。

年代別にみると、「これから気候変動がどう進むのか、地域毎のより詳細な情報」、「より正確かつ詳細な天気予報（明日・明後日、週間、台風）」、「大雨等の極端な現象への気候変動の影響（これまで、これから共に）」は概ね年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。

地域別にみると、「これから気候変動がどう進むのか、地域毎のより詳細な情報」は九州南部・奄美地方(60.0%)、北陸地方(54.3%)で高くなっている。「より正確かつ詳細な天気予報（明日・明後日、週間、台風）」は九州南部・奄美地方(52.5%)、北陸地方(51.9%)で高い。「これまでに気候変動がどのくらい進んできているのか、地域毎のより詳細な情報」は九州南部・奄美地方(45.0%)で高くなっている。「大雨等の極端な現象への気候変動の影響

Ⅱ．調査結果

（これまで、これから共に）」は四国地方(48.3%)、九州南部・奄美地方(45.0%)で高い。「50年に1度の大雨や100年に1度の大雨といった、めったに起こらない気象現象の将来変化」は北陸地方(29.6%)、四国地方(29.3%)、九州南部・奄美地方(27.5%)、東北地方(25.7%)、九州北部地方(25.4%)で高くなっている。「より正確かつ詳細な季節予報（1ヵ月予報、3ヵ月予報、寒候期・暖候期予報）」は九州南部・奄美地方(32.5%)、北陸地方(28.4%)で高くなっている。



気候変動や気候変動対策に関する情報で期待する事柄を、気候変動やそれが引き起こす問題を理解するために必要な情報の関心度別でみると、

『とても関心がある』では、「これから気候変動がどう進むのか、地域毎のより詳細な情報」(64.2%)が最も高く、次いで「これまでに気候変動がどのくらい進んできているのか、地域毎のより詳細な情報」(59.3%)、「大雨等の極端な現象への気候変動の影響(これまで、これから共に)」(53.9%)、「より正確かつ詳細な天気予報(明日・明後日、週間、台風)」(50.8%)となっている。

『関心がある』では、「これから気候変動がどう進むのか、地域毎のより詳細な情報」(50.7%)が最も高く、次いで「より正確かつ詳細な天気予報(明日・明後日、週間、台風)」(42.5%)、「大雨等の極端な現象への気候変動の影響(これまで、これから共に)」(36.0%)、「これまでに気候変動がどのくらい進んできているのか、地域毎のより詳細な情報」(35.7%)、となっている。

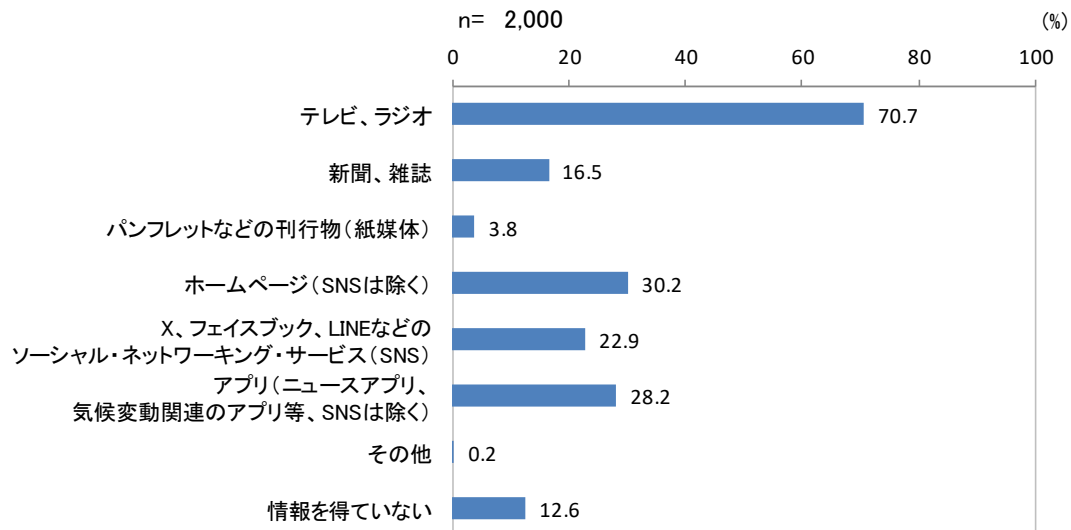
『あまり関心がない』では、「期待する情報はない」(44.2%)が最も高く、次いで「より正確かつ詳細な天気予報(明日・明後日、週間、台風)」(26.6%)、「これから気候変動がどう進むのか、地域毎のより詳細な情報」(22.8%)、「大雨等の極端な現象への気候変動の影響(これまで、これから共に)」(16.2%)となっている。

『まったく関心がない』では、「期待する情報はない」(85.6%)で 全体と比較して高い。

Ⅱ. 調査結果

(6) 気候変動や気候変動対策に関する情報を得る媒体

問31 気候変動や気候変動対策に関する情報を、どのような媒体から得ていますか。あてはまるものを全て選んでください。



気候変動や気候変動対策に関する情報を得る媒体については、「テレビ、ラジオ」(70.7%)が最も高く、次いで「ホームページ(SNSは除く)」(30.2%)、「アプリ(ニュースアプリ、気候変動関連のアプリ等、SNSは除く)」(28.2%)、「X、フェイスブック、LINEなどのソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)」(22.9%)となっている。

Ⅱ. 調査結果

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下
 * 赤字はベースがn=29以下のため参考値

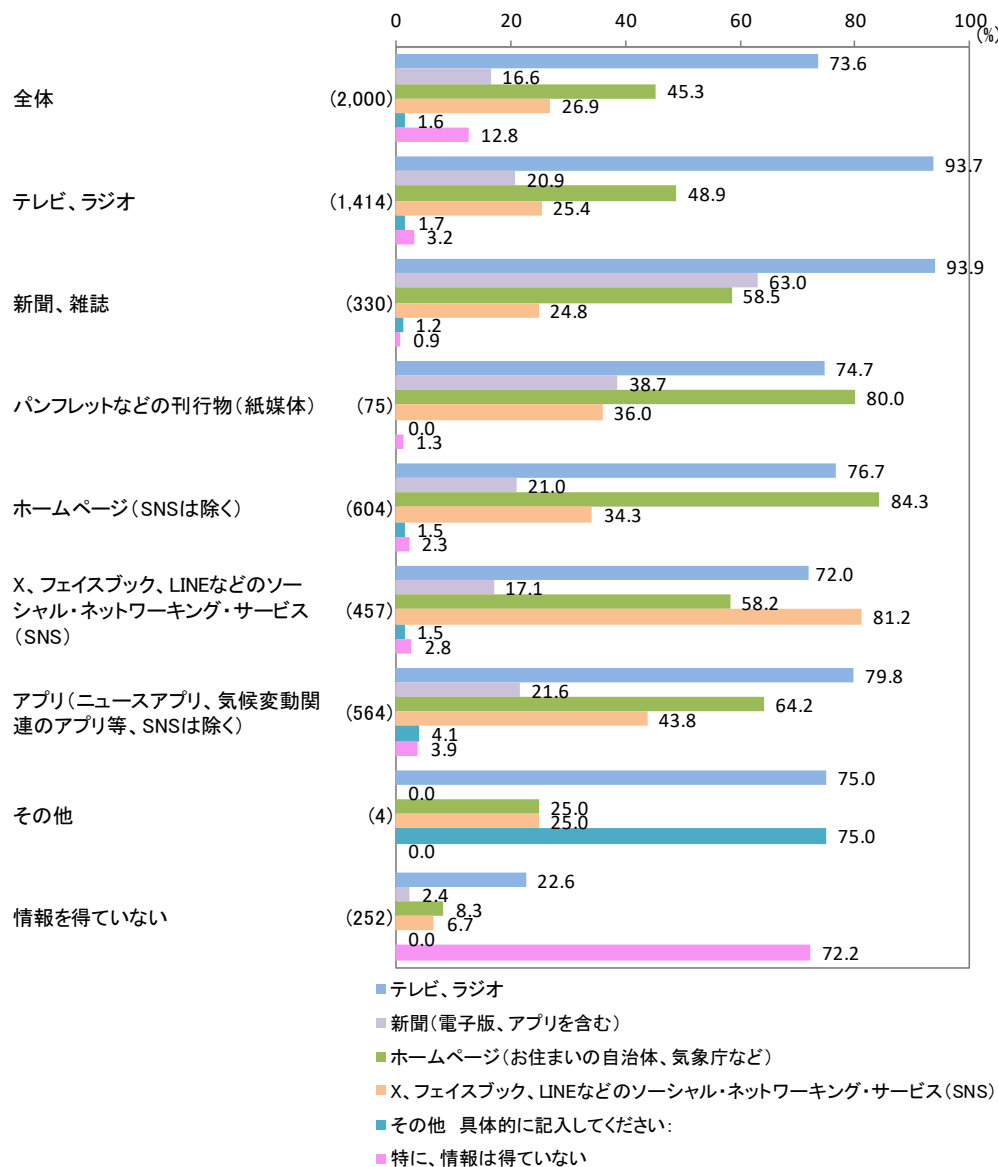
*赤字はベースが11=29以下のため参考値													
			テレビ、ラジオ		新聞、雑誌	パンフレットなどの刊行物（紙媒体）		ホームページ（SNSは除く）	S（SNS）	X、フェイスブック、LINEなどのサービス・ネットワーキング・サードパーティ等、SNSは除く	のアプリ（ニュースアプリ、気候変動関連）	その他	情報を得ていない
		n											
全体		2,000	70.7	16.5	3.8	30.2	22.9	28.2	0.2	12.6			
性別	男性	991	68.4	18.2	4.4	35.4	21.3	29.6	0.2	13.1			
	女性	1009	72.9	14.9	3.1	25.1	24.4	26.9	0.2	12.1			
年代	20代	265	50.6	6.8	7.9	21.5	38.9	25.3	-	23.4			
	30代	291	58.4	7.2	3.8	30.2	31.6	22.0	0.3	19.6			
	40代	396	66.9	11.4	3.3	32.3	22.2	23.5	-	15.7			
	50代	357	71.4	14.0	4.2	31.4	24.6	31.4	-	10.6			
	60代以上	691	85.4	28.4	2.2	31.7	12.4	33.0	0.4	4.8			
地域別	北海道地方	85	77.6	20.0	3.5	28.2	17.6	17.6	-	9.4			
	東北地方	140	72.1	18.6	2.1	27.1	17.1	25.0	0.7	15.7			
	関東甲信地方	742	68.5	15.4	4.0	29.6	22.8	28.6	0.3	13.6			
	東海地方	237	73.8	18.1	3.8	31.6	25.7	29.5	0.4	13.5			
	北陸地方	81	76.5	29.6	2.5	24.7	21.0	25.9	-	6.2			
	近畿地方	322	68.6	15.8	4.3	32.3	25.2	26.7	-	13.7			
	中国地方	96	64.6	8.3	2.1	32.3	21.9	24.0	-	14.6			
	四国地方	58	60.3	12.1	5.2	32.8	29.3	36.2	-	15.5			
	九州北部地方	177	78.0	18.1	3.4	28.8	21.5	32.2	-	6.8			
	九州南部・奄美地方	40	77.5	17.5	7.5	37.5	27.5	45.0	-	5.0			
	沖縄地方	22	68.2	4.5	-	31.8	13.6	27.3	-	13.6			

性別にみると、「ホームページ（SNSは除く）」は女性(25.1%)に比べて男性(35.4%)で高くなっている。

年代別にみると、「テレビ、ラジオ」及び「新聞、雑誌」は年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。「X、フェイスブック、LINEなどのソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）」は年代が低いほど高くなる傾向がみられる。

地域別にみると、「テレビ、ラジオ」は九州北部地方(78.0%)、北海道地方(77.6%)、九州南部・奄美地方(77.5%)、北陸地方(76.5%)で高くなっている。「ホームページ（SNSは除く）」は九州南部・奄美地方(37.5%)で高い。「アプリ（ニュースアプリ、気候変動関連のアプリ等、SNSは除く）」は九州南部・奄美地方(45.0%)、四国地方(36.2%)で高くなっている。「X、フェイスブック、LINEなどのソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）」は四国地方(29.3%)で高い。「新聞、雑誌」は北陸地方(29.6%)で高くなっている。

Ⅱ. 調査結果



防災に関する情報を得る媒体（以下、「」を付す）を、気候変動や気候変動対策に関する情報を得る媒体別（以下、『』を付す）でみると、

『テレビ、ラジオ』では、「テレビ、ラジオ」(93.7%)が最も高く、次いで「ホームページ（お住まいの自治体、気象庁など）」(48.9%)、「X、フェイスブック、LINEなどのソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）」(25.4%)となっている。

『新聞、雑誌』では、「テレビ、ラジオ」(93.9%)が最も高く、次いで「新聞（電子版、アプリを含む）」(63.0%)、「ホームページ（お住まいの自治体、気象庁など）」(58.5%)、「X、フェイスブック、LINEなどのソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）」(24.8%)となっている。

『パンフレットなどの刊行物（紙媒体）』では、「ホームページ（お住まいの自治体、気象庁など）」(80.0%)が最も高く、次いで「テレビ、ラジオ」(74.7%)、「新聞（電子版、アプリを含む）」(38.7%)となっている。

『ホームページ（SNSは除く）』では、「ホームページ（お住まいの自治体、気象庁など）」(84.3%)が最も高く、次いで「テレビ、ラジオ」(76.7%)、「X、フェイスブック、LINEなどのソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）」(34.3%)となっている。

『X、フェイスブック、LINEなどのソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）』では、「X、フェイスブック、LINEなどのソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）」(81.2%) が最も高く、次いで「テレビ、ラジオ」(72.0%)、「ホームページ（お住まいの自治体、気象庁など）」(58.2%)となっている。

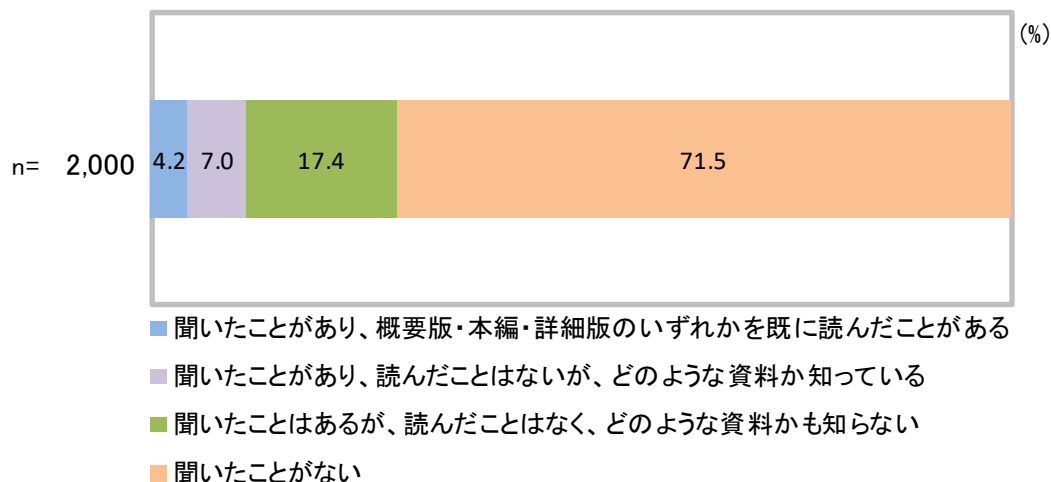
『アプリ（ニュースアプリ、気候変動関連のアプリ等、SNSは除く）』では、「テレビ、ラジオ」(79.8%)が最も高く、次いで「ホームページ（お住まいの自治体、気象庁など）」(64.2%)、「X、フェイスブック、LINEなどのソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）」(43.8%)となっている。

『情報を得ていない』では、「特に、情報は得ていない」が全体と比較して高い。

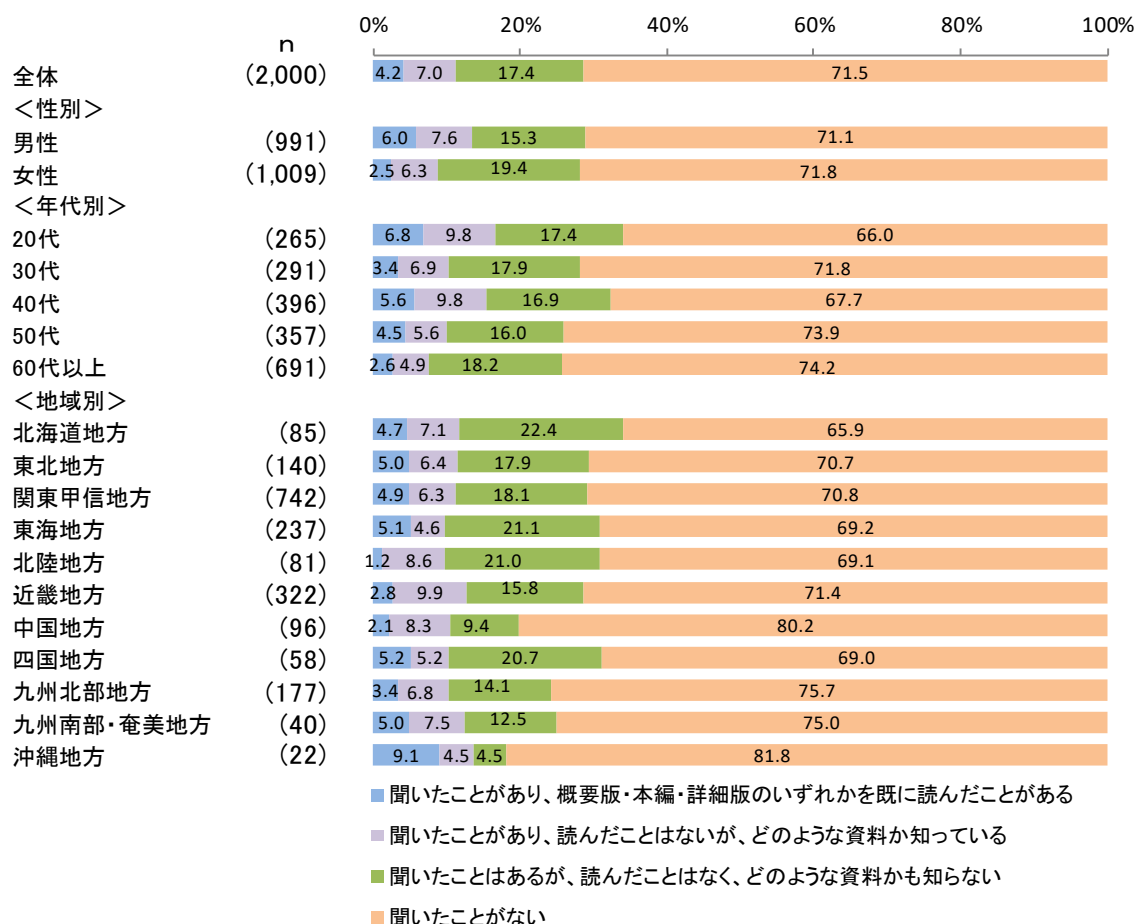
Ⅱ. 調査結果

(7) 文部科学省と気象庁が共同で公表した「日本の気候変動 2020」の認知度

問 32 あなたは、文部科学省と気象庁が共同で公表した刊行物「日本の気候変動 2020」についてご存じですか。あてはまるものを1つ選んでください。



文部科学省と気象庁が共同で公表した「日本の気候変動 2020」の認知度については、「聞いたことがあり、概要版・本編・詳細版のいずれかを既に読んだことがある」(4.2%)、「聞いたことがあり、読んだことはないが、どのような資料か知っている」(7.0%)、「聞いたことはあるが、読んだことはなく、どのような資料かも知らない」(17.4%)、「聞いたことがない」(71.5%)となっている。



性別にみると、全体と同様の傾向にある。

年代別にみると、全体と同様の傾向にある。

地域別にみると、概ね全体と同様の傾向にあるが、「聞いたことがない」は中国地方(80.2%)で高くなっている。

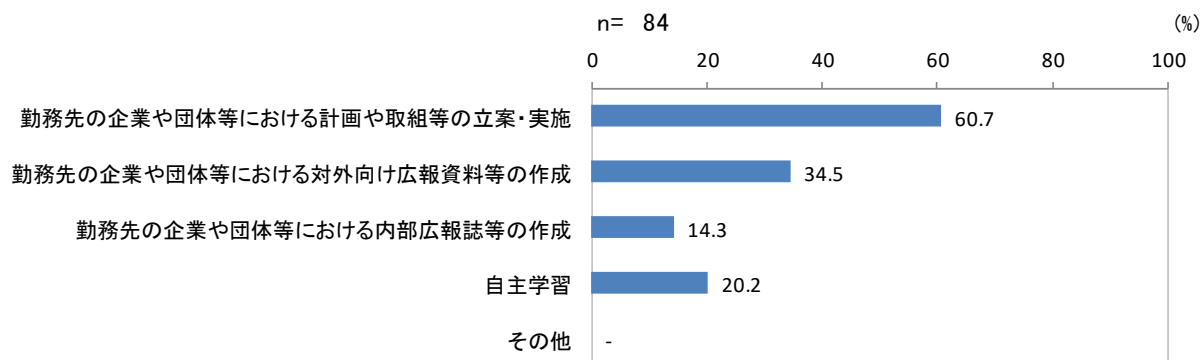
Ⅱ. 調査結果

(8) 「日本の気候変動 2020」の利用目的

問 33 あなたは、「日本の気候変動 2020」をどのような目的に利用しましたか。あてはまるものを全て選んでください。

n=84

ベース：「日本の気候変動 2020」聞いたことがあり、概要版・本編・詳細版のいずれかを既に読んだことがある方



「日本の気候変動 2020」の利用目的については、「勤務先の企業や団体等における計画や取組等の立案・実施」(60.7%)が最も高く、次いで「勤務先の企業や団体等における対外向け広報資料等の作成」(34.5%)、「自主学習」(20.2%)となっている。

Ⅱ. 調査結果

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

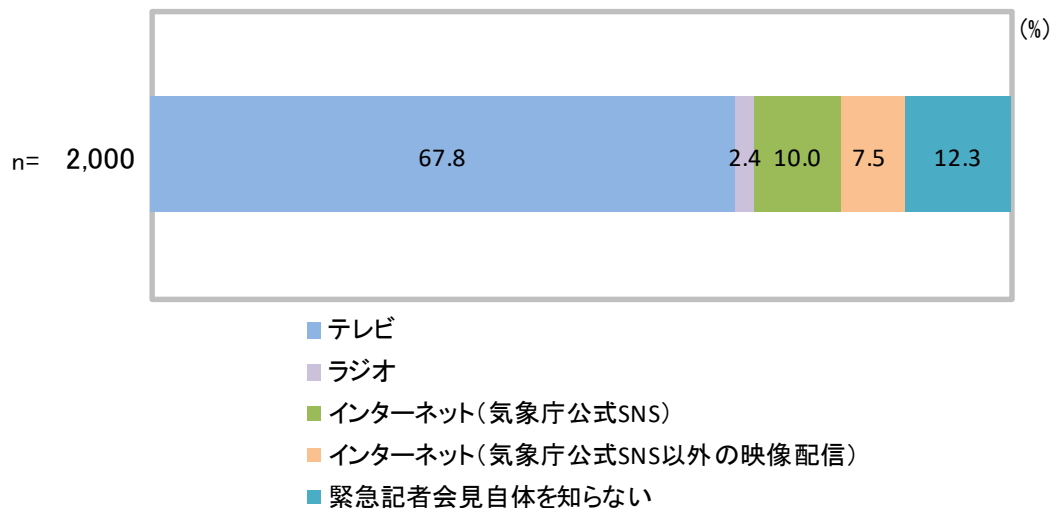
		n	組 等 の 立 案 ・ 実 施	勤 務 先 の 企 業 や 団 体 等 に お け る 計 画 や 取 組	広 報 資 料 の 企 業 や 団 体 等 に お け る 対 外 向 け	誌 勤 務 先 の 作 成 の 企 業 や 団 体 等 に お け る 内 部 広 報	自 主 学 習	そ の 他
全体		84	60.7	34.5	14.3	20.2	-	-
性別	男性	59	62.7	33.9	15.3	20.3	-	-
	女性	25	56.0	36.0	12.0	20.0	-	-
年代	20代	18	44.4	55.6	27.8	11.1	-	-
	30代	10	70.0	30.0	10.0	10.0	-	-
	40代	22	63.6	50.0	13.6	9.1	-	-
	50代	16	68.8	12.5	12.5	37.5	-	-
	60代以上	18	61.1	16.7	5.6	33.3	-	-
地域別	北海道地方	4	50.0	25.0	25.0	-	-	-
	東北地方	7	57.1	28.6	28.6	14.3	-	-
	関東甲信地方	36	61.1	41.7	11.1	25.0	-	-
	東海地方	12	50.0	33.3	16.7	16.7	-	-
	北陸地方	1	100.0	-	-	-	-	-
	近畿地方	9	77.8	33.3	11.1	22.2	-	-
	中国地方	2	100.0	-	-	-	-	-
	四国地方	3	66.7	33.3	33.3	33.3	-	-
	九州北部地方	6	50.0	50.0	16.7	-	-	-
	九州南部・奄美 地方	2	-	-	-	100.0	-	-
	沖縄地方	2	100.0	-	-	-	-	-

Ⅱ. 調査結果

7. 緊急記者会見について

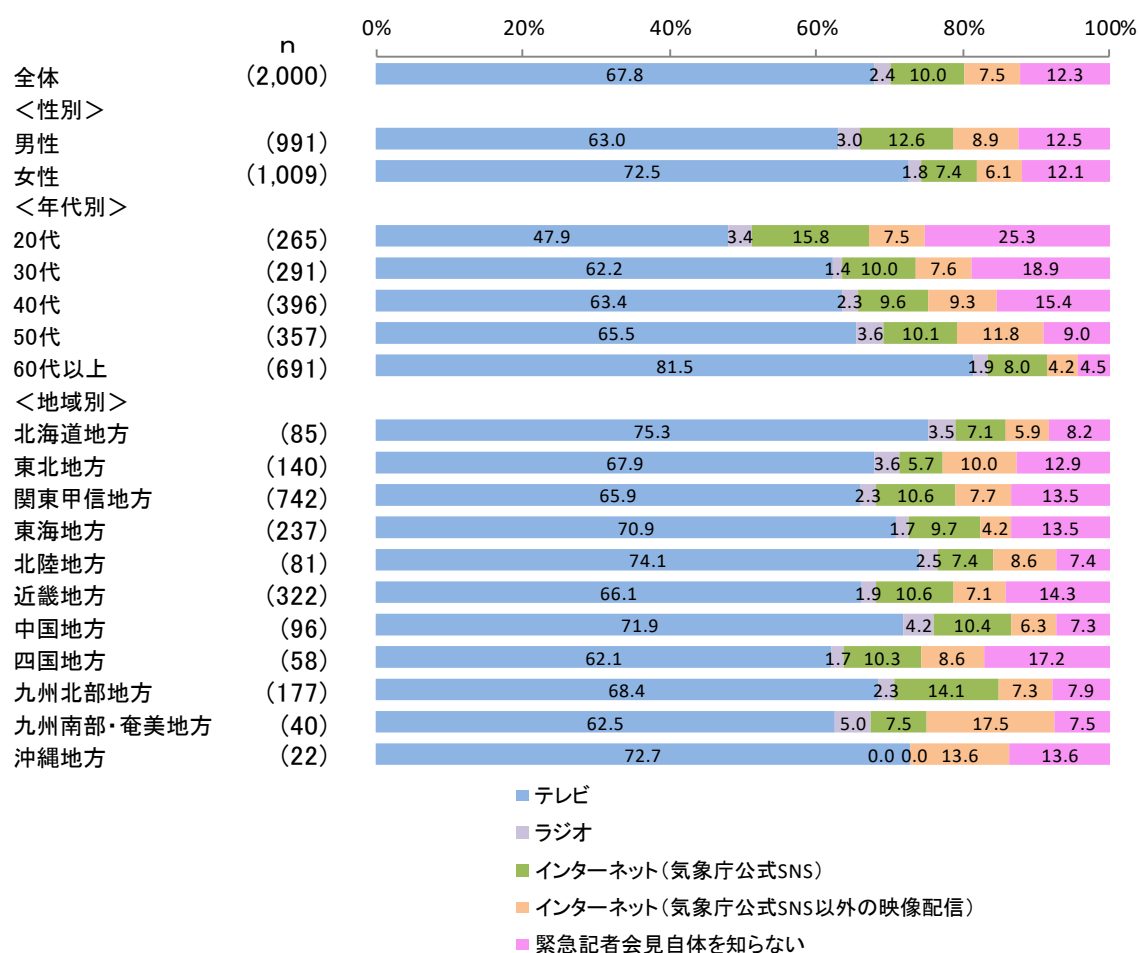
(1) 気象庁が行う緊急記者会見を見聞きする際に、最も利用する媒体

問 34 気象庁では、大雨や台風、地震、津波などによって重大な災害が発生するおそれが高まっているときに、そのことをお知らせするために緊急記者会見を行います。気象庁が行う緊急記者会見を見聞きする手段として最も利用するものは何ですか。1 つ選んでください。



気象庁が行う緊急記者会見を見聞きする最も利用する媒体については、「テレビ」(67.8%)が最も高く、次いで「インターネット(気象庁公式 SNS)」(10.0%)、「インターネット(気象庁公式 SNS 以外の映像配信)」(7.5%)となっている。また、「緊急記者会見自体を知らない」(12.3%)となっている。

Ⅱ. 調査結果



性別にみると、全体と同様の傾向にある。

年代別にみると、「テレビ」は年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。「インターネット(気象庁公式SNS)」は20代(15.8%)で高い。なお、「緊急記者会見自体を知らない」は年代が低いほど高くなる傾向がみられる。

地域別にみると、「テレビ」は北海道地方(75.3%)、北陸地方(74.1%)で高くなっている。「インターネット(気象庁公式SNS以外の映像配信)」は九州南部・奄美地方(17.5%)で高い。

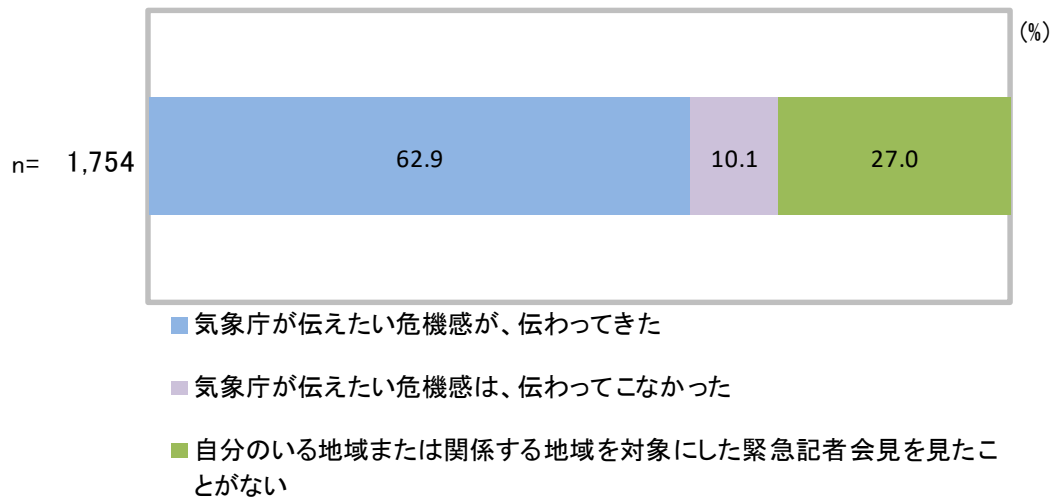
Ⅱ. 調査結果

(2) 自分のいる地域、関係する地域の緊急記者会見を見聞きして感じた危機感

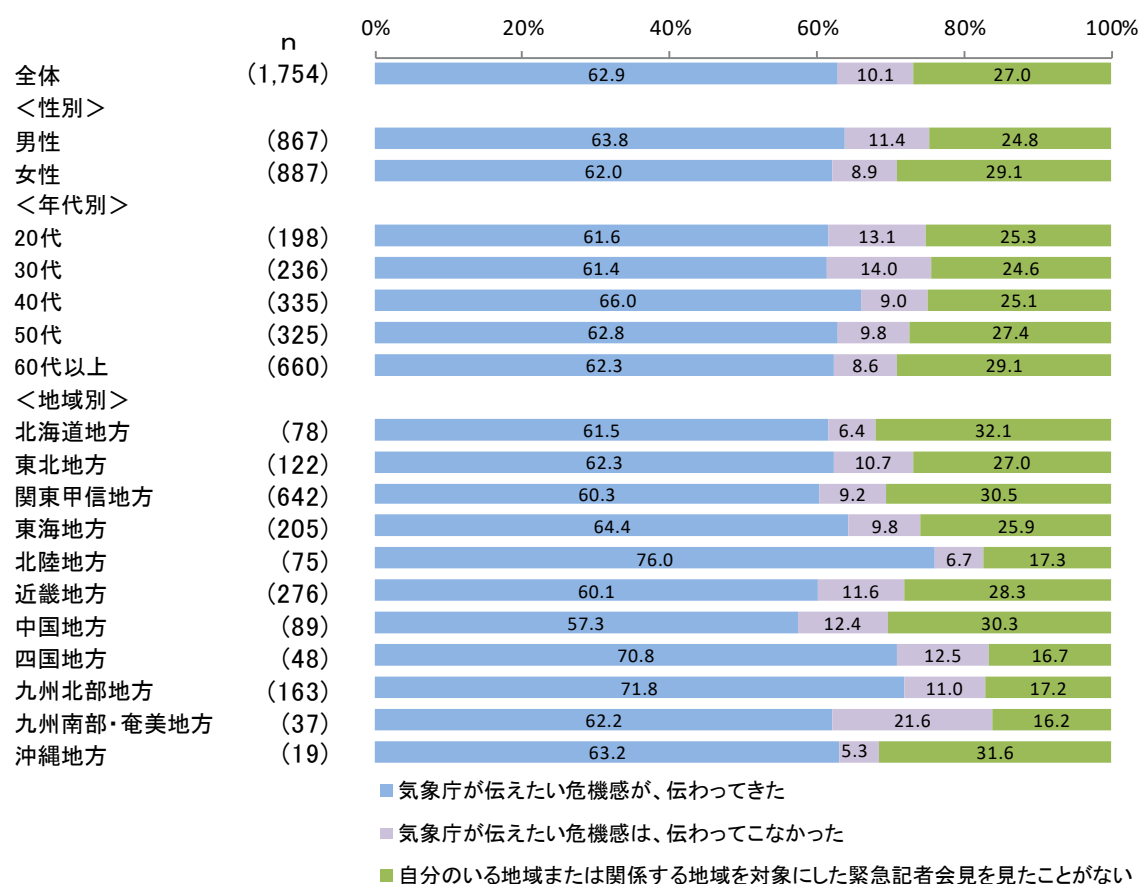
問 35 緊急記者会見をご覧になり、その対象が自分のいる地域または関係する地域となっていたとき、どのように感じましたか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

n=1,754

ベース：気象庁が行う緊急記者会見を見聞きした経験のある方



自分のいる地域、関係する地域の緊急記者会見を見聞きして感じた危機感については、「気象庁が伝えたい危機感が、伝わってきた」(62.9%)、「気象庁が伝えたい危機感は、伝わってこなかった」(10.1%)、「自分のいる地域または関係する地域を対象にした緊急記者会見を見たことがない」(27.0%)となっている。

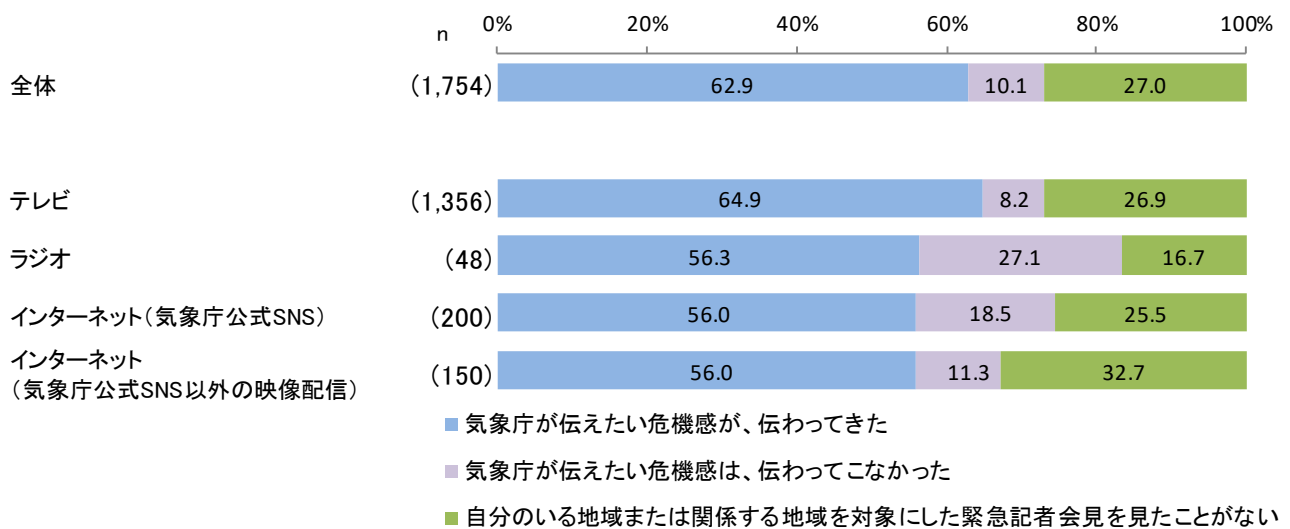


性別にみると、全体と同様の傾向にある。

年代別にみると、全体と同様の傾向にある。

地域別にみると、「気象庁が伝えたい危機感が、伝わってきた」は北陸地方(76.0%)、九州北部地方(71.8%)、四国地方(70.8%)で高くなっている。「気象庁が伝えたい危機感は、伝わってこなかった」は九州南部・奄美地方(21.6%)で高い。なお、「自分のいる地域または関係する地域を対象にした緊急記者会見を見たことがない」は北海道地方(32.1%)で高くなっている。

Ⅱ. 調査結果



自分のいる地域、関係する地域の緊急記者会見を見聞きして感じた危機感を、緊急記者会見を見聞きする手段として最も利用する媒体別にみると、

『テレビ』では、「気象庁が伝えたい危機感が、伝わってきた」(64.9%)が最も高く、次いで「自分のいる地域または関係する地域を対象にした緊急記者会見を見たことがない」(26.9%)、「気象庁が伝えたい危機感は、伝わってこなかった」(8.2%)となっている。

『ラジオ』では、「気象庁が伝えたい危機感が、伝わってきた」(56.3%)が最も高く、次いで「気象庁が伝えたい危機感は、伝わってこなかった」(27.1%)、「自分のいる地域または関係する地域を対象にした緊急記者会見を見たことがない」(16.7%)となっている。

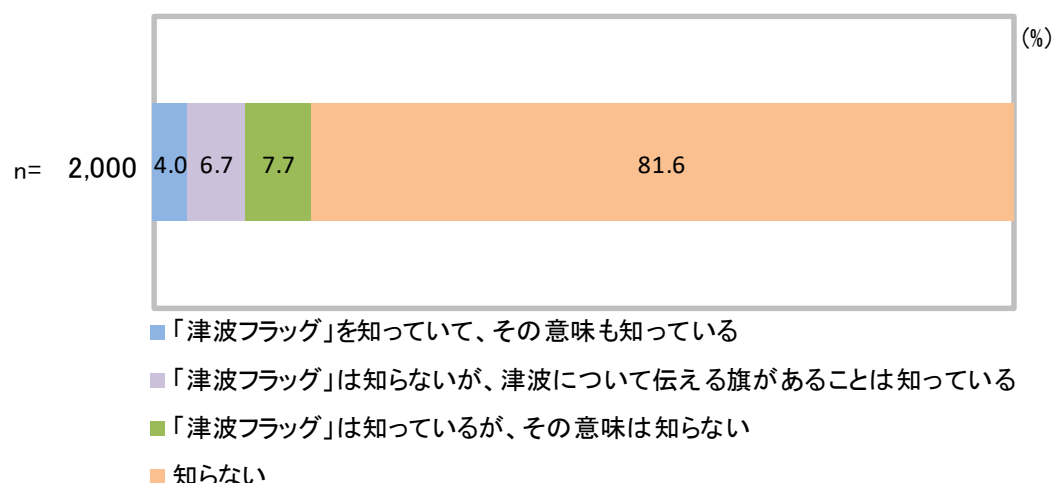
『インターネット(気象庁公式SNS)』では、「気象庁が伝えたい危機感が、伝わってきた」(56.0%)が最も高く、次いで「自分のいる地域または関係する地域を対象にした緊急記者会見を見たことがない」(25.5%)、「気象庁が伝えたい危機感は、伝わってこなかった」(18.5%)となっている。

『インターネット(気象庁公式SNS以外の映像配信)』では、「気象庁が伝えたい危機感が、伝わってきた」(56.0%)が最も高く、次いで「自分のいる地域または関係する地域を対象にした緊急記者会見を見たことがない」(32.7%)、「気象庁が伝えたい危機感は、伝わってこなかった」(11.3%)となっている。

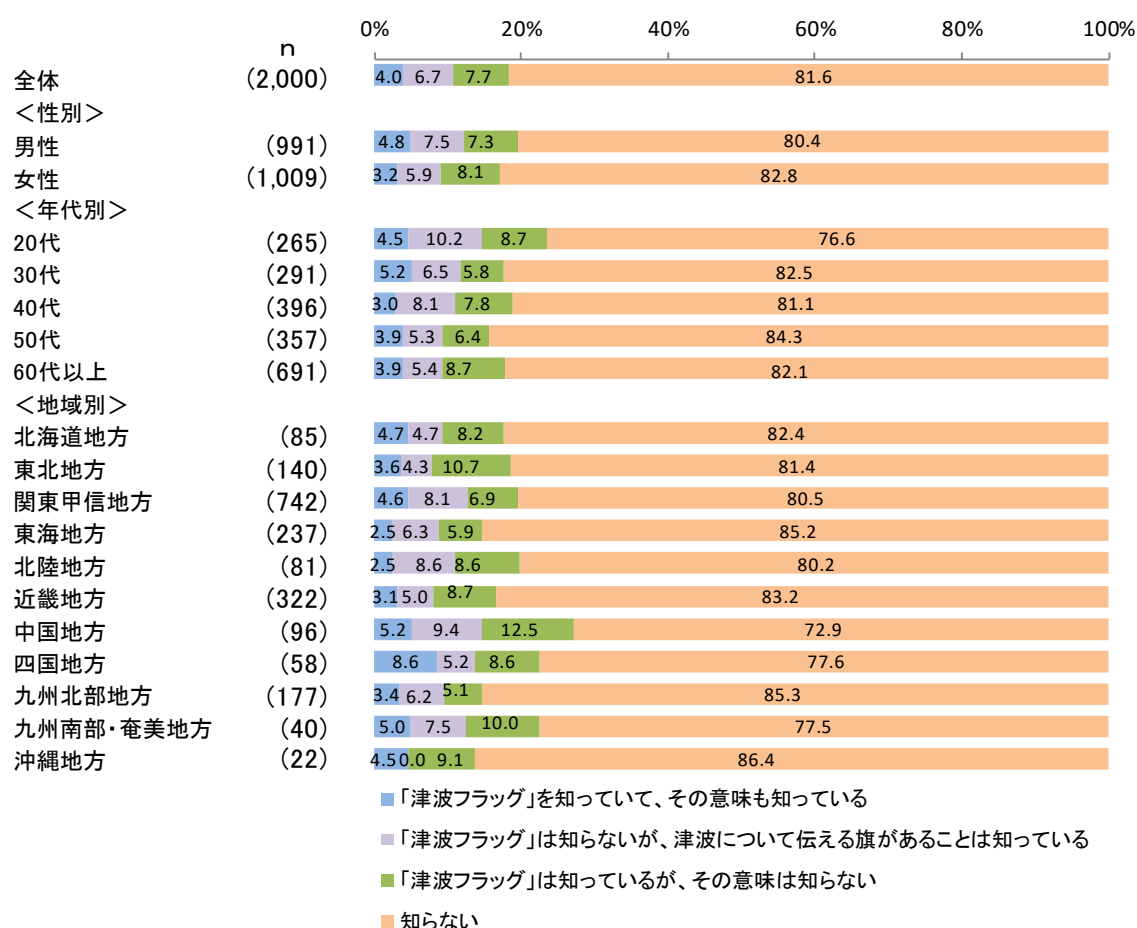
8. 地震、津波に関する防災情報について

(1) 「津波フラッグ」の認知度

問 36 あなたは、「津波フラッグ」を知っていますか？



「津波フラッグ」の認知度については、「津波フラッグ」を知っていて、その意味も知っている（4.0%）、
「津波フラッグ」は知っているが、その意味は知らない（7.7%）、「津波フラッグ」は知らないが、津波につ
いて伝える旗があることは知っている（6.7%）、「知らない」（81.6%）となっている。



Ⅱ．調査結果

性別にみると、全体と同様の傾向にある。

年代別にみると、全体と同様の傾向にある。

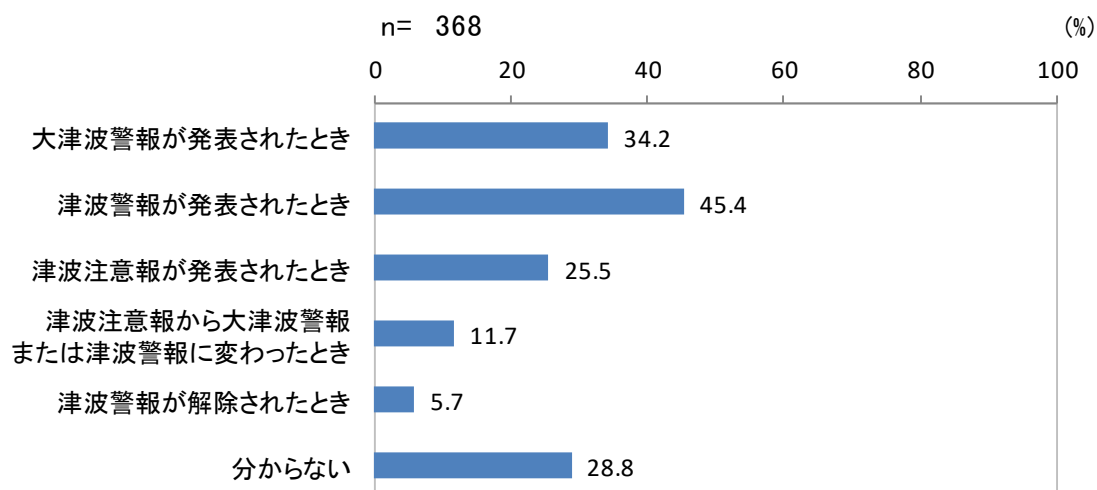
地域別にみると、全体と同様の傾向にある。

(2) 「津波フラッグ」の使用場面の認知度

問37 「津波フラッグ」はどのようなときに用いられるか知っていますか。以下の中からあてはまるものを全て選んでください。

n=368

ベース：「津波フラッグ」を知っている、または津波を伝える旗があることを知っている方



「津波フラッグ」の使用場面の認知度については、「津波警報が発表されたとき」(45.4%)が最も高く、次いで「大津波警報が発表されたとき」(34.2%)、「分からない」(28.8%)、「津波注意報が発表されたとき」(25.5%)となっている。

Ⅱ. 調査結果

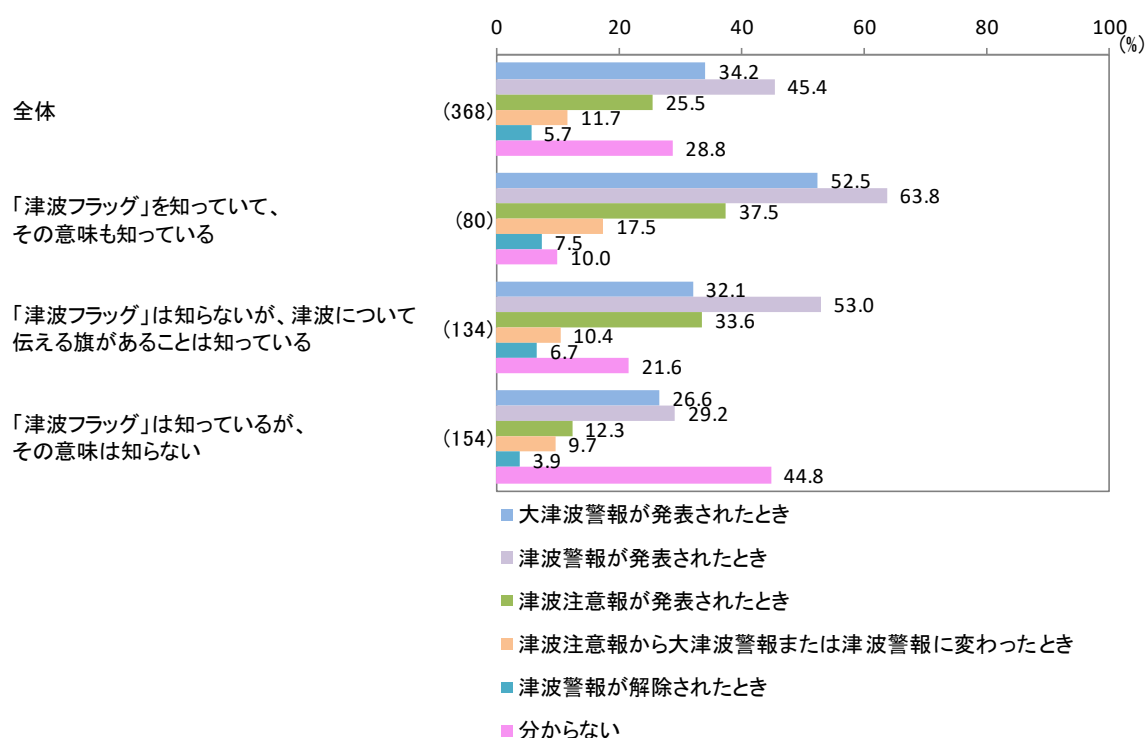
* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

		n	大津波警報が発表されたとき	津波警報が発表されたとき	津波注意報が発表されたとき	津波に変わったとき	津波注意報から大津波警報または津波警報が解除されたとき	分からない
全体		368	34.2	45.4	25.5	11.7	5.7	28.8
性別	男性	194	38.7	52.1	29.4	13.9	7.2	20.1
	女性	174	29.3	37.9	21.3	9.2	4.0	38.5
年代	20代	62	25.8	51.6	27.4	16.1	9.7	24.2
	30代	51	35.3	54.9	41.2	7.8	9.8	23.5
	40代	75	33.3	44.0	22.7	8.0	6.7	29.3
	50代	56	39.3	48.2	28.6	16.1	3.6	26.8
	60代以上	124	36.3	37.9	18.5	11.3	2.4	33.9
地域別	北海道地方	15	33.3	53.3	6.7	13.3	13.3	20.0
	東北地方	26	26.9	30.8	23.1	11.5	7.7	34.6
	関東甲信地方	145	36.6	51.7	29.0	10.3	4.1	24.8
	東海地方	35	42.9	37.1	28.6	8.6	2.9	31.4
	北陸地方	16	25.0	68.8	18.8	6.3	6.3	18.8
	近畿地方	54	35.2	33.3	22.2	11.1	3.7	38.9
	中国地方	26	19.2	30.8	26.9	26.9	7.7	34.6
	四国地方	13	46.2	46.2	7.7	15.4	7.7	30.8
	九州北部地方	26	26.9	46.2	38.5	7.7	11.5	30.8
	九州南部・奄美地方	9	44.4	66.7	22.2	22.2	11.1	11.1
	沖縄地方	3	33.3	66.7	-	-	-	33.3

性別にみると、「津波警報が発表されたとき」は女性(37.9%)に比べて男性(52.1%)で高くなっている。「分からない」は男性(20.1%)に比べて女性(38.5%)で高い。

年代別にみると、「津波警報が発表されたとき」は30代(54.9%)、20代(51.6%)で高くなっている。「大津波警報が発表されたとき」は50代(39.3%)で高い。「分からない」は60代以上(33.9%)で高くなっている。「津波注意報が発表されたとき」は30代(41.2%)で高い。



「津波フラッグ」の使用場面の認知度を、「津波フラッグ」の認知度別にみると、

『「津波フラッグ」を知っていて、その意味も知っている』では、「津波警報が発表されたとき」(63.8%)が最も高く、次いで「大津波警報が発表されたとき」(52.5%)、「津波注意報が発表されたとき」(37.5%)、となっている。

『「津波フラッグ」は知らないが、津波について伝える旗があることは知っている』では、「津波警報が発表されたとき」(53.0%)が最も高く、次いで「津波注意報が発表されたとき」(33.6%)、「大津波警報が発表されたとき」(32.1%)となっている。

『「津波フラッグ」は知っているが、その意味は知らない』では、「分からない」(44.8%)が最も高く、次いで「津波警報が発表されたとき」(29.2%)、「大津波警報が発表されたとき」(26.6%)となっている。

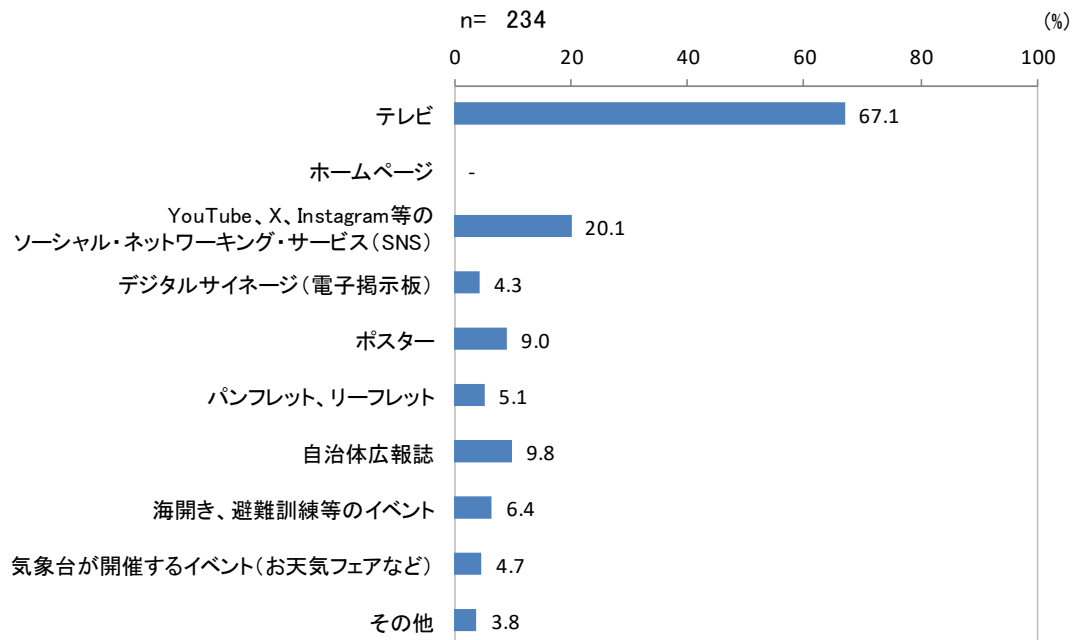
Ⅱ. 調査結果

(3) 「津波フラッグ」を知ったきっかけ

問38 「津波フラッグ」をどこで知りましたか？あてはまるものを全て選んでください。

n=234

ベース：「津波フラッグ」を知っている方



「津波フラッグ」を知ったきっかけについては、「テレビ」(67.1%)が最も高く、次いで「YouTube、X、Instagram等のソーシャル・ネットワーキング・サービス (SNS)」(20.1%)となっている。

Ⅱ. 調査結果

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下
 * 赤字はベースがn=29以下のため参考値

		n	テレビ	ホームページ	のソーシャル・ネットワーキング・サービス等（SNS）	YouTube、X、Instagram等	デジタルサイネージ（電子掲示板）	ポスター	パンフレット、リーフレット	自治体広報誌	海開き、避難訓練等のイベント	気象台が開催するイベント（お天気フェアなど）	その他
全体		234	67.1	-	20.1	4.3	9.0	5.1	9.8	6.4	4.7	3.8	
性別	男性	120	68.3	-	22.5	7.5	7.5	7.5	10.8	6.7	4.2	2.5	
	女性	114	65.8	-	17.5	0.9	10.5	2.6	8.8	6.1	5.3	5.3	
年代	20代	35	48.6	-	37.1	2.9	14.3	11.4	11.4	11.4	2.9		
	30代	32	56.3	-	34.4	9.4	12.5	6.3	9.4	3.1	3.1	6.3	
	40代	43	62.8	-	16.3	7.0	14.0	7.0	7.0	11.6	7.0	-	
	50代	37	81.1	-	8.1	8.1	5.4	8.1	10.8	-	2.7	5.4	
	60代以上	87	74.7	-	14.9	-	4.6	-	10.3	5.7	2.3	4.6	
地域別	北海道地方	11	81.8	-	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1	-	-	
	東北地方	20	60.0	-	20.0	5.0	-	-	15.0	5.0	5.0	5.0	
	関東甲信地方	85	63.5	-	20.0	4.7	11.8	5.9	9.4	8.2	5.9	4.7	
	東海地方	20	65.0	-	35.0	-	-	5.0	5.0	-	5.0	5.0	
	北陸地方	9	77.8	-	-	-	-	-	-	11.1	-	11.1	
	近畿地方	38	65.8	-	18.4	5.3	13.2	5.3	10.5	7.9	2.6	-	
	中国地方	17	70.6	-	17.6	-	-	-	11.8	5.9	-	5.9	
	四国地方	10	80.0	-	30.0	10.0	20.0	10.0	10.0	10.0	10.0	-	
	九州北部地方	15	73.3	-	20.0	-	20.0	6.7	13.3	-	6.7	-	
	九州南部・奄美地方	6	66.7	-	16.7	-	-	16.7	16.7	-	16.7	16.7	
	沖縄地方	3	66.7	-	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-	

性別にみると、全体と同様の傾向にある。

年代別にみると、「テレビ」は50代(81.1%)、60代以上(74.7%)で高くなっている。「YouTube、X、Instagram等のソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）」は20代(37.1%)、30代(34.4%)で高い。前述のほか、20代では「ポスター」（14.3%）、「パンフレット、リーフレット」（11.4%）、「海開き、避難訓練等のイベント（11.4%）」、「気象台が開催するイベント（お天気フェアなど）」（11.4%）が、30代では「デジタルサイネージ（電子掲示板）」（9.4%）が、40代では「海開き、避難訓練等のイベント」（11.6%）が高い。

III. 調査結果のまとめ

Ⅲ. 調査結果のまとめ

1. 調査結果概要

(1) 気象庁から発表される防災情報の入手手段

大雨警報や台風情報など気象庁から発表される防災情報の入手手段は、「テレビ、ラジオ」が73.6%、「ホームページ（お住まいの自治体、気象庁など）」が45.3%、「X、フェイスブック、LINEなどのソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）」が26.9%と主要な手段となっている（問20）。こうした情報入手手段を令和3年度調査と比較すると、「ツイッター、フェイスブック、LINEなどのソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）」（6.7ポイント上昇）の存在が大きくなっている。

(2) 線状降水帯に関する情報

線状降水帯の予測情報の認知度（「見聞きしたことがあり、どのような情報が知っている」。以降同様）は60.1%、線状降水帯の発生情報（顕著な大雨に関する気象情報）の認知度は58.9%である（問1）。

線状降水帯の予測情報が自分のいる地域または近隣地域に発表されたことがあるかについては、「発表されたことがある」が30.1%、「発表されたことがない」が37.8%、「おぼえていない」が32.1%となっている（問2）。線状降水帯の発生情報についても同様の傾向であった（問5）。

自分のいる地域または近隣地域で、線状降水帯の予測情報により、大雨災害が発生する危機感が高まったかについては、「危機感が高まった」が47.7%、「やや危機感が高まった」が44.9%で、両者を合わせた92.6%が“危機意識”を抱いたことになる（問3、標本の大きさ n=602）。線状降水帯の発生情報についても同様の傾向であった（問6、n=656）。

線状降水帯に関する情報が自分のいる地域または近隣地域に発表されたときの行動については、「自宅が安全だったので自宅にいた」は予測情報が54.0%、発生情報が52.3%と最も高く、次いで「ハザードマップを確認した」は予測情報が33.7%、発生情報が33.1%、「避難先、避難ルートを確認した」は予測情報が23.3%、発生情報が22.9%となっている。また、直接的な避難行動である「自宅の2階以上に移動した」は予測情報が6.6%、発生情報が8.7%、「自宅以外に避難した」は予測情報が2.8%、発生情報が3.0%となっている（問4、予測情報、n=602。問7、発生情報、n=656）。このように、線状降水帯に関する情報が自分のいる地域または近隣地域に発表されたときの行動については、直接的な避難行動で発生情報が予測情報をやや上回ったものの、予測情報と発生情報で概ね同じような傾向となった。

(3) キキクル

キキクル（危険度分布）の認知は、「どのようなものであるか知っている」が13.6%、「名前は聞いたことがあるが、詳しくは知らない」が22.3%、「知らない」が64.2%と、約半数以上の人が「知らない」と回答しており、認知度が非常に低い状況である（問1）。

自分のいる地域または近隣地域で、キキクルの情報により、大雨災害が発生する危機感が高まったかについては、「危機感が高まった」が51.0%、「やや危機感が高まった」が47.1%で、両者を合わせた98.1%が“危機意識”を抱いたことになる（問10、n=255）。

キキクルにおいて、お住まいの地域または近隣地域で危険度が高まったと回答した方（n=255）の行動としては、「ハザードマップを確認した」が53.3%と最も高く、次いで、「自宅が安全だったので自宅にいた」が45.1%、「避難先、避難ルートを確認した」が37.6%となっている（問11）。また、割合は少ないが、直接的な避難行動になる「自宅の2階以上に移動した」は13.3%、「自宅以外に避難した」は6.3%となっている。

(4) 台風情報

台風情報を見聞きした際の行動は、「テレビ、ラジオ等から最新、詳細な気象情報（雨の状況や警報の発表状況など）を確認した」が60.1%、「インターネットから最新、詳細な気象情報（雨の状況や警報の発表状況など）を確認した」が52.9%、「外出を控えた」が46.3%と上位を占める（問17）。経年で比較すると、令和3年度調査に比べると「テレビ、ラジオ等から最新、詳細な気象情報（雨の状況や警報の発表状況など）を確認した」が低下し、「レジャーや旅行の計画の変更又は継続について検討を行った」などが大きく増加している。

近年、台風情報を見聞きした際の行動の変化については、「自分自身の防災意識が向上したため、変化した」が42.8%と最も高く、次いで「変化していない」が33.7%、「公共交通機関の計画運休や店舗等の休業が早期に公表されたため、変化した」が31.8%となっており、近年、台風情報を見聞きした際の行動が変化した割合は66.3%となっている（問18、n=1,741）。

なお、重視する台風情報については、「進路の予報（予報円）」が77.5%と最も高く、次いで「強度の予報（風速や中心気圧）」が62.3%、「雨の予報」が60.2%、となっている（問12）。

台風情報に期待することについては、予報期間の短い台風情報（現在～1週間程度）では「台風の進路や強度の予報精度向上」が71.5%と最も高い。一方、予報期間の長い（1週間程度～）台風情報については、「台風が発生する1週間前～1か月前から提供される、発生・接近に関する見通し」が62.2%となっている（問13、15）。

(5) 防災についての意識

防災意識を向上させるための平時からの備えの状況については、「気象庁からの情報を確認する」が55.0%と最も高く、次いで「お住まいの市区町村からの情報を確認する」が42.1%、「特段、何もしていない」が26.9%となっている（問19）。

（６）比較的先（数週間～数か月）の予測情報に関する意識

季節予報情報の主な利用理由については、各季節予報情報において「防災対策や災害への備え」、「旅行やレジャーの計画」、「衣替えや健康管理の参考」が高くなっている。しかし、『エルニーニョ監視速報』では、「利用していない」が77.5%と、他の季節予報情報と比較して高くなっている（問21）。

将来新たに極端な現象が発生する可能性についての情報で利用したい内容については、「2週間程度先までの、大雨、大雪、暴風の可能性」が49.3%と最も高く、次いで「2週間程度先までの、季節外れの高温・低温の可能性、熱中症の危険性のあるような猛暑になる可能性」が46.7%となっている（問23）。

（７）気候変動

文部科学省と気象庁が共同で公表した刊行物「日本の気候変動2020」については、「聞いたことがあり、概要版・本編・詳細版のいずれかを既に読んだことがある」が4.2%、「聞いたことがあり、読んだことはないが、どのような資料か知っている」が7.2%、「聞いたことはあるが、読んだことはなく、どのような資料かも知らない」が17.4%、「聞いたことがない」が71.5%となっている（問32）。

気候変動が引き起こす問題を理解するために必要な情報の関心度については、「とても関心がある」が19.4%、「関心がある」が55.1%となっている。防災意識を向上させるための平時からの備えの状況別にみると、何らかの備えをしている層は「とても関心がある」と「関心がある」の合計が86.7%となっている（問26）。

気候変動を感じる事象としては、「猛暑、熱帯夜、夏の暑さ」が77.2%、「大雨、豪雨、激しく降る雨」が70.6%と2大事象となっている（問27）。

将来考えられる気候変動の影響等の予測で最も知りたいこととしては、「真夏日、猛暑日の変化」が22.3%、「平均気温の変化」が20.6%で上位になっており、将来考えられる気候変動の影響等の予測でもっとも知りたいことでは、「2030年頃に予測される変化（現在から約10年後）」が84.0%を占めている（問29、n=1,686）。

また、気候変動に関する情報への期待としては、「これから気候変動がどう進むのか、地域毎のより詳細な情報」が44.8%で最も高く、これに「より正確かつ詳細な天気予報（明日・明後日、週間、台風）」が38.5%、「これまでに気候変動がどのくらい進んできているのか、地域毎のより詳細な情報」が34.3%、「大雨等の極端な現象への気候変動の影響（これまで、これから共に）」が33.3%と続いている（問30）。

（８）緊急記者会見

気象庁が行う緊急記者会見を見聞きする際に最も利用する媒体については、「テレビ」が67.8%と最も高く、次いで「緊急記者会見自体を知らない」が12.3%、「インターネット（気象庁公式SNS）」が10.0%となっている（問34）。

また、自分のいる地域、関係する地域の緊急記者会見を見聞きして感じた危機感については、「気象庁が伝えたい危機感が、伝わってきた」が62.9%と最も高く、次いで「自分のいる地域または関係する地域を対象にした緊急記者会見を見たことがない」が27.0%、「気象庁が伝えたい危機感は、伝わってこなかった」が10.1%となっている（問35、n=1,752）。

自分のいる地域または関係する地域の緊急記者会見を見聞きして感じた危機感を、最も利用する媒体別に見ると、テレビで「気象庁が伝えたい危機感が、伝わってきた」が64.9%となっている。また、ラジオやインターネットと比較すると9ポイントほど高くなっている（問35）。

(9) 津波フラッグ

「津波フラッグ」の認知度については、「「津波フラッグ」を知っていて、その意味も知っている」が4.0%、「「津波フラッグ」は知らないが、津波について伝える旗があることは知っている」が6.7%、「「津波フラッグ」は知っているが、その意味は知らない」が7.7%、「知らない」が81.6%となっている。令和2年度調査では、津波フラッグとその意味を知っている割合は4.6%、津波を伝える旗があることを知っている割合は8.9%、津波フラッグは知っているがその意味は知らない割合は5.1%、知らないと答えた割合は81.5%であり、その傾向は大きく変わっていない（問36）。

「津波フラッグ」の使用場面の認知度については、「津波フラッグ」を知っている、または津波を伝えている旗があることを知っている方（n=368）のうち、「大津波警報が発表されたとき」が34.2%、「津波警報が発表されたとき」が45.4%、「津波注意報が発表されたとき」が25.5%、「分からない」が28.8%となっている。令和2年度調査では、大津波警報発表時と回答した割合は38.5%、津波警報発表時と回答した割合は46.6%、津波注意報発表時と回答した割合は30.7%、分からないと回答した割合は26.4%であり、こちらも傾向に大きな変化はみられない（問37）。

「津波フラッグ」を知ったきっかけについては、「テレビ」が67.1%と最も高く、次いで「YouTube、X、Instagram等のソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）」が20.1%、「自治体広報誌」が9.8%となっている（問38）。

2. 今後の防災情報の更なる理解度向上に向けて

本アンケートの結果をみると、各防災情報の認知度や理解度は、年齢層によってばらつきがみられた。高年層ほど各防災情報の認知度や理解度は高く、若年層ほど各防災情報の認知度や理解度は低い傾向にあった。

台風情報を例にみると、過去1年間に台風情報を見聞きした場合の行動については、「テレビ、ラジオ等から最新、詳細な気象情報（雨の状況や警報の発表状況など）を確認した」は60代以上が76.1%、「インターネットから最新、詳細な気象情報（雨の状況や警報の発表状況など）を確認した」は50代が61.1%と高年層で高い。しかし、「特段何も行動を取らなかった」は年代が低いほど高くなる傾向がみられ、台風情報への認知度や理解度が低いことが読み取れる。防災情報の認知度や理解度が低い層にも災害リスクを抱えている人が一定数含まれているはずであり、いざ災害が発生した際に、各防災情報の認知度や理解度が低いために適切な行動がとれない可能性があることは否定できない。これらの層の防災情報に対する認知度・理解度のボトムアップにつとめることが、国民全体の防災情報に対する認知度・理解度の向上及び均等化につながり、減災の観点からも効果的であると考えられる。

一方、防災に関する情報を得る媒体については、全体では「テレビ、ラジオ」が73.6%と最も高いが、年代別にみると、「X、フェイスブック、LINEなどのソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）」が20代では44.9%、30代では38.8%と、年代が低いほど利用率が高くなる傾向がみられる。上記のことから、各防災情報の認知度や理解度が低い傾向の若年層にアプローチする手段として、X、フェイスブック、LINEなどのソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）を活用することが効果的であると考えられる。若年層の防災情報の認知度や理解度を向上させることにより、国民全体の防災情報に対する認知度・理解度が高まっていくと考えられる。

IV. 卷末資料

--- < 1. 調査票 > ---

令和6年度気象情報の利活用状況等に関する調査

■■■防災気象情報(線状降水帯に関する情報、キキクル(危険度分布))の活用度

(全員)

Q1 あなたは、大雨や台風などによる災害から身を守るために気象庁から発表される以下の防災気象情報を見聞きしたことがありますか。また、どのような情報が知っていますか。見聞きしたことがある、また知っているものを全て選んでください。

<項目>

- 1 線状降水帯の予測情報
- 2 線状降水帯の発生情報(顕著な大雨に関する気象情報)
- 3 キキクル(危険度分布)
- 4 注意報、警報、特別警報
- 5 早期注意情報(警報級の可能性)
- 6 土砂災害警戒情報
- 7 台風情報
- 8 全般、地方、府県の気象情報
- 9 指定河川洪水予報(氾濫注意情報、氾濫警戒情報、氾濫危険情報、氾濫発生情報)
- 10 竜巻注意情報
- 11 記録的短時間大雨情報

- ① 見聞きしたことがあり、どのような情報が知っている
- ② 見聞きしたことはあるが、どのような情報が知らない
- ③ 見聞きしたことがない

(ここでページを切り替え)

(全員)

※Q2 の上部に以下説明文を表示

(線状降水帯の予測情報)

気象庁では、線状降水帯による大雨の可能性が高いと予測できた場合に、半日程度前から「線状降水帯」というキーワードを使って呼びかける、いわゆる線状降水帯の予測情報の提供を行っています。府県単位を基本に呼びかけを行っています。

(情報の例)

大雨と落雷及び突風に関する長崎県気象情報 第2号
令和6年7月13日16時02分 長崎地方気象台発表

長崎県では、14日午前中から午後にかけて、線状降水帯が発生して大雨災害発生の危険度が急激に高まる可能性があります。土砂災害に厳重に警戒し、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒してください。

Q2 線状降水帯の予測情報がお住いの地域または近隣地域に発表されたことがありますか？あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 発表されたことがある
- 2 発表されたことがない
- 3 おぼえていない

(Q2=1)

Q3 線状降水帯の予測情報により、大雨災害が発生する危機感が高まりましたか？あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 危機感が高まった
- 2 やや危機感が高まった

- 3 あまり危機感が高まらなかった
- 4 危機感が高まらなかった

(Q2=1)

Q4 線状降水帯の予測情報がお住まいの地域または近隣地域に発表されたとき、あなたは次のような行動をとりましたか？あてはまるものを全て選んでください。

- 1 ハザードマップを確認した
- 2 避難先、避難ルートを確認した
- 3 浸水に備えて土のうを積んだ
- 4 自宅以外に避難した
- 5 自宅の2階以上に移動した
- 6 自宅が安全だったので自宅にいた
- 7 その他（自由記述）
- 8 特に意識することもなく行動をとらなかった
- 9 おぼえていない

(ここでページを切り替え)

(全員)

(Q4 回答後(Q5 回答前)に以下を表示。対象は全員) ※Q4 と同時に表示させてしまうと、答えが見えてしまうので、ページを分けていただきたい

線状降水帯が発生すると、大雨災害発生危険度の急激に高まる可能性があるため、心構えを一段高めていただくことを目的として線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけを行います。この呼びかけだけで避難行動をとるのではなく、ほかの大雨に関する情報と合わせてご活用ください。大雨災害に対する危機感を早めにもっていただき、ハザードマップや避難所・避難経路の確認等を行っていただくことが考えられます。

(ここでページを切り替え)

(全員)

※Q5 の上部に以下説明文を表示

(線状降水帯の発生情報(顕著な大雨に関する気象情報))

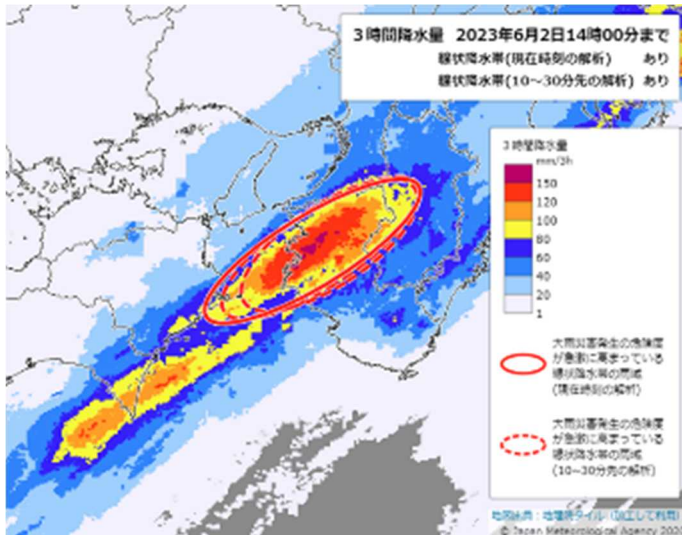
気象庁では、線状降水帯が発生し大雨による災害発生危険度の急激に高まっていることをいち早くお知らせする「顕著な大雨に関する気象情報」を発表しています。

(情報の例)

顕著な大雨に関する和歌山県気象情報 第1号
令和5年6月2日12時01分 大阪管区気象台発表

和歌山県北部では、線状降水帯による非常に激しい雨が同じ場所で降り続いています。命に危険が及ぶ土砂災害や洪水による災害発生危険度が急激に高まっています。

(線状降水帯の例)



Q5 線状降水帯が発生したという情報が、お住いの地域または近隣地域に発表されたことがありますか？あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 発表されたことがある
- 2 発表されたことがない
- 3 おぼえていない

(Q5=1)

Q6 線状降水帯が発生したという情報により、大雨災害が発生する危機感が高まりましたか？あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 危機感が高まった
- 2 やや危機感が高まった
- 3 あまり危機感が高まらなかった
- 4 危機感が高まらなかった

(Q5=1)

Q7 線状降水帯が発生したという情報がお住まいの地域または近隣地域に発表されたとき、あなたは次のような行動をとりましたか？あてはまるものを全て選んでください。

- 1 ハザードマップを確認した
- 2 避難先、避難ルートを確認した
- 3 浸水に備えて土のうを積んだ
- 4 自宅以外に避難した
- 5 自宅の2階以上に移動した
- 6 自宅が安全だったので自宅にいた
- 7 その他（自由記述）
- 8 特に意識することもなく行動をとらなかった
- 9 おぼえていない

(ここでページを切り替え)

(全員)

(Q7回答後(Q8の表示前)に以下を表示。対象は全員) ※Q7と同時に表示させてしまうと、答えが見えてしまうので、ページを分けていただきたい

この情報は警戒レベル4相当以上の状況で発表します。崖や川の近くなど、危険な場所にいる方は、地元市町村から発令されている避難情報に従い、直ちに適切な避難行動をとってください。周りの状況を確認し、避難場所への避難がかえって危険な場合は、少しでも崖や沢から離れた建物や、少しでも浸水しにくい高い

場所に移動するなど、身の安全を確保してください。市町村から避難情報が発令されていなくても、今後、急激に状況が悪化するおそれもあります。少しでも危険を感じた場合には、自ら安全な場所へ移動する判断をしてください。

(ここでページを切り替え)

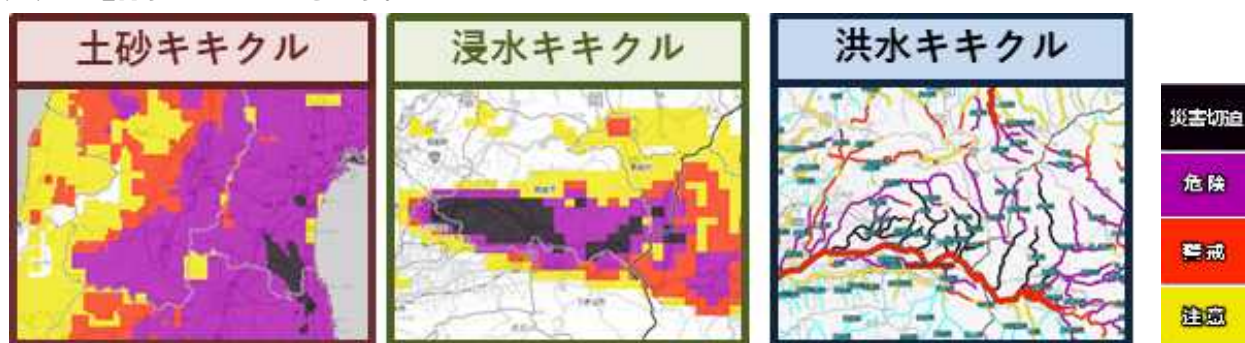
(全員)

※Q8 の上部に以下説明文を表示

(キキクル(危険度分布))

気象庁では、警報・注意報が発表されたときや、強い雨が降ってきたときに、どこで土砂災害や浸水害、洪水災害の危険度が高まっているかを知ることができる「キキクル(危険度分布)」を提供しています。

危険度の高まりを色分けして表示し、土砂災害の危険度が高まっている場所は土砂キキクル(左)、浸水害の危険度が高まっている場所は浸水キキクル(中央)、洪水災害の危険度が高まっている場所は洪水キキクル(右)で確認することができます。



Q8 あなたは、キキクル(危険度分布)をどのような手段で見たことがありますか？ あてはまるものを全てを選んでください。

- 1 気象庁のホームページ(パソコン)
- 2 気象庁のホームページ(スマートフォン)
- 3 気象庁以外のホームページ(パソコン)
- 4 気象庁以外のホームページ(スマートフォン)
- 5 スマートフォンのアプリ
- 6 テレビ
- 7 その他(自由記述)
- 8 キキクル(危険度分布)を見たことがない

(Q8=1~7)

Q9 キキクル(危険度分布)において、お住まいの地域または近隣地域で危険度が高まったことがありますか？あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 危険度が高まったことがある
- 2 危険度が高まったことがない
- 3 おぼえていない

(Q9=1)

Q10 キキクル(危険度分布)において、お住まいの地域または近隣地域で危険度が高まったことにより、大雨災害が発生する危機感が高まりましたか？あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 危機感が高まった
- 2 やや危機感が高まった
- 3 あまり危機感が高まらなかった
- 4 危機感が高まらなかった

(Q9=1)

Q11 キキクル（危険度分布）において、お住まいの地域または近隣地域で危険度が高まったとき、あなたは次のような行動をとりましたか。あてはまるものを全て選んでください。

- 1 ハザードマップを確認した
- 2 避難先、避難ルートを確認した
- 3 浸水に備えて土のうを積んだ
- 4 自宅以外に避難した
- 5 自宅の2階以上に移動した
- 6 自宅が安全だったので自宅にいた
- 7 その他（自由記述）
- 8 特に意識することなく行動をとらなかった
- 9 おぼえていない

(ここでページを切り替え)

(全員)

(Q11 回答後(Q12 回答前)に以下を表示。対象は全員) ※Q11と同時に表示させてしまうと、答えが見えてしまうので、ページを分けていただきたい

キキクルの色が赤になった場合は警戒レベル3に相当します。自治体からの高齢者等避難の発令に留意するとともに、高齢者等以外の方も普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自ら避難の判断をしたりしてください。

キキクルの色が紫になった場合は、危険な場所からの避難が必要とされる警戒レベル4に相当します。自治体からの避難指示の発令に留意するとともに、避難指示が発令されていなくてもキキクルや河川の水位情報等を用いて自ら避難の判断をしてください。

キキクルの色が黒になった場合は、災害が発生又は切迫していることを示す警戒レベル5に相当します。何らかの災害がすでに発生している可能性が極めて高い状況となっています。命の危険が迫っているため直ちに身の安全を確保してください。

■■■台風情報についてお伺いします。

(全員)

Q12 あなたは、台風情報について次のどれを重視しますか。あてはまるものを全て選んでください。

- 1 進路の予報（予報円）
- 2 強度の予報（風速や中心気圧）
- 3 雨の予報
- 4 高潮や波の予報
- 5 自分のいる地域が暴風の吹く範囲（暴風域）に入る可能性が高い時間帯
- 6 自分のいる地域が暴風の吹く範囲（暴風域）に入ったという情報
- 7 台風が上陸した時刻と場所の情報
- 8 その他（重視する内容を具体的に記入してください）
- 9 重視するものはない

(全員)

Q13 あなたが、予報期間の短い（現在～1週間程度）台風情報に期待することは何ですか。あてはまるものを全て選んでください。

- 1 台風の進路や強度の予報精度向上
- 2 台風の進路予報における台風が進む範囲の詳細な表現（現在は円で表現しているが、より詳細な分布で示すなど）
- 3 暴風や強風が吹く範囲の詳細な表現（現在は円で表現しているが、より詳細な分布で示すなど）
- 4 予報時間の延長（現在は5日先までの予報）
- 5 予報の時間間隔を6時間に短くした情報（現在、1日より先の予報は1日間隔）
- 6 台風の大きさの予報（現在は強さの予報のみ）
- 7 台風が温帯低気圧や熱帯低気圧に変わった後の進路や強度の予報の継続
- 8 高潮や波の分布や時系列の情報
- 9 台風が発生する2日前～1週間程度前から提供される、発生・接近・上陸に関する見通し（現在、台風発生1日前から提供）
- 10 その他（期待することを具体的に記入してください）
- 11 特になし

(Q13=1～10)

Q14 そのような予報期間の短い（現在～1週間程度）台風情報を何に活用したいですか。あてはまるものを全て選んでください。

- 1 より具体的な避難の準備や台風に対する備えを行う
- 2 レジャーや旅行の計画の変更又は継続について、より具体的な検討を行う
- 3 仕事の計画の変更又は継続について、より具体的な検討を行う
- 4 その他（活用したいことを具体的に記入してください）
- 5 活用したいことはない

(全員)

Q15 あなたが、予報期間の長い（1週間程度～）台風情報に期待することは何ですか。あてはまるものを全て選んでください。

- 1 台風が発生する1週間前～1か月前から提供される、発生・接近に関する見通し
- 2 台風シーズン前に提供される、その年の台風発生数の多い／少ないに関する見通し
- 3 その他（期待することを具体的に記入してください）
- 4 特になし

(Q15=1～3)

Q16 そのような予報期間の長い（1週間程度～）台風情報を何に活用したいですか。あてはまるものを全

て選んでください。

- 1 より具体的な避難の準備や台風に対する備えを行う
- 2 レジャーや旅行の計画の変更又は継続について、より具体的な検討を行う
- 3 仕事の計画の変更又は継続について、より具体的な検討を行う
- 4 その他（活用したいことを具体的に記入してください）
- 5 活用したいことはない

（全員）

Q17 あなたは、台風情報を見聞きした際に、どのような行動をとりましたか。過去 1 年間に見聞きした場合の行動について、あてはまるものを全て選んでください。

- 1 テレビ、ラジオ等から最新、詳細な気象情報（雨の状況や警報の発表状況など）を確認した
- 2 インターネットから最新、詳細な気象情報（雨の状況や警報の発表状況など）を確認した
- 3 ハザードマップを確認した
- 4 市区町村による避難情報を確認した
- 5 家族や知り合いに情報を伝えた
- 6 外出を控えた
- 7 通勤や通学ができるかどうかを確認した
- 8 レジャーや旅行の計画の変更又は継続について検討を行った
- 9 仕事の計画の変更又は継続について検討を行った
- 10 避難した又は避難の準備や台風に対する備えを行った
- 11 その他（とった行動を具体的に記入してください）
- 12 特段、何も行動をとらなかった

（Q17=1～11）

Q18 Q17 の台風情報を見聞きした際の行動について、近年、新たに行動するようになった、もしくはより早く又は入念に行動するようになったなど、変化しましたか。またその理由は何ですか。あてはまるものを全て選んでください。

- 1 自分自身の防災意識が向上したため、変化した
- 2 家族や知り合いなどから助言を受けたため、変化した
- 3 公共交通機関の計画運休や店舗等の休業が早期に公表されたため、変化した
- 4 リモートワークなどのオンライン環境が普及したため、変化した
- 5 その他（行動が変化した理由を具体的に記入してください）
- 6 変化していない

■■■防災についての意識等についてお伺いします。

(全員)

Q19 いざというときに適切な行動をとるための知識を得たり、防災意識を向上させるため、平時からの備えとしてどのようなことをしていますか。あてはまるものを全て選んでください。

- 1 お住まいの市区町村からの情報を確認する
- 2 気象庁からの情報を確認する
- 3 家族や知り合いと話し合う
- 4 ワークショップや研修会等に参加する
- 5 その他（具体的に記入してください）
- 6 特段、何もしていない

(全員)

Q20 災害が発生した/発生する恐れがある時に、防災に関する情報をどのような媒体から得ていますか、あてはまるものを全て選んでください。

- 1 テレビ、ラジオ
- 2 新聞（電子版、アプリを含む）
- 3 ホームページ（お住まいの自治体、気象庁など）
- 4 X、フェイスブック、LINE などのソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）
- 5 その他（具体的に記入してください）
- 6 特に、情報は得ていない

■■■比較的先(数週間～数か月)の予測情報に関する意識等についてお伺いします。

(全員)

Q21 以下の季節予報について、その情報を利用していますか。また、どのような用途で利用していますか。あてはまるものを全て選んでください。

<項目>

- 1 2週間気温予報
- 2 早期天候情報
- 3 1か月予報
- 4 3か月予報
- 5 暖候期予報
- 6 寒候期予報
- 7 エルニーニョ監視速報

- ① 防災対策や災害への備え
- ② 商品の生産や販売計画、店舗や倉庫の在庫管理や陳列の調整
- ③ 農作物の管理
- ④ 業務の人員シフトの調整
- ⑤ 保険や投資の判断材料の参考
- ⑥ 旅行やレジャーの計画
- ⑦ 衣替えや健康管理の参考
- ⑧ その他(自由記入)
- ⑨ 利用していない

※季節予報の概要(後述)について、回答前に表示して確認できるようにする

(Q21=①～⑧)

Q22 以下のうち、どの気象情報をよくご覧になりますか?あてはまるものを全て選んでください。

- 1 気温(高い・平年並・低い)の予報
- 2 降水量(多い・平年並・少ない)の予報
- 3 日照時間(多い・平年並・少ない)の予報
- 4 降雪量(多い・平年並・少ない)の予報
- 5 2週間気温予報の解説文や1か月予報等の「特に注意を要する事項」のような文章による情報
- 6 その他()

(全員)

Q23 将来新たに猛暑や暴風等の極端な現象が発生する可能性について、以下の1～9に示すような情報ができたとしたら、どれを利用したいと思いますか?あてはまるものを全て選んでください。

- 1 2週間程度先までの、季節外れの高温・低温の可能性、熱中症の危険性のあるような猛暑になる可能性
- 2 2週間程度先までの、大雨、大雪、暴風の可能性
- 3 1か月予報、3か月予報における、季節外れの極端な高温・低温の可能性、猛暑日や熱帯夜の日数が平年を上回る(下回る)可能性
- 4 より長期(6か月以上先)の予報
- 5 年間の台風の発生数・接近数が平年を上回る(下回る)可能性
- 6 より「時間単位(スケール)」の細かい予報
(例:2週間気温予報において、5日間平均気温 → 日々の気温 を予報するなど)
- 7 より空間的に細かい予報(例:関東甲信地方などの広い地域 → 県別 に予報する等)
- 8 確率を用いない断定的な予報
(例:向こう1か月の気温が高くなる確率は50% → 向こう1か月の気温は高い と予報する等)
- 9 階級を用いない定量的な予報
(例:高い、平年並、低い → 平年より〇度高い と予報する等)
- 10 特にない

(Q23=1~9)

Q24 選択いただいた情報があればどのような用途で利用したいですか？（自由記述）

(Q23=1~9)

Q25 気象の予測では、時間的に先(未来)の予測ほど精度が低くなる性質があります。もし1週間から2週間程度先に猛暑や暴風等の極端な現象が発生する可能性の予報が出されるとしたら、次の1~2に示す情報のどちらが利用しやすいですか？

- 1 空振りしてもよいので、極端な現象の可能性があれば早めにその旨を知らせる情報。
- 2 外れることもあるので、あまり早くから注意喚起するのではなく、極端な現象の発生する可能性が高まってからその旨を知らせる情報。
- 3 どちらともいえない

季節予報等については、以下をご参照ください。

季節予報

○季節予報の種類と内容

気象庁が定期的に発表する季節予報には、2週間気温予報、1か月予報、3か月予報、暖候期予報、寒候期予報があります。また、2週間気温予報の対象期間における顕著な天候に対して注意を呼び掛ける情報として、早期天候情報を発表しています。

季節予報では、ある期間の平均的な天候の特徴を対象とし、気温や降水量などについて、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」といった階級区分を使って、各階級が出現する可能性を確率で表現します。

季節予報の種類と内容

種類	発表日時	内容(確率で表現している予報要素)
2週間 気温予報	毎日 14 時 30 分	6日後から 14 日後までの間の 5 日間平均した地域平均気温の階級、代表地点の最高・最低気温及びこれらの階級
1 か月 予報	毎週末曜日 14 時 30 分	向こう 1 か月間の平均気温、降水量、日照時間、降雪量 ^{*1} 、1 週目、2 週目、3～4 週目の平均気温
3 か月 予報	原則、毎月 25 日 以前の火曜日 14 時	3 か月平均気温、降水量、降雪量 ^{*1} 、各月の平均気温、降水量
暖候期 予報	原則、2 月 25 日 以前の火曜日 14 時 ^{*2}	夏(6～8 月)の平均気温、降水量、梅雨時期(6～7 月、沖縄・奄美は 5～6 月)の降水量
寒候期 予報	原則、9 月 25 日 以前の火曜日 14 時 ^{*2}	冬(12～2 月)の平均気温、降水量、降雪量(日本海側の地域のみ)
早期天候 情報 ^{*3}	原則月・木曜日 14 時 30 分 (最大週 2 回)	6 日後から 14 日後までの間の 5 日間平均気温が「かなり高い」または「かなり低い」、5 日間降雪量が「かなり多い」 ^{*1} となる天候の可能性

^{*1} 冬季の日本海側の地域のみ。 ^{*2} 3 か月予報と同時発表。

^{*3} 季節予報に関わる気象情報

○季節予報で使う階級区分

階級区分は平年値期間(1991～2020 年) 30 年間の天候から、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の各階級の出現率が等しく 33%になるように決めています。階級の境界値は地域と季節により異なります。

33% 低い 少ない	33% 平年並	33% 高い 多い
------------------	------------	-----------------

○季節予報の予報区

季節予報には、気象庁本庁が全国を対象として発表する全般季節予報と、地方予報中樞官署が各地方を対象として発表する地方季節予報があります^{*1}。

全般季節予報では、日本を 4 つの地域(北日本、東日本、西日本、沖縄・奄美)^{*2}に分けて記述しています。地方季節予報では、11 の予報区毎に、地方の気候特性を考慮して予報を発表しています。

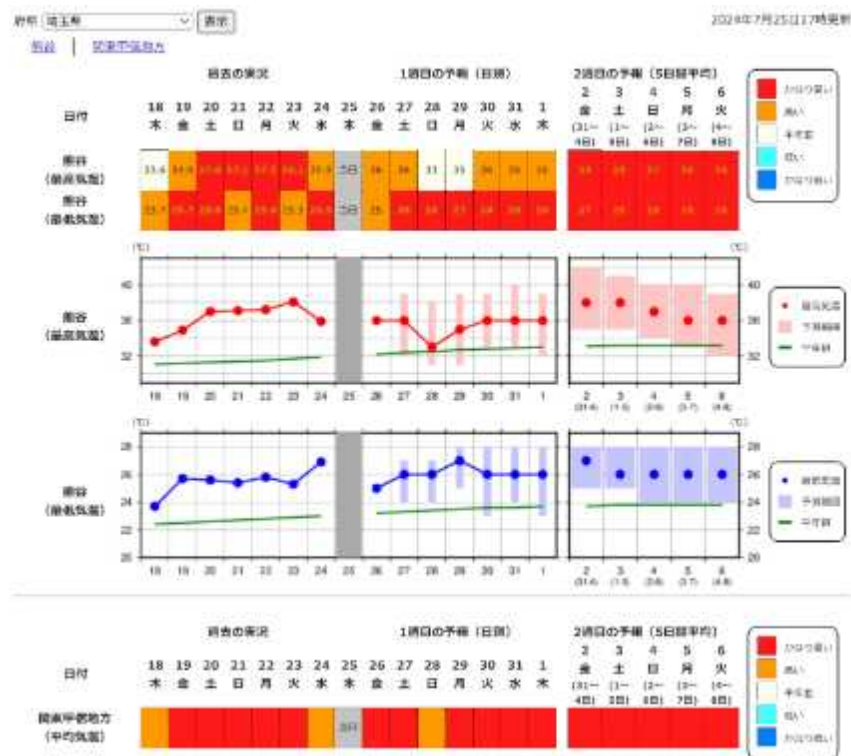


^{*1} 2 週間気温予報では、気象庁本庁が各地方の地方季節予報を一括して発表します。

^{*2} 降水量および日照時間は、北日本、東日本、西日本をさらに日本海側と太平洋側に分けた 7 つの地域を用います。

○2週間気温予報 (<https://www.data.jma.go.jp/cpd/twoweek/>)

埼玉県の場合



○早期天候情報（https://www.data.jma.go.jp/cpd/souten/?reg_no=0&elem=temp）
関東甲信地方の例

高温に関する早期天候情報（関東甲信地方）
令和6年7月25日14時30分
気象庁 発表

関東甲信地方 7月31日頃から かなりの高温
かなりの高温の基準：5日間平均気温平年差 +2.1℃以上

関東甲信地方の向こう2週間の気温は、暖かい空気に覆われやすいため、かなり高い見込みです。
気温が1年を通して最も高い時期ですので、熱中症の危険性が高い状態が続きます。引き続き、屋外での活動等では飲料水や日陰を十分に確保するなど熱中症対策を行い、健康管理に注意してください。また、農作物や家畜の管理等にも注意してください。
なお、1週間以内に高温が予測される場合には高温に関する気象情報を、翌日または当日に熱中症の危険性が極めて高い気象状況になることが予測される場合には熱中症警戒アラートを発表しますので、こちらにも留意してください。

○1か月予報（https://www.jma.go.jp/bosai/season/#term=1month&area_type=offices&area_code=130000）
関東甲信地方の例



○3か月予報（https://www.jma.go.jp/bosai/season/#term=3month&area_type=offices&area_code=130000）
近畿地方の例

近畿地方 3か月予報 (09月～11月)		
2024年08月20日14時00分 大阪管区気象台 発表		
09月～11月	気温	平均気温は、高い確率60%です。
	降水量	降水量は、近畿太平洋側で平年並または多い確率ともに40%です。
09月	天候	天気は数日の周期で変わるでしょう。
	気温	気温は、高い確率60%です。
	降水量	降水量は、近畿太平洋側で平年並または多い確率ともに40%です。
10月	天候	近畿日本海側では、天気は数日の周期で変わるでしょう。近畿太平洋側では、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。
	気温	気温は、高い確率50%です。
	降水量	降水量は、近畿太平洋側で平年並または多い確率ともに40%です。
11月	天候	近畿日本海側では、期間の前半は、天気は数日の周期で変わるでしょう。期間の後半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。近畿太平洋側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
	気温	気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

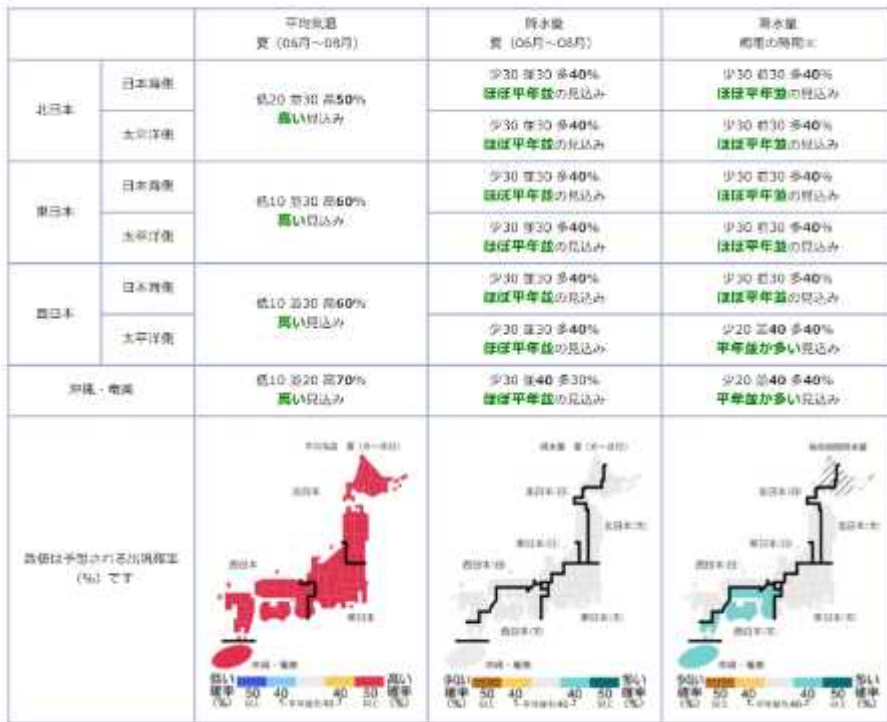
気温、降水量の各階級の確率 (%)			
気温	近畿地方	09月～11月	10 30 60
		09月	10 30 60
		10月	10 40 50
		11月	20 40 40
降水量	近畿太平洋側	09月～11月	20 40 40
		09月	20 40 40
		10月	20 40 40
		11月	30 40 30
	近畿日本海側	09月～11月	30 30 40
		09月	30 30 40
		10月	30 30 40
		11月	30 40 30

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

次回発表予定等	
次回は2024年09月24日(火)14時00分に発表予定	
なお、9月の予報については、新しい資料による次回以降の1か月予報を適宜ご利用ください。	

○暖候期予報 (<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/kaisetsu/?term=P6M>)

夏 (06月～08月) の平均気温・降水量



■■■気候変動についてお伺いします。

(全員)

Q26 あなたは、気候変動やそれが引き起こす問題を理解するために必要な情報にどの程度関心がありますか。あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 とても関心がある
- 2 関心がある
- 3 あまり関心がない
- 4 まったく関心がない

(全員)

Q27 あなたは、どのような事柄で気候変動の影響を感じることがありますか。あてはまるものを全て選んでください。

- 1 猛暑、熱帯夜、夏の暑さ
- 2 大雨、豪雨、激しく降る雨
- 3 暖冬、雪不足、冬の寒さ、湖の結氷
- 4 桜の開花日や紅葉、作物の植付けに適した時期、植物の生長の変化等
- 5 動物や虫の種類や行動等の変化
- 6 海面水温の高温化、海面水位の上昇
- 7 報道される国際会議の結果や政府方針等
- 8 その他（ ）
- 9 特に感じていない

(全員)

Q28 あなたが、将来考えられる気候変動及びその影響等の予測でもっとも知りたいことは何ですか。あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 二酸化炭素などの温室効果ガスの濃度の変化
- 2 平均気温の変化
- 3 大雨、洪水の変化
- 4 台風（強度、大きさ、発生数）の変化
- 5 真夏日、猛暑日の変化
- 6 熱波、渇水の変化
- 7 高潮、高波の変化
- 8 雪（降雪量、降雪日数）の変化
- 9 冬日、真冬日の変化
- 10 日射量など（日差し、紫外線、赤外線）の変化
- 11 海面水温、海面水位の変化
- 12 海洋の酸性化、酸素濃度の変化
- 13 その他（ ）
- 14 特に知りたいことは無い

(Q28=1～13)

Q29 それはいつ頃を対象とした予測ですか。あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 2030年頃に予測される変化（すぐその未来）
- 2 2050年頃に予測される変化（20～30年後）
- 3 2100年頃に予測される変化（今世紀末）
- 4 その他（ ）年頃に予測される変化

(全員)

Q30 気候変動や気候変動対策に関する情報で、期待するものは何ですか。あてはまるものを全て選んでください。

- 1 これまでに気候変動がどのくらい進んできているのか、地域毎のより詳細な情報
- 2 これから気候変動がどう進むのか、地域毎のより詳細な情報
- 3 大雨等の極端な現象への気候変動の影響（これまで、これから共に）
- 4 50年に1度の大雨や100年に1度の大雨といった、めったに起こらない気象現象の将来変化
- 5 より正確かつ詳細な天気予報（明日・明後日、週間、台風）
- 6 より正確かつ詳細な季節予報（1ヵ月予報、3ヵ月予報、寒候期・暖候期予報）
- 7 その他（ ）
- 8 期待する情報はない

(全員)

Q31 気候変動や気候変動対策に関する情報を、どのような媒体から得ていますか。あてはまるものを全て選んでください。

- 1 テレビ、ラジオ
- 2 新聞、雑誌
- 3 パンフレットなどの刊行物（紙媒体）
- 4 ホームページ（SNSは除く）
- 5 X、フェイスブック、LINEなどのソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）
- 6 アプリ（ニュースアプリ、気候変動関連のアプリ等。SNSは除く。）
- 6 その他（ ）
- 7 情報を得ていない

(全員)

Q32 あなたは、文部科学省と気象庁が共同で公表した刊行物「日本の気候変動 2020」(※)についてご存じですか。あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 聞いたことがあり、概要版・本編・詳細版のいずれかを既に読んだことがある
- 2 聞いたことがあり、読んだことはないが、どのような資料か知っている
- 3 聞いたことはあるが、読んだことはなく、どのような資料かも知らない
- 4 聞いたことがない

※日本の気候変動 2020 は、以下の URL からご覧になれます。

<https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/ccj/index.html>

(Q32=1)

Q33 あなたは、「日本の気候変動 2020」をどのような目的に利用しましたか。あてはまるものを全て選んでください。

- 1 勤務先の企業や団体等における計画や取組等の立案・実施
- 2 勤務先の企業や団体等における対外向け広報資料等の作成
- 3 勤務先の企業や団体等における内部広報誌等の作成
- 4 自主学習
- 5 その他（ ）

■■■緊急記者会見についてお伺いします。

(全員)

Q34 気象庁では、大雨や台風、地震、津波などによって重大な災害が発生するおそれが高まっているときに、そのことをお知らせするために緊急記者会見を行います。気象庁が行う緊急記者会見を見聞きする手段として最も利用するものは何ですか。1つ選んでください。

- 1 テレビ
- 2 ラジオ
- 3 インターネット（気象庁公式 SNS）
- 4 インターネット（気象庁公式 SNS 以外の映像配信）
- 5 緊急記者会見自体を知らない

(Q34=1～4)

Q35 緊急記者会見をご覧になり、その対象が自分のいる地域または関係する地域となっていたとき、どのように感じましたか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

- 1 気象庁が伝えたい危機感が、伝わってきた
- 2 気象庁が伝えたい危機感は、伝わってこなかった
- 3 自分のいる地域または関係する地域を対象にした緊急記者会見を見たことがない

■■■地震、津波に関する防災情報についてお伺いします。

(全員)



Q36 あなたは、「津波フラッグ」(右図)を知っていますか？

- 1 「津波フラッグ」を知っていて、その意味も知っている
- 2 「津波フラッグ」は知らないが、津波について伝える旗があることは知っている
- 3 「津波フラッグ」は知っているが、その意味は知らない
- 4 知らない

(Q36=1~3)

Q37 「津波フラッグ」はどのようなときに用いられるか知っていますか。あてはまるものを全て選んでください。

- 1 大津波警報が発表されたとき
- 2 津波警報が発表されたとき
- 3 津波注意報が発表されたとき
- 4 津波注意報から大津波警報または津波警報に変わったとき
- 5 津波警報が解除されたとき
- 6 分からない

(Q36=1、3)

Q38 「津波フラッグ」をどこで知りましたか？あてはまるものを全て選んでください。

- 1 テレビ
- 2 ホームページ ()
- 3 YouTube、X、Instagram等のソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)
- 4 デジタルサイネージ(電子掲示板)
- 5 ポスター
- 6 パンフレット、リーフレット
- 7 自治体広報誌
- 8 海開き、避難訓練等のイベント
- 9 気象台が開催するイベント(お天気フェアなど)
- 10 その他 ()

■■■最後に、気象庁の取組についてお伺いします。

(任意回答)

Q39 気象庁の取組に対してご意見・ご要望がありましたらお聞かせください。(自由記載)

以上

2. 自由回答一覧

Q4. 線状降水帯の予測情報がお住まいの地域または近隣地域に発表されたとき、あなたは次のような行動をとりましたか？／7. その他：

備蓄を確認（女性・20代・岐阜県）
自宅があるエリアが避難場所に行くよりはまだ安全なので自宅にいたが、自宅の耐久性に問題があるので不安だった。（男性・30代・大分県）
食料、水分備蓄（女性・20代・福岡県）
車の移動を検討した（女性・30代・愛知県）
予想図等で今後の雨の降り方に注意した（男性・20代・福岡県）
徹夜した（男性・60代以上・山口県）
旅行中だった（女性・60代以上・徳島県）
普段から浸水しそうな外小屋は地面にモノを置いていない（女性・60代以上・熊本県）
全ての雨戸を閉めた（女性・60代以上・兵庫県）

Q7. 線状降水帯が発生したという情報がお住まいの地域または近隣地域に発表されたとき、あなたは次のような行動をとりましたか？／7. その他：

お風呂に水を張った（女性・60代以上・和歌山県）
テレビの情報を注意深く観ていた（男性・60代以上・広島県）
自宅があるエリアが避難場所へ行くより安全なので自宅にいたが、自宅の耐久性に問題があるので不安だった。（男性・30代・大分県）
気象庁のHPを確認した（男性・60代以上・高知県）
車の移動を検討した（女性・30代・愛知県）
旅行中だった（女性・60代以上・徳島県）
雨樋の詰まりを掃除した（女性・40代・神奈川県）

Q8. あなたは、キキクル(危険度分布)をどのような手段で見たことがありますか？／7. その他：

新聞（男性・60代以上・長野県）
ipad（女性・60代以上・神奈川県）
タブレット（女性・60代以上・熊本県）
論文資料（女性・20代・千葉県）
ヤフーニュース（男性・60代以上・神奈川県）
Yahoo 気象情報（男性・50代・石川県）

Q12. あなたは、台風情報について次のどれを重視しますか。／8. その他 重視する内容を具体的に記入してください：

電車の運行状況（女性・40代・埼玉県）
土砂災害（女性・20代・愛媛県）
強風の方角等（男性・60代以上・大阪府）
接近予想時間（男性・20代・神奈川県）
子供の学校等の行き先（女性・30代・京都府）
進路予測（女性・60代以上・大阪府）
公共交通機関の情報（女性・60代以上・大阪府）
交通情報収への影響（男性・40代・東京都）
予想雨量（女性・60代以上・熊本県）
テレビで近隣の状況を見てその後の風雨の状況を判断して考える。（男性・60代以上・静岡県）

Q13. あなたが、予報期間の短い（現在～1週間程度）台風情報に期待することは何ですか。／10. その他（期待することを具体的に記入してください）

車なし、犬ありで、荷物を持ってどのようにどこへ逃げたら良いかわからない。その場合は家で死ぬのを待つしかないのかな？（女性・60代以上・和歌山県）
解りやすい説明（女性・60代以上・福岡県）
気圧の変化の予報（女性・40代・大阪府）
身近に迫っては色々気になります（女性・50代・山梨県）
予想される降水量（女性・30代・群馬県）
自分の地域に関する情報（女性・60代以上・埼玉県）
台風から温帯低気圧になる事は、変わるとの表現により、緊迫感を無くすので、風速が〇メートルから下がりましたので温帯低気圧と呼びます。などに変更されたい（男性・60代以上・岩手県）
暴風域の円でも、場所によっては風の強弱があるので、表示してほしい（男性・40代・岐阜県）
降水量の変化（女性・20代・宮城県）
どの程度の備えかのレベルと備え方（女性・60代以上・熊本県）

Q14. そのような予報期間の短い（現在～1週間程度）台風情報を何に活用したいですか。／4. その他 活用したいことを具体的に記入してください：

買い物の内容や時間、犬の散歩の時間などの計画（女性・50代・東京都）
1週間の洗濯の進め方（女性・30代・長野県）
家の周りの飛んで行きそうな物を、撤去する（女性・50代・山梨県）
洗濯物などの家事（女性・30代・宮城県）
買い物などの外出（男性・50代・群馬県）
家の備蓄購入等（女性・30代・宮崎県）
列車乗務員なので仕事の事（男性・60代以上・埼玉県）
食品等の買い物（女性・60代以上・北海道）
買い物の計画（女性・60代以上・東京都）
食料の買いだめ（女性・60代以上・和歌山県）
通勤手段と服装（女性・60代以上・北海道）
買い溜めスパンの検討（女性・40代・神奈川県）
園芸やっているの、その整理に（女性・60代以上・熊本県）

Q15. あなたが、予報期間の長い（1週間程度～）台風情報に期待することは何ですか。／3. その他（期待することを具体的に記入してください）

事前に備える（男性・60代以上・長野県）
気温の変化（女性・50代・愛知県）
予定を考える（女性・60代以上・兵庫県）
予報の確実性（女性・60代以上・奈良県）
進路や強さ（女性・30代・滋賀県）
旅行、仕事の外出予定などの計画（女性・60代以上・東京都）
予想進路（男性・60代以上・熊本県）
発生場所や規模の変化（女性・60代以上・北海道）
事前に準備できる事の情報（男性・40代・茨城県）
台風発生1週間前からの見通し（女性・60代以上・鹿児島県）
2～3日前になったら、できるだけ詳細な進路及び災害等の提供（男性・60代以上・静岡県）

Q16. そのような予報期間の長い（1週間程度～）台風情報を何に活用したいですか。／4. その他 活用したいことを具体的に記入してください：

家の防備（男性・60代以上・神奈川県）
少し遠出の外出（男性・50代・群馬県）
ガーデニング（女性・60代以上・熊本県）

Q17. あなたは、台風情報を見聞きした際に、どのような行動をとりましたか。過去1年間に見聞きした場合の行動について、あてはまるものを全て選んでください。／11. その他 とった行動を具体的に記入してください：

お風呂に水を張った（女性・60代以上・和歌山県）
犬の散歩や買い物時間などの計画変更を行った（女性・50代・東京都）
屋外の物の片付け（男性・50代・茨城県）
食料品の買いだめ（男性・40代・兵庫県）
家の周りの片付け（女性・60代以上・大阪府）
家の外周り（女性・60代以上・岡山県）
停電対策の買い物をした（懐中電灯や乾電池、食料品）（女性・60代以上・東京都）
庭や家周りの片付けや補強（女性・60代以上・熊本県）
防災グッズの確認（男性・60代以上・茨城県）

Q18. 前問の台風情報を見聞きした際の行動について、近年、新たに行動するようになった、もしくはより早く又は入念に行動するようになったなど、変化しましたか。またその理由は何ですか。／5. その他 行動が変化した理由を具体的に記入してください：

子供ができてより安全を重視するようになった（女性・40代・岡山県）
持ち出しの品物を揃えた（女性・60代以上・鹿児島県）
食べ物を事前に確保すること（女性・50代・愛知県）
車（車庫）の移動（女性・40代・福島県）
社内での注意喚起（女性・50代・茨城県）
台風、大雨による被害が甚大になってきたため（男性・40代・神奈川県）
子どもが生まれて、用意するものが増えたこと（女性・30代・宮城県）
近年は災害規模が大きい傾向と考えるから（男性・60代以上・静岡県）
他県での被害が大きいので（女性・40代・兵庫県）
旅行を短縮した（女性・60代以上・奈良県）
防災グッズの確認（男性・60代以上・茨城県）

Q19. いざというときに適切な行動をとるための知識を得たり、防災意識を向上させるため、平時からの備えとしてどのようなことをしていますか。／5. その他 具体的に記入してください：

SNSでの情報収集（女性・50代・千葉県）
テレビでニュースを見る（男性・30代・大分県）
マンション内のコミュニケーションをとる（女性・60代以上・東京都）
安全に避難する道を歩いて確認する（男性・60代以上・神奈川県）
防災メール確認（男性・60代以上・神奈川県）
ネット（女性・60代以上・茨城県）
テレビ ネット（女性・40代・兵庫県）
非常食飲料の準備（女性・60代以上・大阪府）
備蓄品の定期入換（男性・50代・石川県）
元々意識高いので、備えている（女性・60代以上・熊本県）

Q20. 災害が発生した/発生する恐れがある時に、防災に関する情報をどのような媒体から得ていますか。／5. その他 具体的に記入してください：

携帯アプリ（女性・50代・神奈川県）
自治体からのネット情報（女性・50代・茨城県）
お天気アプリ（女性・60代以上・沖縄県）
インターネット検索（男性・30代・大分県）
防災無線（男性・60代以上・福岡県）
日本気象協会、ウェザーニュース等の発表をネットから得る（男性・60代以上・愛知県）
天気予報アプリ（女性・40代・広島県）
ヤフーニュースなど（男性・40代・千葉県）
インターネット（男性・60代以上・茨城県）
ウェザーニュースアプリ（女性・50代・大阪府）
天気予報アプリ（男性・40代・北海道）
ウェザーニュースのアプリ（女性・30代・宮城県）
NERV（男性・20代・神奈川県）
天気予報アプリ（女性・50代・大阪府）
ヤフーニュース（男性・60代以上・神奈川県）
Yahoo アプリや Yahoo 天気アプリ（女性・60代以上・静岡県）
スマホなどネットで（女性・40代・兵庫県）
ウェザーニュースアプリ（女性・40代・東京都）
ウェザーニュース（男性・60代以上・東京都）
インターネット（女性・40代・静岡県）
スマホ（女性・60代以上・福島県）
Yahoo!JAPAN アプリ（男性・20代・奈良県）
スマホの天気アプリ（女性・60代以上・東京都）
天気予報サイト（男性・60代以上・愛知県）
ウェザーニュースのアプリ（女性・30代・三重県）
Yahoo!ニュース（女性・60代以上・鹿児島県）
自治体のライン（男性・60代以上・福島県）
Yahoo（男性・50代・石川県）
ヤフーニュースで防災関連の記事を見る（男性・40代・岐阜県）
ネットニュース（男性・60代以上・高知県）
スマホの天気情報アプリ他（女性・60代以上・熊本県）

Q2 1. 以下の季節予報について、その情報を利用していますか。また、どのような用途で利用していますか。／1. 2週間気温予報／8. その他：

日常のスケジュール調整（女性・50代・東京都）
外出の予定（女性・50代・神奈川県）
通勤（男性・30代・鳥取県）
仕事の計画（男性・60代以上・神奈川県）
食料や水の確保（女性・60代以上・茨城県）
買い物（女性・60代以上・北海道）
家事の計画（女性・60代以上・愛媛県）
寒さの予想（男性・40代・東京都）
出張時の参考（男性・50代・石川県）

Q2 1. 以下の季節予報について、その情報を利用していますか。また、どのような用途で利用していますか。／2. 早期天候情報／8. その他：

家から出ない（女性・60代以上・和歌山県）
日常のスケジュール調整（女性・50代・東京都）
業務における雨対策（男性・20代・三重県）
通勤方法（女性・60代以上・埼玉県）
勤務判断（男性・60代以上・福井県）
仕事の計画（男性・60代以上・神奈川県）
食糧品の蓄え等（女性・60代以上・北海道）
寒さの予想（男性・40代・東京都）

Q2 1. 以下の季節予報について、その情報を利用していますか。また、どのような用途で利用していますか。あてはまるものを全て選んでください。／3. 1か月予報／8. その他：

外出の予定（女性・50代・神奈川県）
仕事の計画（男性・60代以上・神奈川県）

Q2 1. 以下の季節予報について、その情報を利用していますか。また、どのような用途で利用していますか。あてはまるものを全て選んでください。／4. 3か月予報／8. その他：

なんとなく（女性・60代以上・埼玉県）
仕事の計画（男性・60代以上・神奈川県）
当たらないので何もしない（女性・60代以上・大阪府）

Q2 1. 以下の季節予報について、その情報を利用していますか。また、どのような用途で利用していますか。／5. 暖候期予報／8. その他：

日常のスケジュール調整（女性・50代・東京都）

Q2 1. 以下の季節予報について、その情報を利用していますか。また、どのような用途で利用していますか。／6. 寒候期予報／8. その他：

日常のスケジュール調整（女性・50代・東京都）
スタッドレスタイヤ交換（女性・40代・山梨県）

Q2 1. 以下の季節予報について、その情報を利用していますか。また、どのような用途で利用していますか。／7. エルニーニョ監視速報／8. その他：

困るなあとと思うだけ（女性・60代以上・和歌山県）
日常のスケジュール調整（女性・50代・東京都）
野菜類の購入計画（女性・40代・埼玉県）

Q2 2. 以下のうち、どの気象情報をよくご覧になりますか？／6. その他：

降水確率の予報（女性・20代・和歌山県）
気圧（男性・50代・石川県）

Q2 4. 選択いただいた情報があればどのような用途で利用したいですか？

農作物（男性・60代以上・奈良県）
健康体調管理に役立てたい（女性・50代・東京都）
外出の計画（女性・50代・長崎県）
健康管理 旅行予定（女性・60代以上・埼玉県）
今後の予定や計画を変えるかどうかの判断にする（男性・50代・東京都）
旅行（男性・30代・埼玉県）
知り合いのいないマンションの一階で暮らしており、近くには川や紀の川があるので、死ぬしかないのかなと思いつつ暮らしている。（女性・60代以上・和歌山県）
レジャー（女性・60代以上・愛知県）
旅行の計画のため（女性・60代以上・福岡県）
お出掛けの計画、服装、災害に備えた買い物（女性・20代・東京都）
緊急事態（男性・40代・福島県）
仕事や日常生活の行動に利用したい（女性・60代以上・東京都）
レジャーの予定や服装を考えるため（女性・50代・神奈川県）
日常のスケジュール調整や、防災グッズの内容を考慮する参考に。（女性・50代・東京都）
制度の高い長期予想（男性・60代以上・宮城県）
農作物の管理（男性・60代以上・埼玉県）
家族に伝える（女性・40代・茨城県）
避難について（女性・40代・広島県）
出かける際に参考にする（女性・20代・佐賀県）
記録的短時間大雨情報（男性・50代・東京都）
普段の生活（女性・60代以上・北海道）
雨量の正確さ（男性・50代・千葉県）
レジャー対策（女性・50代・神奈川県）
旅行やレジャーの用途（男性・40代・滋賀県）
仕事やレジャーの計画（男性・20代・三重県）
とても良い（男性・20代・高知県）
仕事（男性・60代以上・北海道）
仕事関連（男性・40代・鹿児島県）
通学や通勤の交通手段の判断（男性・20代・茨城県）
テレビと地域防災連絡（男性・60代以上・大分県）
具体的に利用用途はない。あらかじめ知っていることで心理的に安心する（男性・60代以上・青森県）

日々の生活での服装や洗濯物の量などを計画的に考えて行動したい（女性・40代・愛知県）
仕事の対策（男性・60代以上・東京都）
外出の予定（男性・60代以上・茨城県）
災害への備え（男性・50代・兵庫県）
仕事に行く日の外干しや、天気頭痛の予防薬の服用など（女性・50代・千葉県）
日頃の見出しなみを考え、いざという時の備えをする（男性・30代・新潟県）
洗濯物干し（女性・20代・鳥取県）
旅行やレジャー、通勤（女性・20代・神奈川県）
日常生活（男性・40代・愛媛県）
快適に過ごせる（女性・50代・埼玉県）
大金をはたいていく旅行の計画や株価の変動（女性・30代・東京都）
日々家を出る際や仕事終わりなどのポイントで確認する。（男性・20代・埼玉県）
日常生活での行動の選択（女性・50代・東京都）
安全（男性・60代以上・京都府）
外出の予定や衣更えの時期などの参考にしたい。（女性・60代以上・千葉県）
パソコンの情報（女性・60代以上・奈良県）
毎日の服装（女性・40代・千葉県）
休日の計画（女性・30代・北海道）
食料品の確保 防災品の確認など（女性・60代以上・愛知県）
日常生活で外出する際、雨がどれだけ降るかを目安にし、それに応じて行動を早めたり避けたりする。（男性・50代・千葉県）
大雨、台風などの情報により、非常時に敏速に対応出来る様に役立てていきたいです。（女性・60代以上・愛知県）
なんとなく着る物や寝具の準備をしたい（女性・30代・長野県）
洗濯の仕方を考える（女性・30代・埼玉県）
洗濯する準備や服装の準備（女性・50代・東京都）
遊びに行く時の情報（女性・50代・千葉県）
服装、仕事の予定の組み方、旅行の計画（女性・20代・東京都）
備え（男性・60代以上・神奈川県）
健康管理（女性・60代以上・大阪府）
気温の変化や防災など（女性・50代・茨城県）
家族のイベント（女性・60代以上・福岡県）
避難（女性・40代・千葉県）
外出するしない（女性・60代以上・富山県）
健康管理（男性・60代以上・福島県）
危機管理に活用したい（男性・20代・千葉県）
行楽、諸行事などに活用している。（女性・60代以上・東京都）
レジャー等の予定の見直し（女性・20代・山形県）
飲食料品小売業なので予測しやすい（男性・50代・鹿児島県）
洗濯のタイミング（女性・20代・宮城県）
予想の範囲の日々の詳細情報（男性・50代・茨城県）
生活様式の変更や準備（男性・60代以上・静岡県）
衣類の準備、冷暖房機器の準備（男性・60代以上・千葉県）

長期的な備えなど（男性・40代・福岡県）
旅行の計画をずらす（女性・60代以上・東京都）
旅行の計画（女性・60代以上・高知県）
出張や旅行の行程チェック（男性・60代以上・神奈川県）
プライベートゴルフの予約等（男性・50代・鹿児島県）
出かける参考（男性・40代・群馬県）
仕事で（男性・40代・静岡県）
出かけ先など（男性・20代・福岡県）
洋服を決める時（女性・20代・神奈川県）
自宅の危機管理（男性・60代以上・福岡県）
外出（男性・60代以上・大阪府）
仕事や休みのお出かけの準備（女性・30代・東京都）
インターネットですぐに確認がよいと思いましたので（男性・50代・愛知県）
通勤やレジャー（男性・60代以上・兵庫県）
自分と周りの人たちの健康と安全に利用したい（女性・50代・愛知県）
服装や寝具の調整（男性・40代・栃木県）
仕事の段取り（男性・60代以上・岡山県）
レジャー（男性・50代・長崎県）
やはり、外出に際して洋服や降水確率がわかればありがたい（男性・50代・埼玉県）
旅行や予定を組むために利用したい（女性・40代・岩手県）
災害対応（男性・60代以上・長崎県）
防災対策や旅行等の計画（男性・60代以上・宮城県）
子供の通学や外出について予め本人と相談しておく（女性・40代・岡山県）
万が一の備え（女性・20代・東京都）
災害時に備えるため（女性・60代以上・福井県）
旅行などの変更等（女性・60代以上・群馬県）
洗濯 備蓄（女性・50代・大阪府）
宿泊を伴う旅行など、天候によって大きく左右される計画を立てる際に参考にしたい。（男性・20代・茨城県）
毎日の行動、生活に利用する（女性・60代以上・福岡県）
キキクル（男性・30代・熊本県）
レジャー計画（男性・60代以上・大分県）
日常生活全般（男性・40代・岐阜県）
外出の予定（女性・60代以上・北海道）
家族への注意喚起や送迎などの検討（男性・40代・兵庫県）
長期の予報（女性・20代・徳島県）
台風や大雨に備える（女性・60代以上・鹿児島県）
気をつける（男性・40代・福岡県）
週間予報（男性・50代・沖縄県）
日常生活で体調崩さないようにしたい 出かける際の予定を立てたい（女性・50代・鹿児島県）
趣味や学校の計画を立てるのに使いたい（男性・20代・新潟県）
生活全般（女性・60代以上・福島県）
仕事への出勤（男性・30代・神奈川県）

日常生活全般（男性・60代以上・神奈川県）
災害に備えた準備（女性・50代・香川県）
普段から使用しているアプリで確認できる（男性・30代・静岡県）
外出の予定の変更（女性・60代以上・大分県）
3か月先の計画（男性・60代以上・長野県）
レジャーの服装を考えると（女性・20代・滋賀県）
備え（女性・20代・岐阜県）
日常生活の掃除や衣替えの段取り、旅行・外出日や服装を選択するときの参考にしたい。（女性・60代以上・千葉県）
毎日の生活（女性・50代・神奈川県）
特に生活に変更が生じるわけではないので、単なる心構え（男性・20代・東京都）
家族と情報共有、親戚などに情報伝達、安全性確保のための情報共有と準備（男性・60代以上・宮崎県）
レジャーを検討したり、衣服の調整して健康管理をする（女性・60代以上・埼玉県）
仕事の段取り（男性・40代・福井県）
今後のスケジュールを決める上で利用（男性・50代・広島県）
短時間の情報（男性・60代以上・愛知県）
旅行などの計画（女性・30代・熊本県）
子供の登下校時の気温確認（女性・40代・茨城県）
旅行や遊びの計画（男性・60代以上・山口県）
旅行の予定 子供の通学（女性・40代・東京都）
一番心配なのは、何と言っても台風です。1週間定期船が来ないこともあるので、食糧不足にならないよう気遣っています。（女性・60代以上・鹿児島県）
交通機関の変更や旅行日程の見直し、食料品の買い足しなど（女性・50代・愛知県）
家の保護 危険回避（男性・60代以上・大阪府）
外出やレジャーの計画の見直し 通学手段の検討（男性・20代・東京都）
週末などに外出するかしないかの判断材料にする。（男性・60代以上・石川県）
普段の生活や仕事の時に（女性・50代・兵庫県）
レジャー（男性・20代・新潟県）
普段の生活に（男性・50代・神奈川県）
災害に対する心構えと準備（女性・50代・新潟県）
プライベートの計画の見直し（男性・30代・東京都）
お出かけの時や、洗濯物を干す時など利用したい（女性・60代以上・広島県）
安心するため（男性・20代・滋賀県）
防災準備（男性・30代・佐賀県）
レジャーや出勤の判断（男性・50代・滋賀県）
通勤、子供の通学、レジャー等の計画作成に。（男性・50代・愛知県）
生活する上での活動（男性・50代・長崎県）
旅行の計画。（男性・50代・兵庫県）
畑の管理（女性・60代以上・栃木県）
普段の生活のあれこれ（女性・60代以上・愛媛県）
予定を考えるのに（男性・30代・東京都）
心構え（女性・30代・大阪府）
生活の中で利用したい（女性・40代・大阪府）

予定立てる時（女性・20代・大阪府）
旅行、服装、交通手段（男性・60代以上・神奈川県）
洗濯物を外干しできるかどうか（女性・40代・大阪府）
健康管理 外出の計画（女性・20代・広島県）
布団干す日とか出かける日とかなんとなくの予定を想像しておきたい（男性・30代・北海道）
しごと（女性・60代以上・岐阜県）
出かける時の計画プランを立てる時に利用する（男性・40代・福岡県）
出かけられるかの判断（男性・40代・大阪府）
通勤や通学時に利用したい。（女性・40代・秋田県）
レジャーの計画、健康管理への備え（女性・40代・愛知県）
予定をたてる（女性・30代・愛知県）
農作物などの栽培計画（男性・60代以上・長野県）
予定の変更（女性・50代・静岡県）
休日の計画（男性・20代・岐阜県）
仕事（男性・50代・東京都）
仕事、レジャーの長期的な備え（男性・40代・千葉県）
遠出の外出の予定に使う 服をきやすいように洗濯する（女性・60代以上・兵庫県）
週末の予定を立てるのに有効（女性・50代・埼玉県）
災害の備え（女性・50代・千葉県）
降雪量は本当に朝の貴重な時間を雪かきに使わないといけないので精度良く知りたい（男性・40代・新潟県）
普段の生活（女性・60代以上・埼玉県）
農作物などが倒れたりしない様にしたいです（女性・60代以上・長野県）
日々の生活に役立てたい（男性・30代・茨城県）
計画的に生活するために利用したい。（女性・50代・東京都）
参考にしたい（女性・60代以上・大阪府）
防災（男性・40代・福岡県）
旅行可能かの確認（男性・40代・北海道）
車の移動を考える 外出の検討をする（女性・40代・福島県）
衣替えの時期 雪への備え（女性・20代・青森県）
防災の準備（女性・50代・神奈川県）
レジャーなど外出予定（女性・50代・長崎県）
予定が立てやすい（男性・30代・埼玉県）
仕事（男性・50代・埼玉県）
準備（女性・60代以上・千葉県）
毎日の生活（女性・60代以上・東京都）
今後の予定を立てる（女性・60代以上・東京都）
スマホで確認（女性・40代・岐阜県）
外出する際の参考にしたり、偏頭痛持ちなので対策をたてる（女性・40代・大阪府）
体調管理（女性・60代以上・神奈川県）
線状降水帯予報（男性・60代以上・愛媛県）
仕事（男性・20代・広島県）
衣替えや仕事や通勤（男性・40代・福岡県）

大雨、大雪（女性・60代以上・鳥取県）
仕事・レジャー。（男性・50代・岩手県）
外出全般の予定を立てたり、着るものの内容を決めたりする参考に。（男性・50代・兵庫県）
出勤日を決める計画を立てる。（女性・50代・東京都）
レジャーの計画（男性・30代・東京都）
旅行や外出の予定の組みなおし 服装の準備（女性・60代以上・北海道）
外出の予定の参考に（女性・60代以上・愛知県）
普段の生活や旅行などの計画（女性・60代以上・長野県）
仕事柄、天候や気候に左右されるので活用法が広がると思うのでありがたい。（女性・60代以上・熊本県）
仕事の予定変更等などに（男性・40代・徳島県）
避難時の携帯品の準備や家族などへの連絡をする（男性・60代以上・大阪府）
備えの準備（女性・30代・静岡県）
レジャーや仕事の交通手段（女性・60代以上・奈良県）
仕事等の打ち合わせに使いたい（女性・30代・福岡県）
仕事の調整（男性・50代・福岡県）
外出（女性・60代以上・神奈川県）
外出時の参考（女性・40代・京都府）
今後の行動（男性・40代・神奈川県）
服装や出かけるときに参考にしたい（女性・20代・東京都）
外出の準備（男性・40代・東京都）
大きな物、厚手の物を洗濯する計画（女性・50代・茨城県）
外出の予定や衣替えのタイミング（女性・50代・神奈川県）
生活にどのような影響が出るかどうかの参考にしたい。（女性・60代以上・北海道）
日頃の防災対策が十分かを振り返る機会とする（男性・60代以上・富山県）
レジャー、通勤（女性・20代・東京都）
通勤やレジャー等（女性・50代・千葉県）
レジャーの予定立て（男性・30代・愛知県）
なし 生活全般（女性・20代・静岡県）
降雪予報であれば、タイヤ交換の目安にする（男性・40代・北海道）
地元の細かい情報（男性・60代以上・山梨県）
予定の変更など（女性・30代・滋賀県）
旅行（女性・30代・東京都）
ガーデニングと外出の予定がスムーズに行くように、活用したいです。（女性・60代以上・鹿児島県）
外出、通勤方法、着るもの（女性・60代以上・埼玉県）
農作物の管理 衣服の準備 買い置き（女性・50代・岩手県）
防災（男性・40代・埼玉県）
外出する私用時に利用したい（男性・40代・広島県）
服装への対応 通勤への対応（女性・20代・福井県）
対策（男性・60代以上・兵庫県）
出来るだけ、詳細の天気予報が～知りたい～15日間の詳細が～（男性・60代以上・三重県）
外出（女性・60代以上・大阪府）
旅行と仕事（女性・40代・大阪府）
外出時（女性・60代以上・福岡県）

健康管理の為（女性・60代以上・長野県）
防災への心構えや準備、外出等の計画など。（女性・60代以上・埼玉県）
旅行（女性・60代以上・三重県）
心構え（女性・50代・岐阜県）
具体的には度の様にするかはわからない（男性・60代以上・栃木県）
部屋の室温や、衣服の算段。（男性・60代以上・広島県）
生活や仕事の仕方（男性・40代・東京都）
体調管理、服装の管理、気象に左右される予定の調整（女性・20代・埼玉県）
外出時の衣類や履物の調節・選択、旅行時の持ち物等（女性・60代以上・秋田県）
仕事の段取り（男性・40代・大分県）
非常にわかりやすくみやすい（男性・40代・東京都）
自分が外出する時間の台風の状況を確認する（女性・60代以上・広島県）
健康管理のため（男性・40代・鳥取県）
外出など（男性・60代以上・神奈川県）
作るご飯や着る服を考える材料にする（女性・40代・東京都）
タイヤのスタッドレスへの履き替えとか（女性・50代・長野県）
被害が起きた時を想定する（女性・60代以上・兵庫県）
レジャーなどの予定の参考にするため（男性・50代・神奈川県）
着衣の調節、暖房や冷房などを適切に使うため。（女性・50代・群馬県）
外出（男性・60代以上・島根県）
普段の心づもりとして情報が欲しい。（女性・50代・大阪府）
仕事の予定や衣替えの参考（男性・40代・福岡県）
お出かけ、洗濯時に利用したい（女性・60代以上・岐阜県）
備え（男性・30代・千葉県）
外出の判断（女性・60代以上・茨城県）
避難（男性・60代以上・香川県）
もっとわかりやすい情報（男性・20代・埼玉県）
衣替えやレジャーの計画の参考（女性・30代・東京都）
出かける時の参考にしたい（女性・60代以上・宮崎県）
家族の安全のため（女性・60代以上・岐阜県）
日々の、くらし洗濯物など（女性・40代・栃木県）
除雪の準備（男性・40代・富山県）
服装（女性・50代・三重県）
食材の確保等（男性・30代・千葉県）
予定を立てたり、準備をしたりするために、つかう（女性・30代・北海道）
仕事 レジャー（男性・40代・東京都）
家族で共有（男性・60代以上・東京都）
旅行への計画（男性・30代・大分県）
非難（女性・50代・秋田県）
雪に備えた準備や子供の通学路の確認など（女性・30代・群馬県）
災害が発生するかもしれないという心構えをすることに利用したい（女性・30代・兵庫県）
レジャー、仕事の計画（男性・60代以上・福岡県）
洋服の準備 旅行の計画 災害に備えての準備（女性・60代以上・新潟県）

シフト変更（女性・60代以上・宮城県）
旅行やレジャーの見通しを立てること。（女性・30代・兵庫県）
降雪前のタイヤ交換や寒さ対策 家事一般の予定 暑さ対策（女性・60代以上・滋賀県）
買い物物の予定や公共交通機関への影響確認（男性・20代・大阪府）
生活に役立てる（男性・40代・東京都）
レジャーや健康管理（男性・50代・福島県）
旅行やスポーツの計画作成。（男性・60代以上・福島県）
災害防止（女性・60代以上・島根県）
先の遊びの予定やレジャーの計画に役立てたい（女性・30代・兵庫県）
レジャーや旅行のスケジュール作成（男性・60代以上・千葉県）
仕事やレジャーの予定や健康管理（男性・50代・千葉県）
旅行等の計画に反映（女性・60代以上・埼玉県）
仕事や休日のスケジュール管理の参考に利用したい（女性・30代・鹿児島県）
災害時（女性・30代・福岡県）
外出する予定がある時（女性・60代以上・広島県）
自宅付近の冠水（女性・60代以上・埼玉県）
私は気象オタクですから気象に関する情報なら健康、レジャーの予定などいろいろなことに利用します。 （男性・60代以上・高知県）
レジャーに関する計画（男性・50代・北海道）
普段の生活（女性・20代・愛知県）
休日の予定を立てる（女性・30代・栃木県）
防災防災（男性・60代以上・三重県）
早めに知ることによって外出する予定や行事の予定を決める（女性・60代以上・神奈川県）
旅行の予定を立てるのに役立てたい。（女性・40代・愛知県）
移動手段の変更（女性・50代・東京都）
健康管理に（男性・60代以上・熊本県）
塩分などを効果的に摂れるように、飲み物を購入する。また、ゴルフなどに行く場合は、早朝プレイにする。 （男性・60代以上・福岡県）
洗濯ものなどのやりかた（女性・60代以上・千葉県）
防災やレジャー（男性・60代以上・熊本県）
家族に自営業で接客業をしている者がいるのでお客様が安全に来店できるかの目安にしたい。（女性・30代・香川県）
日常生活に取り入れたい（女性・60代以上・福岡県）
スケジュール調整（男性・40代・神奈川県）
予防（男性・60代以上・神奈川県）
レジャー等（女性・50代・大分県）
普段の生活に役立てたいです。（女性・40代・兵庫県）
備えをする上での準備（女性・60代以上・長崎県）
仕事やレジャーの予定（男性・50代・福岡県）
スケジュールの調整に（男性・30代・熊本県）
日常生活での備え（女性・60代以上・山形県）
毎日の生活の予定を立てる（女性・50代・山口県）
・家族や自分の服装 ・レジャー等外出の予定 ・食材等買い出しの予定（女性・30代・東京都）

仕事、レジャーの計画（女性・50代・茨城県）
衣替えや防災グッズの整備（男性・60代以上・神奈川県）
お出かけ、仕事（男性・50代・東京都）
災害の備えや、公私におけるスケジュール管理。（男性・50代・福島県）
予定の変更など（男性・60代以上・広島県）
旅行の予定を立てるときに利用したい。（女性・60代以上・東京都）
日頃の生活（女性・40代・神奈川県）
日数のかかる連続作業(中断不可)を行う際の出勤予定や、試薬調整等、温湿度による影響を受ける部分の管理。（女性・40代・埼玉県）
緊急時（男性・40代・東京都）
外出の検討や暑さへの備え（女性・40代・長野県）
日常生活（男性・60代以上・福井県）
業務への活用（男性・50代・福岡県）
設置を伴う商品を取り扱いしているので、天候が悪化すると工事ができません。風が強かったり豪雨だったりすると工事が延期になるので、日程の調整をするために天気の情報が必要です。（女性・60代以上・宮城県）
毎日の生活に活用したいので分刻みのアメダスは利用している。また北部南部など細かな地域の気象情報があれば助かる（女性・60代以上・京都府）
旅行やレジャー（男性・50代・愛知県）
日常生活の心構えを整えたい。（女性・60代以上・神奈川県）
他と比較（女性・40代・青森県）
あまり思い浮かばない（男性・20代・千葉県）
旅行計画（女性・60代以上・岡山県）
旅行や体調管理（女性・50代・神奈川県）
レジャー（男性・60代以上・茨城県）
簡単に検索できる。（女性・40代・東京都）
旅行計画（女性・60代以上・東京都）
趣味の途中など、急な時からの利用（男性・50代・三重県）
異動手段などの検討（女性・60代以上・東京都）
仕事で（男性・20代・神奈川県）
外出予定などの検討（女性・60代以上・埼玉県）
風速に関する情報があれば、趣味のスポーツで利用したい。（男性・50代・静岡県）
普段の生活に影響が出るようなことがあるかどうかを確認したい（女性・60代以上・佐賀県）
健康管理、外出予定（女性・20代・愛媛県）
災害に備える 予定の変更（女性・40代・埼玉県）
外出、旅行の日程（女性・60代以上・福岡県）
レジャーの計画（女性・40代・福岡県）
予定を立てるのに使いたい（女性・40代・岡山県）
釣りなどの情報をみるため（男性・40代・愛知県）
レジャーの計画（女性・30代・神奈川県）
ウィンタースポーツ（男性・30代・愛知県）
当方は定年リタイヤ組なので、気象情報は自分のアウトドアスポーツや、旅行の可否判定に極めて重要。（男性・60代以上・愛知県）

生活全般に総合的に役立てたい。(女性・60代以上・新潟県)
外出予定を立てることが出来る(女性・40代・富山県)
移動変更(女性・50代・岡山県)
具体的な用途はなく、心構えとして利用(男性・60代以上・兵庫県)
行動の見直しに活用したい(女性・60代以上・山形県)
気持ちの心構え(女性・50代・和歌山県)
備え(女性・40代・福岡県)
出かけるときの服装(女性・20代・埼玉県)
気持ちの持ちようが変わる(男性・30代・北海道)
外出する際に参考にしたい。旅行の計画をたてる際に参考にしたい。(女性・40代・山形県)
旅行などの計画(女性・60代以上・千葉県)
今後の情報進路(女性・40代・大分県)
その日の予定の変更(男性・60代以上・神奈川県)
農作物の管理や、雷注意報は電化製品のコンセントを抜くなどに活用したい。大雨が降るようなら車に乗らないなど判断に使いたい。(女性・40代・群馬県)
非難に備える(男性・50代・愛知県)
様々な情報を入手して対策を考える(女性・40代・兵庫県)
健康管理(女性・60代以上・山口県)
レジャー等(女性・50代・北海道)
自宅にすることが多いので長期予報とかは必要ないから(女性・60代以上・秋田県)
気温が年々上昇し特に夏は出歩くのが危ないと言われる状況でこの先どうなるんだろうと不安で一杯です。なので特に夏に特化して気温の変化に注視したいです(女性・60代以上・兵庫県)
レジャーの計画(女性・40代・千葉県)
台風や雨や気温の詳しい情報がもっと良くなっていたきたい。(男性・40代・大阪府)
高齢者の季節への対応(女性・60代以上・神奈川県)
心構えとして知っておきたい(女性・40代・京都府)
予定の変更等(女性・60代以上・京都府)
防災や体調管理(女性・50代・兵庫県)
旅行などのおでかけ。交通情報。(女性・60代以上・愛知県)
洗濯物を干す。子供の着替え準備(女性・40代・愛知県)
レジャーの予定など(女性・40代・広島県)
外出(女性・20代・長崎県)
普段の生活の健康管理などに利用したい(女性・60代以上・兵庫県)
レジャー予約への適用(男性・40代・東京都)
洗濯物の干し方、外出の予定の検討、衣替え、日々の献立の決定など(女性・30代・岩手県)
以降の生活の行動を検討する(男性・60代以上・北海道)
出張予定やレジャーの計画変更の判断につかう(男性・50代・京都府)
旅行計画等で変更がしやすい(女性・60代以上・神奈川県)
洗濯やレジャーの際に活用したい(女性・40代・愛知県)
雨(男性・20代・大分県)
衣類や寝具の準備(女性・50代・東京都)
レジャー(女性・30代・愛知県)
出かける時の服装(女性・50代・兵庫県)

日常の外出（女性・50代・北海道）
日常活動の判断（男性・60代以上・大阪府）
その期間の状況によって用途は変わる。（男性・60代以上・広島県）
体調管理 衣替え 日々の洋服選び 旅行・レジャーの計画（女性・20代・福岡県）
台風情報（女性・60代以上・広島県）
毎日の生活（女性・40代・福島県）
レジャーの計画（男性・60代以上・福岡県）
仕事やレジャーの計画の参考とする（男性・40代・神奈川県）
旅行などの計画（男性・20代・大阪府）
避難所の確認（女性・60代以上・栃木県）
わかりやすい情報が1番利用する（女性・30代・佐賀県）
衣類の選択やレジャー計画に（男性・50代・神奈川県）
服装や今後の予定（男性・20代・静岡県）
レジャーの計画の参考（男性・40代・東京都）
屋外のサークル活動（女性・60代以上・愛知県）
旅行の日程を決めるのに利用したい（女性・20代・北海道）
生活関連（男性・60代以上・福井県）
自転車で通学させるか車で送迎かの判断に利用する（女性・60代以上・静岡県）
通勤に対する準備（男性・60代以上・愛知県）
台風や暴風の時（女性・20代・熊本県）
普段の生活（女性・60代以上・神奈川県）
旅行（女性・60代以上・北海道）
移動計画に反映（男性・60代以上・大阪府）
仕事やレジャーの活用。（男性・50代・東京都）
外出やイベント業務の調整（男性・30代・長崎県）
旅行やテニス大会の計画に利用したい。（男性・60代以上・青森県）
心がけたい（女性・60代以上・広島県）
災害に備えるため（女性・40代・兵庫県）
仕事や遊びなどの計画（女性・30代・秋田県）
デートとか（男性・20代・北海道）
防災対策（男性・60代以上・埼玉県）
レジャー（男性・30代・東京都）
外出（女性・60代以上・福岡県）
通勤（男性・30代・東京都）
旅行の計画に利用したい。（男性・60代以上・東京都）
お出かけするのに利用する。（女性・60代以上・埼玉県）
暑さ対策（女性・30代・北海道）
・ 予定を決めるのに活用したい、・ その日の準備（雨具など）・ 子供がサッカーをしているため、天気コンディションが気になるため（男性・40代・広島県）
レジャー等（男性・20代・愛知県）
仕事や休日の予定立て（女性・20代・東京都）
避難の用意をするための情報として、活用したい。（男性・60代以上・東京都）
外出時の参考に（男性・60代以上・神奈川県）

普段の生活（女性・60代以上・青森県）
子供でも分かりやすい情報（女性・60代以上・埼玉県）
通勤（女性・40代・奈良県）
健康管理（女性・20代・福岡県）
上着などの用意。通院の計画。（女性・40代・宮城県）
生活に必要な行動対策（女性・60代以上・静岡県）
生活に役立てる（女性・50代・鳥取県）
家族や自分の健康管理 家事や庭仕事の予定をたてるために利用したい（女性・60代以上・群馬県）
家が老朽化してきているので、その予報を参考にして家のDIYを行うこと。また、お墓参りなどの家庭のイベントを行う際の日程の変更に使う。（男性・40代・東京都）
出勤（女性・60代以上・千葉県）
身の回りの予防対策。（男性・60代以上・宮崎県）
豪雪地帯のため雪に関する情報収集をしておきたい（男性・30代・福井県）
予定の吟味（男性・20代・東京都）
心の準備と、予報に合わせた生活スタイルの微調整。（男性・60代以上・福島県）
通勤、旅行計画（女性・60代以上・長崎県）
体調管理、外出時の服装や持ち物の準備。（男性・60代以上・大阪府）
スケジュール管理（女性・20代・兵庫県）
日頃の備え。服装の参考。（女性・60代以上・新潟県）
旅行の計画（男性・20代・東京都）
家庭菜園、植物の雪囲い、冬支度（男性・60代以上・青森県）
防災のため（男性・60代以上・和歌山県）
農業やレジャー等（男性・40代・山形県）
旅行等先の予定を考えると参考にしたい（女性・60代以上・大阪府）
予定を立てる時に利用したい。（男性・20代・福岡県）
飲料水や食品のストック買いや、衣服の調整のための入れ替えなど。（女性・60代以上・兵庫県）
レジャーの予定や体調管理の目安など（女性・50代・山口県）
日常生活（女性・20代・京都府）
具体的にはない（男性・40代・東京都）
心構えとして知っておきたい（女性・50代・大阪府）
通勤や外出の時の天気を確認する（男性・40代・愛媛県）
旅行や外出（女性・60代以上・広島県）
旅行、通勤（男性・30代・大阪府）
普段からの災害時のための備え。避難場所の確認（男性・60代以上・北海道）
外出予定の調整（女性・30代・東京都）
自然災害（女性・50代・青森県）
旅行の計画（女性・50代・静岡県）
子供の服選びや自分の体調管理に（女性・30代・静岡県）
仕事やレジャーの予定を立てるのに利用したい（男性・40代・埼玉県）
レジャーの予定や健康管理（女性・30代・愛知県）
生活の中で外出時期等工夫する（女性・40代・福岡県）
出かけることを変更（女性・60代以上・愛知県）
避難に活用する方法を考える。（男性・60代以上・滋賀県）

仕事、通勤に利用（男性・60代以上・静岡県）
子供の散歩（女性・30代・東京都）
出かける際の目安に（男性・50代・静岡県）
レジャーなどの計画 健康管理（男性・50代・新潟県）
運動（女性・50代・東京都）
食料品の準備など（女性・30代・山形県）
危険が及ばないように準備を行う（女性・60代以上・千葉県）
その日来ていく着衣や予定の入れ方を調整するため。（女性・20代・岐阜県）
服装（女性・20代・千葉県）
当日の服装選択（男性・50代・埼玉県）
公私共に天気で行動範囲が左右するので常に確認する習慣をつける（男性・60代以上・三重県）
レジャーの計画（男性・60代以上・福岡県）
健康管理（男性・50代・熊本県）
仕事の計画の変更等に利用する。（男性・60代以上・兵庫県）
レジャーの予定（男性・40代・北海道）
安全、仕事の通勤（女性・30代・東京都）
備蓄品（女性・60代以上・滋賀県）
家族の毎日の服装やレジャーの予定（女性・30代・宮城県）
行動や服装選び（女性・60代以上・神奈川県）
事前に食料を調達しておいたり、洗濯を済ませたり、衣替えの目安にしたりしたい（女性・30代・茨城県）
旅行先への持ち物（女性・20代・大分県）
旅行などの計画（女性・50代・神奈川県）
大雨予報や台風発生時の予定変更（女性・60代以上・兵庫県）
一応の生活の目安として頭に入れておく。（女性・60代以上・埼玉県）
冬であれば、降雪時期などの予測により計画的な準備をしたい（男性・40代・石川県）
旅行計画など（女性・20代・埼玉県）
レジャーの予定、服装（女性・40代・滋賀県）
局地的な情報がほしい（男性・60代以上・三重県）
外出の計画（女性・40代・富山県）
旅行やイベントの予定をたてるために利用したい（女性・60代以上・福岡県）
食料の買い出し、等。（男性・40代・東京都）
その気候に対する服装や寝具などの衣替え（女性・20代・大阪府）
2週間予報を旅行計画に反映したい（女性・60代以上・埼玉県）
生活基盤で（女性・50代・千葉県）
旅行（男性・60代以上・岩手県）
気軽に（女性・20代・千葉県）
外出の段取りを変えられる（女性・50代・奈良県）
今後の予定（仕事やレジャー）の組み立て（男性・30代・滋賀県）
レジャーや、買い物（女性・50代・福岡県）
ケースバイケース（男性・40代・群馬県）
外出の計画ができる（男性・60代以上・大阪府）
服装や予定を決める時（女性・20代・東京都）
雪の降る地域なので対策に使いたい（女性・20代・新潟県）

健康管理に役立つ。(女性・40代・茨城県)
外出の日にちをずらす。(女性・60代以上・東京都)
いつ避難したらいいか利用したい(女性・60代以上・長崎県)
犬の散歩(男性・60代以上・東京都)
趣味の対策(男性・60代以上・神奈川県)
災害予防と避難(男性・60代以上・神奈川県)
屋外での仕事内容の検討(男性・30代・愛知県)
健康管理(女性・50代・大阪府)
降水量や台風情報(女性・40代・北海道)
外出、洗濯(男性・60代以上・神奈川県)
レジャーに行く際に利用したい(女性・30代・大阪府)
仕事やレジャー(女性・50代・神奈川県)
稲作のスケジュールの参考にする(女性・50代・広島県)
事前準備(男性・60代以上・和歌山県)
レジャーなどの予定の決定(男性・60代以上・東京都)
旅行の予定と、普段の通勤について計画をたてる(男性・30代・鳥取県)
心構え(男性・60代以上・宮崎県)
体調管理(女性・60代以上・静岡県)
対策の要否(男性・60代以上・新潟県)
普段の生活(女性・60代以上・山形県)
シフト調整(男性・40代・宮城県)
気温が高い日、時間を知ることによってエアコンの使用や設定温度を調整できる。(女性・40代・愛媛県)
外出時の服装など(男性・40代・鹿児島県)
旅行の計画(女性・60代以上・山口県)
家庭菜園、仕事(男性・60代以上・岩手県)
寒冷地なので雪や寒さの詳しい情報があればうれしい(女性・60代以上・北海道)
日々の生活の動きや旅行の計画(女性・60代以上・青森県)
通勤のこと、子のこと、外出を抑えないといけないため、その期間における食料品日用品の確保(女性・30代・京都府)
危機管理の為、早急の対応が出来る(女性・60代以上・福岡県)
生活の方法(男性・50代・宮城県)
レジャー(男性・50代・和歌山県)
農作業の計画(女性・50代・熊本県)
子供の行事など(女性・30代・大阪府)
年間の電気、ガス代の予測(女性・50代・滋賀県)
生活の中で自分の行動指針として備えたい(男性・60代以上・群馬県)
日常行動の決定。服装への反映。(男性・60代以上・大阪府)
通勤するときの天気が分かりやすいといい(女性・60代以上・埼玉県)
日常生活(女性・30代・熊本県)
レジャー(男性・30代・北海道)
日常の行程の見直し(女性・50代・大阪府)
日々の生活の過ごし方。庭の管理。猛暑対策(女性・60代以上・大阪府)
旅行の計画、日常行動の計画(男性・50代・石川県)

日々の暮らしや 旅行 庭仕事に役立てたい。(女性・60代以上・宮城県)
外出するかどうかや外出する時間の調整(男性・40代・北海道)
予定を決める時(男性・20代・兵庫県)
服装(女性・30代・千葉県)
体調管理(女性・50代・京都府)
風水害対策(男性・60代以上・静岡県)
家族での確認(女性・20代・奈良県)
衣服などの選択(男性・50代・滋賀県)
特に、何に利用するという事はなくても、心づもりとして(女性・50代・兵庫県)
外出の予定を立てる際に利用したい。(男性・60代以上・千葉県)
旅行の計画(女性・30代・福岡県)
災害対策(男性・60代以上・静岡県)
先の予定を立てた時の天気が気になる時に利用したいです。(女性・30代・奈良県)
避難の参考(男性・30代・長野県)
先のスケジュールを立てる際に利用したい(女性・40代・東京都)
特に夏場の健康管理に使用したい(男性・30代・福岡県)
服装の準備(女性・50代・大分県)
防災の備え(女性・50代・大阪府)
旅行や予定の変更、準備。交通手段の確認。(女性・20代・群馬県)
旅行や仕事の計画(女性・40代・岐阜県)
災害予防、レジャー・仕事への活用(男性・60代以上・北海道)
休日に遠出する計画(女性・50代・宮城県)
生活(男性・60代以上・神奈川県)
仕事に出かけられるか いなか(男性・60代以上・岡山県)
衣替えくらしかない(男性・50代・埼玉県)
旅行、仕事、などに利用したい(女性・50代・沖縄県)
計画している旅行などに役立てない(女性・20代・大阪府)
旅行等で利用する(女性・40代・大分県)
先の予定を考えるときの参考(女性・30代・愛知県)
日頃の天気や旅行の計画を立てるため(男性・20代・東京都)
自分のレジャー等の予定について。(男性・50代・宮城県)
交通機関の選択(男性・60代以上・千葉県)
仕事、高齢の親への注意かんき(女性・50代・神奈川県)
長期のレジャースケジュールの計画(男性・30代・愛知県)
体調管理(女性・60代以上・新潟県)
農作物が倒れたりすることを防止する準備(男性・60代以上・岩手県)
家の周りを見て回る。(女性・60代以上・岡山県)
こころがまえ(女性・60代以上・東京都)
旅行やレジャー(女性・60代以上・滋賀県)
普段の行動(男性・40代・東京都)
家族等の避難場所、諸対策に用いたい。(男性・60代以上・北海道)
外出予定を立てる上での参考にしたい(女性・40代・神奈川県)
旅行(男性・50代・愛知県)

仕事（男性・40代・東京都）
日々の生活の中での移動、予定の管理（女性・60代以上・神奈川県）
旅行の計画、日程など、天候に左右されそうなレジャーを実施する日を確定させたい。（女性・40代・宮城県）
家等の防災対策と家族の安全（男性・60代以上・東京都）
スマホによる確認（女性・60代以上・佐賀県）
やはり、大雨、暴風は出かける際や仕事で十分に気をつけて見ます。（男性・40代・静岡県）
危険信号の代わりとして利用する（男性・50代・香川県）
状況を把握して、こういった行動が必要となるかイメージしておく（男性・60代以上・埼玉県）
仕事の週間計画（男性・30代・愛知県）
仕事（女性・20代・石川県）
外出時の参考にしたり、家事を進めるため計画時に参考にする（女性・50代・沖縄県）
長期的な物は変化するから（女性・60代以上・東京都）
登山の計画（男性・60代以上・福岡県）
外出の有無 通勤方法（男性・40代・東京都）
特に具体的な行動を考えていない（女性・30代・東京都）
遠出の予定が合った場合どうするか（女性・30代・和歌山県）
備蓄準備、勤務状況の変更（男性・30代・千葉県）
自分の安全確保（男性・60代以上・神奈川県）
毎日の暮らし（女性・60代以上・東京都）
レジャー（男性・60代以上・佐賀県）
仕事、プライベート等の行動予定の検討（男性・60代以上・熊本県）
子供の通学（女性・40代・三重県）
服選び（女性・20代・岡山県）
旅行計画を立てる時に利用したい。（男性・60代以上・大阪府）
レジャーや休暇の有効活用（男性・60代以上・東京都）
旅行や用事の日程を調整する（男性・20代・福岡県）
情報も必要だが、その精度（男性・60代以上・東京都）
防災や日常生活に対する備え（女性・60代以上・山梨県）
着ていく服の検討や洗濯物を外干しするしないなどで利用したい（女性・20代・神奈川県）
行楽の予定（女性・60代以上・東京都）
予定の調整（男性・40代・石川県）
より快適、安心に生活するための事前準備（女性・60代以上・千葉県）
通勤手段を考える（女性・50代・千葉県）
日々の生活（女性・50代・新潟県）
予定の調整（男性・40代・埼玉県）
レジャー等の予定（男性・60代以上・奈良県）
災害対策（男性・50代・長野県）
衣替えの時期など。（女性・60代以上・鳥取県）
参考に（男性・50代・東京都）
生活全般（女性・60代以上・東京都）
利用してみたい。（男性・60代以上・埼玉県）
仕事に行けるかどうか（男性・50代・岐阜県）

日々の生活の備え 衣類の調整準備 冬タイヤの交換予約など（女性・60代以上・福島県）
出かける予定の調整（女性・40代・愛知県）
外出予定の変更など（女性・30代・愛知県）
具体的な例（男性・40代・東京都）
旅行（男性・60代以上・新潟県）
着るものを考える（男性・20代・東京都）
避難（男性・20代・東京都）
衣替え・冷暖房確認。（男性・60代以上・長崎県）
レジャーや洗濯物（女性・40代・静岡県）
仕事に天気が影響するかどうかについて（男性・20代・神奈川県）
予定の決定（男性・40代・東京都）
外出等（男性・60代以上・東京都）
旅行ができるかどうか予測する。（女性・60代以上・鹿児島県）
旅行の計画（女性・60代以上・群馬県）
外出の判断（男性・40代・大阪府）
生活のために（男性・40代・奈良県）
出勤についてや、仕事上に必要な情報として利用した。（男性・30代・奈良県）
予定立てるのに（男性・30代・福岡県）
洗濯（女性・60代以上・愛媛県）
日々の危機管理（女性・40代・愛知県）
農作物の管理（男性・50代・高知県）
旅行の日程（女性・40代・石川県）
仕事の通勤の可否や家族との避難場所の確認に利用したいです。（女性・30代・大分県）
体調管理（女性・50代・愛知県）
外出（男性・60代以上・宮城県）
レジャー 服装（男性・60代以上・広島県）
外出予定（女性・20代・埼玉県）
外出時（男性・50代・千葉県）
洗濯物 レジャー 旅行時の飛行機のフライト予測（女性・40代・埼玉県）
旅行などの日程に使いたい（男性・50代・大阪府）
日々の生活の備えに役立てたい。子どもの衣服の準備などに利用したい。（女性・30代・東京都）
色々な予定の調整（女性・30代・新潟県）
長期的な見通し（男性・20代・北海道）
出かける予定を立てる。備蓄品の用意。屋外の荷物を飛ばされないように屋内に片付けるか、紐で固定する。（女性・50代・愛知県）
予定の変更など（男性・50代・京都府）
外出の予定（女性・50代・福井県）
衣替えの準備や布団などの替えるタイミングの参考にする。（女性・60代以上・富山県）
休暇の計画など（男性・40代・兵庫県）
防災や自身の体調管理（男性・40代・北海道）
外出出来るかどうか（女性・40代・北海道）
仕事の計画（男性・60代以上・神奈川県）
早めにしり、早めに準備していつでも安心できる状態をつくること（女性・40代・熊本県）

仕事の予定立案（男性・60代以上・京都府）
自分や周りの家族、友人の為に（男性・50代・東京都）
旅行や仕事、日々の生活（女性・60代以上・熊本県）
旅行やスポーツ観戦しに行く際の参考（男性・30代・福島県）
旅行などの変更（男性・60代以上・神奈川県）
前もって情報を得て安全に留意したい（女性・60代以上・愛知県）
外出の参考にしたい（女性・40代・大阪府）
レジャー（女性・40代・埼玉県）
お出かけの目安になりそうだから（女性・50代・福岡県）
具体的な旅行の計画を立てたい（女性・20代・大阪府）
レジャー（男性・20代・群馬県）
播種計画（男性・60代以上・千葉県）
衣類 器具の準備（女性・60代以上・岡山県）
レジャー、旅行などの計画（男性・60代以上・大分県）
仕事（男性・20代・大阪府）
遅延するかどうか（男性・40代・大阪府）
非常食の用意（女性・60代以上・石川県）
気温の管理 大雪の情報（男性・50代・福井県）
エリアごとの詳細な天気予報や災害情報が知りたい。例えば仙台市は、西部と東部でしかわかれておらず、的確な天気を得ずらい。（女性・30代・宮城県）
外出計画や防災に利用（男性・60代以上・大阪府）
予定を立てる（女性・30代・高知県）
避難する際の参考。レジャーの計画。（男性・60代以上・静岡県）
身体のバランスに自身が対応することができるかどうかです（男性・60代以上・愛知県）
出張及び訪問等の設定に使用（男性・50代・神奈川県）
行動計画（女性・60代以上・東京都）
買い物（男性・50代・群馬県）
仕事の段取り（女性・50代・福岡県）
予定があれば中止するか検討したい（男性・40代・福岡県）
農作業や、受診などの参考（女性・60代以上・長野県）
出かける予定を組む（女性・60代以上・栃木県）
災害がおきている地域の様子（女性・60代以上・愛知県）
通勤、休日の日程（女性・50代・埼玉県）
外出を控えるかどうか（女性・60代以上・山形県）
タイヤ交換の時期等の判断（男性・30代・新潟県）
災害レベルなら避難場所の確認・家族との連絡（女性・60代以上・大阪府）
通勤や旅行の参考に（男性・40代・兵庫県）
外出（男性・60代以上・福島県）
私的旅行の予定（女性・60代以上・石川県）
仕事、旅行等の予定（女性・60代以上・埼玉県）
旅行等の計画（女性・30代・京都府）
降雪予報（男性・50代・北海道）
非常時に見たい（男性・40代・青森県）

外出予定の変更（女性・60代以上・千葉県）
日々の行動（男性・40代・群馬県）
事前の準備（服装、外出の可否）（男性・60代以上・神奈川県）
地区ごとの情報を外出の可否に使う（男性・40代・愛知県）
今は思いつきませんが、これから考えていきたいと思います。（女性・30代・北海道）
冬の備え（男性・50代・岩手県）
普段の過ごし方（男性・50代・岡山県）
旅行や外出の計画（女性・40代・埼玉県）
仕事などの予定を決める（男性・20代・福岡県）
安全を守るために（女性・20代・東京都）
週末の行き先調査（男性・50代・広島県）
仕事のイベントの運営について検討（女性・30代・徳島県）
レジャー検討 外出の変更（女性・50代・神奈川県）
通勤や外出の時に参考にしたい（女性・30代・三重県）
被害に合わないよう気をつける（女性・60代以上・神奈川県）
災害対策（女性・60代以上・東京都）
役に立つ（女性・60代以上・岩手県）
日常生活における生活維持（女性・50代・大阪府）
レジャーの計画（男性・40代・東京都）
正確なものであればあるほど良い（男性・60代以上・群馬県）
仕事など外出の予定の調整に用いる。（男性・50代・静岡県）
旅行の計画（男性・60代以上・岐阜県）
旅行などで（男性・50代・大阪府）
旅行などのスケジュールを組むのに使用したい。（男性・20代・鳥取県）
災害への備え 服装選び（女性・60代以上・三重県）
旅行や出張の実施における各種判断（男性・50代・北海道）
日々の予定調整（男性・30代・東京都）
旅行やイベントの計画（女性・30代・福岡県）
台風がよく来る地域なので、主には台風災害への備えと衣替え（女性・30代・宮崎県）
日々の生活（女性・30代・石川県）
避難等（男性・40代・大阪府）
旅行の計画立案、特に宿泊日数が長期になる旅行（男性・60代以上・広島県）
普段の生活行動（女性・40代・京都府）
服装、健康管理（女性・40代・千葉県）
仕事の準備（女性・60代以上・和歌山県）
レジャー 畑仕事（男性・60代以上・愛知県）
日常生活の行動、服装など（女性・20代・愛知県）
仕事に活用（男性・60代以上・埼玉県）
仕事や生活の安心のため（男性・60代以上・群馬県）
仕事などの計画に利用（男性・50代・新潟県）
衣類や出かけることへの備えなど（女性・60代以上・徳島県）
家を出るタイミングを図る（男性・30代・埼玉県）
レジャーや旅行の計画に使う（男性・50代・神奈川県）

先に出かける予定の参考（女性・60代以上・宮城県）
通勤時の服装や寝具の準備など（女性・40代・兵庫県）
定期的に人員配置をどうするか考える（女性・20代・栃木県）
旅行などの先の予定、服装、準備等決める際の参考になるから。（女性・40代・東京都）
旅行の計画（男性・60代以上・秋田県）
身体障害者（リウマチで手足が不自由）の為、天気予報を見てから、外出等を決めているので、お天気予報は大変に自分には重要である。（女性・60代以上・北海道）
外出の計画に利用（女性・50代・奈良県）
旅行、レジャー（男性・60代以上・徳島県）
高潮警報（男性・60代以上・兵庫県）
衣食住の管理と旅行計画、仕事の調整（女性・60代以上・愛媛県）
出かける際の服装の参考にする（女性・40代・長野県）
レジャー（女性・20代・長野県）
外出のタイミングを図るため（男性・60代以上・長崎県）
仕事（男性・40代・山梨県）
災害への対策（男性・60代以上・石川県）
健康管理（男性・60代以上・長野県）
業務の人員管理（男性・30代・東京都）
家族の勤務への助言ができる（女性・60代以上・宮崎県）
旅行の日程の参考（女性・50代・宮城県）
当日出掛ける予定がある時（女性・60代以上・新潟県）
暑さ寒さの対策（女性・60代以上・千葉県）
レジャー計画（男性・30代・大阪府）
普段の生活のために（女性・40代・熊本県）
次の日の洋服をどうするか考える。（女性・60代以上・大阪府）
旅行の予約等が安心して取れる（女性・60代以上・愛知県）
便利（女性・30代・神奈川県）
洗濯（女性・60代以上・岩手県）
仕事や通学の送迎などの目安（女性・30代・埼玉県）
日常生活や仕事に対する備え（女性・40代・東京都）
体調管理などの参考にしたい。（女性・30代・岐阜県）
普段の生活や外出予定に活用したい。常に天気予報はスマホで確認している。（女性・60代以上・大阪府）
心構えや行楽の予定（女性・30代・大阪府）
自身の行動の変化に利用する（男性・50代・兵庫県）
旅行やレジャーの計画（男性・60代以上・静岡県）
仕事やレジャーの行動計画など。（男性・60代以上・東京都）
レジャー（女性・30代・富山県）
どうすればいいか、対策をする（女性・60代以上・大分県）
遠出の出張や旅行の参考にしたい（女性・60代以上・愛知県）
旅行などに利用する（女性・60代以上・大阪府）
レジャーの計画（男性・60代以上・富山県）
旅行の計画を立てるときに活用したい（男性・30代・埼玉県）
行動計画（男性・60代以上・大阪府）

仕事に（男性・50代・千葉県）
仕事に活用（男性・50代・徳島県）
衣類や通勤手段、冷暖房の用意など日常生活に深く関わります。（女性・40代・京都府）
避難時（男性・20代・秋田県）
寒いのが苦手なので気温で外出するかしないか。（女性・40代・静岡県）
衣替え、雨具の準備（男性・40代・東京都）
台風等の接近の備えとして、ポータブル電源の購入等考えたい（男性・50代・熊本県）
出かける予定の変更（女性・60代以上・愛知県）
日頃の活動（男性・40代・長野県）
旅行、レジャーの計画等（男性・60代以上・福岡県）
衣替え（女性・50代・千葉県）
水と食料の備蓄。服装、衣類の準備。（女性・60代以上・茨城県）
大雪対策（女性・60代以上・福島県）
日常の行動に反映させる。（男性・60代以上・東京都）
心構え（女性・60代以上・福島県）
外出の予定を変更する、熱中症対策のグッズを準備する、防災備蓄品を見直す等（女性・30代・東京都）
旅行（女性・60代以上・滋賀県）
やはり、レジャーや衣替えのタイミング（男性・50代・山梨県）
仕事について（男性・40代・兵庫県）
衣替えの目安など。（女性・50代・東京都）
旅行の計画など（男性・20代・宮崎県）
レジャーや仕事の計画の判断材料（男性・20代・神奈川県）
衣替えなどの目安にしたい（女性・20代・埼玉県）
仕事の予定を立てる。教員なので校外学習や行事の予定などを立てるのに役立てたい。（女性・20代・島根県）
生活圏の混乱を避けるため（男性・20代・青森県）
旅行前（男性・40代・茨城県）
エアコンの掃除、試運転をする日程を決める（男性・20代・奈良県）
旅行（女性・20代・東京都）
旅行の計画（女性・20代・福岡県）
自分たち夫婦の身の安全（女性・60代以上・長崎県）
自分の生活で旅行の予定を立てる際に役立てたい。（男性・20代・三重県）
服装（男性・30代・千葉県）
先の予定をたてる時に活用したい。天気次第で変わる事もあるので！（女性・30代・茨城県）
今後の予定に（男性・30代・東京都）
日常生活の買い物など（女性・60代以上・神奈川県）
日々の生活（女性・60代以上・奈良県）
外出、買い物（女性・60代以上・静岡県）
洗濯、レジャー、祭事に活用したい。（女性・60代以上・埼玉県）
家族で暑がりや寒がりがあるので天気は気温で判断したい 台風や異常気象は備える時間があると助かる（女性・60代以上・東京都）
日常生活（女性・60代以上・東京都）
仕事 レジャー（男性・60代以上・愛知県）

気温に応じた体調管理（女性・20代・兵庫県）
冬支度や夏支度に活用したい（男性・60代以上・青森県）
外出するかしないか決める（女性・50代・栃木県）
旅行や通勤の計画（男性・50代・北海道）
災害や避難など早めの対策をしたいから（女性・30代・埼玉県）
普段の生活（男性・50代・茨城県）
衣服の準備（男性・60代以上・京都府）
外出の予定。日常の買い物の予定。ガソリン給油。（女性・60代以上・福井県）
外出、旅行等の調整（女性・60代以上・福岡県）
台風（女性・20代・北海道）
洗濯や衣替えの計画（男性・50代・大阪府）
農作業管理（男性・60代以上・鹿児島県）
レジャーや外出の計画（男性・40代・大分県）
生活全般（男性・30代・三重県）
防災、普段の生活（男性・60代以上・愛知県）
防災（男性・50代・宮城県）
外出する際のリスク管理（男性・60代以上・静岡県）
旅行や衣替え防災の備えに利用したい（女性・60代以上・徳島県）
仕事や学校の通勤、通学に支障がないか（女性・40代・静岡県）
帰省などの予定を立てる（女性・40代・福岡県）
レジャー（男性・30代・東京都）
旅行などの計画を立てるために（男性・60代以上・東京都）
無駄な外出を避けるため（女性・60代以上・東京都）
暑すぎる場合は外出を控えるなど（男性・20代・兵庫県）
外出の予定の確認や、健康管理。大雨災害への備え（食料品の用意など）（女性・60代以上・千葉県）
日々の生活や衣替、レジャーの計画を立てるにあたり参考にしてます（女性・30代・愛知県）
予定の検討（男性・40代・岩手県）
スキーの行き先の選定（男性・60代以上・愛知県）
旅行計画（男性・60代以上・北海道）
仕事の調整（男性・20代・京都府）
私的なスケジュールの確認（男性・60代以上・香川県）
通勤（女性・40代・鳥取県）
行楽とかの予定（女性・60代以上・大阪府）
行動に取りやすい（男性・30代・愛知県）
旅行や外出の予定（女性・50代・徳島県）
旅行やレジャーの計画に生かしたい（女性・60代以上・宮城県）
状況を知りたい（男性・50代・大阪府）
外出の有無に活用したい（女性・60代以上・埼玉県）
インターネットなど（女性・60代以上・大阪府）
旅行やお出かけの計画とキャンセル（女性・60代以上・茨城県）
登山計画に役立てたい。天気予報があまり当たらないのでいつも危険な目に合うため（男性・50代・神奈川県）
食料の備蓄（男性・60代以上・千葉県）

外出の有無の判断（男性・20代・東京都）
旅行や仕事の計画（男性・50代・東京都）
外出の予定変更（女性・60代以上・和歌山県）
計画がさらにたてやすくなる（男性・50代・三重県）
日々の生活特に趣味の野菜栽培のため（男性・60代以上・千葉県）
防災備品の準備（男性・50代・大阪府）
日々の生活の中で備えあれば憂いなしの精神で毎日必ずチェックしてます（女性・50代・愛知県）
普段の生活で（男性・30代・東京都）
仕事などの外出スケジュールの変更など。（男性・50代・愛知県）
気温に備える（女性・60代以上・北海道）
旅行の計画（女性・60代以上・兵庫県）
出掛ける日の情報が知りたい（男性・60代以上・埼玉県）
TVの天気予報（女性・40代・埼玉県）
旅行や出勤に合わせて（男性・20代・神奈川県）
具体的には思いつかない（女性・50代・長野県）
衣替えや、お掃除、洗濯など家事や旅行やお出かけの予定を立てたりする。（女性・60代以上・宮崎県）
レジャーの予定（男性・30代・香川県）
生活に役立てたい（女性・50代・北海道）
毎日の生活（男性・30代・群馬県）
旅行の予定（女性・20代・兵庫県）
日常生活（女性・20代・神奈川県）
予定の変更（女性・20代・香川県）
国内旅行の日程作成の参考にする（女性・60代以上・北海道）
安全の為に利用したい（男性・40代・大阪府）
外出などの参考にします（男性・50代・宮城県）
正確な情報を知りたい（女性・30代・大阪府）
外出予定を決める際、雨なら室内、晴れなら戸外というふうに変更したい。（女性・30代・三重県）
レジャーや仕事の心構え（女性・20代・愛知県）
通勤の目安にする。（男性・50代・大阪府）
日頃の防災 レジャーの予定（女性・60代以上・東京都）
仕事（男性・60代以上・北海道）
予定の調整 災害への備え（女性・20代・京都府）
仕事で移動が多いので移動先の状況把握（男性・40代・長野県）
旅行（女性・60代以上・奈良県）
普段の生活環境を整えるため（男性・40代・茨城県）
レジャー、運動会などのハレの日行事など。（男性・30代・神奈川県）
交通情報（男性・30代・宮城県）
災害対策（女性・60代以上・山口県）
健康管理、通勤（男性・60代以上・北海道）
レジャーの予定を立てるため（女性・40代・岩手県）
自分とペットの安全、環境の危険個所の確認（女性・60代以上・宮崎県）
レジャーに行く場所の天気（女性・30代・埼玉県）
行動計画（女性・60代以上・富山県）

今後の生活ある（男性・40代・茨城県）
安心して何でも、わかる（男性・30代・新潟県）
健康管理（女性・60代以上・北海道）
レジャーの予定 食料品の購入予定 衣替えの予定（女性・60代以上・鹿児島県）
買い物に行くときに利用する。（女性・60代以上・岡山県）
レジャー（男性・60代以上・島根県）
家族や友人との安全確認（男性・60代以上・兵庫県）
出かける先の予報、出かけるかどうかの決定に考慮（女性・60代以上・東京都）
仕事のスケジュール管理（男性・50代・愛媛県）
旅行レジャーの計画（男性・60代以上・兵庫県）
旅行の計画（女性・40代・神奈川県）
危機回避（男性・20代・愛知県）
農作物の管理（男性・60代以上・福島県）
健康管理（女性・40代・鹿児島県）
近くの河川の氾濫（女性・60代以上・埼玉県）
毎日の生活で利用したい。（男性・40代・東京都）
危険な人を助けたい（男性・50代・神奈川県）
農作物の作付（女性・60代以上・兵庫県）
レジャー（男性・60代以上・大阪府）
日常生活（男性・20代・大阪府）
外仕事のため、予定を組むために利用（男性・40代・山形県）
仕事の日程（女性・60代以上・東京都）
いつでもどこでも情報を見られるように通知をこまめにしてほしい。（男性・20代・熊本県）
まずは、平素の生活方法に利用する（男性・60代以上・愛媛県）
旅行の計画及び衣類の管理。（女性・60代以上・三重県）
仕事の移動の予定を立てる（女性・40代・東京都）
外出計画（男性・40代・東京都）
先の予定の調整。季節の変わり目は衣替えや洗濯の予定。（女性・60代以上・京都府）
台風の情報により、家の備えを考える（男性・60代以上・熊本県）
仕事上の管理（男性・60代以上・新潟県）
予定の調整（女性・60代以上・京都府）
行動の立て方（女性・60代以上・岐阜県）
出張などの可否（男性・40代・大阪府）
遊び、仕事（男性・40代・静岡県）
出張時の参考（男性・50代・石川県）
旅行（男性・50代・群馬県）
仕事（男性・50代・大阪府）
外出（男性・60代以上・愛知県）
旅行やレジャーの計画（女性・30代・岐阜県）
出勤や外出の計画（男性・60代以上・静岡県）
仕事のスケジュール管理（男性・60代以上・神奈川県）
旅行や外出の計画に利用したい（女性・60代以上・東京都）
通勤時間帯の検討（男性・50代・神奈川県）

健康管理（女性・50代・福岡県）
特に思い浮かばない（女性・60代以上・大阪府）
生活全般 健康管理（男性・60代以上・山形県）
服装の管理（女性・40代・北海道）
日常生活の予定や仕事への影響（男性・40代・長崎県）
自分の予定を決める時に参考にしたい。（女性・60代以上・京都府）
旅行の計画（女性・60代以上・熊本県）
雨具に用意や避難経路確認のため。（男性・60代以上・東京都）
日常生活の予定。（女性・60代以上・沖縄県）
レジャーに行く予定（女性・50代・福岡県）
遊びや旅行の計画を考える（男性・40代・岐阜県）
出勤時間等の調整（男性・40代・宮城県）
仕事準備（男性・30代・兵庫県）
外出の調整（女性・40代・神奈川県）
出張の延長など（男性・60代以上・福岡県）
旅行（女性・60代以上・群馬県）
外出日の変更（女性・50代・神奈川県）
服装（男性・40代・茨城県）
外出する時（女性・60代以上・東京都）
普段の生活の体調管理（男性・60代以上・東京都）
出かけられるか（女性・60代以上・京都府）
買い物、人と会うなど（女性・60代以上・千葉県）
ベランダの整理、固定（男性・60代以上・静岡県）
旅行やイベントでの活用（女性・50代・大阪府）
外出など。（女性・60代以上・兵庫県）
レジャー計画 服装（女性・50代・福島県）
家族の安全（女性・30代・広島県）
旅行計画をたてる時に利用したい（女性・50代・宮崎県）
保育園自転車送迎で、コートなどがあるかどうかの判断。（女性・30代・兵庫県）
日常生活（男性・60代以上・鳥取県）
台風や大雨等の危険から身を守るため（女性・50代・大阪府）
休みの日の予定（女性・40代・愛知県）
仕事、レジャーの計画（男性・20代・東京都）
長期予報（男性・30代・東京都）
買い物や出かける予定（女性・50代・大阪府）
仕事や旅行やレジャーの検討（男性・40代・福岡県）
従業員シフト、衣替え等（女性・40代・鹿児島県）
健康管理や生活環境の準備などに利用したい（女性・60代以上・兵庫県）
旅行の予定を立てる（女性・20代・山梨県）
旅行の可否（男性・60代以上・兵庫県）
防災 水害 避難（男性・60代以上・栃木県）
通勤が可能かどうか。台風などへの備え。レジャーへの影響。（女性・60代以上・神奈川県）
マイカーでの旅行（女性・50代・兵庫県）

日常生活での行動予定の参考にする。(女性・60代以上・茨城県)
猛暑の備えと覚悟(女性・60代以上・神奈川県)
レジャー計画に役立てる(男性・60代以上・滋賀県)
旅行(男性・60代以上・栃木県)
仕事やレジャーの計画(女性・40代・長野県)
温暖化を考える問題にする(男性・40代・東京都)
食料の備蓄、防災用品の確保。(男性・60代以上・東京都)
きちんと状況を把握し、準備するもの、レジャーなどの予定の変更、仕事等できるのかをきちんと確認したい(女性・50代・高知県)
衣替えの準備(男性・40代・埼玉県)
通勤の対策や、レジャーなどのプライベートな予定(女性・40代・兵庫県)
季節の変わり目に注意すること、衣替え等(男性・60代以上・岡山県)
買い物に行く予定をたてたり、外出の予定を考えるなど(女性・60代以上・岐阜県)
レジャー(男性・50代・埼玉県)
生活(男性・60代以上・長野県)
気持ちのもちよう(女性・60代以上・静岡県)
旅行の際の服装準備とか(女性・50代・埼玉県)
旅行の計画(男性・20代・岡山県)
常に避難準備しておきチェックすること(女性・60代以上・秋田県)
冬囲いなどの庭木の保護(男性・60代以上・新潟県)
健康管理(女性・60代以上・香川県)
仕事、プライベートの予定を継続するか変更するかの判断材料にする。(男性・30代・埼玉県)
予定、変更(女性・50代・愛知県)
計画的な外出の予定、スケジュールの変更(男性・30代・栃木県)
外出する時(女性・20代・北海道)
外出の予定を立てるのに利用したい(女性・60代以上・茨城県)
出かける時など(女性・40代・栃木県)
衣服の調整(男性・20代・大阪府)
自分の生活や仕事に付いて活用したい。(女性・60代以上・大阪府)
仕事やレジャーの計画に役立てたい(男性・40代・佐賀県)
洗濯、買い物(女性・40代・東京都)
旅行やレジャーの計画、病気にならないため服装の管理(女性・50代・東京都)
旅行先の選定や時期を考える。(女性・60代以上・愛知県)
日常生活(男性・60代以上・茨城県)
外出の自粛。事前の買い物。(男性・60代以上・山形県)
家屋や家族の安全(男性・40代・神奈川県)
2週間後までの行動計画を決定する。(男性・60代以上・埼玉県)
外出先ですることと自宅ですることの比率を大まかに決めて生活リズムを作る。(女性・40代・神奈川県)
予定を立てる時に活用(女性・40代・神奈川県)
外出するかしないかの判断(女性・30代・山口県)
その年の傾向(男性・60代以上・愛知県)
仕事の計画やレジャーの計画に利用したい(男性・60代以上・北海道)
衣替え(女性・30代・茨城県)

仕事日時の変更（男性・50代・富山県）
クーリングシェルターを探す（女性・20代・福岡県）
旅行等の計画（男性・60代以上・山口県）
仕事での調整（男性・40代・岡山県）
外出のさい（女性・30代・岡山県）
日々の生活、長期旅行などの計画（女性・60代以上・福岡県）
全ての計画や身の安全のため（男性・60代以上・千葉県）
自分の今後の備えの準備（女性・40代・愛知県）
仕事なり普段の生活なりで利用したい（男性・50代・東京都）
すぐ避難する（男性・50代・愛知県）
いろいろな事（女性・50代・石川県）
仕事のスケジュール管理（男性・50代・愛知県）
仕事（男性・30代・宮城県）
家族の健康管理。特に、未就学児がいるため。（男性・30代・千葉県）
予定を変更する（女性・30代・神奈川県）
豪雪地帯なので短期的なスケジュールの調整（男性・40代・新潟県）
防災（男性・60代以上・宮城県）
外での活動への対応（男性・60代以上・福岡県）
健康管理や防災。外出の際の参考に。（女性・60代以上・群馬県）
外出の予定を検討するために。（男性・50代・東京都）
仕事の面で（男性・50代・埼玉県）
仕事やレジャーの計画を見直したり、災害の対策や備えをするため（女性・50代・栃木県）
出掛ける予定（女性・60代以上・山口県）
季節ごとの健康管理や、災害に対して事前に備えることが、できる。（女性・50代・群馬県）
通勤、帰宅時の参考としたい（女性・60代以上・静岡県）
家庭での備え（男性・60代以上・埼玉県）
今後の生活の計画をたてる（女性・20代・宮城県）
日々の生活に役立つ。（女性・60代以上・兵庫県）
日々の通勤（男性・60代以上・神奈川県）
寝る時、旅行、大事なおでかけがいいとき（女性・20代・北海道）
外でのアクティビティの可否判定（女性・50代・神奈川県）
気象情報（女性・50代・福岡県）
遊びの予定を立てるのに使う（女性・40代・栃木県）
日々の暮らしで気をつけながら生活する（女性・40代・岐阜県）
先の体調管理（男性・30代・東京都）
出勤、レジャーの計画（女性・50代・静岡県）
普段の生活のため（女性・60代以上・東京都）
仕事やレジャー（男性・40代・兵庫県）
近隣に親が居るので避難や備えに利用したい。（女性・50代・東京都）
通勤方法の選択、有給の取得（男性・60代以上・山梨県）
レジャーの計画（男性・60代以上・新潟県）
心の準備（女性・60代以上・広島県）
仕事へ行く際の服装と移動手段（男性・20代・埼玉県）

働く人員のシフトや農産物の管理に役立てたいです（男性・30代・愛知県）
外出日の変更（女性・60代以上・神奈川県）
遠距離外出をするかしないかの判断（女性・40代・東京都）
スケジュール調整（男性・20代・兵庫県）
防災対策（男性・60代以上・愛知県）
生活全般（男性・60代以上・滋賀県）
今後の予定が立てやすくなる（男性・60代以上・鳥取県）
外出時の服装や雨具の持参（男性・60代以上・大阪府）
レジャー、衣替え（男性・30代・北海道）
普段の活動（男性・50代・福岡県）
日々（男性・50代・大阪府）
これから先まだ暑い日または寒い日があるかどうかを知り、衣替えをする時期を決めるのに使いたい。（女性・20代・広島県）
国内外旅行やゴルフラウンドに利用したい。（女性・60代以上・京都府）
災害準備（男性・50代・千葉県）
外出予定の確認や変更にご利用したい（女性・50代・富山県）
レジャー（男性・60代以上・福岡県）
レジャー（女性・60代以上・宮城県）
外出の有無（男性・50代・北海道）
行動の予定（男性・30代・沖縄県）
布団の交換や洗濯の時期を決めたい（女性・40代・東京都）
防災意識を高めたい（女性・50代・京都府）
買い物（女性・60代以上・埼玉県）
旅行の計画（男性・60代以上・大阪府）
災害に備える準備（女性・60代以上・愛知県）
防災対策やリモートワークへの切り替え、レジャー計画の参考にしたい。また、日常生活の行動の(洗濯物を干す、買い物へ行く)の参考にもしたい。（女性・30代・静岡県）
日本のさまざまな天気について学ぶために使用します。（男性・20代・東京都）
体調を崩しやすいので薬の処方をしてもらう（女性・60代以上・岩手県）
仕事などいくときや子供の安全のため（男性・30代・高知県）
避難する場所の確認から避難するかどうかの判断に利用する（男性・60代以上・愛媛県）
子どもの体調管理（女性・40代・茨城県）
墓掃除、庭木の手入れなど屋外作業の予定を組む（男性・60代以上・高知県）
個人用途（男性・20代・大阪府）
日頃の行動（男性・60代以上・東京都）
レジャーなどで。（女性・30代・千葉県）
仕事（男性・50代・山口県）
危機管理（女性・20代・長野県）
レジャーの計画（男性・20代・広島県）
レジャー等に（男性・20代・東京都）
業務上の意思決定に使用したい。（男性・40代・千葉県）
出張の計画 特に国内からの海外（男性・50代・東京都）
外出する時など（女性・40代・佐賀県）

旅行やレジャーの計画（女性・20代・東京都）
レジャーや園芸（女性・60代以上・熊本県）
週末の予定（男性・40代・愛知県）
買い物、買いためされる方が近年多く買えない場合があったりするのである程度買い物をしたいです（女性・40代・東京都）
家族の安全確保（男性・60代以上・新潟県）
防災（男性・30代・広島県）
通勤の時など。（女性・20代・愛知県）
降雪予報はタイヤ交換の目安、特に大雪に備えての出勤前の準備等（男性・40代・富山県）
出かける時に傘がいるかどうか。（女性・50代・大阪府）
生活（男性・20代・徳島県）
日常生活（女性・40代・東京都）
衣替えのタイミングや外出の予定を立てる参考（女性・30代・宮城県）
心の準備（男性・60代以上・愛知県）
レジャーに役立てたい！（男性・60代以上・北海道）
普段の生活の中で、毎日欠かさず確認したい（女性・40代・埼玉県）
心構え。（女性・60代以上・石川県）
住んでいる地域の防災対策（男性・60代以上・富山県）
レジャー予定（男性・50代・神奈川県）
生活の改善（男性・60代以上・三重県）
仕事上の外出や出張の計画（女性・60代以上・新潟県）
仕事の調整（女性・30代・鹿児島県）
仕事のスケジュール（女性・60代以上・山梨県）
旅行などの計画（女性・30代・大阪府）
外出の際の参考（男性・60代以上・岩手県）
仕事（男性・60代以上・京都府）
夏が近ければ エアコン等の点検、冬が近ければ ストーブ や 灯油タンク の点検（男性・60代以上・茨城県）
防災対策（男性・60代以上・熊本県）
外出準備の参考（女性・50代・福岡県）
生活の安全の為（男性・50代・神奈川県）
日常の予定変更等（女性・60代以上・長野県）
先の外出予定や気温によりけりの服装（女性・40代・新潟県）
災害に対しての対策を検討（女性・60代以上・静岡県）
外出するスケジュールの調整（女性・50代・北海道）
ゴルフ（男性・50代・東京都）
大雨洪水警報（男性・60代以上・埼玉県）
旅行などのイベントため（女性・30代・長崎県）
旅行やお出かけの計画（女性・20代・愛知県）
旅行予定、仕事の調整（男性・30代・大阪府）
閲覧（男性・40代・京都府）
防災（男性・60代以上・鹿児島県）
旅行やレジャーの計画立案時（男性・40代・大阪府）

通勤時に必要な情報（男性・20代・埼玉県）
買い物、レジャーの活用（男性・60代以上・栃木県）
特に無いが心構えとして（男性・60代以上・長崎県）
洋服や布団等の温度に対処するため（女性・40代・神奈川県）
仕事のスケジュール管理（男性・50代・群馬県）
台風対策や避難の準備等に利用したい。（男性・60代以上・沖縄県）
旅行の計画の変更。冠水しそうなところを調べる。（女性・60代以上・兵庫県）
この先の寒暖に伴う気温や気候の情報で、レジャーの服装を考えるのに利用したい t （男性・60代以上・静岡県）
子どもの体調管理等（男性・30代・東京都）
防災（男性・60代以上・神奈川県）
今まで自分が住んでいる地域の情報が少ないので情報が多くなれば、今まで以上に気にするようになる（男性・60代以上・広島県）
少し先の外出の計画（女性・30代・千葉県）
タイヤ交換日の目安 通勤するのに道路の混雑状況 家の戸締り（女性・40代・山梨県）
レジャーの計画の変更 服や寝具などの準備（女性・60代以上・福岡県）
普段の健康や服装管理（女性・30代・東京都）

Q27. あなたは、どのような事柄で気候変動の影響を感じることがありますか。あてはまるものを全て選んでください。（いくつでも）／8. その他：

頭が痛くなったり、気分が落ち込んだりする（女性・60代以上・和歌山県）
太陽の位置（女性・50代・大阪府）
片頭痛（男性・30代・北海道）
体調（女性・50代・岩手県）
収穫される作物や魚の地域の変化（男性・20代・大阪府）
野菜の値段（女性・40代・埼玉県）
やませがなくなったこと、樹氷がちいさくなったこと（女性・30代・宮城県）
野菜の高騰（女性・60代以上・和歌山県）
ボケ咲がふえている（女性・60代以上・熊本県）

Q28. あなたが、将来考えられる気候変動及びその影響等の予測でもっとも知りたいことは何ですか。／13. その他：

天気図をもっと頻繁に更新して（女性・50代・岩手県）
知っても対処できないので無意味。（男性・60代以上・広島県）
一つにしぼりきれない。（女性・60代以上・栃木県）
ほぼ全て（男性・50代・滋賀県）
氷河期の到来（男性・40代・神奈川県）
最大瞬間風速（男性・60代以上・静岡県）

Q30. 気候変動や気候変動対策に関する情報で、期待するものは何ですか。／7. その他：

すでに調べている（女性・30代・京都府）
特になし 極度に不安を煽るのは疑問（男性・40代・埼玉県）

Q31. 気候変動や気候変動対策に関する情報を、どのような媒体から得ていますか。／7. その他：

書籍（男性・60代以上・愛知県）
インターネット（男性・60代以上・茨城県）
スマホニュース（女性・60代以上・福島県）
ニュースアプリ（女性・30代・東京都）

Q38. 「津波フラッグ」をどこで知りましたか？／10.その他：

新聞（男性・60代以上・宮城県）
覚えていない（女性・60代以上・東京都）
覚えてない（男性・50代・岡山県）
学校（女性・20代・山梨県）
覚えていない（女性・60代以上・静岡県）

Q39. 気象庁の取組に対してご意見・ご要望がありましたらお聞かせください。(自由回答)

主な意見は以下の通りである。

【情報の精度や的確な情報発信について】

- ・ 予報の精度をいま以上に上げていくことを期待します(男性・60代以上・宮崎県)
- ・ 局地的な豪雨、雷、雹、突風の予測がさらに正確になるとありがたいです。(女性・40代・群馬県)
- ・ 30年前から言うところと格段に予報精度は高くなっているが、もっと、もっと精度を上げてください。(男性・60代以上・高知県)
- ・ 予想外を減らせるよう頑張ってもらいたい(男性・40代・茨城県)
- ・ できれば災害が起こる数日前に実害がどのくらいになるかわかるといいと思います(女性・60代以上・群馬県)

【情報発信の迅速性について】

- ・ 危険と思われる情報については、なるべく早めに注意喚起をしてもらい、普段より備えるきっかけにしたい。(男性・50代・千葉県)
- ・ 空振りでも良いので早めに情報を知りたいです(女性・50代・奈良県)
- ・ いつも早い情報提供に感謝しています(女性・20代・熊本県)
- ・ 土砂災害も多いので、危険な事項は早めに伝えてほしい(女性・30代・滋賀県)
- ・ 重大な危険を伴うような気象の場合は早めにあらゆる媒体を利用して報告してほしい(女性・60代以上・愛知県)

【情報のわかりやすさについて】

- ・ 台風の強度がわかりやすい指標があると嬉しい(男性・40代・東京都)
- ・ 1時間降水量など分かりやすいですが、子供でも分かりやすく説明してくれる番組が増えればと思います。(女性・40代・兵庫県)
- ・ 気象庁のホームページ内の説明をもっと分かりやすく書いてほしい。(男性・40代・東京都)
- ・ どっちみち予想が当たらないことが多いので、詳細な情報ではなくシンプルでわかりやすい情報提供が良い。その方がわかりやすい(男性・40代・兵庫県)
- ・ 一般人が理解しやすい言葉で説明してほしい(女性・60代以上・北海道)

【情報発信のあり方について】

- ・ 警戒心の過剰な高まりを防ぐ予報をお願いします(男性・50代・千葉県)
- ・ もう少し狭い地域についても情報発信が欲しい(女性・60代以上・北海道)
- ・ 外れても良いので、危機が迫っていると予測され得た場合は、しっかりとその地域の住民に伝わるようにしてほしい。(女性・50代・群馬県)
- ・ 危機がせまっていても、不安を煽ることなく冷静・沈着な報道姿勢の維持。(男性・60代以上・北海道)
- ・ 会見をしていたことを知らなかったのが次回は見たいと思った。(女性・50代・大阪府)

【情報発信の方法について】

- ・インターネットですぐに確認できるといいと思いました。(男性・50代・愛知県)
- ・データ更新間隔を短い間隔に(男性・60代以上・大阪府)
- ・同じ報告を繰り返すことになっても良いのでコマーシャル無しで気象情報をメディアで伝えてほしい(女性・50代・広島県)
- ・気象会社が多くなっている昨今、全国の天気も必要だが、より地域密着の情報が、HPなどで、見られるとよい。(女性・60代以上・千葉県)
- ・ホームページのデザインや情報配置見やすくして欲しい(男性・40代・新潟県)

【気象庁への期待、励まし、感謝等】

- ・いつも、適切な情報提供をありがとうございます(男性・40代・石川県)
- ・激しく変動する気候、災害等に対処いただきありがとうございます。メディアも想定外と言わず、何が起こってもおかしくない地球環境の危機を発信すべき、そのための研究、リーダーシップを望みます。(女性・60代以上・愛媛県)
- ・予報も多岐にわたり見やすくなりました。ありがとうございます(男性・50代・山梨県)
- ・気象庁の雨雲レーダー、なうキャストの性能がよく、利用している。大変お世話になっている。(男性・20代・栃木県)
- ・日本の気象予報は世界一だと思っています。これからも頼りにしています。(女性・50代・福岡県)

【一覧】

特になし。予報確度も信頼でき、かなり重要な発信がされている(男性・50代・東京都)
期待しています(女性・60代以上・愛知県)
ありがとう(男性・40代・福島県)
より解りやすく、正確な情報をこれからも、早く届けて欲しい(女性・60代以上・北海道)
警戒心の過剰な高まりを防ぐ予報をお願いします(男性・50代・千葉県)
常に情報を提供してくれてありがたいと思う(女性・50代・神奈川県)
地域地域での服装の参考(男性・40代・滋賀県)
とても良い(男性・20代・高知県)
緊急時の会見には危機感を感じる。(女性・50代・北海道)
「キキクル」をたまに利用することがあります。使い勝手がよくわかりません。(男性・60代以上・青森県)
空振りでも危険を伴いそうな時は早めに情報をください(女性・40代・愛知県)
残念ながら、能登地震においての情精度が余りにもお粗末な為、信用、信頼が出来なくなっている。災害危機の時は下手に予想、解説はいらぬから、リアルタイムでの全ての情報を提供されたい。現状把握をするための情報が少なすぎる。(男性・40代・愛媛県)
色々な取組みがなされていて、心強いです(女性・50代・埼玉県)
煽っていると感じる。なぜなら正解率が悪すぎる。このままではオオカミ少年。昔の予報で十分(男性・60代以上・兵庫県)
常に最新の情報提供(女性・60代以上・奈良県)
予測のつかない変化が大きくなって来たので大変だと思います 災害の多い日本だからこその特化した取組に期待します (女性・60代以上・愛知県)
危険と思われる情報については、なるべく早めに注意喚起をしてもらい、普段より備えるきっかけにした

い。(男性・50代・千葉県)
SNSの活用をよりした方が良かったと思いました(女性・20代・東京都)
早めに情報を(男性・60代以上・神奈川県)
外れてもいいので早め早めの情報発信を。(女性・60代以上・大阪府)
大変ですか期待しております(女性・50代・東京都)
地震の予知は可能なのか／能登半島地震で怖い思いをしたので、予知ができるようになるとありがたい(女性・60代以上・富山県)
これからも参考にさせていただきます。(男性・20代・千葉県)
台風進路予測情報の精度向上(男性・50代・鹿児島県)
わかりやすい内容。簡潔な説明や内容。(男性・60代以上・静岡県)
当たらないこともある(女性・50代・広島県)
天変地異は予測しがたい(男性・60代以上・神奈川県)
昔と違って天気予報がよくあたる 行動しやすくなった(男性・50代・鹿児島県)
精度にこだわって(男性・40代・群馬県)
特にないです／お疲れ様です(男性・20代・福岡県)
早めに地域の役所なりに連絡し避難誘導出来る様にして欲しい(女性・60代以上・千葉県)
予報の精度向上(男性・60代以上・福岡県)
インターネットですぐに確認できるといいと思いました。(男性・50代・愛知県)
外れても良いので、早めに伝えて欲しい(男性・60代以上・兵庫県)
こんなにも沢山の指針があるなんて知らなかった。もっと啓発活動をお願いします。(男性・50代・埼玉県)
今からも変わらぬ情報を伝えて下さい。(男性・60代以上・長崎県)
私が一番お世話になっているのは台風情報です。いつもありがとうございます。(女性・40代・岡山県)
個人ができることを教えてほしい(女性・60代以上・群馬県)
予報・予測が外れた際などには非難を浴びることも多く、非常に大変な仕事かと思いますが、確実に国民の生活を守ることに繋がる仕事ですので、是非頑張ってくださいと思います。(男性・20代・茨城県)
年々予想が難しくなっていると思うが頑張してほしい(男性・40代・兵庫県)
季節によって天気予報と、実際の天候が全く違うことがあるので予報は参考にならないです。／天気予報のニュースを見ると大袈裟に台風の状況を予報しているのでやめてほしい。(男性・30代・富山県)
早めに雨予報がわかり助かっています。(男性・30代・神奈川県)
毎年今まで例のない気象になって来てる気がするので、気象庁も大変だと思いますができるだけ細かく地域別に気象予報を出してもらえればと思います(女性・60代以上・兵庫県)
もう少し、予報の精度があがるとうれしい(女性・20代・滋賀県)
年を追ってどんどん変化し、進んでいると思う。情報を発信してくれるのはありがたい。気象変化を自分ごとと感じられる。(女性・60代以上・千葉県)
生活の安心安全のためにこれからも頑張ってください。(女性・50代・神奈川県)
確度の高い情報提供に期待しています(男性・20代・東京都)
予報の精度をいま以上に上げていくことを期待します(男性・60代以上・宮城県)
関東に住んでいるが東京を1番にするので他の地域も細かく教えてほしい(女性・60代以上・埼玉県)
津波フラッグ(男性・40代・福井県)
短時間の情報(男性・60代以上・愛知県)
地震について、もっと情報を出してほしい。(女性・40代・東京都)
日頃のご努力に大変感謝しております。ほぼ正確な情報に信頼感を強めております。(女性・60代以上・

鹿児島県)
いろんなデータを元にいかに早く市民に対して情報を発信して、危機感を伝えるかを日々行ってくださって、ありがたいです(女性・50代・愛知県)
データ更新間隔を短い間隔に(男性・60代以上・大阪府)
雨雲レーダーが助かる(男性・40代・埼玉県)
迅速に対応し説明も分かりやすく安心していられる。(女性・60代以上・神奈川県)
線上海水帯発生予報の精度を向上して欲しい。(男性・50代・滋賀県)
このまま頑張っ欲しい(男性・50代・愛知県)
より正確な気象情報の提供(男性・50代・兵庫県)
未来のための情報収集やそれに対する対策など頑張ってください。(女性・60代以上・愛媛県)
いつもありがとう(女性・30代・大阪府)
いつもお世話になっております！！大変なお仕事ですが頑張ってください！(女性・20代・広島県)
いつもありがとうございます！(男性・40代・大阪府)
より正確な予測をしてほしい(女性・40代・愛知県)
不安(女性・30代・愛知県)
住民の立場に立った予報をお願いします。(男性・60代以上・長野県)
竜巻予報は画期的だと思います。(女性・60代以上・兵庫県)
SDM は見てました(男性・20代・栃木県)
正しい情報を具体的に伝えていただければ幸いです(女性・40代・福島県)
今後台風、大雨などの詳細な情報をお願いしたい(女性・50代・神奈川県)
頑張ってください(女性・60代以上・千葉県)
どんどん精度が上がり、大変役立っております。これからもよろしくお願いします(女性・60代以上・神奈川県)
もっと早くネットで配信して(男性・40代・福岡県)
もう少し狭い地域についても情報発信が欲しい(女性・60代以上・北海道)
気象のデータの精密度をあげて欲しい(男性・60代以上・大阪府)
正確で速い情報(女性・60代以上・奈良県)
津波フラッグはあまり聞いたことない(女性・40代・京都府)
台風情報以外で存在感を出してほしい(男性・40代・神奈川県)
地球温暖化は、スピードはともかく不可逆なので詳しい民間が行うべき対応とともに気候変動の対策を逐次連絡してほしい(男性・60代以上・富山県)
正確な情報(男性・60代以上・山梨県)
土砂災害も多いので、危険な事項は早めに伝えてほしい(女性・30代・滋賀県)
記者会見が、あまり危機感がない。「わからない」ばかりでわからない。もっと小さい町のことも取り上げて欲しい。空からばかり見てないで普段から津々浦々歩いて欲しい。(女性・50代・岩手県)
頑張ってください(男性・40代・埼玉県)
会見を行い被害が話されているよりも大した事がない事が多くあり、精度を高めて欲しい(男性・40代・広島県)
これからも正確でわかりやすい気象情報をお願いします。(女性・60代以上・兵庫県)
批判もあると思うが、空振りを恐れずに頑張してほしい(男性・40代・埼玉県)
取組の精度のアップは感じます。大変で、苦労されてると、思いますが～更なる向上を目指して下さい～(男性・60代以上・三重県)
正確な情報(女性・60代以上・福岡県)

頑張ってくれていると思う（女性・60代以上・三重県）
よく頑張っていると思う。（男性・60代以上・広島県）
民間の事業者の方が天気予報が、当たると言う現状に違和感がある。頑張っ欲しい、切実に！（男性・40代・東京都）
災害時など、夜中に記者会見などすることもあり、ありがたいです。お疲れ様です。（女性・60代以上・秋田県）
台風の強度がわかりやすい指標があると嬉しい（男性・40代・東京都）
最近の天気予報はかなりあたるので、とても助かります。（女性・50代・長野県）
頑張っていると思う（男性・50代・神奈川県）
外れても良いので、危機が迫っていると予測され得た場合は、しっかりとその地域の住民に伝わるようにしてほしい。（女性・50代・群馬県）
これからも迅速な発表期待しています（男性・40代・福岡県）
正確な情報を（男性・60代以上・香川県）
気象の予測は大変だとは思いますが、国民の命に関わることでありますので、十分な体制の構築をお願いします。（男性・60代以上・秋田県）
役に立っています（女性・60代以上・岐阜県）
気象は人間が住む地球にとってとても重要なものでそれを我々が知ることで地球を大切にすることも自分たちが生きるためにも対応できるので今後とも今あるあらゆるテクノロジーを駆使して改善し続けてください（男性・30代・千葉県）
危険な状況に関しては会見を開いて詳細に説明してくださっており、感謝しております（女性・30代・北海道）
緊急記者会見での緊迫感が伝わってこない（男性・60代以上・東京都）
市区町村ではなくもっと小さい地域別の予報（男性・30代・大分県）
精度を高めるように頑張っ欲しい。（女性・50代・秋田県）
速報でNHK以外で流してほしい（女性・40代・埼玉県）
気象情報を知らせてもらって有難い（女性・60代以上・新潟県）
地球温暖化対策／再生エネルギー（女性・60代以上・滋賀県）
ウェザーニュースに負けないでほしい（女性・60代以上・島根県）
地震が起きればストックの事を考えがちですが、この夏、猛暑の中停電すればほぼ全員死にます。／温暖化をどうにかして止めなければならないと思います。（女性・30代・兵庫県）
的確な情報の取り組みに期待している（女性・60代以上・広島県）
30年前から言うとう格段に予報精度は高くなっているが、もっと、もっと精度を上げてください。（男性・60代以上・高知県）
予報の精度向上に期待します。（男性・50代・北海道）
気候変動には気をつける（男性・60代以上・三重県）
色んな危機が予測される場合、外れることを気にせず、可能性を発表して欲しい（男性・60代以上・熊本県）
各地域への情報発信をできるだけ早くしてほしい。その情報をもとに、地域では、防災無線、防災ラジオなどで発信しているから。（男性・60代以上・福岡県）
情報ははやめに伝えてほしい（女性・60代以上・千葉県）
近頃大雨や洪水が増えたように感じます。また、猛暑日や暑さが続くようになったように思います。そのようなときに気象庁の発表により心構えができるので助かっています。特に私の住んでいる地域は雨が少なく記録的短時間大雨情報がきても大丈夫だろうとたかを括っていましたが同じ市内で冠水した地域があ

り、油断できないことが分かりました。これからはより気象庁の発表に注視していきたいと思います。いつもありがとうございます。(女性・30代・香川県)
1時間降水量など分かりやすいですが、子供でも分かりやすく説明してくれる番組が増えればと思います。(女性・40代・兵庫県)
地域ごとの詳しい情報(女性・60代以上・長崎県)
頑張ってください。(男性・50代・福岡県)
引き続き、災害情報の共有をいただけますと幸いです。(男性・30代・熊本県)
災害の数値化に期待します。(男性・60代以上・福岡県)
最悪の状況を想定しているのは分かるが、あまり度を越すとオオカミ少年になる懸念がある。(男性・60代以上・神奈川県)
いろいろ大変でしょうけど、これからもよろしくお願いします。(男性・50代・福島県)
わかりやすく知らせてほしい(男性・50代・奈良県)
真夏がいつからいつまでなのかおおよその予想を知りたい。(女性・60代以上・東京都)
常に最新情報を伝え続けてほしい(女性・40代・神奈川県)
過去データを利用する事があるのですが、ちょっと探し難いです。／県内でもいくつかのエリアに分かれているので、地図上で線を入れて区切ったりしてもう少し、エリア分けがわかり易い様にしてほしい。(女性・40代・埼玉県)
リスクに関する基礎知識の情報発信頻度をあげていただきたい。(男性・40代・東京都)
このままでよい(男性・60代以上・福井県)
最近の異常気象で命が危険にさらされることが多くなってきていると思います。気象庁の方がテレビで会見を行っているのをたまに見ますが、避難等の指示はもっと強い口調で話しても良いのではないのでしょうか。(女性・60代以上・宮城県)
地球温暖化で今まで経験したことが無い気象事象が起きそうでとても不安です。色々な可能性を考慮しながら全知見や研究等あらゆる分野にも精通する方々と共に日本の為予報や予防に力を発揮してほしい。(女性・60代以上・京都府)
温暖化対策の具体的な内容を示して頂きたい。(女性・60代以上・神奈川県)
予報の正確性(女性・40代・青森県)
もっと情報を共有したいですよろしく(男性・50代・三重県)
外れ過ぎで必要性を疑う。プロなら外れて笑って平然しているのが不快(女性・60代以上・東京都)
空振りを恐れずに取り組んでほしい(女性・60代以上・佐賀県)
予報は難しいが細かい情報をこまめに伝えて欲しい…と思いつつ、時々大袈裟に言ってるんじゃないかと思うときもある。しかし最近、災害が多すぎるため、意識が高まった。備えていても被害に遭うのは仕方ないが、正確な情報と災害に備える情報も合わせて伝えて欲しい(女性・40代・埼玉県)
私自身、興味から気象庁のHPを見るほうだが、過去の天気、気温、降水量、日照時間等膨大なデータをピンポイントで見ることができるのでおもしろい。自分が生まれた日がどんな天気だったとか、その日が今年と比べて最高気温が10℃も違う！40年でもかなり温暖化が進んでいる！とか、温暖化のことをニュースで見るよりもデータで実感する。天気は命や生活に関わるので、お堅い感じではない身近なコンテンツ(過去にあったヤン坊マー坊天気予報みたいな)があるといいなと思う。(女性・40代・福岡県)
気象シミュレーション技術は年々進化しているとは思いますが、世界に負けない様に努めて頂きたい。その為に、人員も予算も拡大出来る様、祈念しています。(男性・60代以上・愛知県)
地震予知の精度を進めて欲しい(男性・60代以上・兵庫県)
早めに教えて欲しい(女性・60代以上・山形県)
局地的な豪雨、雷、雹、突風の予測がさらに正確になるとありがたいです。(女性・40代・群馬県)

情報は適格だと思う（男性・50代・愛知県）
より精度の高い情報（女性・50代・北海道）
大雨洪水、強風が多くなってきて、気象庁の予報 よく当たるので参考になります。予報がはずれてもいいので危険だと思ったら発表をしてほしいです。（女性・60代以上・秋田県）
今は地震情報が一番気がかりです（女性・60代以上・兵庫県）
これまでにない強さの台風が来るというときに限ってそうでもないことが、多かったように思う。（結果的には良いことです）まだまだ、天気の予想は難しいものなののでしょうか？（女性・40代・千葉県）
災害の恐れがある場合は例え空振りであっても情報を公開してほしい（女性・60代以上・京都府）
山の天気もよろしくお願いします（女性・40代・広島県）
昔と違い、事が起こってからではなく早めに予測情報を発信してくれるのはとても良い事だと思います。近頃は毎回「10年に一度の????」と発表されていますが毎回その発表では変な感じがします。（女性・60代以上・兵庫県）
できるだけ当たる予報（女性・40代・東京都）
ウソや隠し事をしない（男性・60代以上・岡山県）
緊急事態になる前の正確な予報を期待しています。（男性・50代・京都府）
昔と違い、的中率が高くなっています。それはいろいろな方面等念入りに調査しての今があって、ただ、大雨洪水注意報に関して非難をよびかけて、免れた人もいるが、空振りで終わって、なんだったのでしょうか、いる場合もある。100%は難しい。が、備えあれば患いなし、です。努力のたまものです。（女性・60代以上・神奈川県）
すてき（男性・20代・大分県）
予報の正確化を一番期待します（男性・40代・神奈川県）
がんばってください（女性・60代以上・福岡県）
こまめな情報がいつも助かっている（女性・30代・佐賀県）
予算を拡大し、さらに精度の高い予報ができる様に期待している。（男性・50代・神奈川県）
今後も気象予報の精度向上を期待しています（男性・40代・東京都）
いつもありがとうございます（男性・30代・鹿児島県）
予報がたまに外れる事は問題ないです！空振りでも良いので 正しく情報を教えて欲しい。特に 地震の予知は伝えて欲しい！（女性・60代以上・静岡県）
いつも早い情報提供に感謝しています（女性・20代・熊本県）
はやめに知らせることは必要。（女性・60代以上・北海道）
より正確な天気予報に努めてもらいたい。（男性・50代・東京都）
最近の予報は、精度が上がって居ると思う。温暖化等について、色々発信して欲しい。（女性・50代・埼玉県）
過去の災害との比較（女性・60代以上・福岡県）
予報の精度をさらに高めてほしい。（男性・60代以上・東京都）
今以上に正確な気象をお願いしたい。（女性・60代以上・埼玉県）
頑張ってください（女性・30代・北海道）
台風、大雨など起きてからではなく、起きる前の広報はすごく助かります。結果何も起こらなくても、無事が一番なので早めの警報は今後お願いします！（男性・40代・広島県）
災害時の緊迫感が会見で伝わらない（男性・20代・愛知県）
空振りに終わっても構わないので、ためらわずに迅速な避難情報を発信してほしい。（男性・60代以上・東京都）
わかりやすい情報で正確に（女性・60代以上・埼玉県）

がんばって（男性・60代以上・秋田県）
早めの報告（女性・50代・鳥取県）
天気を予測するのは大変なことだと思う／是非これからもより確実な予報をお願いしたい（女性・60代以上・群馬県）
気象庁のホームページ内の説明をもっと分かりやすく書いてほしい。（男性・40代・東京都）
天気をもう少し当ててほしい（男性・20代・東京都）
天気予報などでの「平年」という言葉の定義を見直してほしいと思います。あるいは、「平年」の他に「直近5年間」などの情報を加えて欲しいです。（男性・60代以上・福島県）
緊急時だけでなく常日頃から記者会見等で気象に関する事柄を知らせてほしい。（男性・60代以上・青森県）
ある程度外れることがあっても危機管理は早めに発表して欲しいと思う。一部では狼少年になると批判されているが被害が出るよりも良いと思うので頑張ってもらいたい（女性・60代以上・大阪府）
頑張ってください（男性・40代・岡山県）
自然現象を相手にするお仕事なので、100%は望みませんが、一人ひとりを守るためにより正確な情報に期待しています。（女性・60代以上・兵庫県）
予報は当たらないことが多いので戸惑ってしまいます。（女性・50代・山口県）
これからも大変だとは思いますが、様々な情報を正確に伝えて欲しい（女性・50代・大阪府）
最近、災害がとても多く発生（地震、大雨など）しているせいか気象庁の方がメディアによく出て来る機会が多く良く頑張る姿が感じられます。（男性・60代以上・北海道）
もう少し若者向けに分かりやすく説明や表示してもらえると有難いです。（女性・30代・静岡県）
発表する人が、たんたんとしていて、緊迫感が伝わらない（女性・60代以上・愛知県）
頑張ってくれていると思います（女性・30代・東京都）
以前に比べて予想が当たる確率は高くなっている（男性・50代・新潟県）
継続したより高度な情報提供を期待しますよう（男性・60代以上・三重県）
細心の注意を持って取り組んでもらっている。（男性・60代以上・兵庫県）
定期的に雷や大雨、災害時の避難や対応方法など流してほしい（女性・30代・宮城県）
より正確な情報が知りたい（女性・60代以上・神奈川県）
進歩し続けていると思います。正確な情報を届けてほしい。（女性・60代以上・埼玉県）
いつも、適切な情報提供をありがとうございます（男性・40代・石川県）
県単位ではなく市町村単位の情報してほしい（男性・60代以上・三重県）
情報が有益で、よいと思う。（男性・40代・東京都）
予報が外れても良いので、積極的に情報を流してほしい（女性・60代以上・埼玉県）
灯台が古いので大変でしょう（男性・60代以上・岩手県）
もっとわかりやすい取り組みしてほしい（女性・20代・千葉県）
空振りでも良いので早めに情報を知りたいです（女性・50代・奈良県）
誰もがわかりやすい説明をしてもらいたい（男性・60代以上・大阪府）
台風等の危険な天候の際は必ず仕事が休みになる制度を作してほしい（女性・20代・東京都）
さらに詳細な情報を。（男性・60代以上・神奈川県）
予測精度の向上、南海地震の予測（男性・60代以上・神奈川県）
降水量の精度があがっていくといい（男性・30代・愛知県）
頑張ってください！（女性・60代以上・栃木県）
各地で避難情報を出して 何%の住人が避難完了しているのかを知りたい（女性・40代・北海道）
気象庁ホームページにある今後の雨→時間降水量の使い勝手が非常に悪い（男性・60代以上・神奈川県）

大々的では無くていいので、隅の方に美容に関する情報が有れば面白いと思いました。紫外線が強いのでシミが出来るや、乾燥するので保湿をしっかりと言ったような情報があればありがたいです。(女性・30代・大阪府)
頑張っ欲しい(女性・50代・島根県)
同じ報告を繰り返すことになっても良いのでコマーシャル無しで気象情報をメディアで伝えてほしい(女性・50代・広島県)
命を守る取り組みを。(男性・60代以上・和歌山県)
極めて精度の高い気象情報を提供してもらえているのでありがたいです。(女性・60代以上・山口県)
今後も引きつづきお願いしたい。(男性・60代以上・岩手県)
早く正確な情報(女性・60代以上・青森県)
災害時の中通勤等お疲れ様です。と思います。こちら災害関係なく出勤しないといけなので…(女性・30代・京都府)
より正確な情報を希望します(女性・60代以上・福岡県)
精度を高く(男性・50代・宮城県)
雨雲レーダーがもっと正確になるといい(女性・40代・東京都)
色々な取り組みをされているのに、あまり知られていないのが残念です。もっと声高に広めていくことを考えては？(女性・50代・滋賀県)
会見を開き、言葉や表情で伝えることは逼迫していることが伝わるので良いことだ(男性・60代以上・群馬県)
いろいろと後出しの批判はあると思いますが、気象情報は絶対に必要なものです。頑張ってください。(男性・60代以上・大阪府)
どの気象情報アプリよりも正確な情報を(女性・50代・大阪府)
地震情報について、テレビ等で報道発表する時間をもっと短時間で報道して欲しい。住んでいる地域の震度は、揺れを体感することで何となく分かるが、果たして震源が遠方だと、遠くに住んでいる親類、友人への影響度が直ぐ分からず、次の行動を起こすことができない(男性・50代・石川県)
わかりにくい(女性・40代・大阪府)
予測が外れてもいいのでその都度注意喚起してほしい(男性・40代・北海道)
この調子！(男性・20代・兵庫県)
おなじエリアでも、距離が10km 違うと予想が外れる場合が多い。特に、富士山周り！(男性・60代以上・静岡県)
頑張ってください(男性・60代以上・静岡県)
外れてもいいから危険なことを呼びかけてほしい(女性・50代・大分県)
言葉が難しく、もっと分かりやすい言葉で伝えてほしい(女性・50代・大阪府)
二酸化炭素が温暖化にどの程度の影響を与えているのかいないのか、分析して欲しい(男性・40代・岡山県)
いつもありがとうございます(男性・60代以上・岡山県)
大変なお仕事だと思います。ありがとうございます。これからもより正確な情報よろしくお願いします。(女性・50代・沖縄県)
頑張ってください。(男性・60代以上・岡山県)
気象庁の記者会見を見ると、人によって説明が下手だったり、上手だったりする。危険をより分かりやすく伝える為には報道の熟練度が必要だと思うので日頃の訓練が必要ではないかと思う。中には自分の発表がとちると半笑いで発表する課長職もいたので緊張感が無いと思った。(女性・40代・大分県)
これからも国民の為により正確な天気予報等を提供して頂きたいです。(男性・50代・宮城県)

精度を上げてほしい（男性・60代以上・千葉県）
外れる事もあるが、今は地震情報が気になる。南海トラフ、首都直下地震などの国の対策が知りたい。（女性・60代以上・岡山県）
危機がせまっていても、不安を煽ることなく冷静・沈着な報道姿勢の維持。（男性・60代以上・北海道）
より正確な予報をお願いします（男性・60代以上・東京都）
これからも精度を上げながら、危機感を持って情報を伝えていただけたらありがたいです。（男性・40代・静岡県）
予報が当たる（男性・60代以上・福岡県）
いつもありがとうございます（女性・30代・静岡県）
予報などで当たらないと文句を言う人がいますが、気にせず新しいことをどんどん開発、挑戦してほしいです。その先に正確で有効的なものができあがると信じています。（男性・40代・東京都）
正確な情報を出せるようにしてほしい（男性・60代以上・神奈川県）
台風の進路予測の精度向上頑張ってください（男性・30代・愛知県）
早め、長期の情報提供をお願いしたい（男性・60代以上・熊本県）
地震に関する情報は気象庁なのかわからないが、南海トラフ情報については経済活動が止まるようなことにならないように気を付けてほしい。（男性・60代以上・大阪府）
東京電力のホームページにある関東一円の雨や雷の情報をよく見えています。しかし、東京電力は11月でそのサービスをやめてしまうようです。気象庁のHPから同様の情報をみえるようにしてほしいです。見えるならその場所を教えてください。（男性・60代以上・東京都）
予測の精度を求めたい。以前より気象衛星やその他機器が進歩しているはずなのに、精度は向上していない感じがする（男性・60代以上・東京都）
頑張ってください（女性・40代・福井県）
ありがとうございました（男性・50代・大阪府）
いつもありがとうございます（男性・40代・石川県）
空振りを恐れず、危険をより早くアナウンスして欲しい（女性・60代以上・千葉県）
正確で信頼できる情報。（女性・60代以上・鳥取県）
過剰な情報は精神的におかしくなりそうなのでやめてほしい（女性・50代・広島県）
正確な発表ができるように頑張ってください。（男性・50代・東京都）
その都度の発表、情報を知ることができて感謝しています（女性・60代以上・東京都）
東京ばかりがピックアップされるので、地元の危機感が伝わりにくい（男性・50代・岐阜県）
地球温暖化が急速に進み気象予報が今までの予測以上の事があたりまえのようにおこり大変かつ重要になっており皆の関心も高まりますます気象予報が必要不可欠なものとなります。正確な予報に期待します（女性・60代以上・福島県）
何を用意するかを（男性・40代・東京都）
知りたい事を的確に分かる様にしたい。（女性・60代以上・鹿児島県）
今後も精度を高めて欲しい（男性・40代・奈良県）
近年の雨の降り方は、変化してきている。早めの警報を各都道府県・市町村に発令するように促してほしい。（男性・30代・奈良県）
年々気温が高くなることに対して、各自で対策できることの意識喚起を細く長くして欲しい（女性・50代・愛知県）
今のままで良い（男性・50代・千葉県）
もう少し精度を高めてほしい（男性・50代・大阪府）
嘘、でまかせ。が、多い？（女性・60代以上・大阪府）

早めに的確な情報を出してほしい（女性・50代・愛知県）
早く正確な情報提供（男性・40代・北海道）
正確な情報を早めに欲しい（女性・40代・北海道）
発生日時等詳細な地震予報。（男性・60代以上・神奈川県）
早め早めの対策（女性・60代以上・愛知県）
精度をあげて（男性・40代・和歌山県）
正確な情報が多くなり助かっています。引き続き頑張ってください。（男性・50代・東京都）
1時間予報をもっと使ってほしい。（男性・30代・福島県）
より正確な情報を教えて欲しい（女性・60代以上・愛知県）
少しでも危険がありそうなら、情報を出して欲しい。空振りしても、全然構わない。（女性・60代以上・茨城県）
はっきりと喋ってほしい（女性・60代以上・岡山県）
とにかく天気 that 当たらない見ても仕方がないと思ってしまう。（女性・50代・京都府）
日夜の活感謝感謝（女性・60代以上・石川県）
さらに狭い範囲の気象情報が欲しい（男性・50代・福井県）
これからは精度を上げるように努力して欲しい。（男性・60代以上・静岡県）
特にないです今迄の情報で充分だと思います。（男性・60代以上・愛知県）
精度の向上と地域ごとの詳細な情報開示。（男性・50代・神奈川県）
地球規模の気象の変化が、年々進んでいる具体例をあげての啓発（女性・60代以上・東京都）
日々の天気予報、気温予想、降水確率等の情報をありがとうございます（女性・50代・福岡県）
天気も急に急変してかなり大雨が降るようになった。これからはかなりの大雨の時は危険なので、しっかりした情報を元に動きたいと思います。（女性・40代・兵庫県）
温暖かは仕方ないが、人命にかかわる情報は詳しく伝えてほしい（女性・60代以上・長野県）
より早く正確な情報を知りたい。（女性・60代以上・愛知県）
これからも正確な情報を伝えてください（女性・60代以上・山形県）
バイク通勤なので気温・天気は気になります。これからも確かな情報を期待しています（女性・60代以上・大阪府）
どっちみち予想が当たらないことが多いので、詳細な情報ではなくシンプルでわかりやすい情報提供で良い。その方がわかりやすい（男性・40代・兵庫県）
地震アラームが気持ち悪い（女性・60代以上・石川県）
テレビなどの地震のニュース速報で震度1などの場合速報を流しているが、これによって慣れてしまっていて本当に大事な時に、あまり危機感が感じられなくなるのでは（男性・60代以上・山口県）
予報の精度（男性・50代・北海道）
頑張ってください（男性・40代・青森県）
これからも正確な情報を提供してください。地震が怖いので、地震の研究をしてください。（女性・60代以上・千葉県）
台風の予想精度向上をお願いしたい。（男性・40代・愛知県）
より細かい 大雨 洪水 台風などの情報（女性・60代以上・秋田県）
広告をなくしてほしい（男性・50代・岩手県）
もっと詳細をしりたい（女性・50代・千葉県）
国民への情報を正確でなくても可能性があるものは早く教えてほしい（女性・30代・三重県）
早め、早めの情報、連絡をお願い致します。（女性・60代以上・神奈川県）
大阪で台風があったときはそこまで気象について大きな変革がなかった。でも毎年こういうことが起きて

きているのでみんなで取組をしないとイケないし、温暖化について少しでもくいとめないといけないとおもう。(女性・50代・大阪府)
引き続き頑張ってください(男性・60代以上・群馬県)
精度向上(男性・60代以上・岐阜県)
より正確な情報を(男性・50代・大阪府)
より正確な情報(男性・40代・大阪府)
迅速正確な予報をお願い致します。(男性・40代・大阪府)
より 正確な情報 毎回 10年に一度の危機と聞くと、何回言うのだろうか？(女性・50代・愛知県)
もっと仕事して(男性・40代・神奈川県)
台風情報が、漁業関係者には、準備上重要なので正確に適時伝えていただきたい(女性・60代以上・和歌山県)
今後も国民生活を守るため頑張ってもらいたい(男性・60代以上・群馬県)
わかりやすい説明を(女性・60代以上・岩手県)
地震予報も宜しく願います(女性・30代・広島県)
精度があがったり様々な予報をして下さっているのとくなし(女性・40代・兵庫県)
ここ数年でより詳細で分かりやすい予報が参考になっています。ゲリラ雷雨の時期は雨雲レーダー等を毎日外出時に見て移動のタイミング、雨宿りの目処に参考にしていました。(女性・40代・東京都)
特になのでこれからもよろしく(男性・60代以上・秋田県)
早急な連絡／地震発生時の精度(男性・60代以上・徳島県)
精度の高い気象予報(男性・60代以上・兵庫県)
激しく変動する気候、災害等に対処いただきありがとうございます。メディアも想定外と言わず、何が起ころうともおかしくない地球環境の危機を発信すべき、そのための研究、リーダーシップを望みます。(女性・60代以上・愛媛県)
地球温暖化による影響で、これ迄経験して来なかった事象が発生し予測不可能で混乱を招く事が起きると思いますので、大変だと思いますが頑張ってくださいと思います！(女性・60代以上・新潟県)
いつもお世話になっております。(女性・50代・広島県)
状況を的確に伝えて欲しい(女性・60代以上・大阪府)
いつも参考にさせていただき、助かってます。(女性・30代・埼玉県)
これからも精度の高い情報提供をお願いします。(男性・50代・兵庫県)
正確な情報(女性・60代以上・大分県)
重大な危険を伴うような気象の場合は早めにあらゆる媒体を利用して報告してほしい(女性・60代以上・愛知県)
正確な気象情報を伝えてほしい(女性・60代以上・大阪府)
今まででは考えられない被害をもたらす災害が増えてきたように思う。大げさでも良いので、しっかりと注意喚起をしてもらいたいです。(男性・30代・埼玉県)
米国や欧州機関がやっているようなスパコンによるシミュレーション。(男性・60代以上・大阪府)
いつもありがとうございます。天気予報は毎日数回見えています。(女性・40代・京都府)
気象庁の詳しい仕事は分からないので、とりあえず、正確な予報を期待します。としか言えない(男性・50代・熊本県)
10年前より予報が進歩していることを感じるが、問題はそれを受け取る側がどう受け取り、行動するかだと思ふ。(男性・60代以上・福岡県)
良い仕事をしておられると感謝しています。(女性・60代以上・茨城県)
毎日の服装(女性・60代以上・福島県)

会見などを聞いても今ひとつ危機感が感じられない（女性・60代以上・福島県）
予報も多岐にわたり見やすくなりました。ありがとうございます（男性・50代・山梨県）
これからもいろいろな情報を伝えてほしいです。（女性・50代・東京都）
今まで通り（男性・40代・福島県）
精度の高い情報をお願いします（男性・60代以上・奈良県）
気象に関する情報提供をいただき感謝しています（男性・20代・青森県）
とくにないが頑張してほしいです（女性・30代・茨城県）
正確な情報のみ確実にとどけてほしい（女性・60代以上・奈良県）
難しい気象状況もあると思いますが、研究を重ねて正確な情報を期待しています。（女性・60代以上・埼玉県）
なるべく正確な情報をお願いします。（男性・60代以上・愛知県）
なるべく正確な情報提供のお願い（女性・50代・栃木県）
いろいろな取り組み、ありがとうございます。国民、未来のためこれからもよろしくお願いします（男性・60代以上・愛知県）
現在の取り組みでは大雑把すぎて対応するのが難しいと考えます。最低でも市町村別での情報が欲しいです。（県南部・県北部などの情報では曖昧でリスクが明確ではありません。）（男性・60代以上・静岡県）
予報精度の向上（男性・60代以上・東京都）
いつもありがとうございます。（女性・40代・福岡県）
早めに出してほしい（男性・30代・東京都）
お疲れ様です。（女性・60代以上・東京都）
当たらない予報を出すより、確実に正確な予報を出してほしい。次の日の天気予報も外しているイメージがある。（男性・20代・兵庫県）
気象会社が多くなっている昨今、全国の天気も必要だが、より地域密着の情報が、HPなどで、見られるとよい。（女性・60代以上・千葉県）
今のような定性的な危険を煽る発表ではなく、定量的な発表にしてほしい。（男性・60代以上・愛知県）
予測精度を上げてほしい（男性・60代以上・北海道）
頼りにしている（女性・60代以上・宮城県）
気象庁の雨雲レーダー、なうキャストの性能がよく、利用している。大変お世話になっている。（男性・20代・栃木県）
民放テレビの気象に関する大げさすぎる報道と、一線を画する正しい信頼性の高い発表をわかりやすく知らせてください。空振りでもいいので、恐れず！（女性・60代以上・茨城県）
世のために頑張ってください！いつもありがとうございます（男性・50代・神奈川県）
お願いします（男性・50代・三重県）
どんどん情報を流して欲しい（男性・50代・大阪府）
これまで通りよろしくお願いします。精度が増す事を期待します（女性・60代以上・北海道）
いつもありがとうございます（男性・30代・広島県）
予報の外れが多すぎる（男性・30代・群馬県）
気候変動は、人間活動による二酸化炭素の増加によるとは、科学的には証明されていないことを、国民に周知すること（男性・60代以上・東京都）
いつもおつかれさまです（女性・20代・香川県）
一般人が理解しやすい言葉で説明してほしい（女性・60代以上・北海道）
迅速に正確に（女性・30代・大阪府）
自分が知らないだけで情報を発信してくれているので気にしてみようと思う（女性・40代・埼玉県）

近年、早めに避難情報等を知らせてくれるので、早めに準備や備えができるので、とてもありがたいです。 (女性・30代・三重県)
これからも宜しくお願い致します。(男性・50代・大阪府)
より正確な情報(女性・60代以上・東京都)
台風の進路予想の精度が高くなると助かります(男性・40代・長野県)
予想外を減らせるよう頑張ってください(男性・40代・茨城県)
わかりやすい内容に期待したい。(女性・60代以上・北海道)
いつもありがとうございます。(男性・60代以上・北海道)
国から予算がもっとつくといいですね(女性・40代・岩手県)
より早期な具体的 情報、%数字の確立。(女性・60代以上・宮崎県)
早めに正確な情報が知りたい(女性・30代・埼玉県)
いつもありがとうございます。今のところ満足しています。(女性・60代以上・北海道)
いつもありがとうございます。(男性・30代・千葉県)
より精度を高めてほしい(女性・60代以上・鹿児島県)
空振りでもいいので、早めに知らせてほしい。(女性・60代以上・岡山県)
地方自治体と更なる連携強化を(男性・50代・愛媛県)
常に正しい情報をより早く伝える技術を発達させ続けてもらいたい(男性・50代・神奈川県)
短時間の気象予報(女性・60代以上・兵庫県)
もっと身近に感じられるように、広告を増やした方がいいと思う。(男性・20代・熊本県)
現状を継続してほしい(男性・60代以上・愛媛県)
より細分化された地域の時間毎の予報がインターネットで確認できるとよいと思います。(男性・40代・東京都)
正確な情報をより早く伝えて欲しい。(女性・60代以上・京都府)
国内だけではなく、中国やアメリカに対しても、地球温暖化の危険性を強く訴えてほしい(男性・60代以上・熊本県)
地震予知頑張ってください(男性・50代・石川県)
正確に(男性・50代・大阪府)
より正確に(男性・60代以上・愛知県)
難しいと思うが、確定的な発言に乏しい。外れた際の言い訳ができ湯な発表とタラ得てしまう事が多い。 (男性・60代以上・静岡県)
予想が正確で感謝します(男性・60代以上・神奈川県)
緊急性をあおるのではなく、正確に報道してほしい(女性・60代以上・東京都)
予報精度の向上(男性・50代・神奈川県)
空振りでも、警戒警告をして欲しい。(女性・50代・福岡県)
感謝している(男性・60代以上・山形県)
以前よりはかなり防災意識が高まったかと思うがまだまだ足りないと思う(女性・40代・北海道)
今までに経験したことのない、という言葉があまりにも使われすぎていて、伝わってこない。(女性・60代以上・熊本県)
常に感謝し、敬意を払っている。(男性・60代以上・東京都)
正確な台風情報(女性・60代以上・沖縄県)
日本の気象予報は世界一だと思っています。これからも頼りにしています。(女性・50代・福岡県)
24時間分の雨雲レーダーを配信してほしい(女性・30代・東京都)
より正確に、よりわかりやすく。(男性・60代以上・東京都)

細かい地域での情報（女性・60代以上・京都府）
あまり期待していない（女性・50代・大阪府）
家族の安全（女性・30代・広島県）
テレビで話す人の会話が下手すぎて、見ている人に伝わりにくいと思う（NHKのアナウンサーの方がまだまし）。NHK 並みにプレゼンの訓練すべき or NHK が喋ったほうが良い。（男性・50代・愛媛県）
以前に比べて大雨や竜巻や落雷など自然災害が多いので事前の情報をいち早く知りたいです。（女性・50代・宮崎県）
特になし。正確な情報を求めます。（女性・30代・兵庫県）
会見をしていたことを知らなかったので次回は見てみようと思った。（女性・50代・大阪府）
正確な情報（男性・30代・東京都）
正確な予測を期待しています。（男性・60代以上・兵庫県）
衛星画像で詳しく知りたい（男性・60代以上・栃木県）
大雪情報の精度が高くなって欲しい。（女性・60代以上・神奈川県）
どんなに最先端で取り組んでも自然は予測できない気がする（女性・50代・兵庫県）
今後も頼りにしています。（女性・60代以上・神奈川県）
最近気象情報が当たらない日が多くなっているので何とかして欲しい（男性・40代・東京都）
最近は文句を言われるのか、オーバーにオーバーに伝わるから、そこまで対策しなくてもいいことが多い。それはそれでいいことではあるが、周りの年寄りがやたら怖がる（女性・50代・高知県）
お疲れ様です。大変なお仕事と思いますが自分自身を大事にしつつも大災害の被害が少しでも低くなるよう頑張ってください。（男性・40代・埼玉県）
ブルーモーメントというドラマを見てから危機感を持つことができたので、もっと気象庁もそういう媒体で皆が興味を持つようにできればいいと思います（女性・30代・福岡県）
もっと端的に、はっきりした物言いの人がテレビなどで報道に出てほしい。（女性・40代・兵庫県）
常に正しい情報を伝えるように努力していると思うので、これからもよろしくお願いします（女性・60代以上・岐阜県）
国民に伝わるよう尽力してください（男性・20代・岡山県）
確実な情報期待してる（女性・60代以上・秋田県）
期待している（女性・40代・香川県）
気象庁はしっかりしているが自治体が追従できていない（男性・60代以上・新潟県）
感謝しています。（女性・60代以上・香川県）
今のままでよい（男性・60代以上・佐賀県）
あまり煽りをせずに事実に基づき理論的に説明をお願いしたいです。（男性・40代・佐賀県）
記者会見のやりとりが丁寧すぎ。話進まなくていつほしい情報にたどり着くのかわからずチャンネルかえる。ほとんど、手元資料の何ページ開けて、何の図見て、で視聴者関係ない。（女性・40代・東京都）
外れても違っていても発表することは大切だと思う（女性・50代・東京都）
外れることを恐れず、最悪の被害を避けられるようにお願いします。（男性・60代以上・山形県）
正確な予報が難しい場合もあると思うが、全般的によくやっていると思う。（男性・60代以上・埼玉県）
どんな天気や気候でも中立的な伝え方をしてほしい。（女性・40代・神奈川県）
地震の時のように、強い表現で避難を促してほしいです（女性・30代・茨城県）
正確に予報してほしい（男性・50代・富山県）
普通（男性・60代以上・山口県）
正確な天気予報を期待する。（女性・50代・鹿児島県）
地震や火山情報もっとも入手したい（男性・30代・大阪府）

色んな情報を有難うございます。(女性・60代以上・福岡県)
より正確に、より多くの情報を出してほしい(男性・50代・東京都)
迅速な情報を(男性・50代・愛知県)
より正確な台風情報お願いします！しかし限界もあります。普段からありがとうございます！個人事業主なので、仕事するかどうかの判断頼りにしてありますが、命が1番なのはわかりますが、難しいです！(男性・40代・長崎県)
ホームページのデザインや情報配置見やすくしてほしい(男性・40代・新潟県)
ハズレを気にしないでください(男性・60代以上・宮城県)
特にありませんがこれまでどおり事実を知らせて下さい(男性・60代以上・福岡県)
できれば災害が起こる数日前に実害がどのくらいになるかわかるといいと思います(女性・60代以上・群馬県)
複雑にしないで。(男性・50代・東京都)
今まで通りで(男性・50代・埼玉県)
ゲリラ豪雨とかの予報を早く正確に流してほしい。(女性・50代・群馬県)
天気予報はとても大変だと思いますがこれからもよろしく(女性・60代以上・栃木県)
より精度を高める(男性・60代以上・埼玉県)
今まで以上に詳しい情報を流してほしい。(女性・60代以上・兵庫県)
正確で詳しい情報を知りたい(女性・20代・北海道)
だらだらとした会話はやめてほしい(女性・50代・神奈川県)
これからも頑張ってください(女性・40代・栃木県)
各単語が一般人にすぐ分かる単語の方がいい(男性・30代・東京都)
これからも情報を伝えてください(女性・60代以上・広島県)
いつも天気情報ありがとうございます(男性・30代・愛知県)
早めの情報をお願いしたいです。(女性・60代以上・神奈川県)
雨具レーダーは、よく見ます。天候の予測で自分の行動を決める事に役立ってます。今後も、続けて下さい。(男性・60代以上・愛知県)
生活に役立つ情報をこれからもお願いします。(男性・30代・北海道)
予報の正確性(男性・50代・福岡県)
わかりやすい内容で伝えてください(女性・40代・東京都)
あまり当たらないのでよくわからない(男性・60代以上・岐阜県)
時間ごとの気温や降水状況などがらあるが、表示速度が早いのもう少しゆっくり進めてほしい。知りたい時間帯がすぐにすぎてしまってあまり意味がないと感じる(女性・50代・京都府)
気象庁は日々の天気情報を提供する重要な役割を果たしていますが、自然現象や長期予報についての解説をもっと増やして、分かりやすくしていただけると助かります。(男性・20代・東京都)
十分役立っていると思う(男性・60代以上・高知県)
外国語バージョン(男性・20代・大阪府)
個人が避難するには、避難した方がいいなどの情報でも行動するのが大切だと思う。あまり詳しいと、自分でどう判断したらいいか却ってわからなくなりそう。詳しい情報は避難した後に聞くのもいいと思う。(女性・60代以上・神奈川県)
気にしても仕方ない(女性・60代以上・岡山県)
角度が高い予報を願います。(男性・50代・東京都)
これからも空振りでもいいので大袈裟なくらいに注意喚起してほしい(女性・60代以上・熊本県)
防災に力を入れ頑張ってください(男性・40代・富山県)

特にない。色々テレビでやってくれているのでありがたい（女性・50代・大阪府）
ネット表示を分かりやすく！（男性・60代以上・北海道）
早め早めの情報をこれからもよろしくお願いします（女性・40代・埼玉県）
地震が発生するのを、早く教えてほしい。（女性・60代以上・石川県）
正確な情報（男性・60代以上・富山県）
より早く正確な気象の情報を流して欲しいです（女性・40代・大阪府）
より正確で迅速な情報が知りたい。（女性・60代以上・新潟県）
気象情報は予測が難しく当てにならない為、そこまで力を入れなくていいと思う（女性・30代・大阪府）
正確さ（男性・60代以上・京都府）
外れてもいいので、今現在一番の計算手段、方法により導き出したものを、過去の経験則等を踏まえ、まっすぐに伝えていただければ良いと思います。気象庁を信頼しています。（男性・60代以上・茨城県）
特にありませんが、自然の驚異に人間はかないませんが・・・（女性・60代以上・千葉県）
台風など、被害が大きくなりそうな気象情報は、空振りでもいいので早めに出して下さい。こちらは北海道なので、雪の降り方次第で行動に制限をかけなければなりません。降る前に準備しないと死活問題なので。（女性・50代・北海道）
正確な情報を素早く伝えて下さい。（男性・50代・大阪府）
細かい地域情報がほしい（男性・60代以上・鹿児島県）
正確な情報を提供してほしい。（男性・40代・静岡県）
河川の水位情報も知らせて欲しい（男性・40代・大阪府）
出来るだけ精度の高い情報を教えて下さるようお願いします（男性・60代以上・長崎県）
精度をあげて欲しい（男性・40代・千葉県）
誰でも手軽に見れる情報を携帯で、広告かのように頻繁に流して欲しい（女性・40代・神奈川県）
これからも最新の的確な天気予報を期待しています。（男性・60代以上・沖縄県）
大変なときにほぼ寝ずにガンバってくれて、感謝している。（女性・60代以上・兵庫県）
当たらなくても少し大袈裟位の表現はしてほしい、外に行けない状況になってからの避難指示は辞めてほしい（男性・60代以上・広島県）
外れる予報であれば、あまり前もって教えてくれない方が良い。みんなの不安を煽ってしまい、商品の買い占めやガソリンの買い占めなどが起きてしまうから。（女性・40代・山梨県）
もう少し早く台風情報がはつきしたら助かります（女性・60代以上・福岡県）